

軽井沢町男女共同参画に関する 意識調査

【報告書】

平成 30 年 10 月

軽 井 沢 町

目 次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果	2

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、町民の男女共同参画に関する意識や地域の現状などを把握し、「軽井沢町男女共同参画計画」策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 回収結果

●回収結果

区分	町民意識調査
調査地域	軽井沢町内全域
調査対象	町内に在住の 18 歳以上の町民 1,100 人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成 30 年 7 月 30 日～平成 30 年 8 月 10 日
配布数（A）	1,100 件
回収件数（B）	284 件
回収率（B／A）	25.8%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「％」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

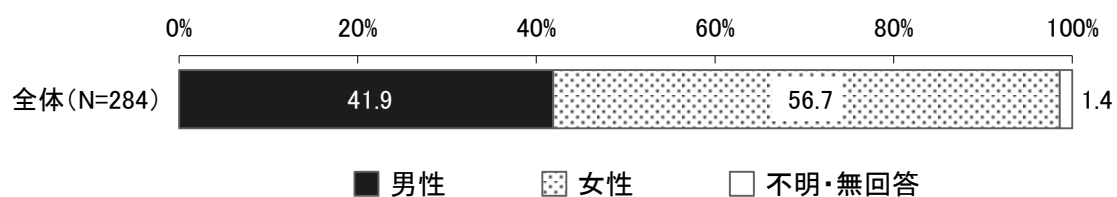
Ⅱ 調査結果

あなた自身について

問 1

あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)
※自認する性でお答えください。

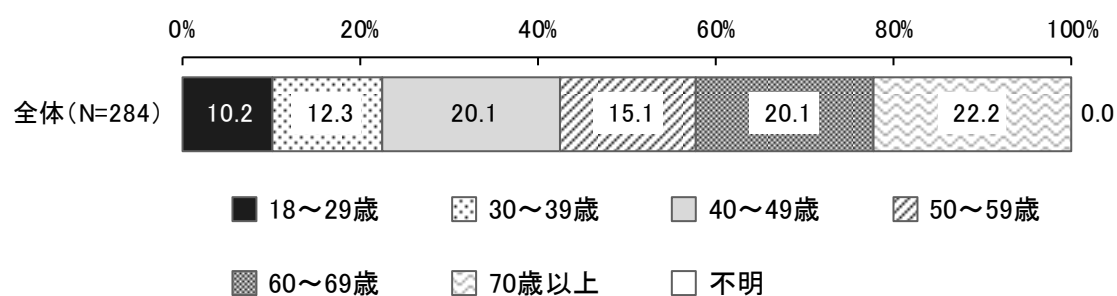
全体では「男性」が41.9%、「女性」が56.7%となっています。



問 2

あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

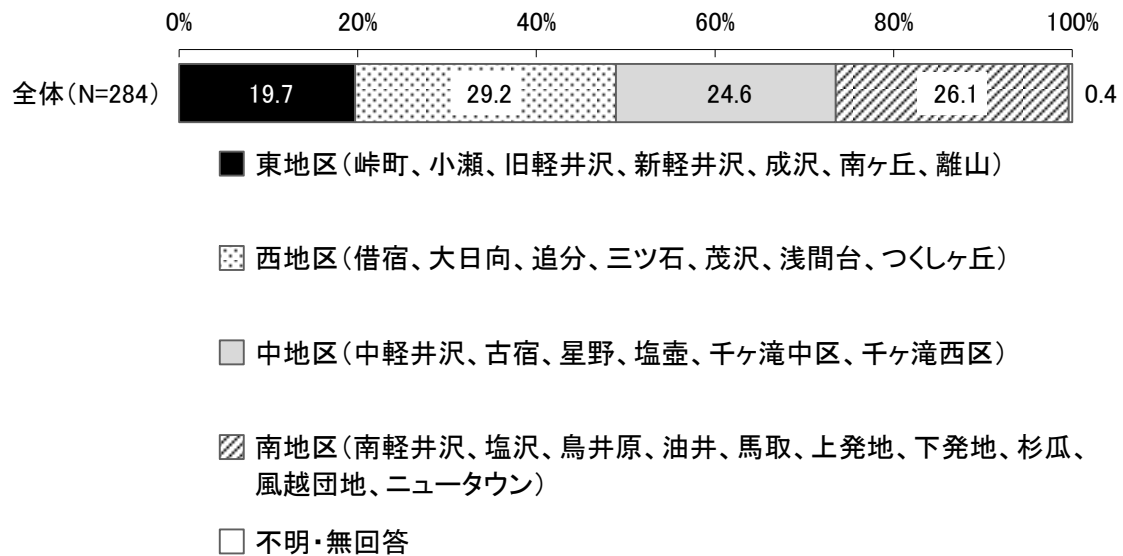
全体では「70歳以上」が22.2%と最も高く、次いで「45～49歳」が11.3%となっています。



問 3

あなたがお住まいの地区を教えてください。(〇は1つだけ)

全体では「西地区（借宿、大日向、追分、三ツ石、茂沢、浅間台、つくしヶ丘）」が 29.2%と最も高く、次いで「南地区（南軽井沢、塩沢、鳥井原、油井、馬取、上発地、下発地、杉瓜、風越団地、ニュータウン）」が 26.1%となっています。



問 4

あなたの主とする職業を教えてください。（○は1つだけ）

※出産・育児・介護などの休業中の場合は、現在も働いているものとして回答してください。

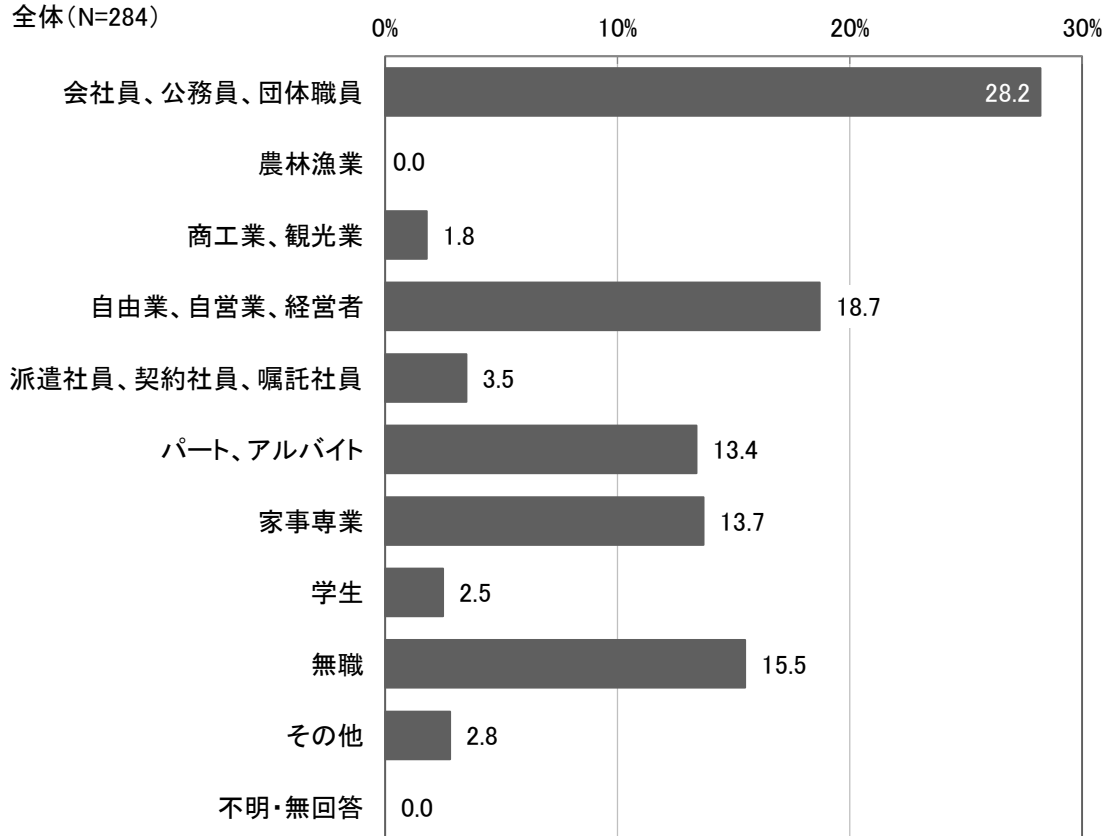
全体では「会社員、公務員、団体職員」が 28.2%と最も高く、次いで「自由業、自営業、経営者」が 18.7%となっています。

性別では、「会社員、公務員、団体職員」が男性で 35.3%、女性で 23.0%となっています。

年齢区分別では、18～59 歳で「会社員、公務員、団体職員」、60～69 歳で「自由業、自営業、経営者」、70 歳以上で無職が最も高くなっています。

居住地区別では、東地区で「自由業、自営業、経営者」が最も高くなっています。

全体 (N=284)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		会社員、公務員、団体職員	農林漁業	商工業、観光業	自由業、自営業、経営者	派遣社員、契約社員、嘱託社員	パート、アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	35.3	0.0	1.7	25.2	5.9	4.2	0.0	2.5	23.5	1.7	0.0
	女性 (N=161)	23.0	0.0	1.9	13.7	1.9	20.5	23.6	2.5	9.3	3.7	0.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	44.8	0.0	3.4	3.4	10.3	6.9	3.4	24.1	3.4	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=35)	45.7	0.0	2.9	5.7	5.7	8.6	22.9	0.0	2.9	5.7	0.0
	40～49 歳 (N=57)	47.4	0.0	1.8	21.1	0.0	19.3	7.0	0.0	3.5	0.0	0.0
	50～59 歳 (N=43)	39.5	0.0	2.3	20.9	4.7	20.9	2.3	0.0	4.7	4.7	0.0
	60～69 歳 (N=57)	10.5	0.0	1.8	22.8	5.3	17.5	19.3	0.0	21.1	1.8	0.0
	70 歳以上 (N=63)	1.6	0.0	0.0	25.4	0.0	4.8	22.2	0.0	41.3	4.8	0.0
居住地区別	東地区 (N=56)	30.4	0.0	1.8	32.1	3.6	8.9	12.5	0.0	10.7	0.0	0.0
	西地区 (N=83)	22.9	0.0	0.0	18.1	7.2	15.7	14.5	6.0	14.5	1.2	0.0
	中地区 (N=70)	27.1	0.0	4.3	10.0	1.4	15.7	12.9	1.4	22.9	4.3	0.0
	南地区 (N=74)	32.4	0.0	1.4	17.6	1.4	12.2	14.9	1.4	13.5	5.4	0.0

<問4で『働いている』（選択肢1～6、10）と回答した方にうかがいます。>

問4-1

あなたの職場では、現在、次にあげるような男女差別があると思いますか。
次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに○）

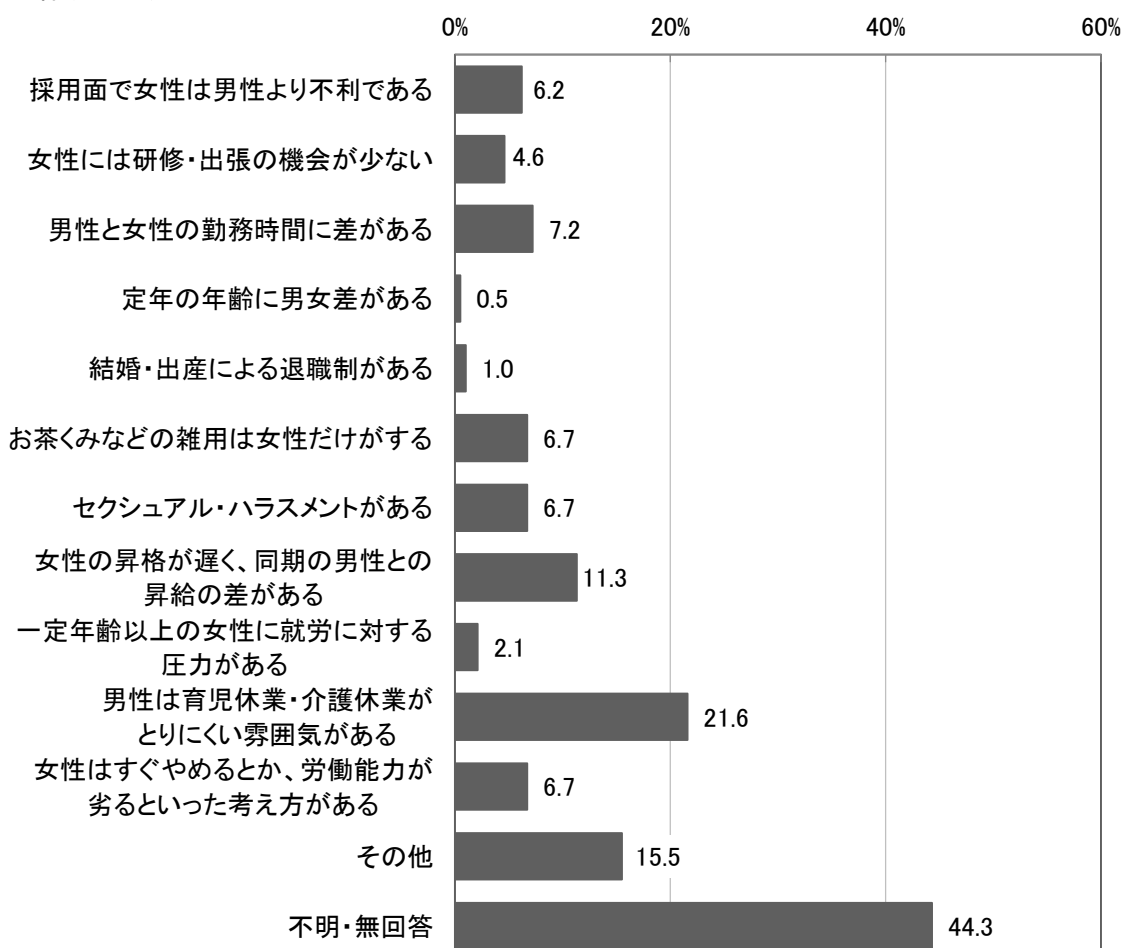
全体では「男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある」が21.6%と最も高く、次いで「その他」が15.5%となっています。

性別では、「男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある」が男性で28.4%、女性で16.3%と最も高くなっています。

年齢区分別では、18～49歳で「男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある」が最も高くなっています。

居住地区別では、いずれも「男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある」が最も高くなっています。

全体(N=194)



■クロス集計集

(単位：％)

区分		採用面で女性は男性より不利である	女性には研修・出張の機会が少ない	男性と女性の勤務時間に差がある	定年の年齢に男女差がある	結婚・出産による退職制がある	お茶くみなどの雑用は女性だけがする	セクシュアル・ハラスメントがある	女性の昇格が遅く、同期の男性との昇給の差がある	一定年齢以上の女性に就労に対する圧力がある
性別	男性 (N=88)	6.8	4.5	9.1	0.0	1.1	2.3	6.8	12.5	1.1
	女性 (N=104)	5.8	4.8	5.8	1.0	1.0	10.6	6.7	10.6	2.9
年齢区分別	18～29 歳 (N=20)	5.0	0.0	10.0	0.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0
	30～39 歳 (N=26)	11.5	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	15.4	15.4	0.0
	40～49 歳 (N=51)	5.9	7.8	7.8	0.0	0.0	7.8	3.9	13.7	0.0
	50～59 歳 (N=40)	7.5	5.0	2.5	2.5	0.0	2.5	7.5	17.5	5.0
	60～69 歳 (N=34)	2.9	5.9	5.9	0.0	0.0	8.8	5.9	0.0	2.9
	70 歳以上 (N=23)	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	4.3

区分		男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある	女性はすぐやめるとか、労働能力が劣るといった考え方があ	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=88)	28.4	4.5	17.0	40.9
	女性 (N=104)	16.3	8.7	13.5	47.1
年齢区分別	18～29 歳 (N=20)	40.0	0.0	5.0	35.0
	30～39 歳 (N=26)	34.6	11.5	7.7	34.6
	40～49 歳 (N=51)	21.6	5.9	9.8	51.0
	50～59 歳 (N=40)	15.0	7.5	10.0	45.0
	60～69 歳 (N=34)	14.7	2.9	20.6	55.9
	70 歳以上 (N=23)	13.0	13.0	47.8	30.4

■クロス集計集

(単位: %)

区分		採用面で女性は男性より不利である	女性には研修・出張の機会が少ない	男性と女性の勤務時間に差がある	定年の年齢に男女差がある	結婚・出産による退職制がある	お茶くみなどの雑用は女性だけがする	セクシュアル・ハラスメントがある	女性の昇格が遅く、同期の男性との昇給の差がある	一定年齢以上の女性に就労に対する圧力がある
居住地区別	東地区 (N=43)	4.7	0.0	4.7	2.3	0.0	2.3	9.3	4.7	0.0
	西地区 (N=54)	13.0	5.6	7.4	0.0	0.0	11.1	9.3	16.7	0.0
	中地区 (N=44)	0.0	6.8	4.5	0.0	2.3	11.4	6.8	13.6	0.0
	南地区 (N=52)	3.8	5.8	11.5	0.0	1.9	1.9	1.9	9.6	7.7

区分		男性は育児休業・介護休業がとりにくい雰囲気がある	女性はすぐやめるとか、労働能力が劣るといった考え方がある	その他	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=43)	20.9	9.3	20.9	41.9
	西地区 (N=54)	31.5	11.1	16.7	38.9
	中地区 (N=44)	22.7	4.5	13.6	43.2
	南地区 (N=52)	11.5	1.9	11.5	53.8

<問4で『働いている』（選択肢1～6）、「8. 学生」「10. その他」と回答した方にうかがいます。>

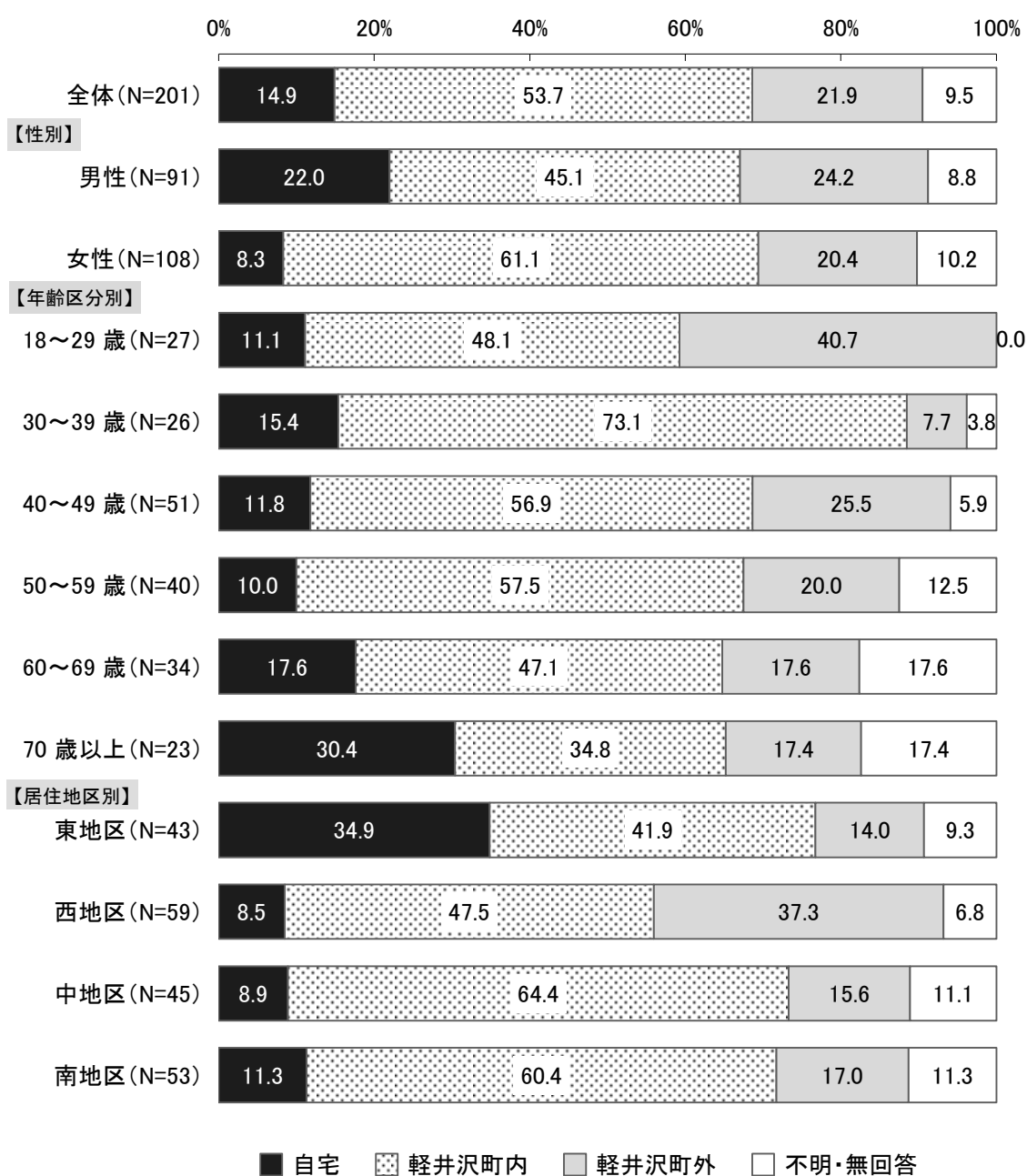
問4-2 あなたはどちらに通勤または通学されていますか。（○は1つだけ）

全体では「自宅」が14.9%、「軽井沢町内」が53.7%、「軽井沢町外」が21.9%となっています。

性別では、「自宅」が男性で22.0%、女性で8.3%となっています。

年齢区分別では、70歳以上で「自宅」が17.6%と高くなっています。

居住地区別では、東地区で「自宅」が34.9%と高くなっています。

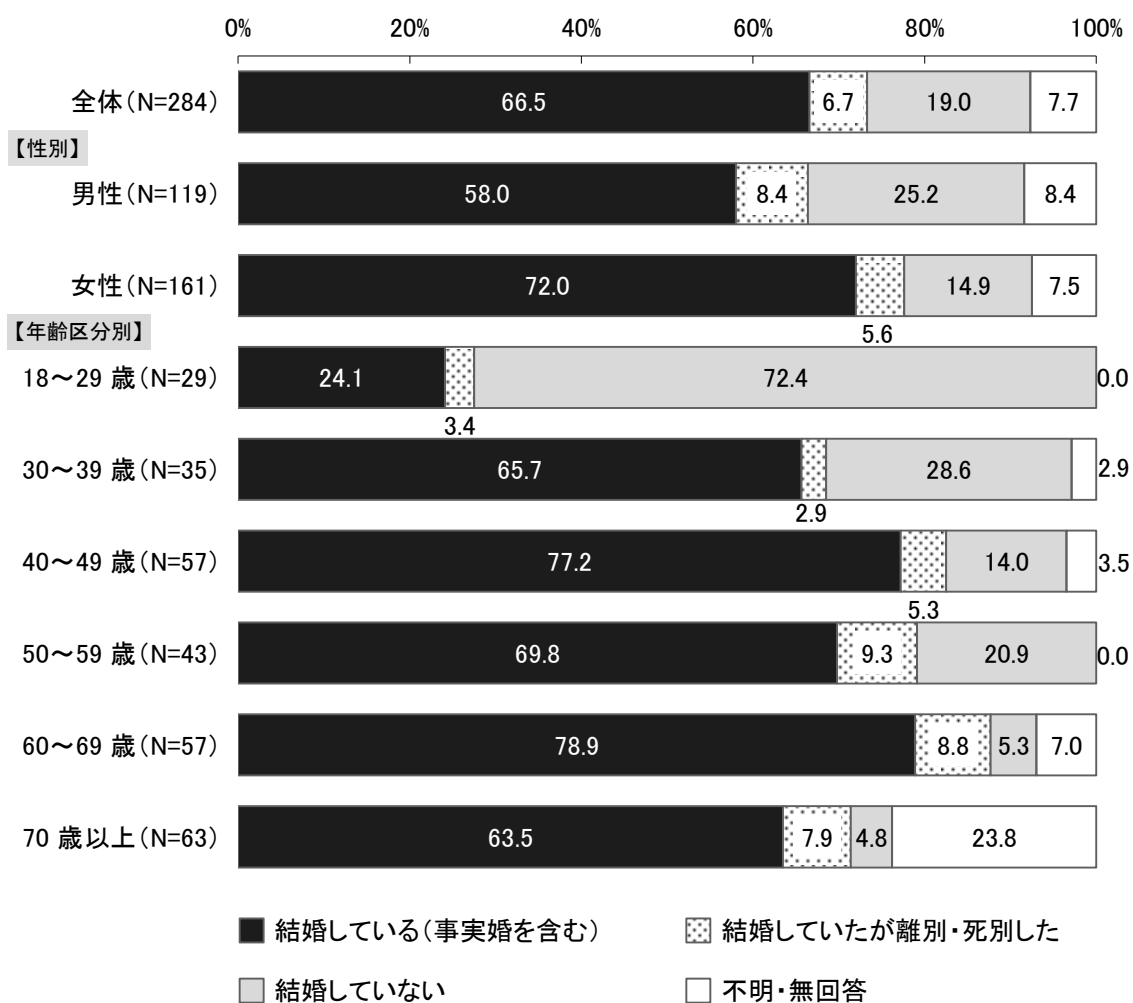


問5 あなたは結婚されていますか。(○は1つだけ)

全体では「結婚している（事実婚を含む）」が66.5%、「結婚していたが離別・死別した」が6.7%、「結婚していない」が19.0%となっています。

性別では、「結婚している（事実婚を含む）」が男性で58.0%、女性で72.0%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「結婚していない」が高くなっています。



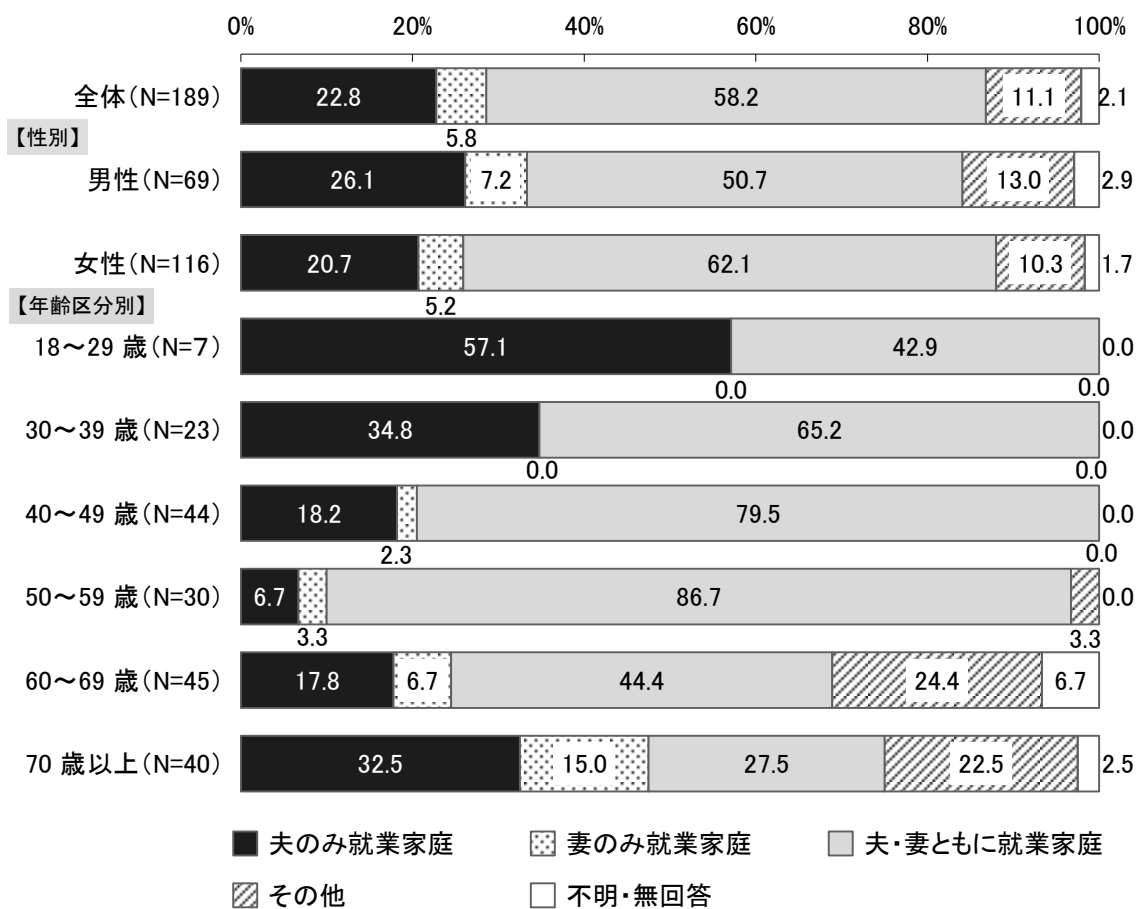
<問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」と回答した方にうかがいます。>

問 5-1 ご夫婦は共に働いていますか。（○は1つだけ）

全体では「夫・妻ともに就業家庭」が58.2%と最も高く、次いで「夫のみ就業家庭」が22.8%となっています。

性別では、「夫・妻ともに就業家庭」が男性で50.7%、女性で62.1%となっています。

年齢区分別では、50～59歳で「夫・妻ともに就業家庭」が86.7%と高くなっています。



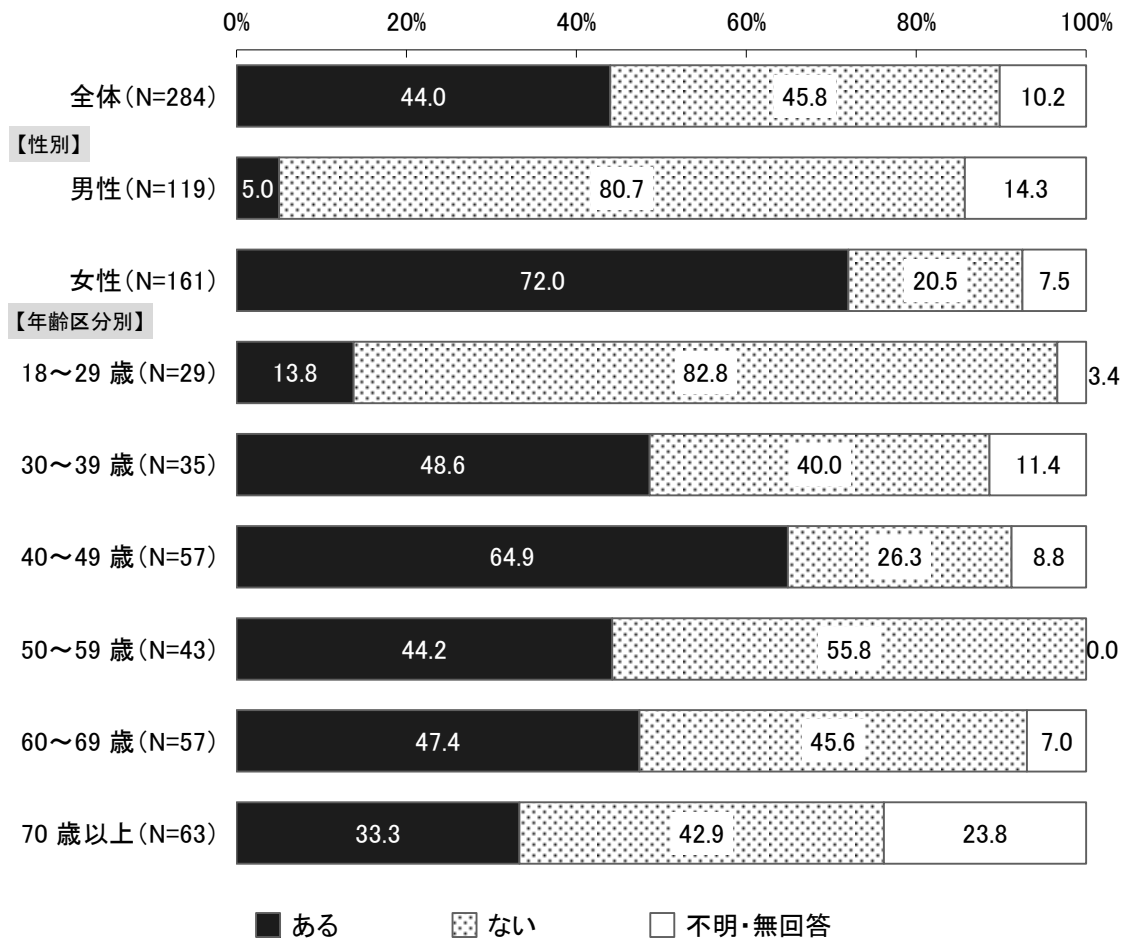
問 6

あなたは、結婚により戸籍上の名字（姓）が変わったことがありますか。
（○は1つだけ）

全体では「ある」が44.0%、「ない」が45.8%となっています。

性別では、「ある」が男性で5.0%、女性で72.0%となっています。

年齢区分別では、40歳～49歳で「ある」が64.9%と高くなっています。



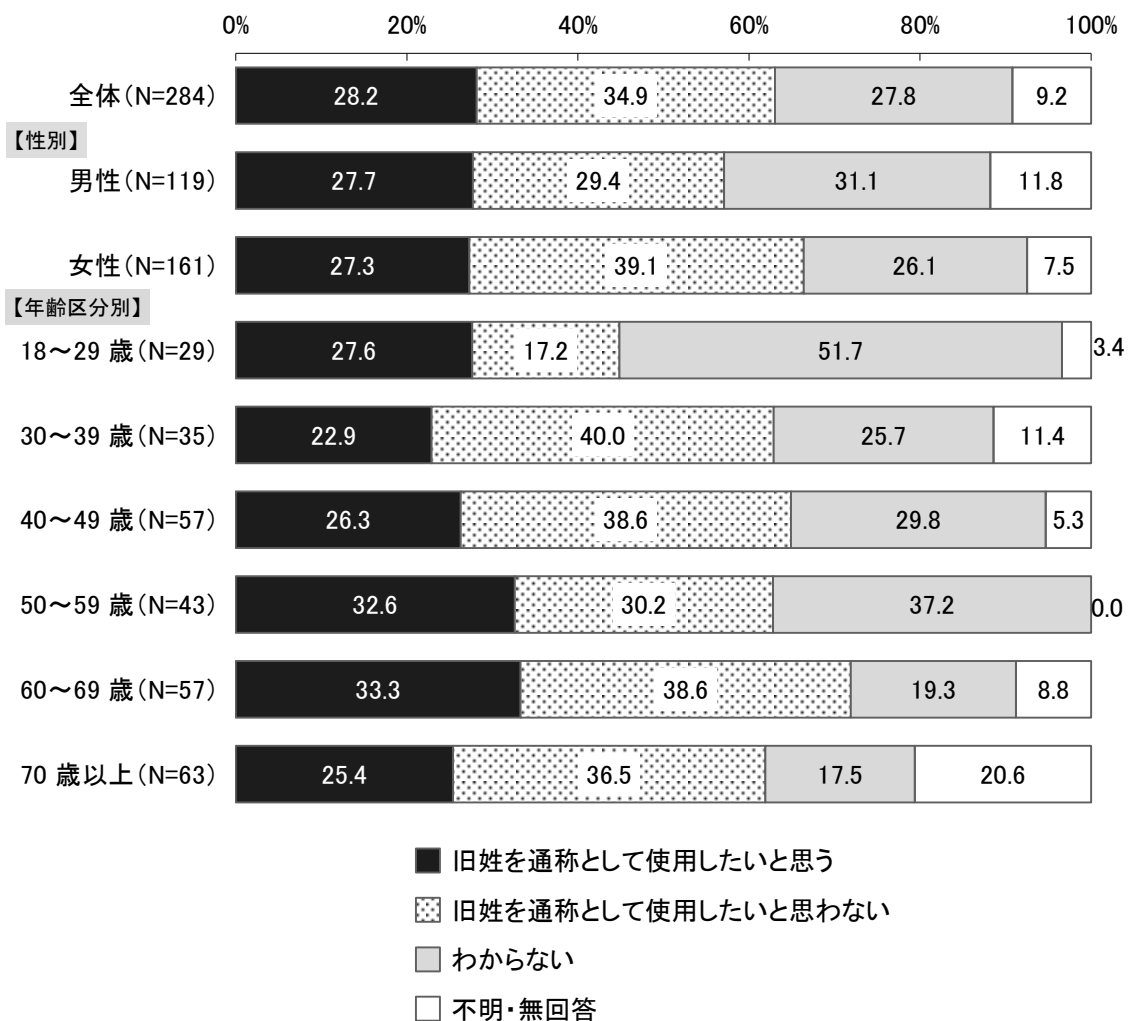
問 7

あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字（姓）が変わった場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。あなたが結婚している・いないにかかわらず、お答えください。（○は1つだけ）

全体では「旧姓を通称として使用したいと思う」が28.2%、「旧姓を通称として使用したいと思わない」が34.9%、「わからない」が27.8%となっています。

性別では、「旧姓を通称として使用したいと思わない」が男性で29.4%、女性で39.1%となっています。

年齢区分別では、18歳～29歳で「わからない」が51.7%と他の年齢区分と比べて高くなっています。



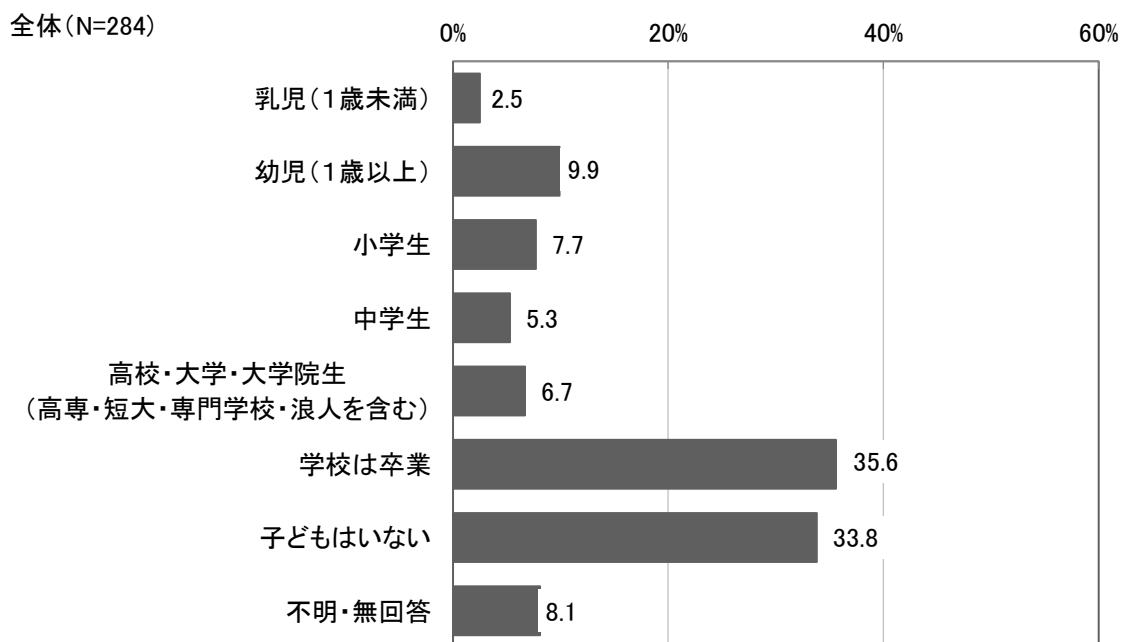
問 8

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「学校は卒業」が 35.6%と最も高く、次いで「子どもはいない」が 33.8%となっています。

性別では、「学校は卒業」が男性で 37.0%、女性で 33.5%となっています。

年齢区分別では、18 歳～29 歳で「子どもはいない」が 75.9%と高くなっています。



■クロス集計集

(単位: %)

区分		乳児 (1歳未満)	幼児 (1歳以上)	小学生	中学生	高校・大学・大学院生 (高専・短大・専門学校・浪人を含む)	学校は卒業	子どもはいない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	1.7	9.2	6.7	2.5	3.4	37.0	36.1	10.9
	女性 (N=161)	3.1	10.6	8.7	7.5	9.3	33.5	32.3	6.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	10.3	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	75.9	3.4
	30～39 歳 (N=35)	11.4	40.0	17.1	5.7	2.9	0.0	31.4	8.6
	40～49 歳 (N=57)	0.0	15.8	24.6	19.3	14.0	3.5	43.9	3.5
	50～59 歳 (N=43)	0.0	0.0	2.3	4.7	20.9	30.2	46.5	2.3
	60～69 歳 (N=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	71.9	21.1	7.0
	70 歳以上 (N=63)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	9.5	19.0

問 9

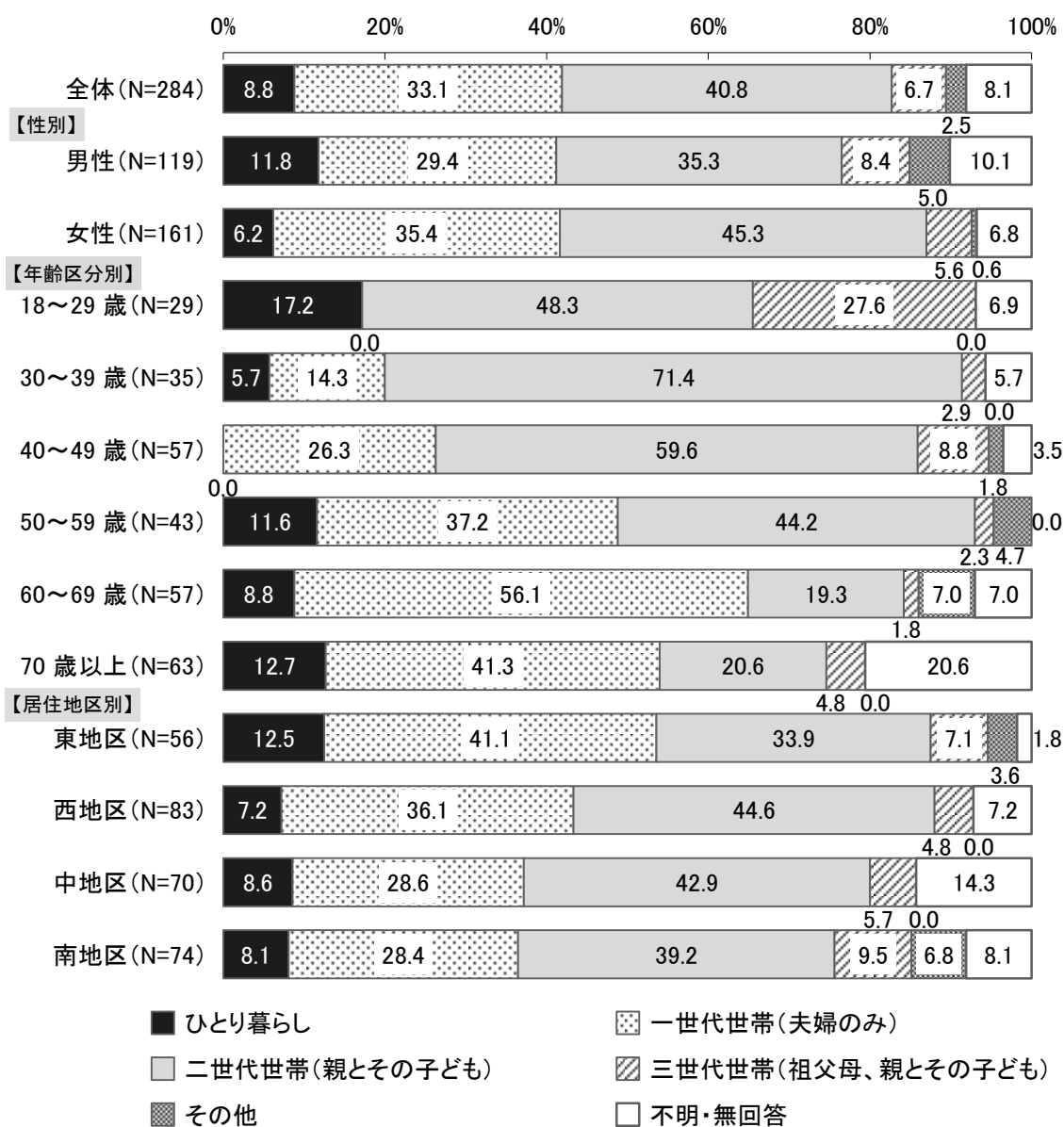
あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

全体では「二世世代世帯（親とその子ども）」が40.8%と最も高く、次いで「一世世代世帯（夫婦のみ）」が33.1%となっています。

性別では、「二世世代世帯（親とその子ども）」が男性で35.3%、女性で45.3%となっています。

年齢区分別では、30歳～39歳で「二世世代世帯（親とその子ども）」が71.4%と高くなっています。

居住地区別では、東地区で「一世世代世帯（夫婦のみ）」が「二世世代世帯（親とその子ども）」より上回っています。



男女共同参画社会について

問 10

「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたの考え方は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

問 10 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

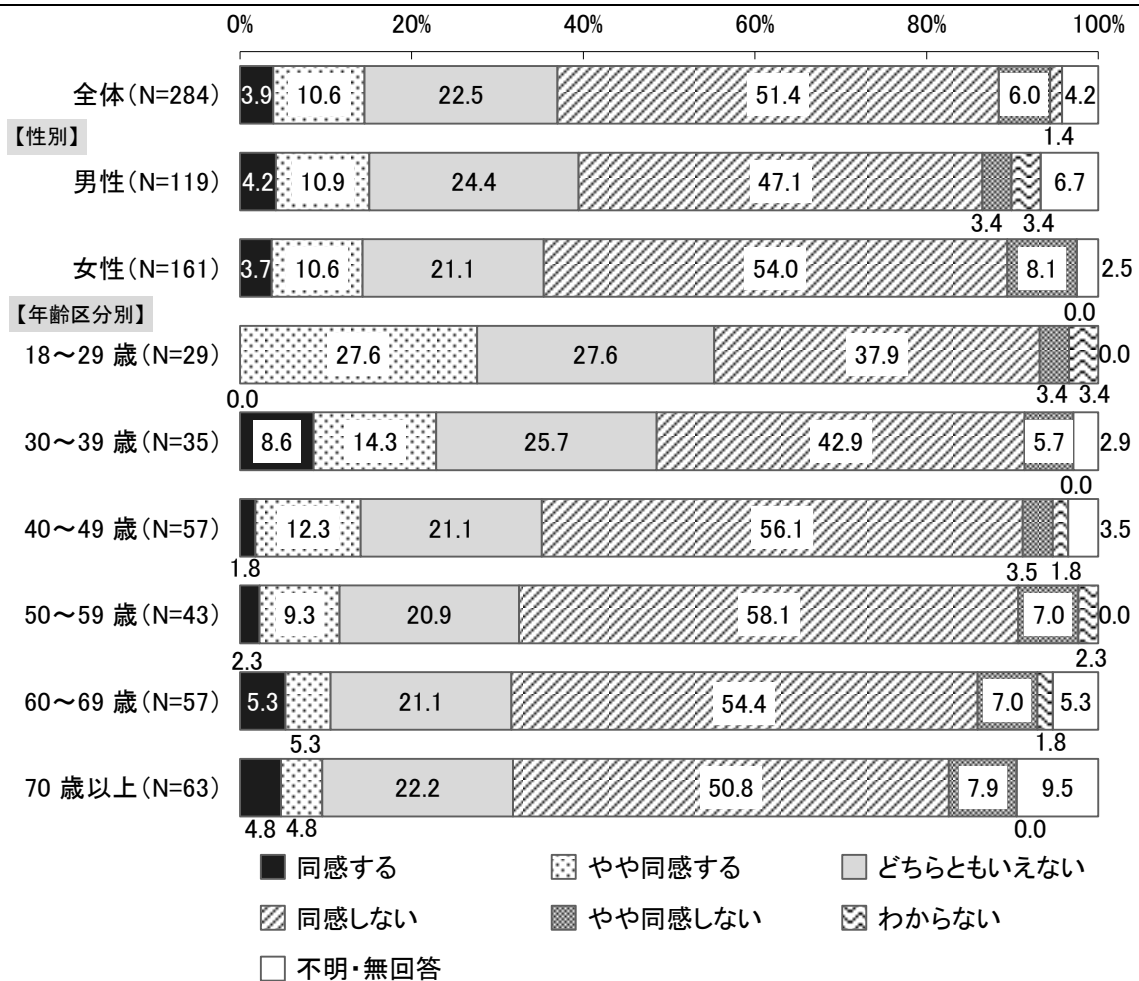
『同感する』…「同感する」と「やや同感する」を合算

『同感しない』…「同感しない」と「やや同感しない」を合算

全体では『同感しない』が 57.4% と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 22.5% となっています。

性別では、『同感しない』が男性で 50.5%、女性で 62.1% となっています。

年齢区分別では、50 歳～59 歳で『同感しない』が他の年代と比べて高くなっています。



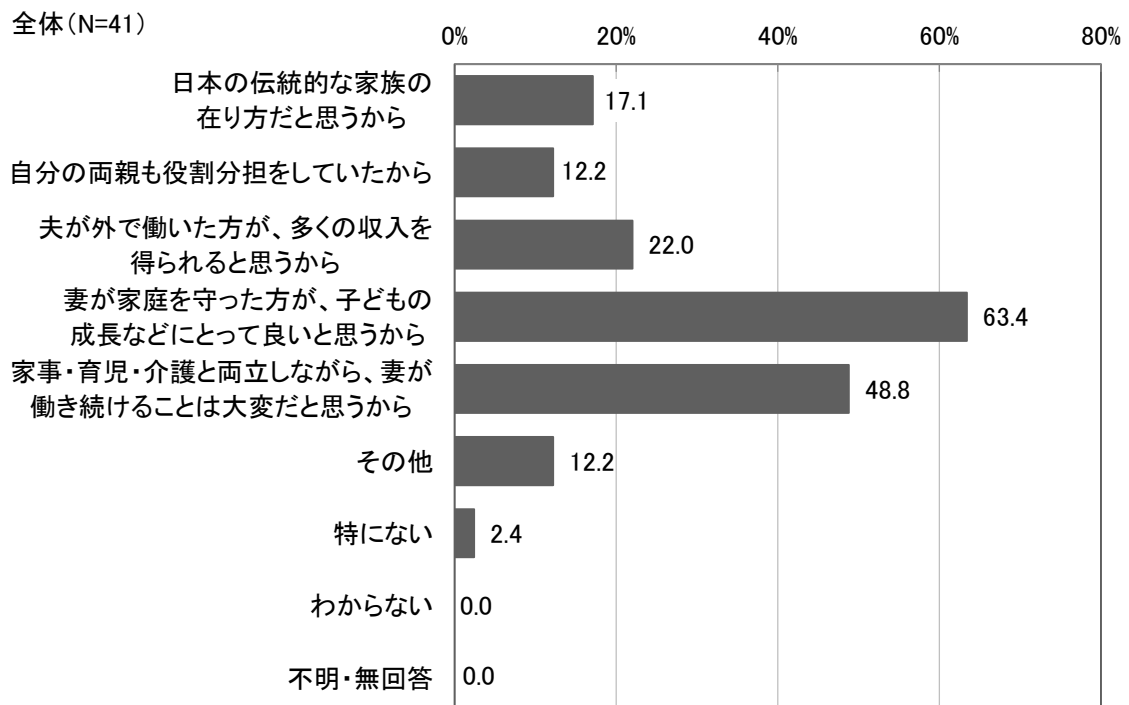
<問 10 で「1. 同感する」「2. やや同感する」と回答した方にうかがいます。>

問 10-1 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」が 63.4%と最も高く、次いで「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」が 48.8%となっています。

性別では、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」が男性で 66.7%、女性で 60.9%となっています。

年齢区分別では、30～39 歳で「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」が他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	自分の両親も役割分担をしていたから	夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	その他	特にない	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=18)	22.2	11.1	22.2	66.7	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	女性 (N=23)	13.0	13.0	21.7	60.9	43.5	13.0	4.3	0.0	0.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=8)	0.0	25.0	25.0	62.5	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=8)	37.5	25.0	25.0	75.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	40～49 歳 (N=8)	12.5	0.0	12.5	62.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	50～59 歳 (N=5)	20.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69 歳 (N=6)	0.0	0.0	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	70 歳以上 (N=6)	33.3	16.7	16.7	66.7	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0

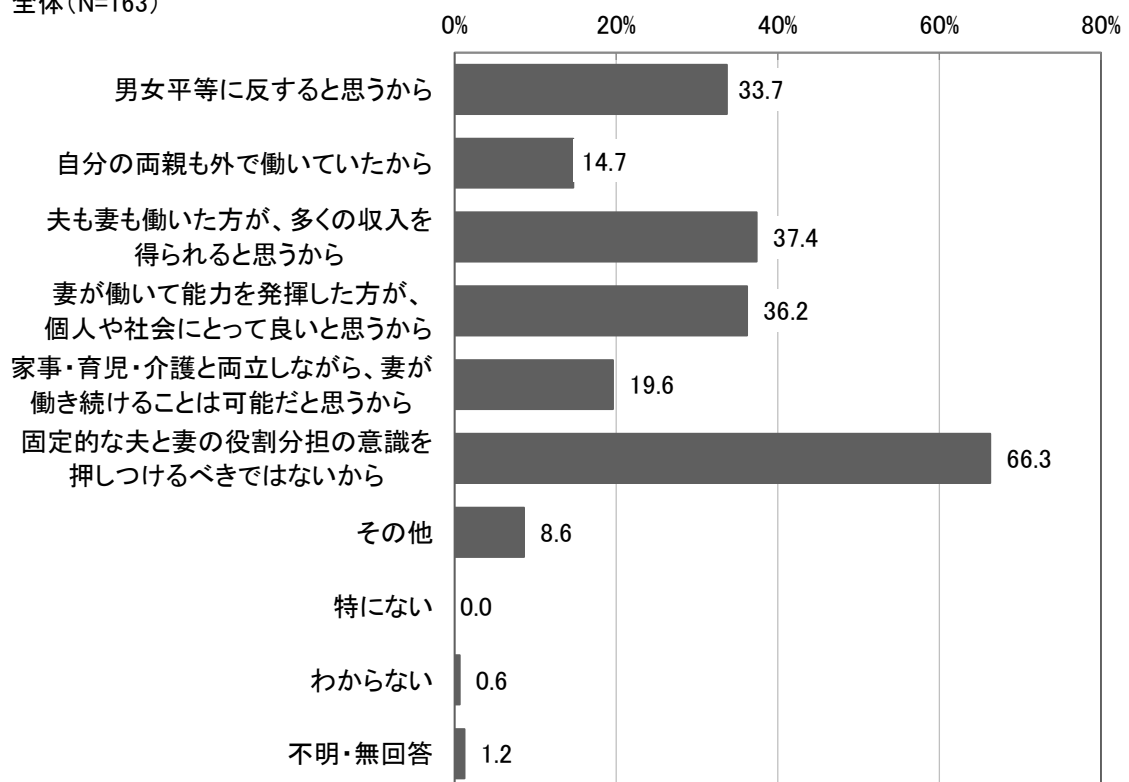
<問 10 で「4. 同感しない」「5. やや同感しない」と回答した方にうかがいます。>

問 10-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」が 66.3%と最も高く、次いで「夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が 37.4%、「妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから」が 36.2%、「男女平等に反すると思うから」が 33.7%となっています。

性別、年齢区分別では、いずれも「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」が最も高くなっています。

全体(N=163)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		男女平等に反すると思うから	自分の両親も外で働いていたから	夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	その他	特にない	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=60)	40.0	11.7	36.7	38.3	18.3	58.3	1.7	0.0	1.7	1.7
	女性 (N=100)	31.0	16.0	39.0	34.0	20.0	71.0	11.0	0.0	0.0	1.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=12)	41.7	33.3	58.3	25.0	8.3	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=17)	35.3	47.1	52.9	52.9	17.6	64.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49 歳 (N=34)	35.3	11.8	38.2	41.2	20.6	70.6	11.8	0.0	0.0	2.9
	50～59 歳 (N=28)	32.1	14.3	42.9	32.1	17.9	60.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	60～69 歳 (N=35)	25.7	5.7	25.7	22.9	31.4	68.6	8.6	0.0	2.9	0.0
	70 歳以上 (N=37)	37.8	5.4	29.7	43.2	13.5	59.5	2.7	0.0	0.0	2.7

問 11

あなたは、次の1～8の場面で男性と女性は平等に扱われていると思いますか。
次の中から選んでください。(○は各項目1つずつ)

問 11 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『男性が優遇されている』…「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合算

『女性が優遇されている』…「女性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合算

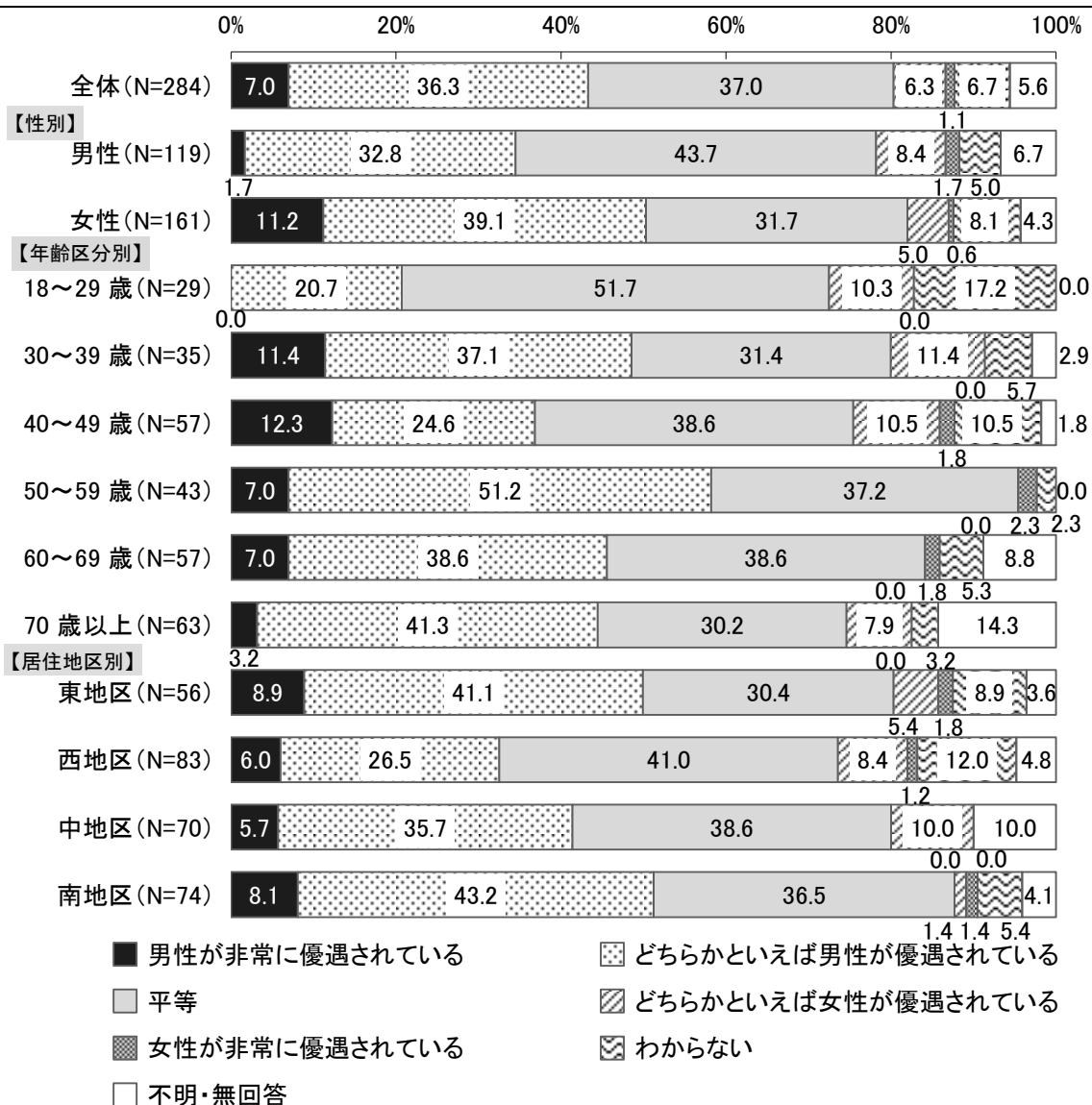
【1 家庭生活】

全体では『男性が優遇されている』が43.3%と最も高く、次いで「平等」が37.0%となっています。

性別では、「平等」が男性で43.7%、女性で31.7%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「平等」が他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別では、西地区で「平等」が他の地区と比べて高くなっています。



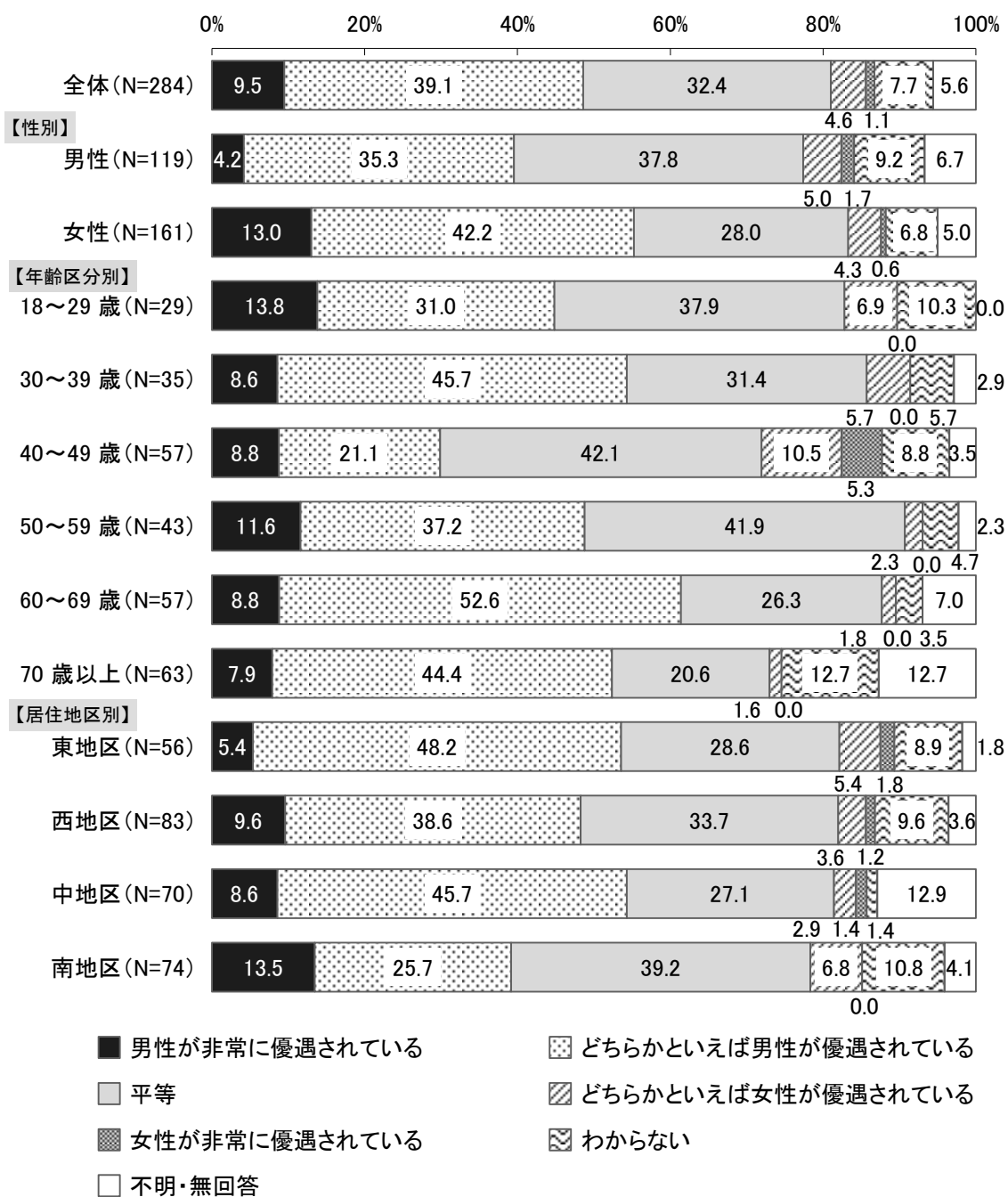
【2 職場】

全体では『男性が優遇されている』が 48.6%と最も高く、次いで「平等」が 32.4%となっています。

性別では、『男性が優遇されている』が男性で 39.5%、女性で 55.2%となっています。

年齢区分別では、60～69 歳で『男性が優遇されている』が他の年代と比べて高くなっています。

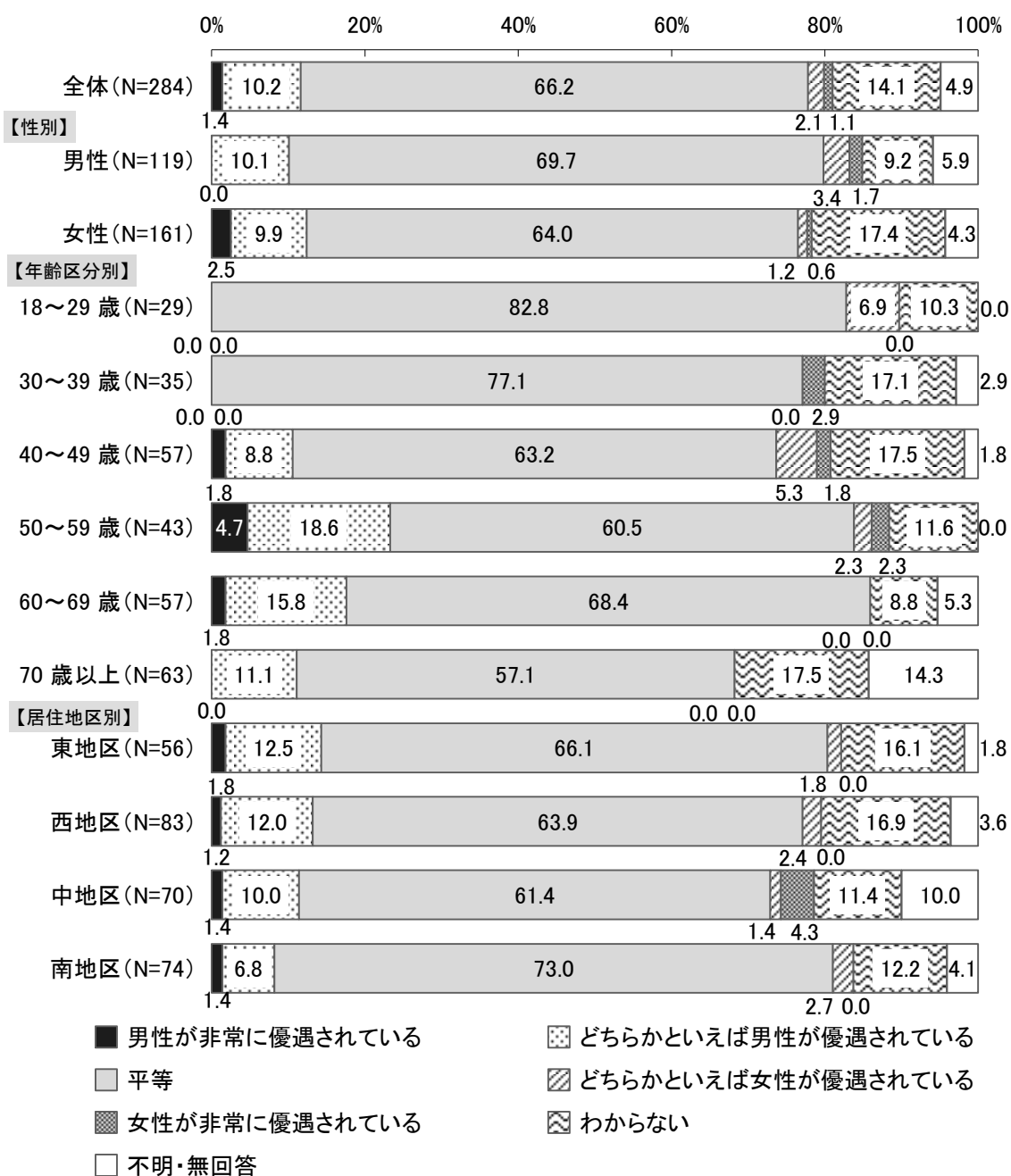
居住地区別では、南地区以外全ての地区で『男性が優遇されている』が最も高くなっています。



【3 学校教育の場】

全体では「平等」が66.2%と最も高く、次いで『男性が優遇されている』が14.1%となっています。

性別、年齢区分別、居住地区別では、いずれも「平等」が最も高くなっています。



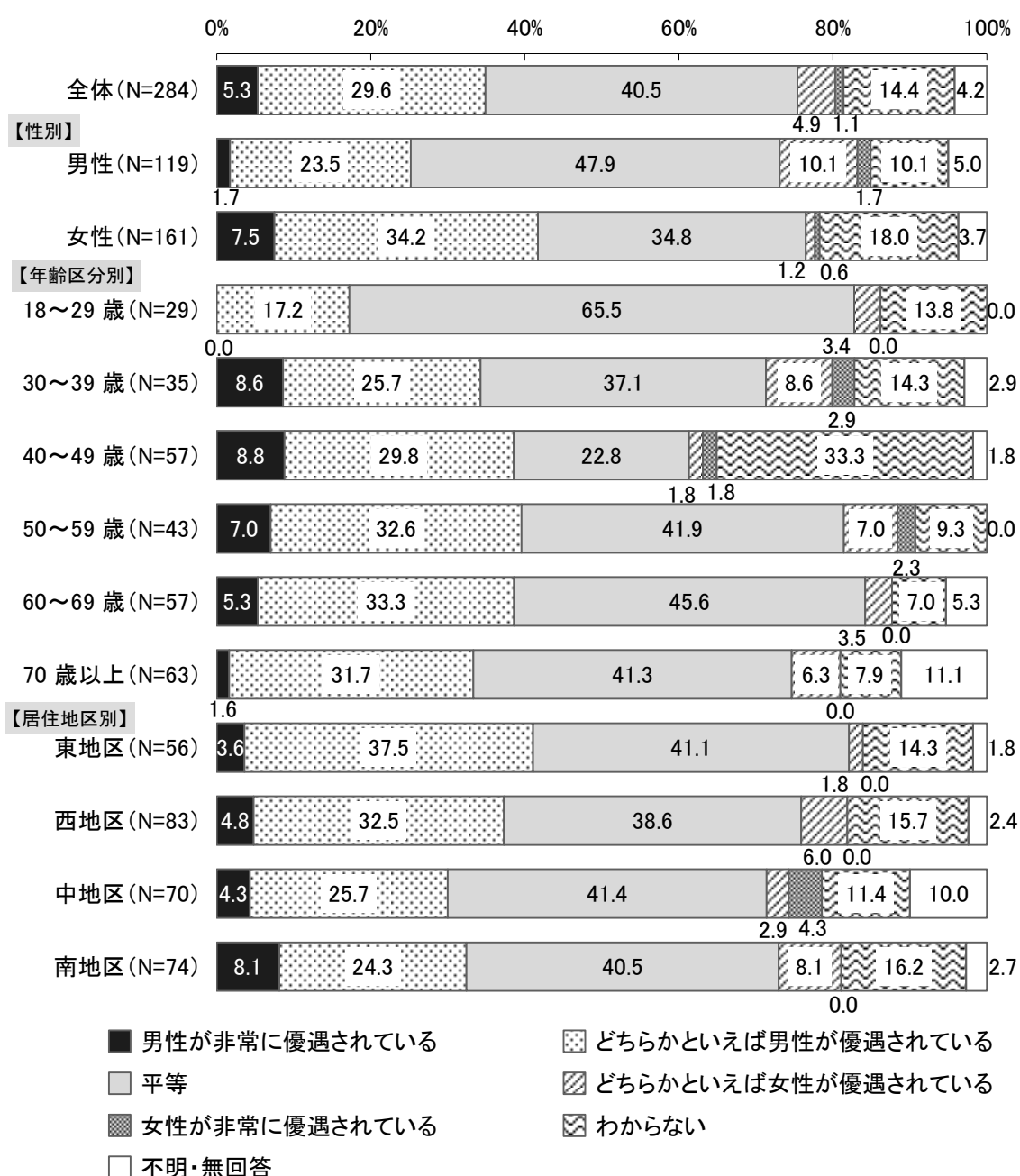
【4 地域活動の場】

全体では「平等」が40.5%と最も高く、次いで『男性が優遇されている』が34.9%となっています。

性別では、「平等」が男性で47.9%、女性で34.8%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「平等」が他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別では、東地区で『男性が優遇されている』が他の地区と比べて高くなっています。



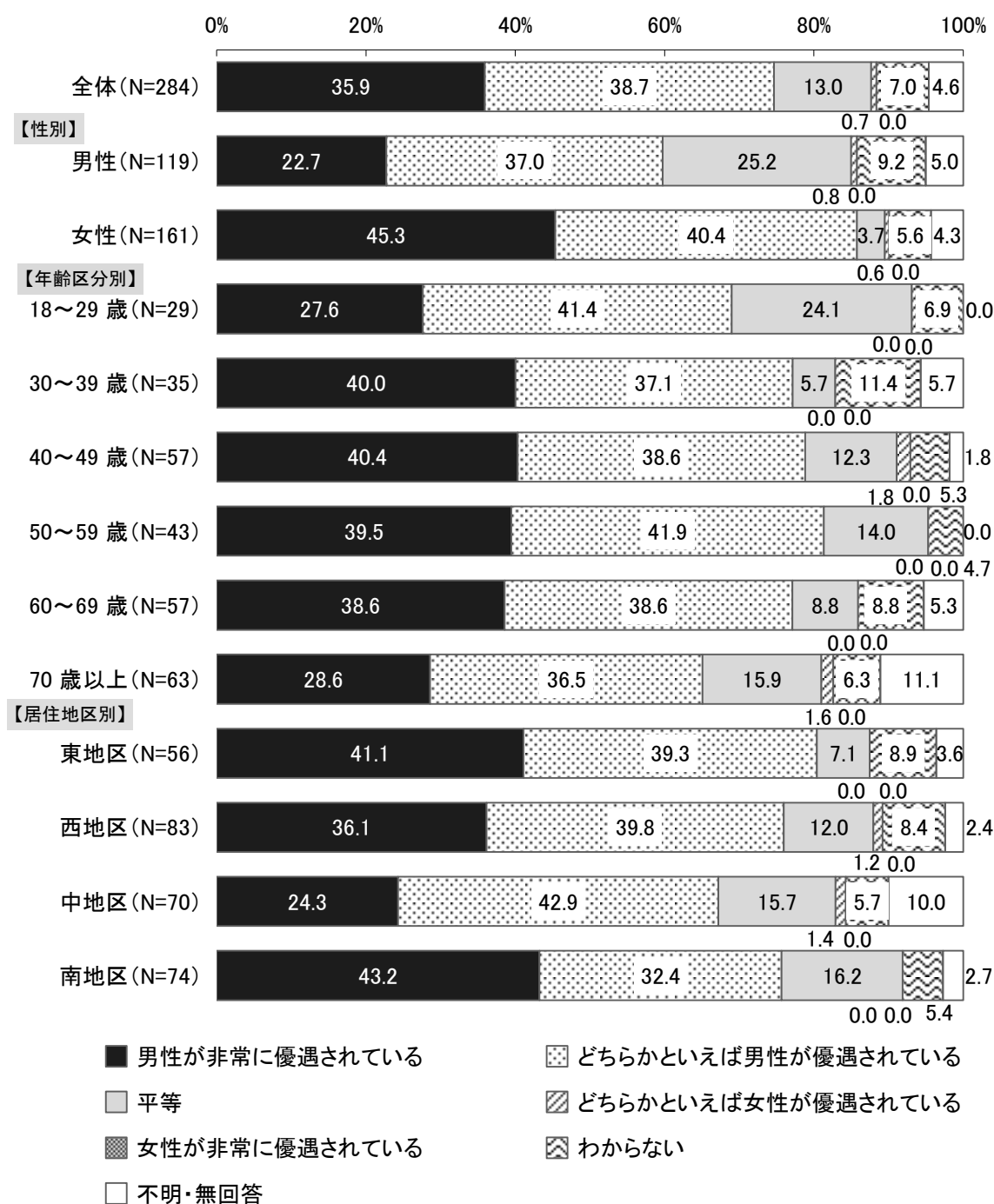
【5 政治の場】

全体では『男性が優遇されている』が 74.6%と最も高く、次いで「平等」が 13.0%となっています。

性別では、『男性が優遇されている』が男性で 59.7%、女性で 85.7%となっています。

年齢区分別では、50～59 歳で『男性が優遇されている』が他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別では、いずれも『男性が優遇されている』が最も高くなっています。



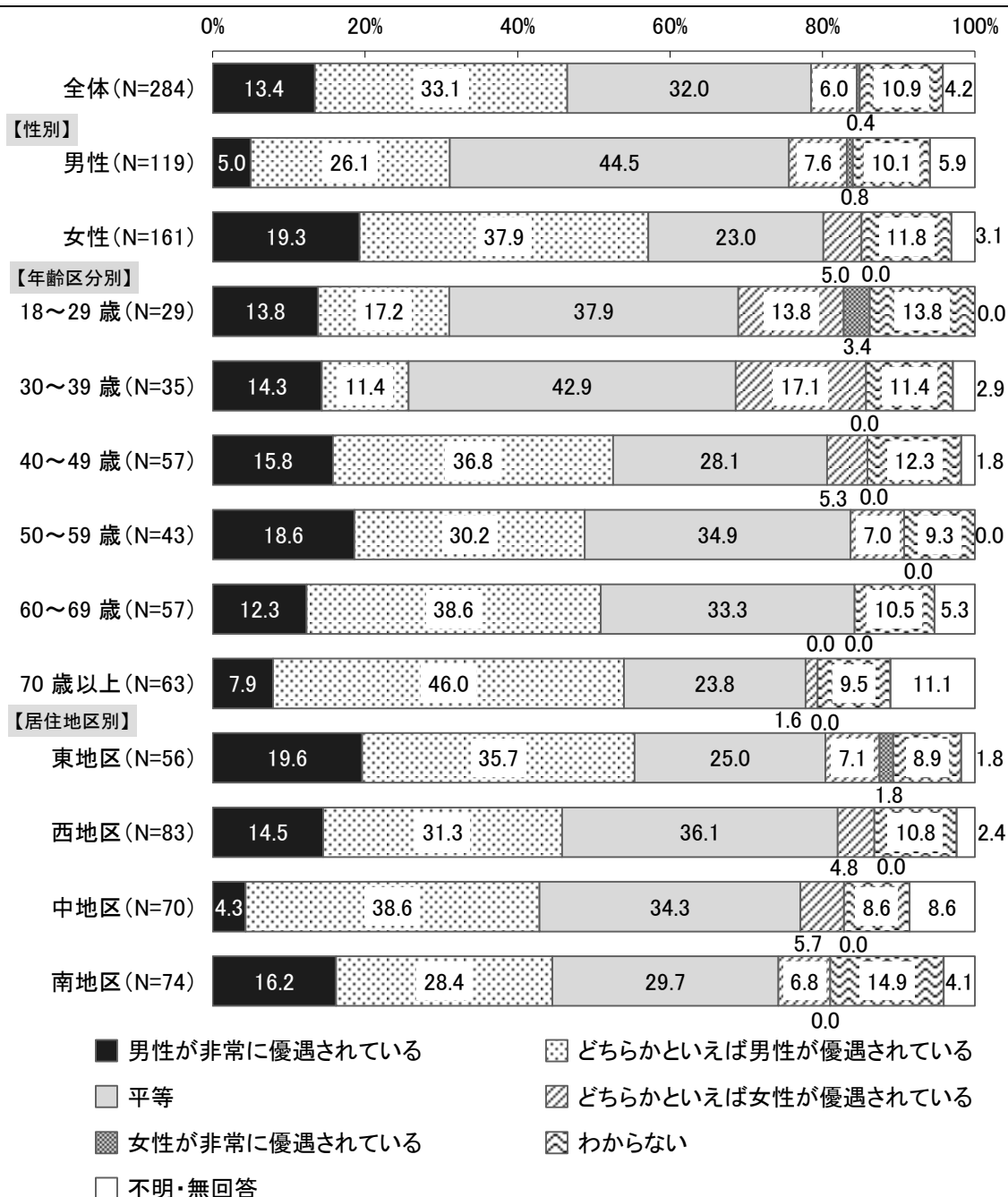
【6 法律や制度の上】

全体では『男性が優遇されている』が46.5%と最も高く、次いで「平等」が32.0%となっています。

性別では、『男性が優遇されている』が男性で31.1%、女性で57.2%となっています。

年齢区分別では、70歳以上で『男性が優遇されている』が他の年代と比べて高くなっています。

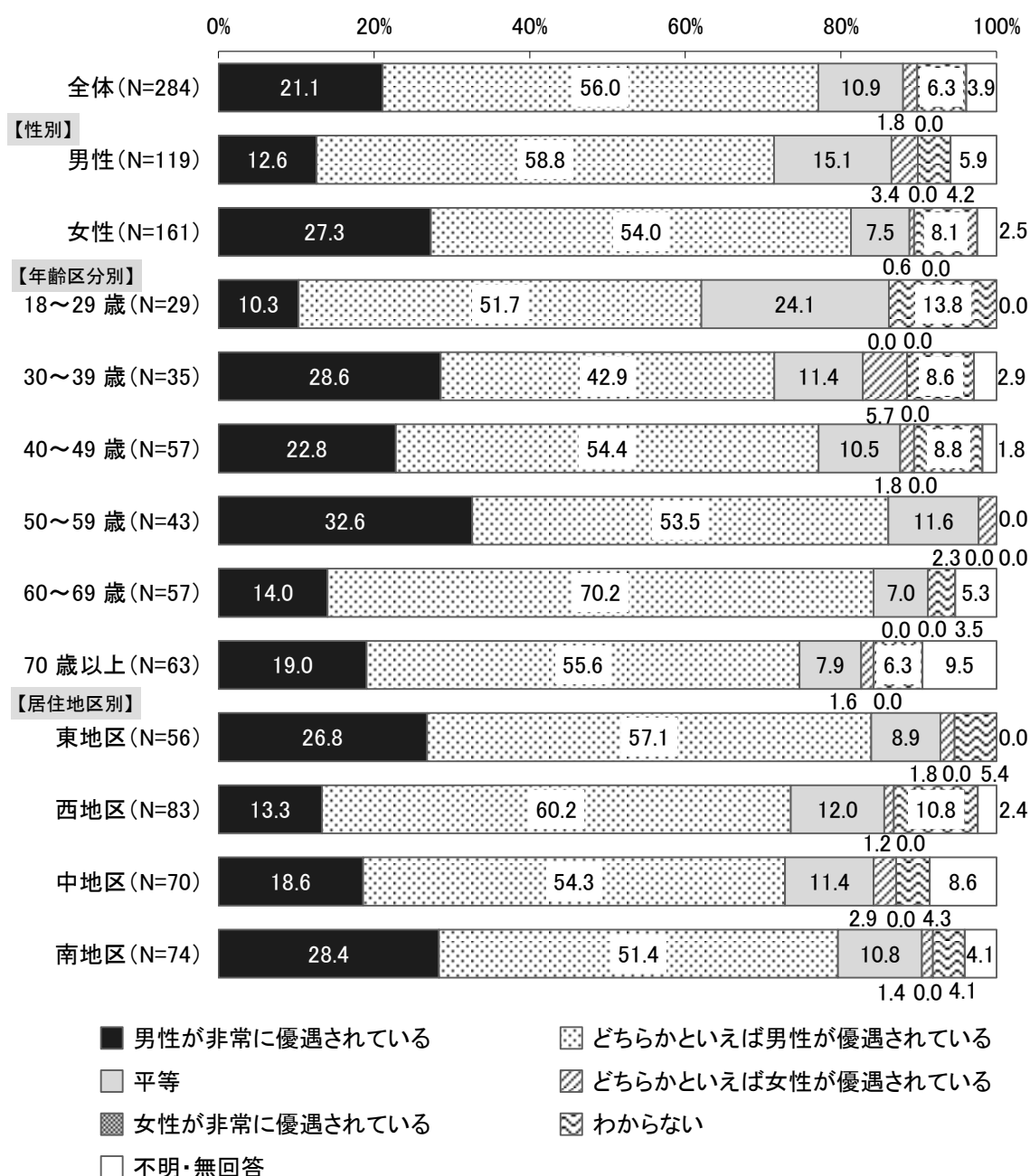
居住地区別では、東地区で『男性が優遇されている』が他の地区と比べて高くなっています。



【7 社会通念・慣習・しきたりなど】

全体では『男性が優遇されている』が 77.1%と最も高く、次いで「平等」が 10.9%となっています。

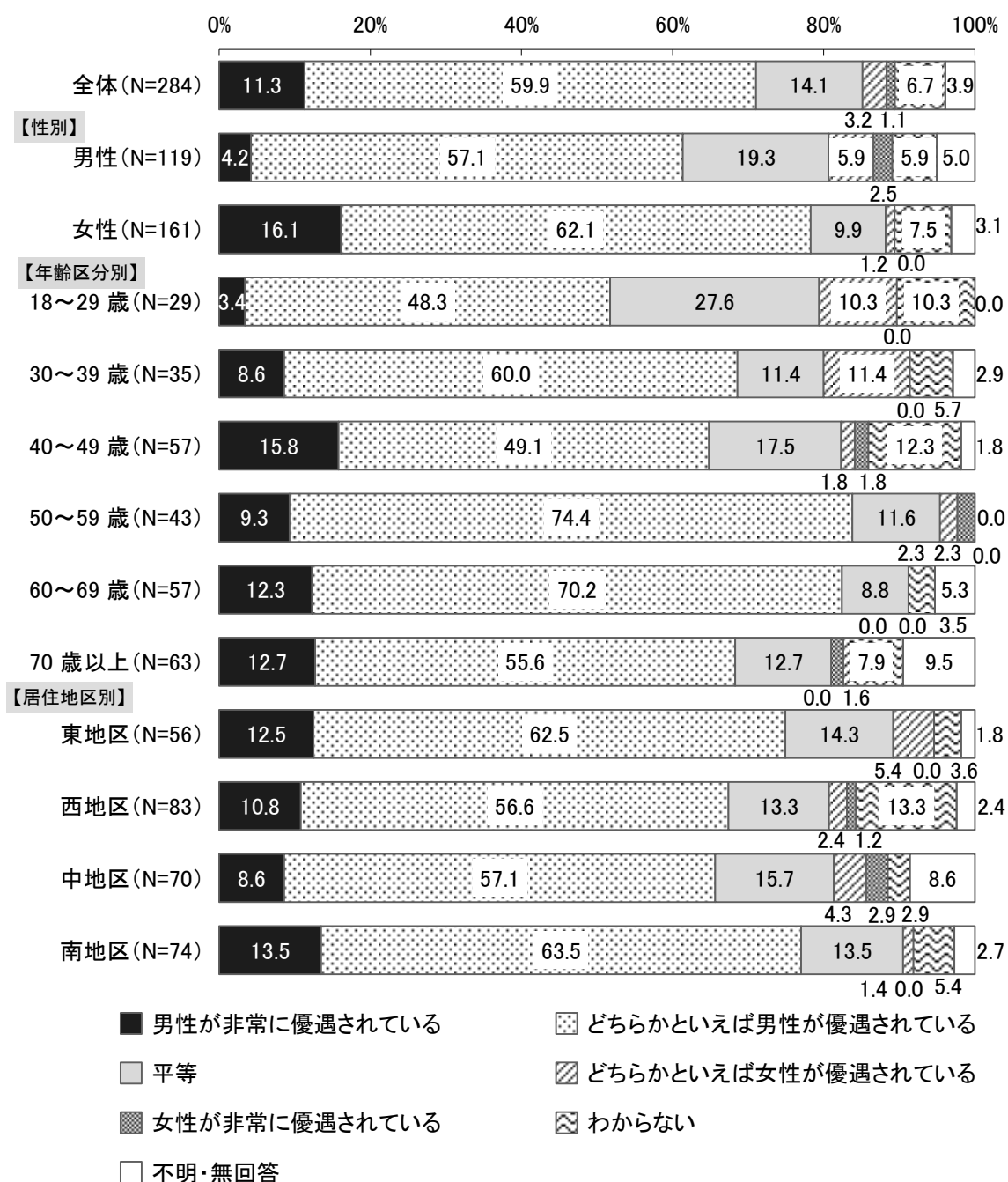
性別、年齢区分別、居住地区別では、いずれも『男性が優遇されている』が最も高くなっています。



【8 社会全体】

全体では『男性が優遇されている』が71.2%と最も高く、次いで「平等」が14.1%となっています。

性別、年齢区分別、居住地区別では、いずれも『男性が優遇されている』が最も高くなっています。



問 12

あなたは、次の事柄についてどのように感じられますか。
次の中から選んでください。(○は各項目1つずつ)

問 12 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

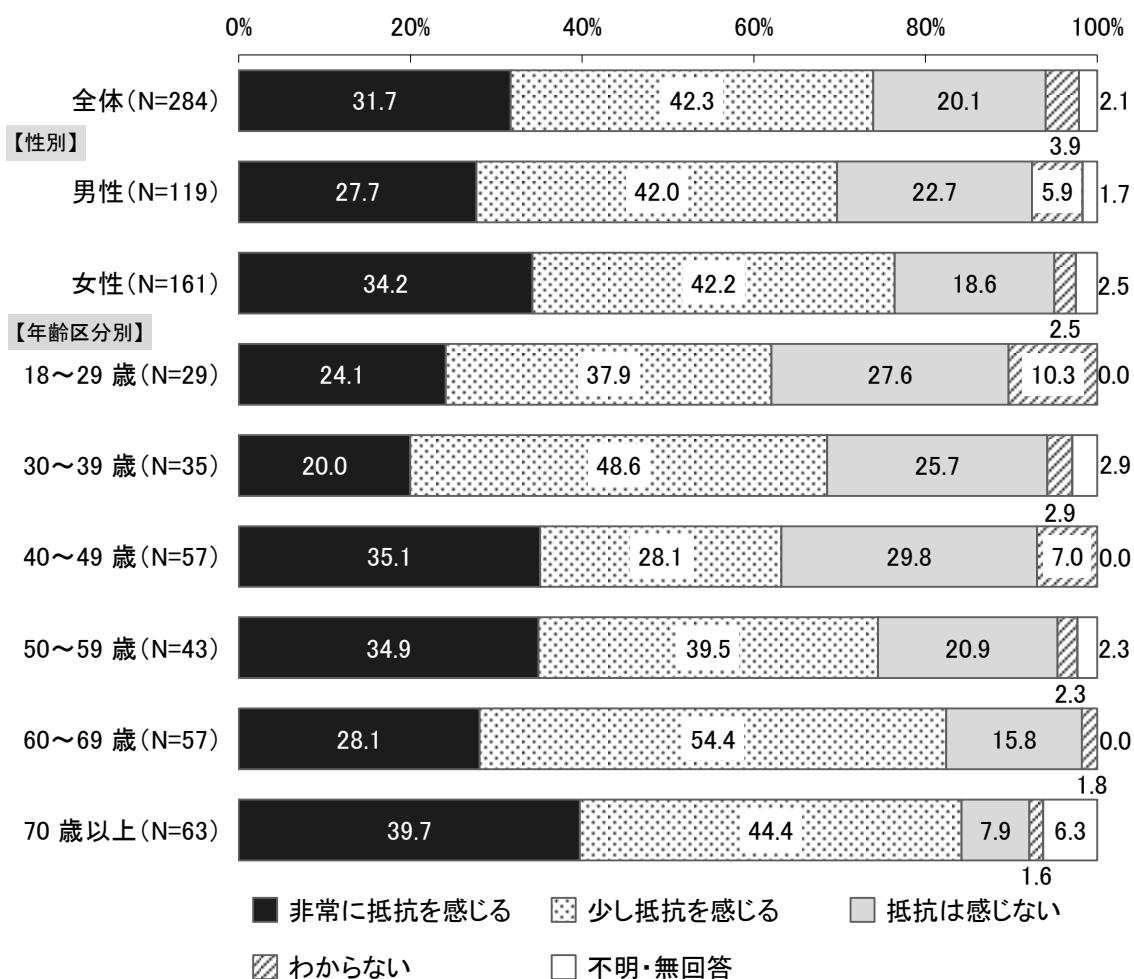
『抵抗を感じる』…「非常に抵抗を感じる」と「少し抵抗を感じる」を合算

【1「女・男だから」「女・男のくせに」という考え方】

全体では『抵抗を感じる』が 74.0%と最も高く、次いで「抵抗は感じない」が 20.1%となっています。

性別では、『抵抗を感じる』が男性で 69.7%、女性で 76.4%となっています。

年齢区分別では、70 歳以上で『抵抗を感じる』が他の年代と比べて高くなっています。

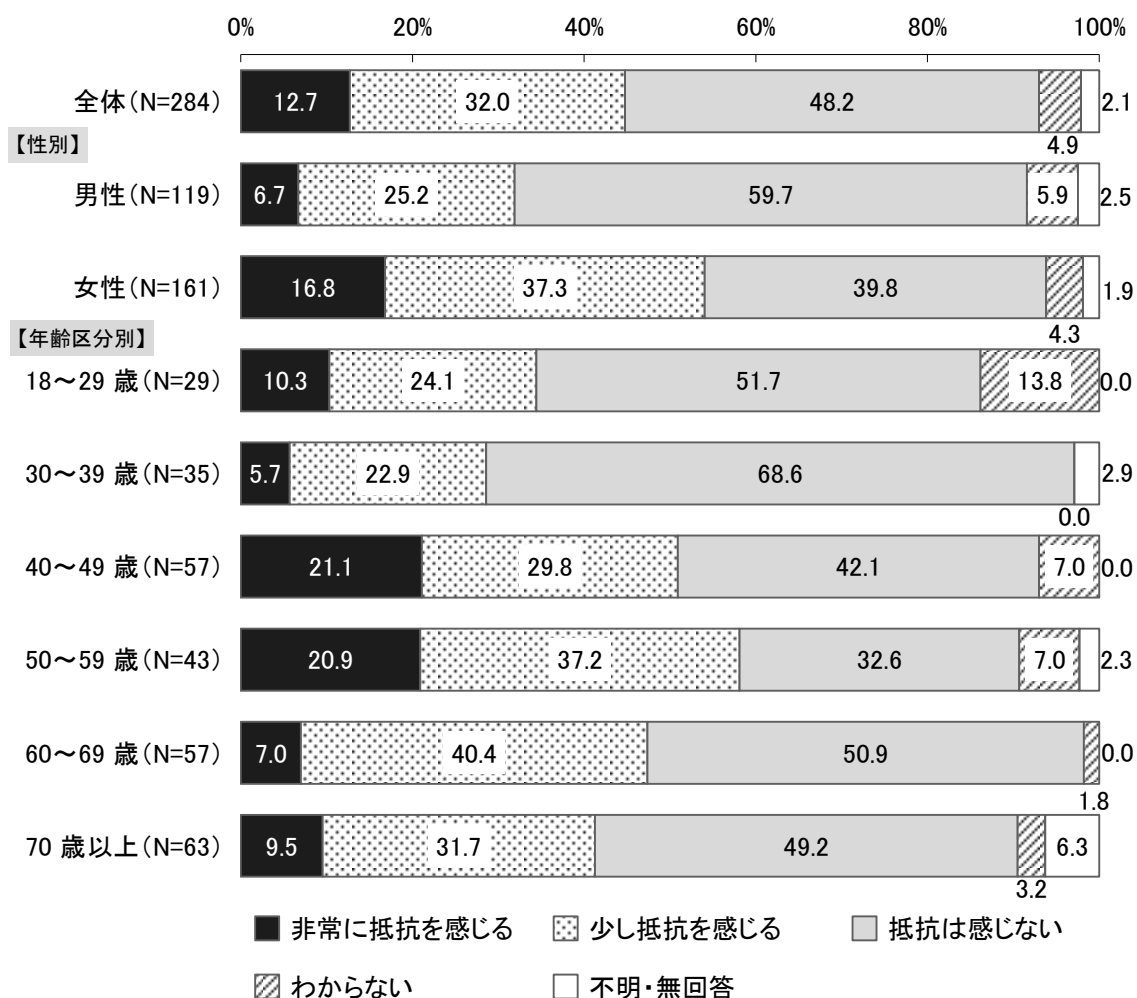


【2女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」育てる】

全体では「抵抗は感じない」が48.2%と最も高く、次いで『抵抗を感じる』が44.7%となっています。

性別では、「抵抗は感じない」が男性で59.7%、女性で39.8%となっています。

年齢区分別では、50～59歳で『抵抗を感じる』が他の年代と比べて高くなっています。

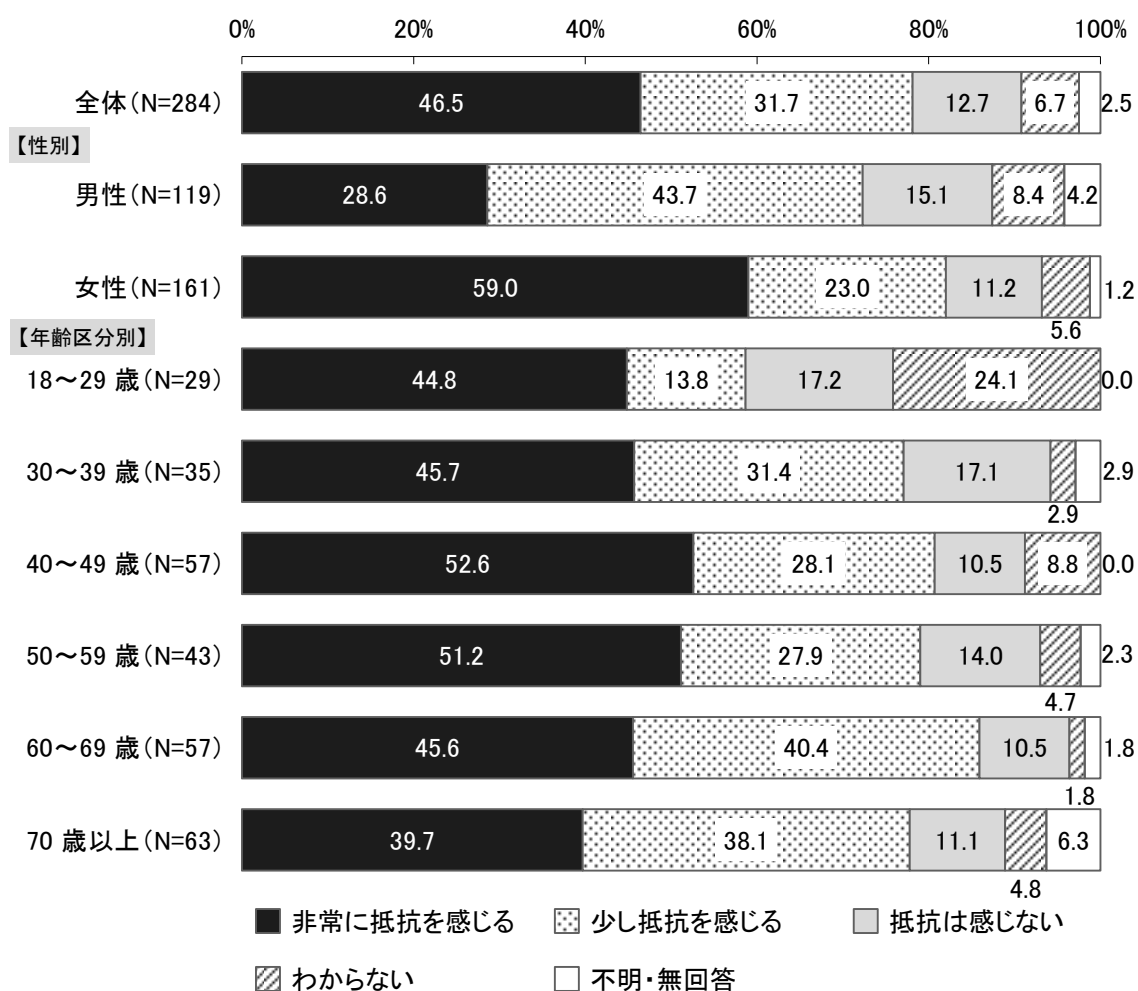


【3 亭主関白の男性】

全体では『抵抗を感じる』が78.2%と最も高く、次いで「抵抗は感じない」が12.7%となっています。

性別では、『抵抗を感じる』が男性で72.3%、女性で82.0%となっています。

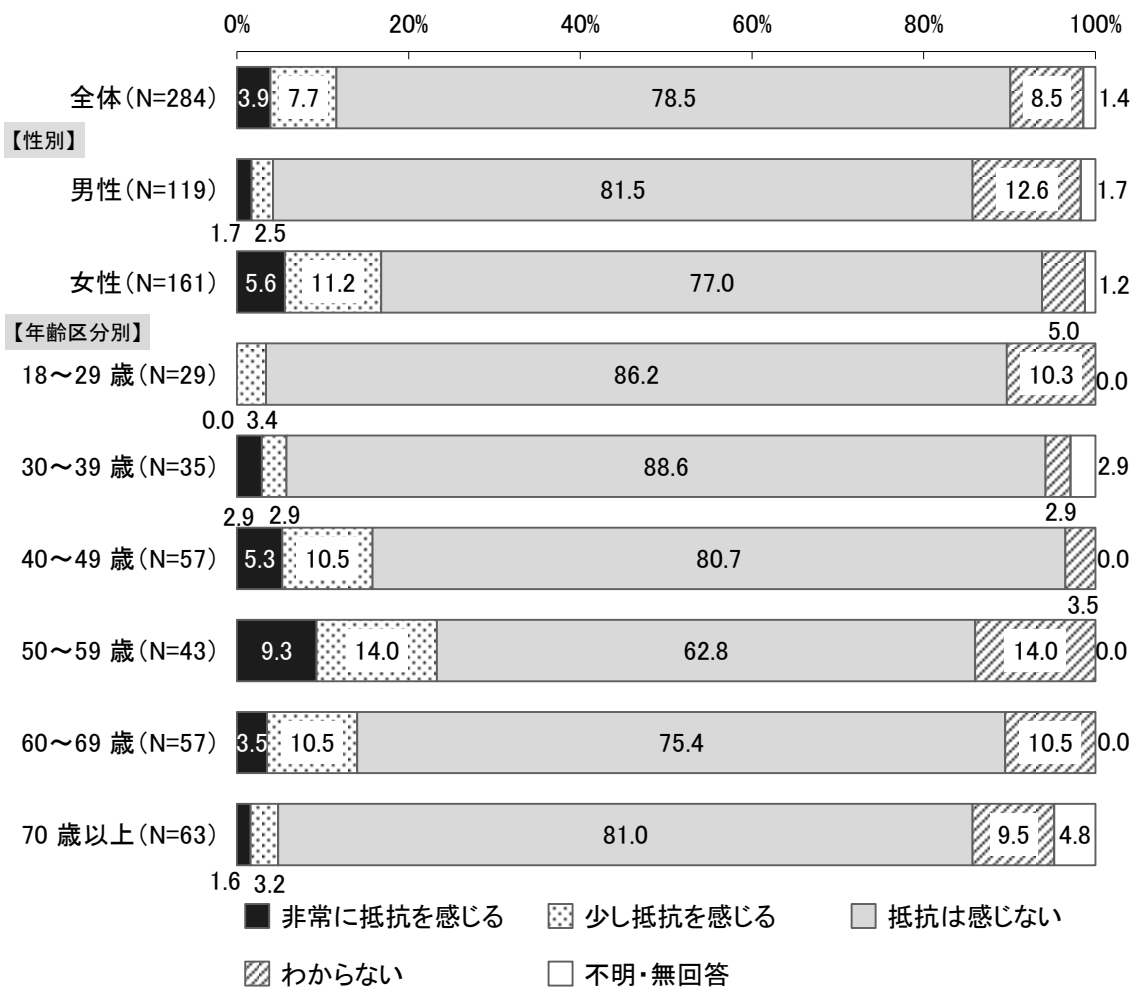
年齢区分別では、いずれも『抵抗を感じる』が最も高くなっています。



【4 女性が結婚して夫の姓を名乗ること】

全体では「抵抗は感じない」が78.5%と最も高く、次いで『抵抗を感じる』が11.6%となっています。

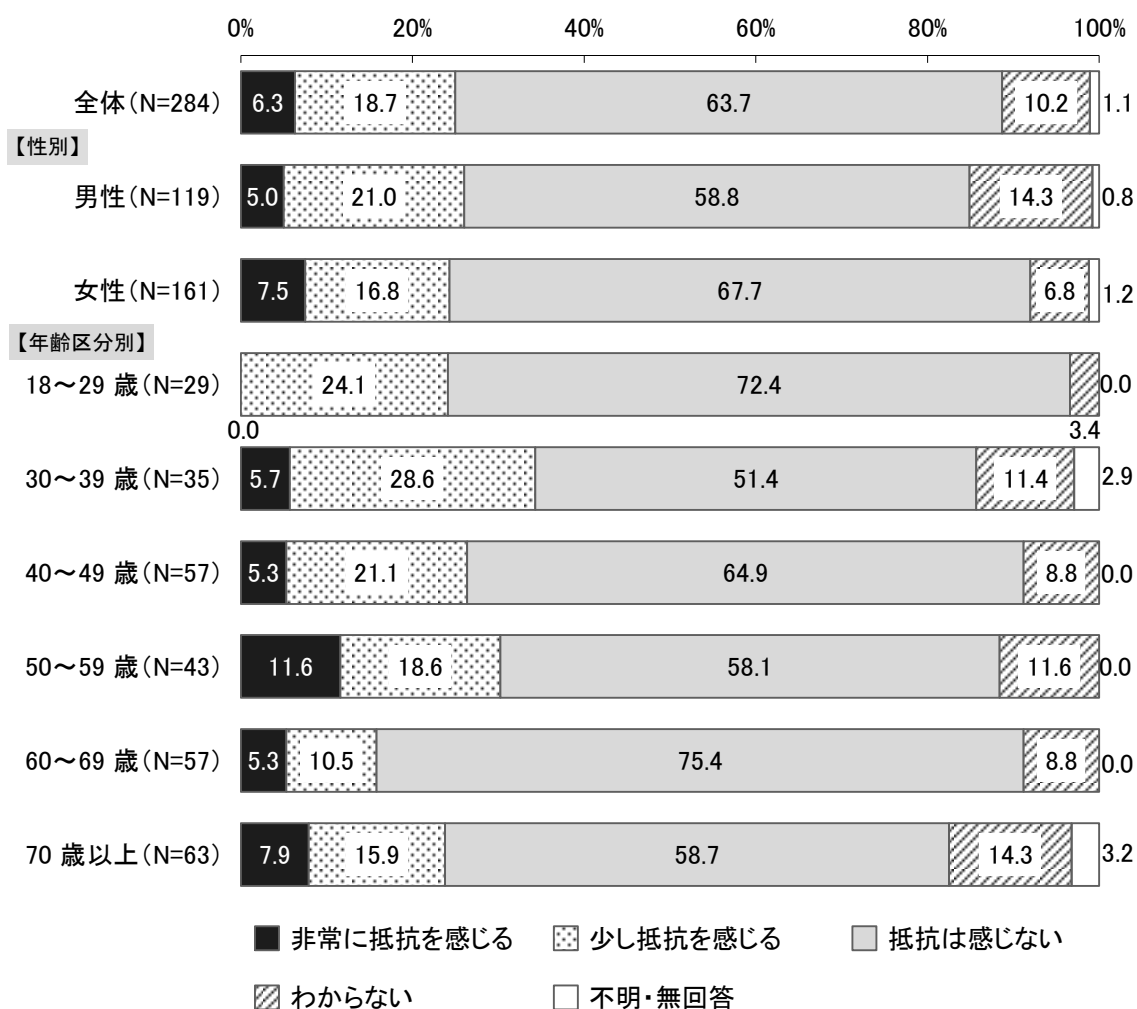
性別、年齢区分別では、いずれも「抵抗は感じない」が最も高くなっています。



【5 男性が結婚して妻の姓を名乗ること】

全体では「抵抗は感じない」が63.7%と最も高く、次いで『抵抗を感じる』が25.0%となっています。

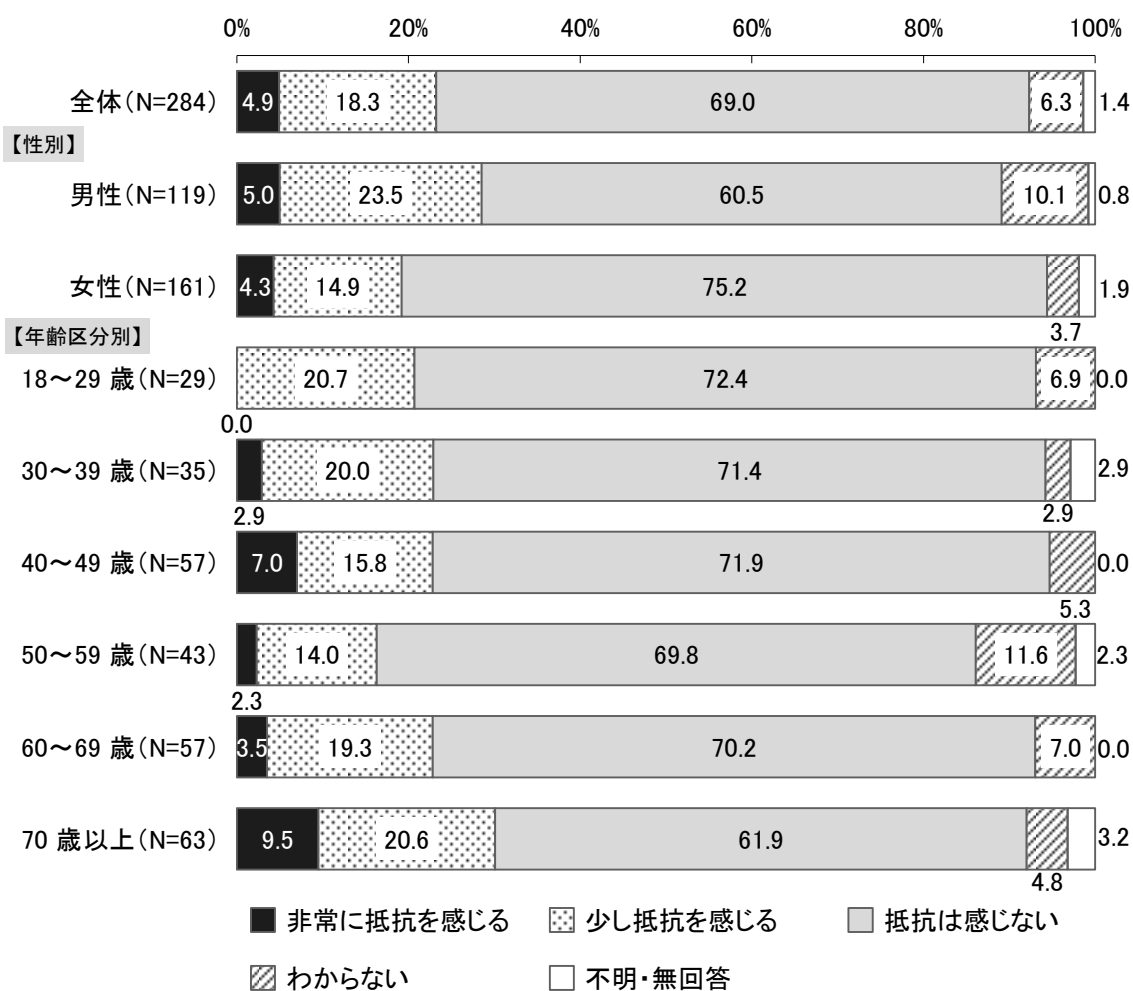
性別、年齢区分別では、いずれも「抵抗は感じない」が最も高くなっています。



【6 女性が結婚しないで仕事に専念すること】

全体では「抵抗は感じない」が69.0%と最も高く、次いで『抵抗を感じる』が23.2%となっています。

性別、年齢区分別では、いずれも「抵抗は感じない」が最も高くなっています。

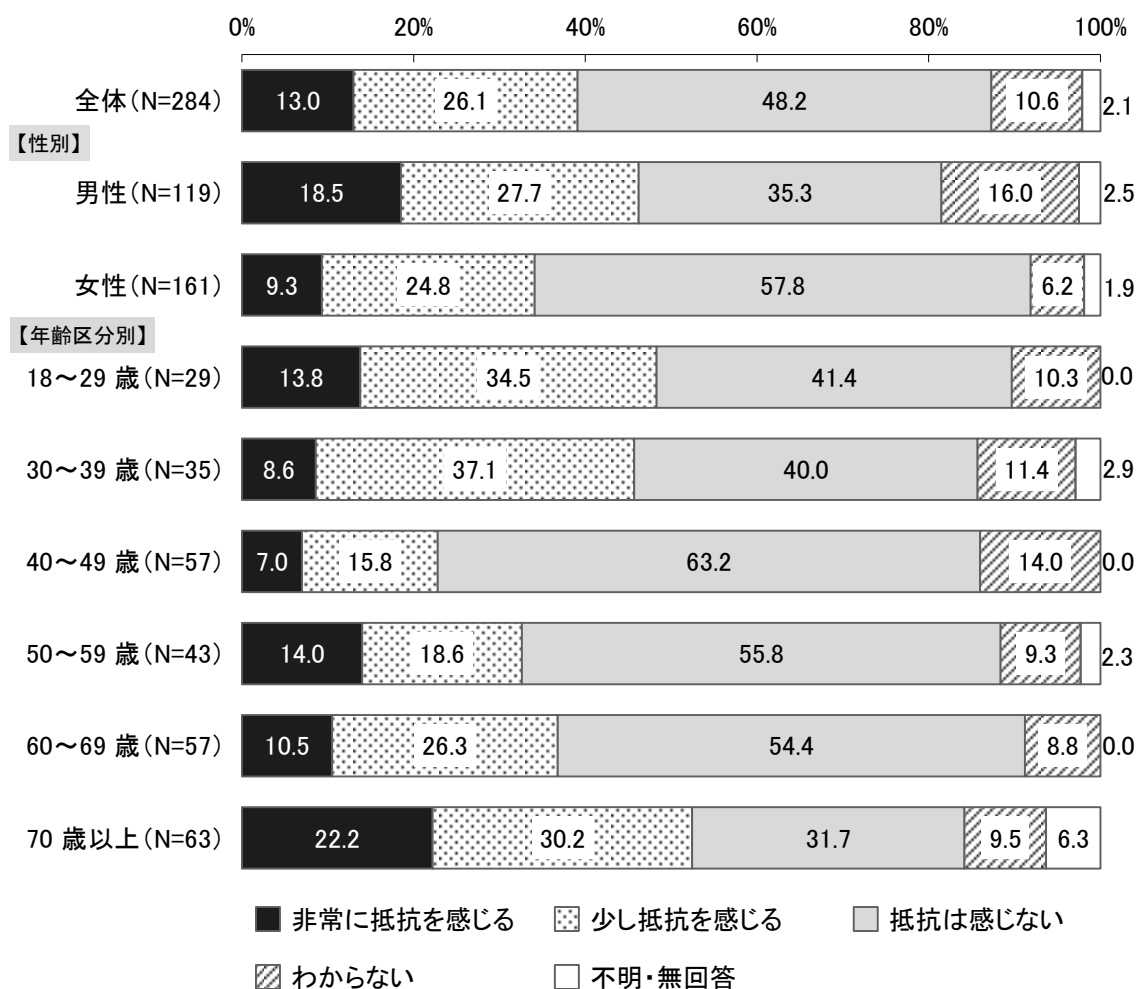


【7 離婚すること】

全体では「抵抗は感じない」が48.2%と最も高く、次いで『抵抗を感じる』が39.1%となっています。

性別では、「抵抗は感じない」が男性で35.3%、女性で57.8%となっています。

年齢区分別では、40～49歳で「抵抗は感じない」が他の年代と比べて高くなっています。

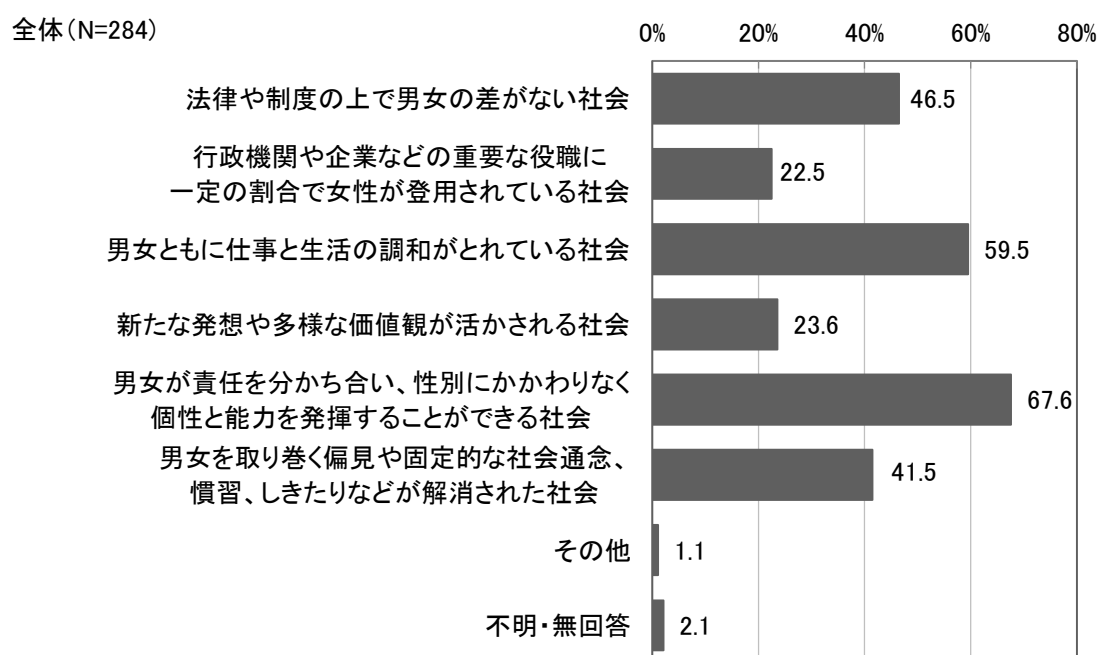


問 13 あなたが考える「男女共同参画社会」はどのような社会ですか。(〇は3つまで)

全体では「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」が 67.6%と最も高く、次いで「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が 59.5%となっています。

性別では、「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」が男性で 67.2%、女性で 67.1%となっています。

年齢区分別では、70 歳以上で「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」が 81.0%と高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		法律や制度の上で男女の差がない社会	行政機関や企業などの重要な役職に一定の割合で女性が登用されている社会	男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会	新たな発想や多様な価値観が活かされる社会	男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会	男女を取り巻く偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりなどが解消された社会	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	49.6	20.2	54.6	21.8	67.2	39.5	2.5	2.5
	女性 (N=161)	44.7	24.8	63.4	24.2	67.1	43.5	0.0	1.9
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	31.0	24.1	58.6	27.6	69.0	41.4	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=35)	51.4	14.3	65.7	22.9	54.3	34.3	0.0	5.7
	40～49 歳 (N=57)	36.8	17.5	66.7	21.1	57.9	52.6	0.0	1.8
	50～59 歳 (N=43)	44.2	20.9	65.1	16.3	72.1	39.5	2.3	2.3
	60～69 歳 (N=57)	59.6	24.6	50.9	24.6	66.7	42.1	1.8	1.8
	70 歳以上 (N=63)	49.2	30.2	54.0	28.6	81.0	36.5	1.6	1.6

問 14

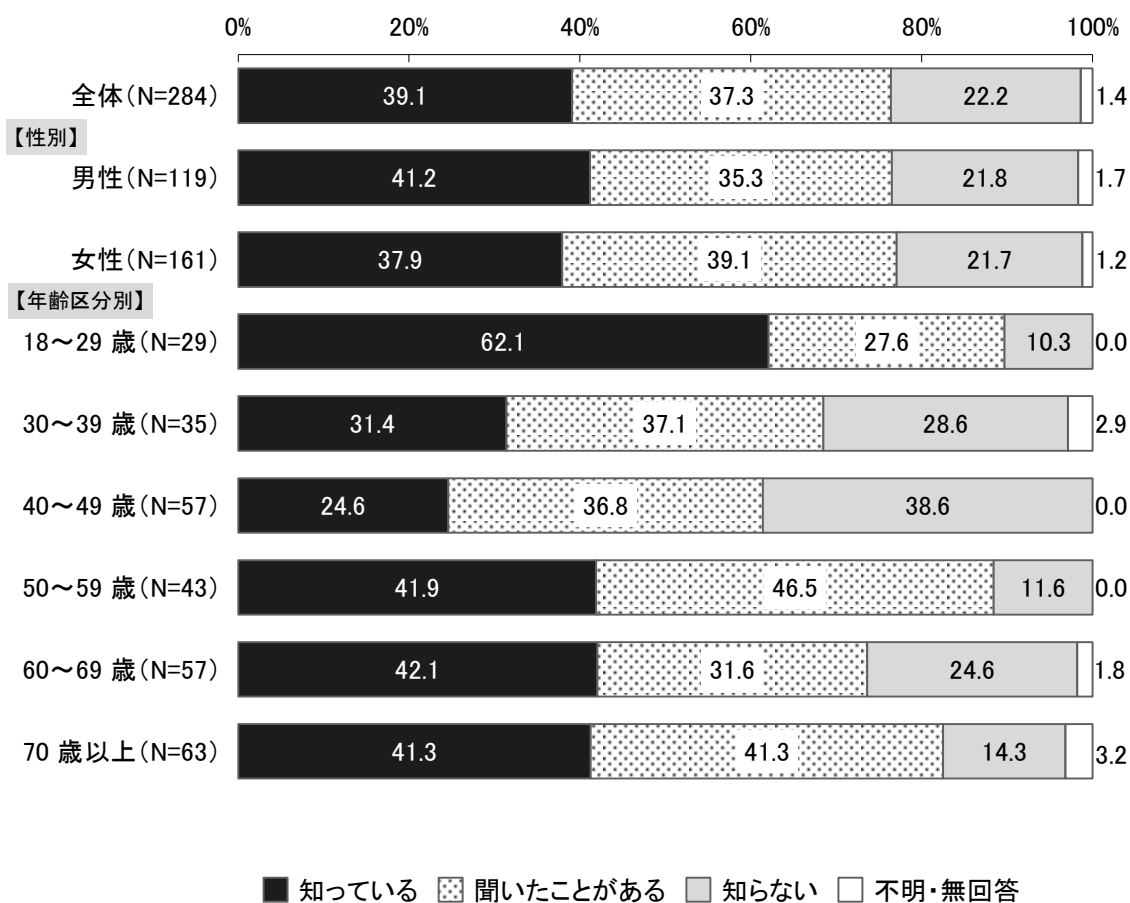
次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
次の中から選んでください。(○は各項目1つずつ)

【1 男女共同参画社会】

全体では「知っている」が 39.1%、「聞いたことがある」が 37.3%、「知らない」が 22.2% となっています。

性別では、「知っている」が男性で 41.2%と、女性と比べて 3.3 ポイント高くなっています。

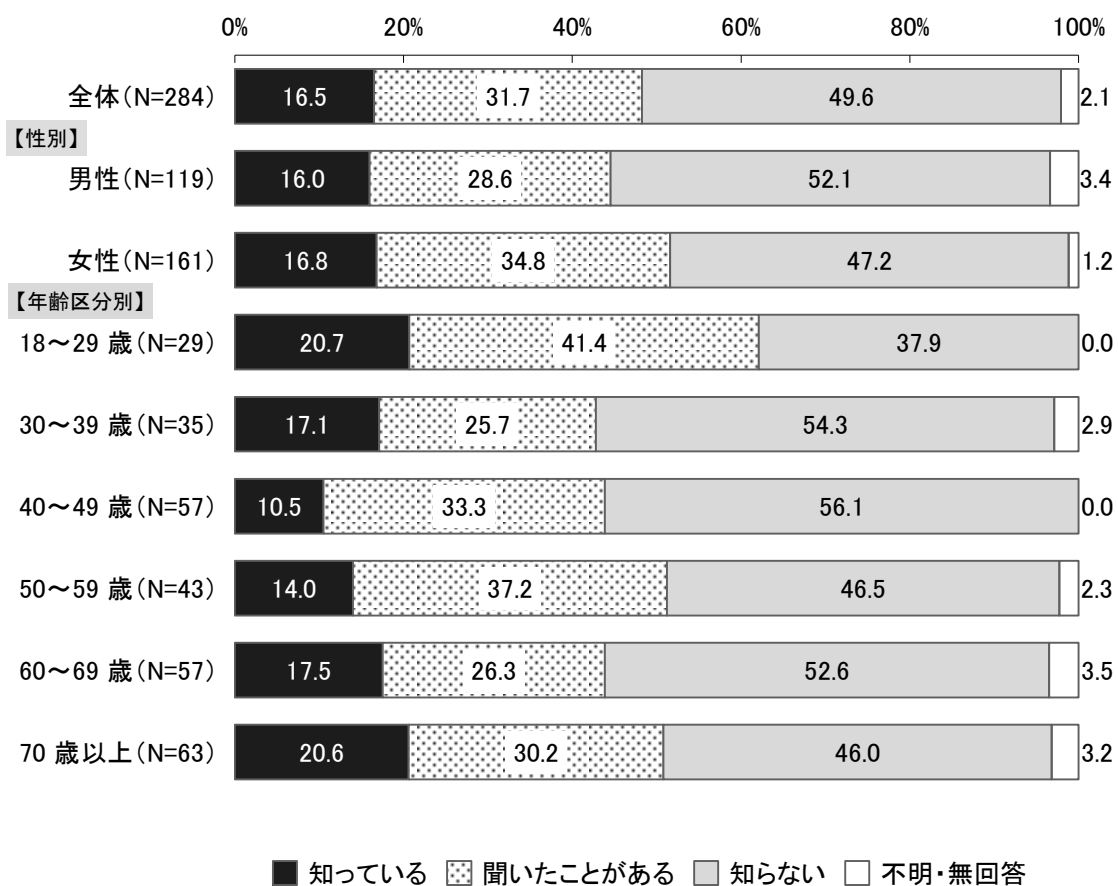
年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【2 女性活躍推進法】

全体では「知っている」が 16.5%、「聞いたことがある」が 31.7%、「知らない」が 49.6% となっています。

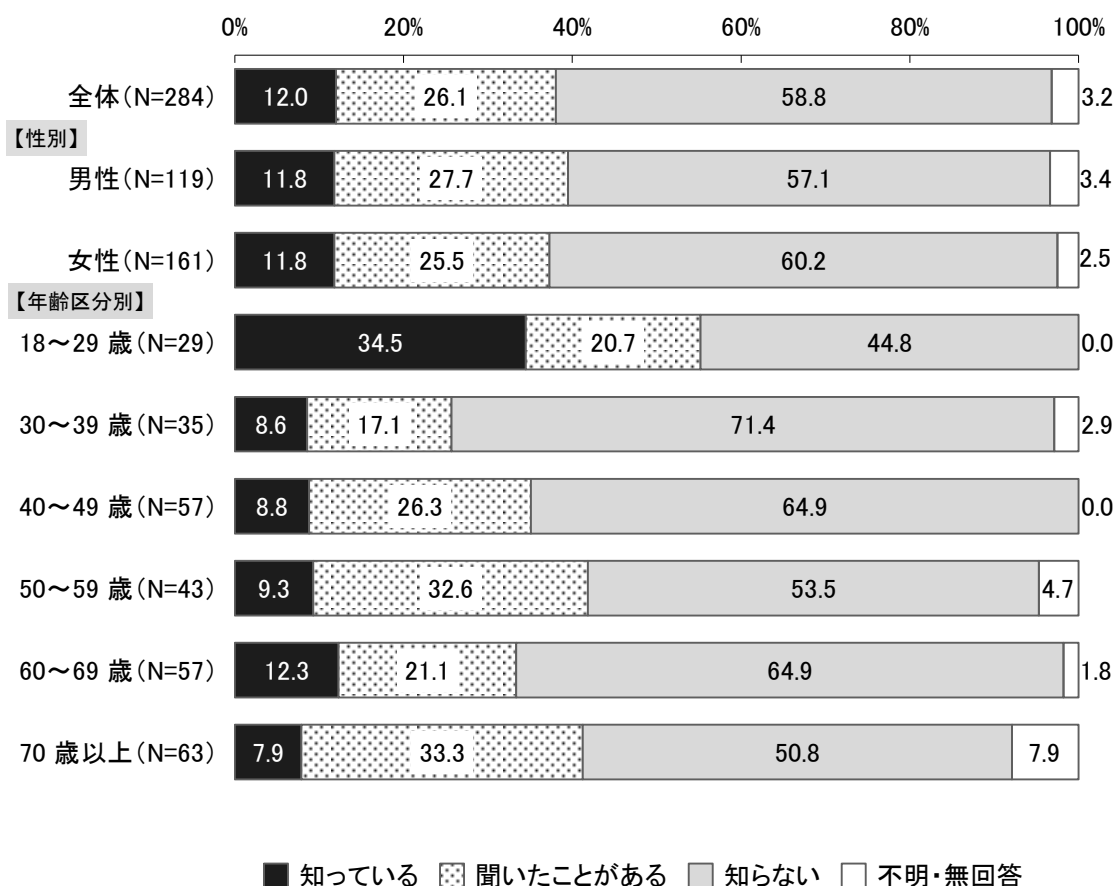
性別では、「知らない」が男性で 52.1%と、女性と比べて 4.9 ポイント高くなっています。
年齢区分別では、40 歳～49 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【3 女子差別撤廃条約】

全体では「知っている」が 12.0%、「聞いたことがある」が 26.1%、「知らない」が 58.8%となっています。

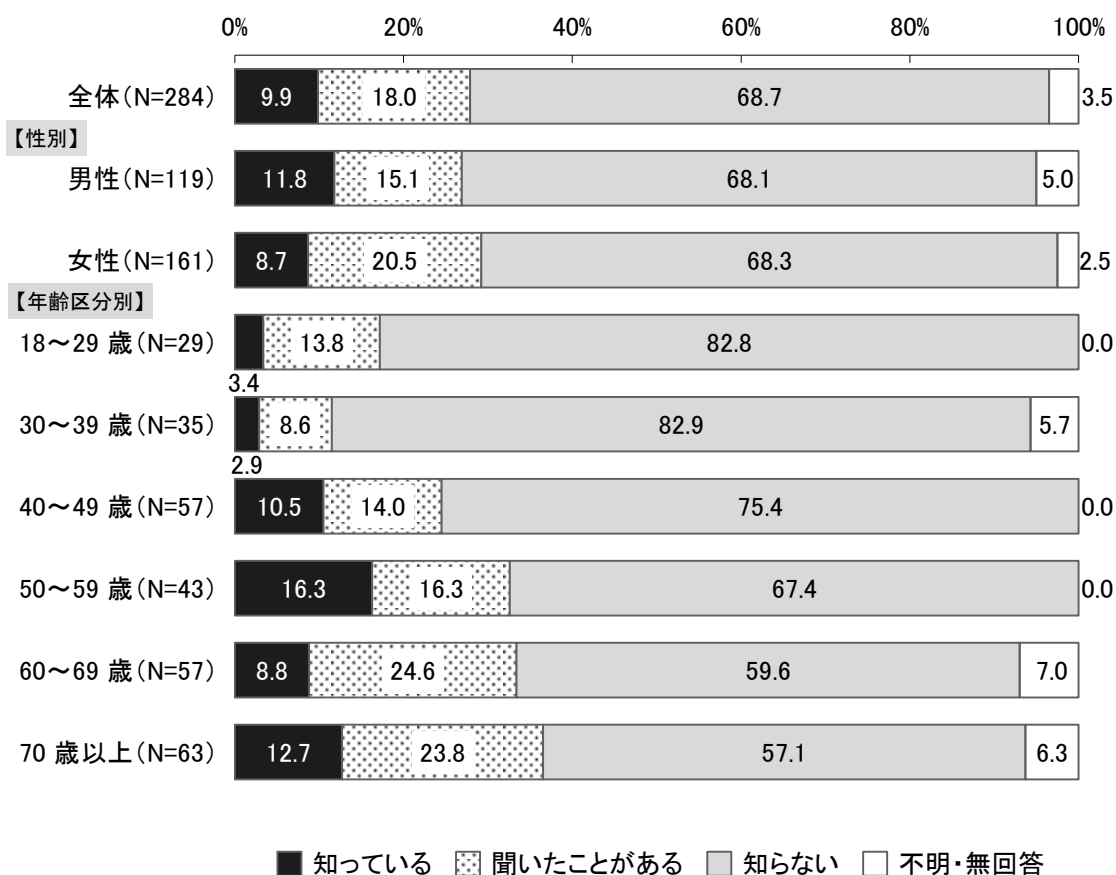
性別では、「知らない」が女性で 60.2%と、男性と比べて 3.1 ポイント高くなっています。年齢区分別では、30 歳～39 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【4 軽井沢町男女共同参画きらめきプラン2】

全体では「知っている」が9.9%、「聞いたことがある」が18.0%、「知らない」が68.7%となっています。

性別では、「知らない」が女性で68.3%と、男性と比べて0.2ポイント高くなっています。年齢区分別では、30歳～39歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

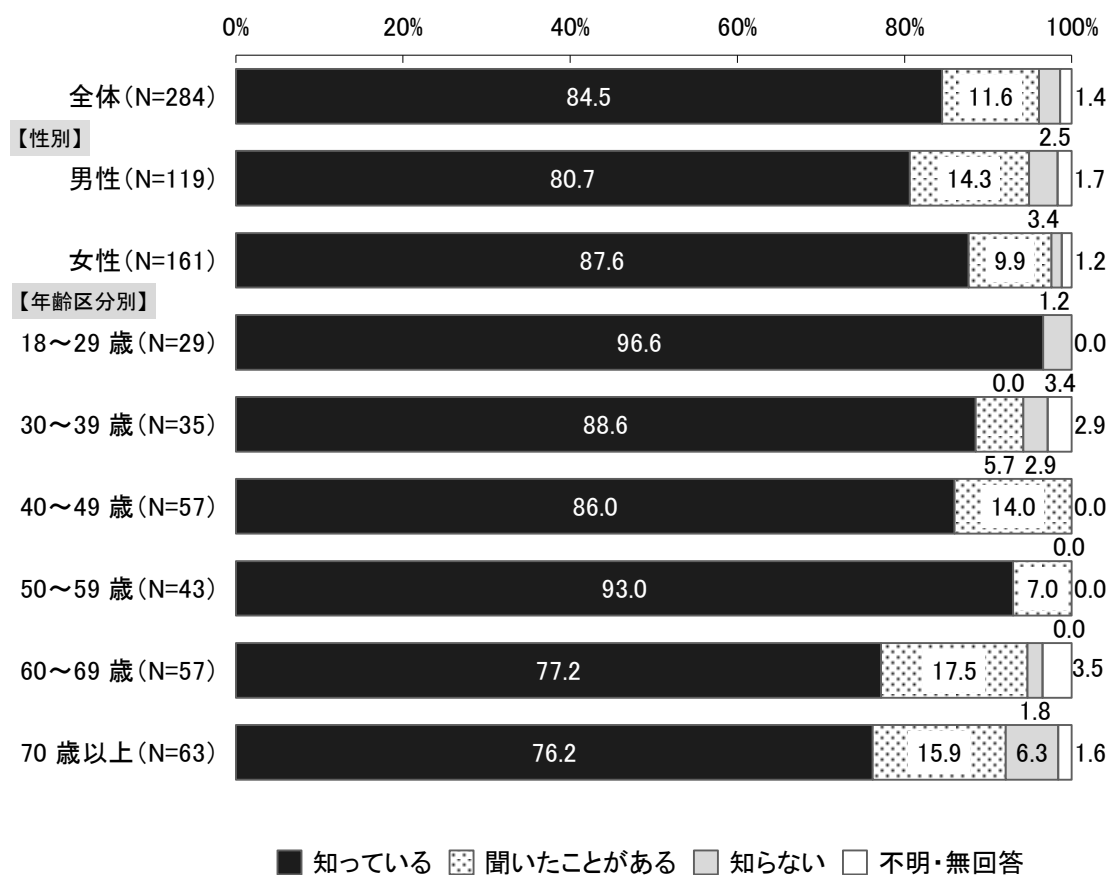


【5 セクシュアル・ハラスメント】

全体では「知っている」が84.5%、「聞いたことがある」が11.6%、「知らない」が2.5%となっています。

性別では、「知っている」が女性で87.6%と、男性と比べて6.9ポイント高くなっています。

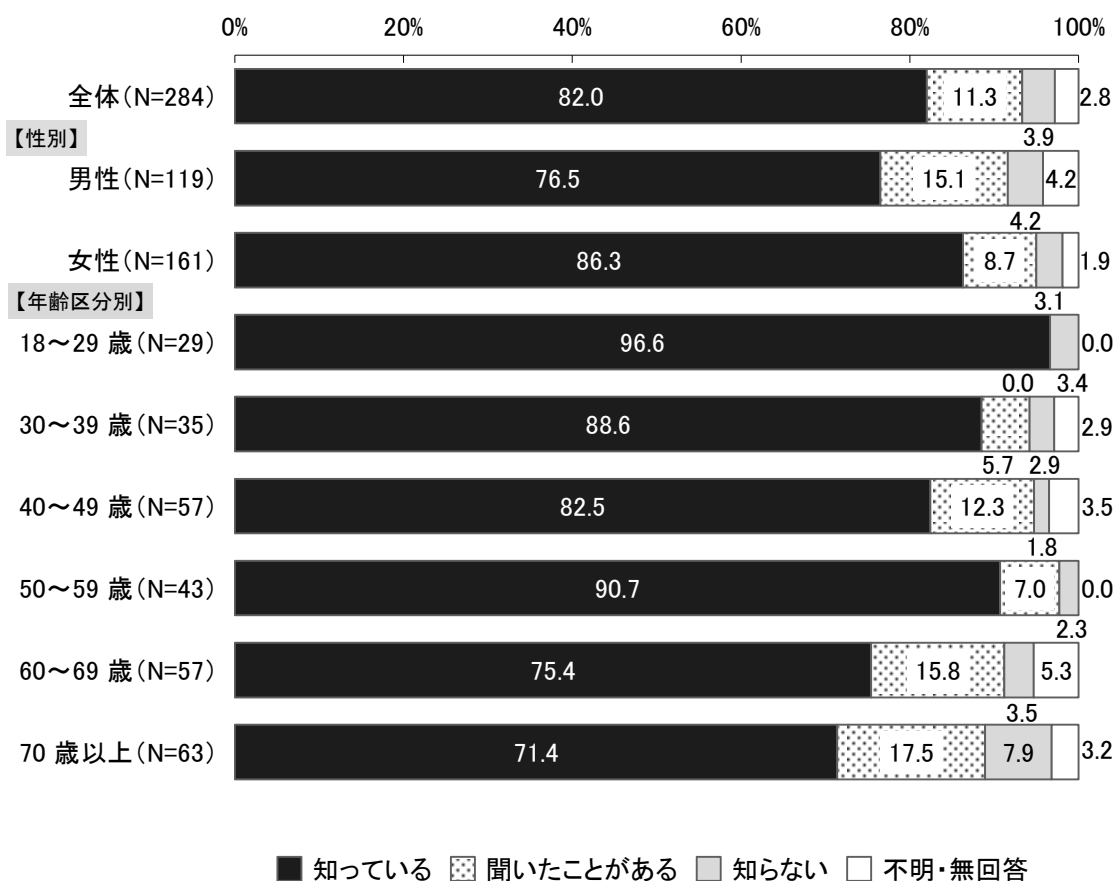
年齢区分別では、18歳～29歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【6 ドメスティック・バイオレンス（DV）】

全体では「知っている」が82.0%、「聞いたことがある」が11.3%、「知らない」が3.9%となっています。

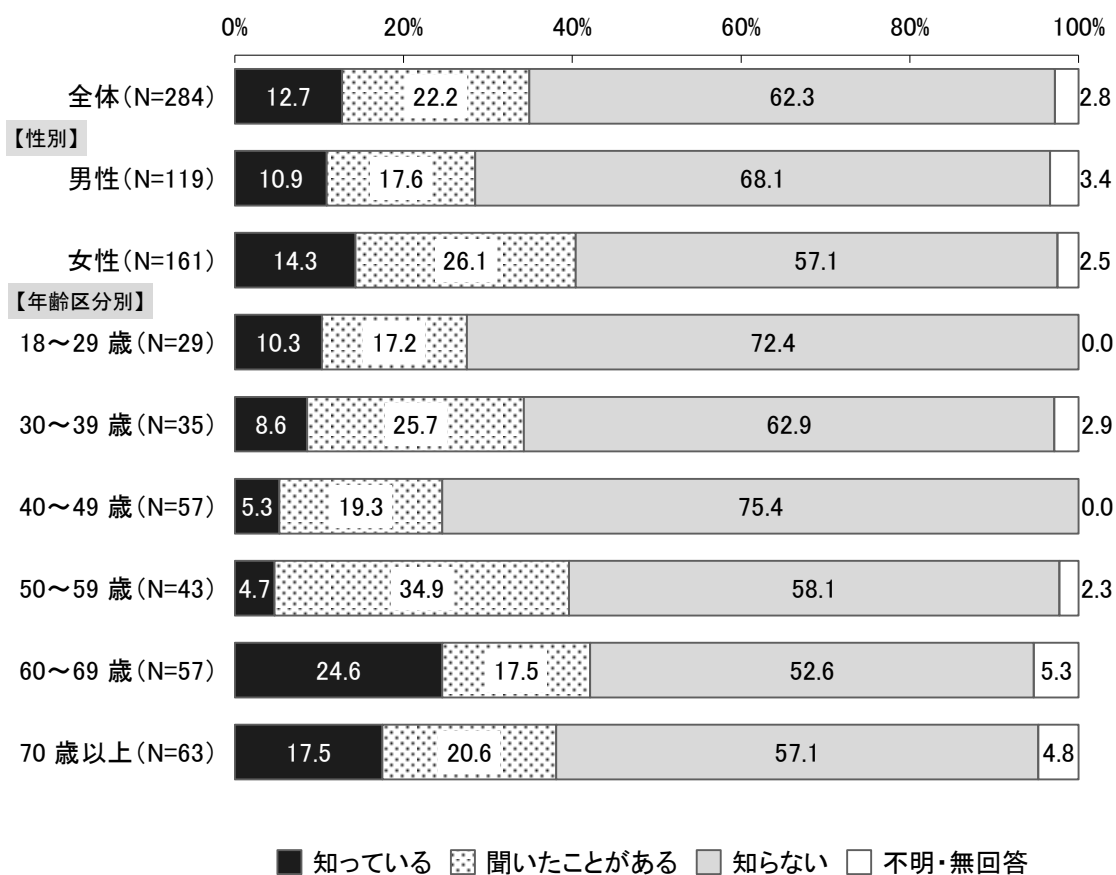
性別では、「知っている」が女性で86.3%と、男性と比べて9.8ポイント高くなっています。年齢区分別では、18歳～29歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【7 ポジティブ・アクション】

全体では「知っている」が 12.7%、「聞いたことがある」が 22.2%、「知らない」が 62.3% となっています。

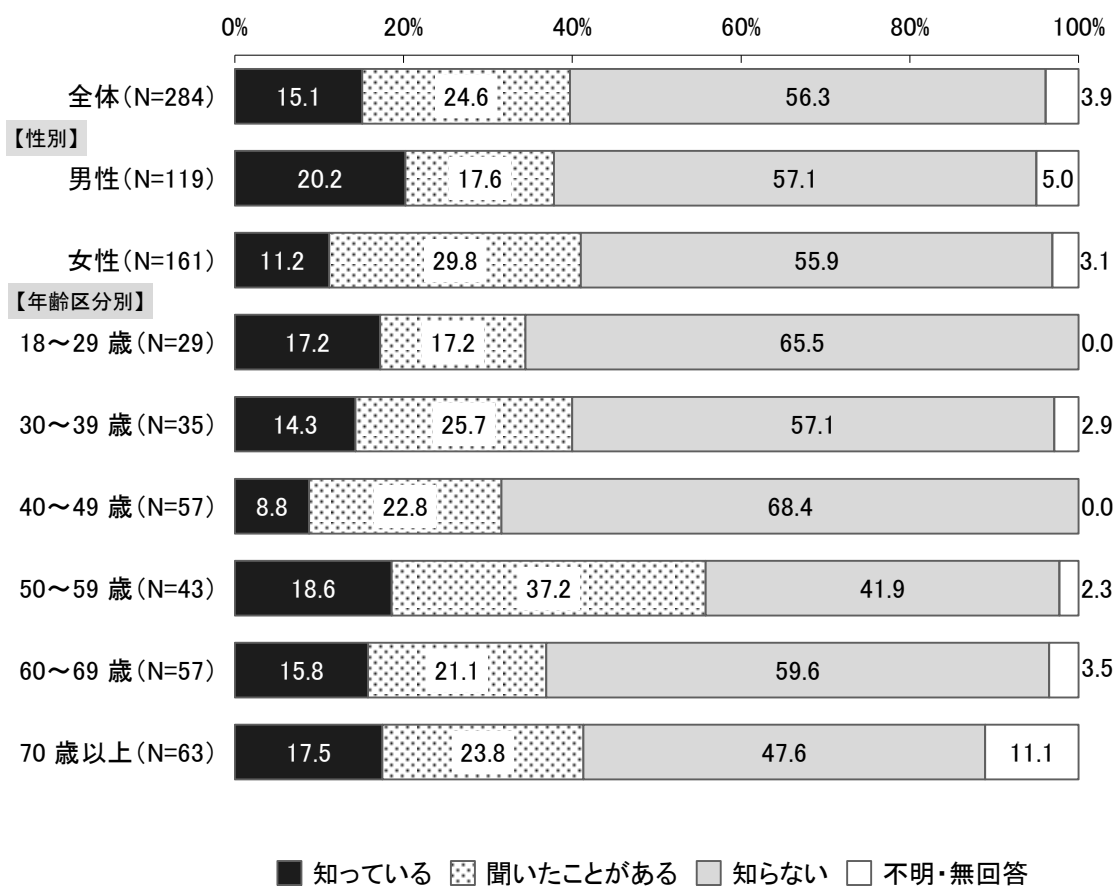
性別では、「知らない」が男性で 68.1%と、女性と比べて 11.0 ポイント高くなっています。
年齢区分別では、40 歳～49 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【8 トラフィッキング（人身取引）】

全体では「知っている」が 15.1%、「聞いたことがある」が 24.6%、「知らない」が 56.3% となっています。

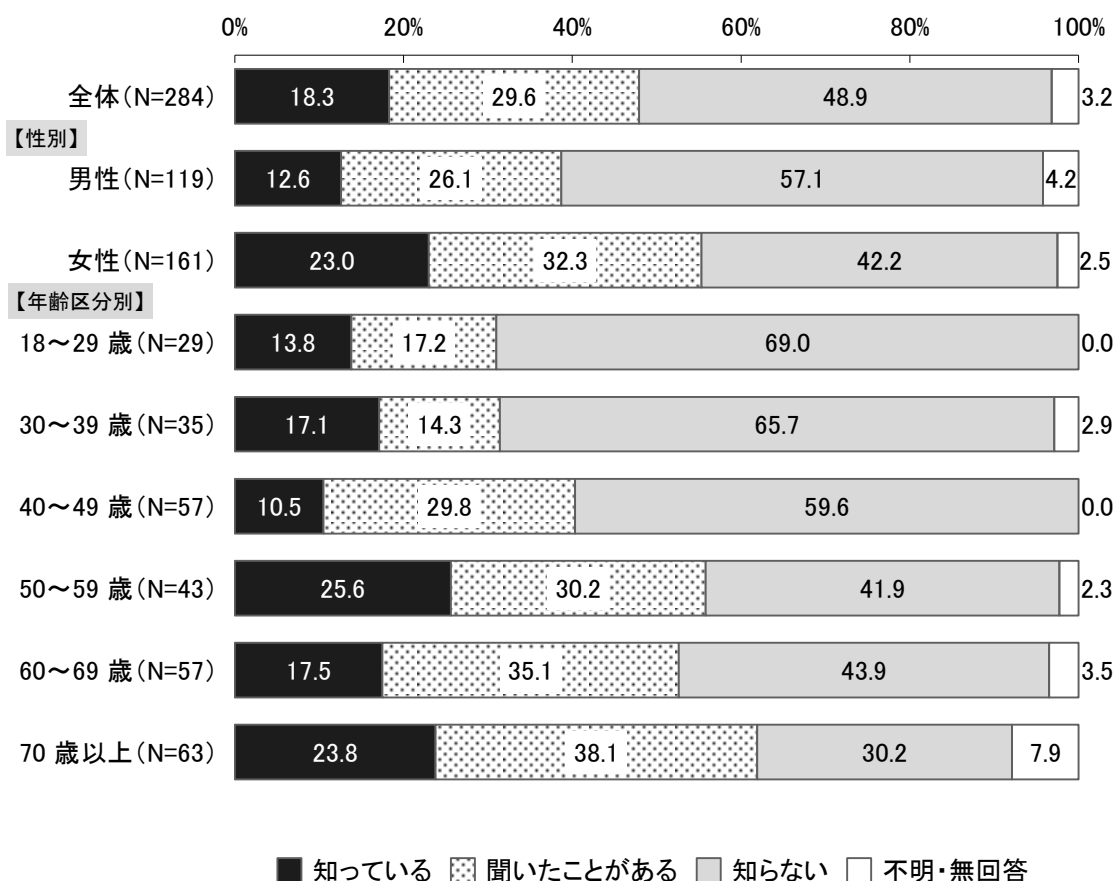
性別では、「知らない」が男性で 57.1%と、女性と比べて 1.2 ポイント高くなっています。
年齢区分別では、40 歳～49 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【9 配偶者暴力相談支援センター】

全体では「知っている」が 18.3%、「聞いたことがある」が 29.6%、「知らない」が 48.9% となっています。

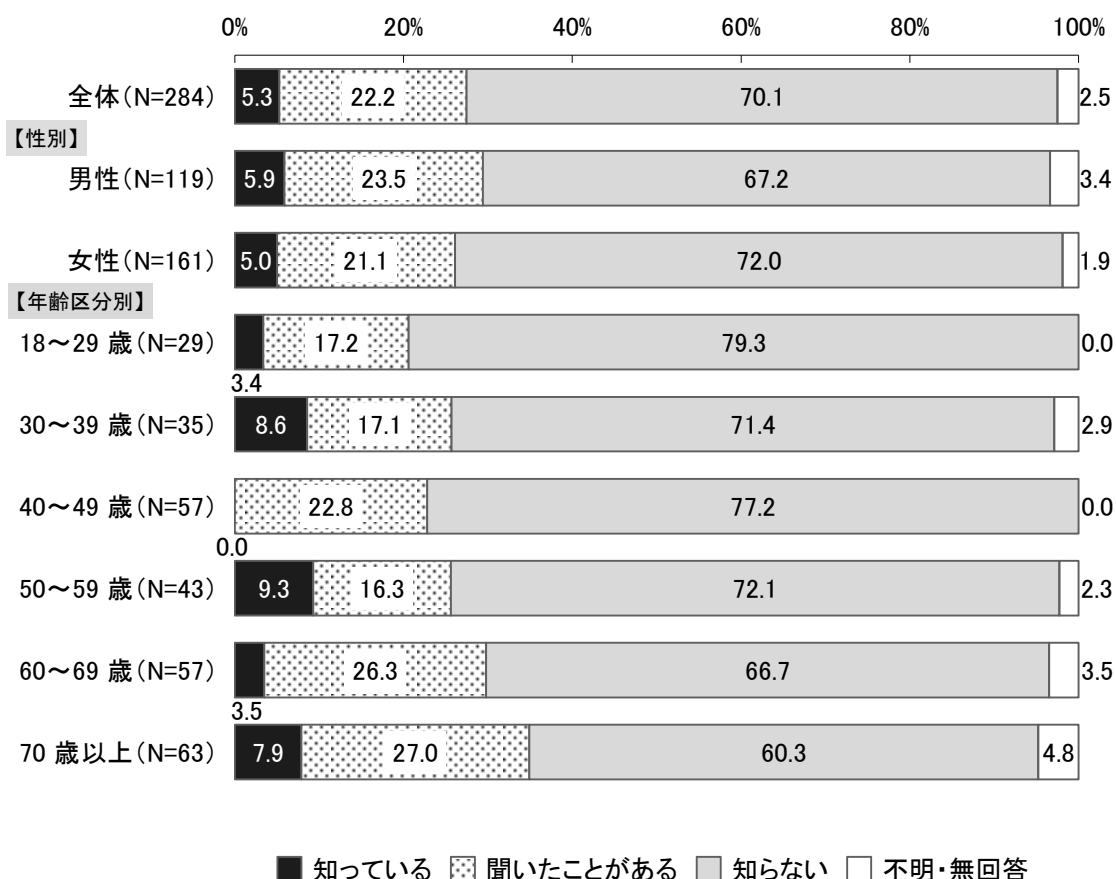
性別では、「知らない」が男性で 57.1%と、女性と比べて 14.9 ポイント高くなっています。年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【10 男女共同参画に関する苦情相談】

全体では「知っている」が 5.3%、「聞いたことがある」が 22.2%、「知らない」が 70.1%となっています。

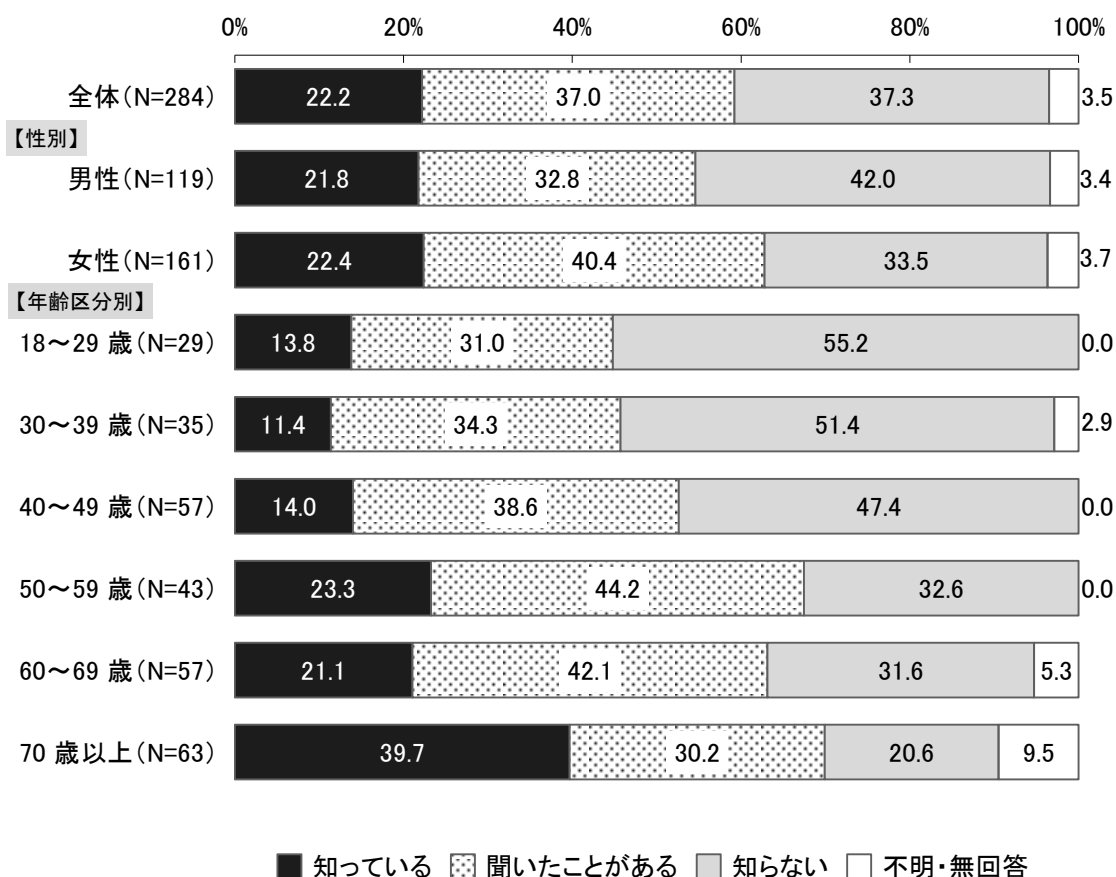
性別では、「知らない」が女性で 72.0%と、男性と比べて 4.8 ポイント高くなっています。年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【11 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律】

全体では「知っている」が 22.2%、「聞いたことがある」が 37.0%、「知らない」が 37.3%となっています。

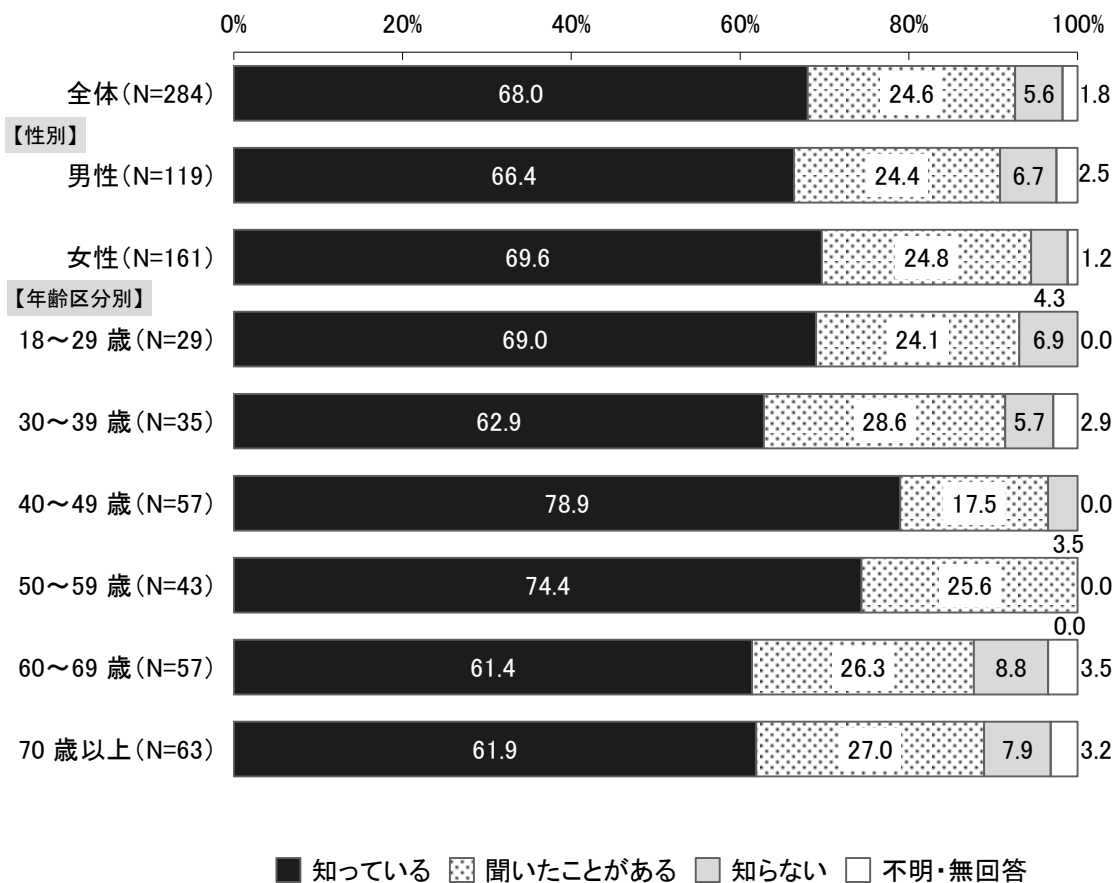
性別では、「知らない」が男性で 42.0%と、女性と比べて 8.5 ポイント高くなっています。年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【12 男女雇用機会均等法】

全体では「知っている」が68.0%、「聞いたことがある」が24.6%、「知らない」が5.6%となっています。

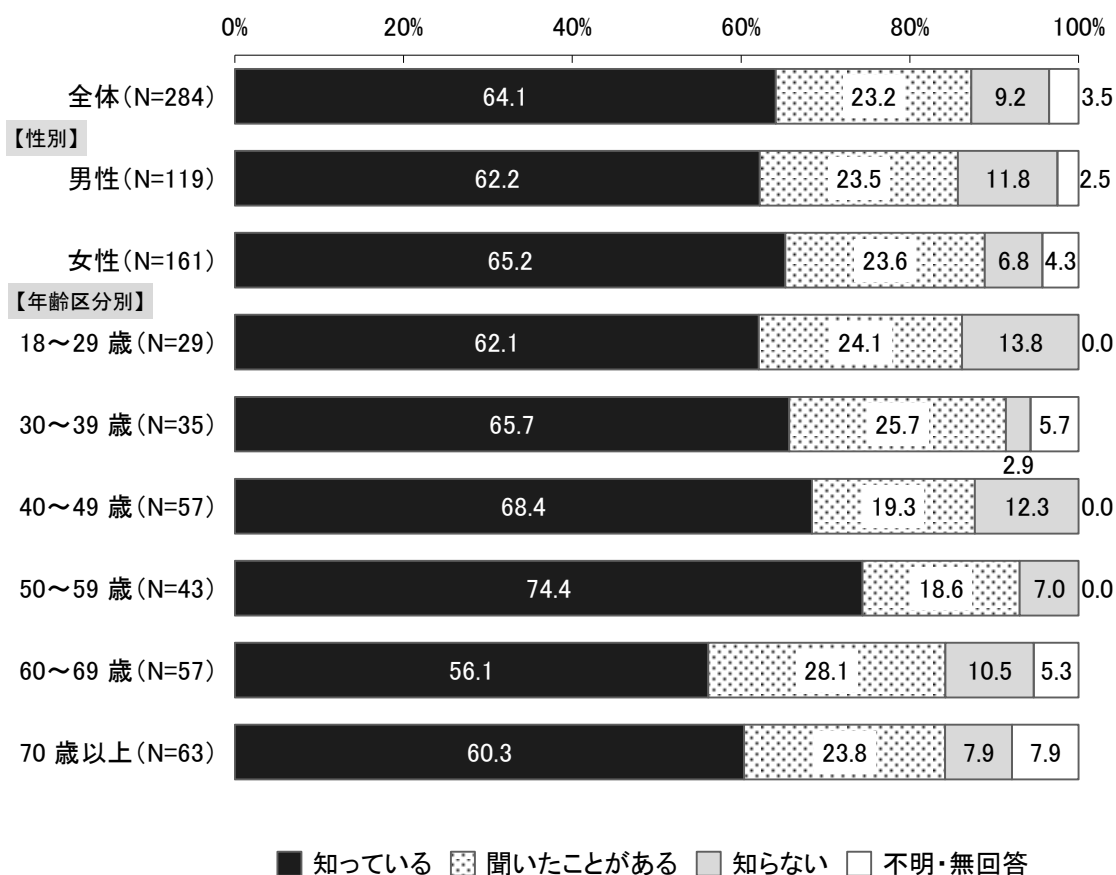
性別では、「知っている」が女性で69.6%と、男性と比べて3.2ポイント高くなっています。
年齢区分別では、40歳～49歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【13 育児・介護休業法】

全体では「知っている」が 64.1%、「聞いたことがある」が 23.2%、「知らない」が 9.2%となっています。

性別では、「知っている」が女性で 65.2%と、男性と比べて 3.0 ポイント高くなっています。
年齢区分別では、50 歳～59 歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

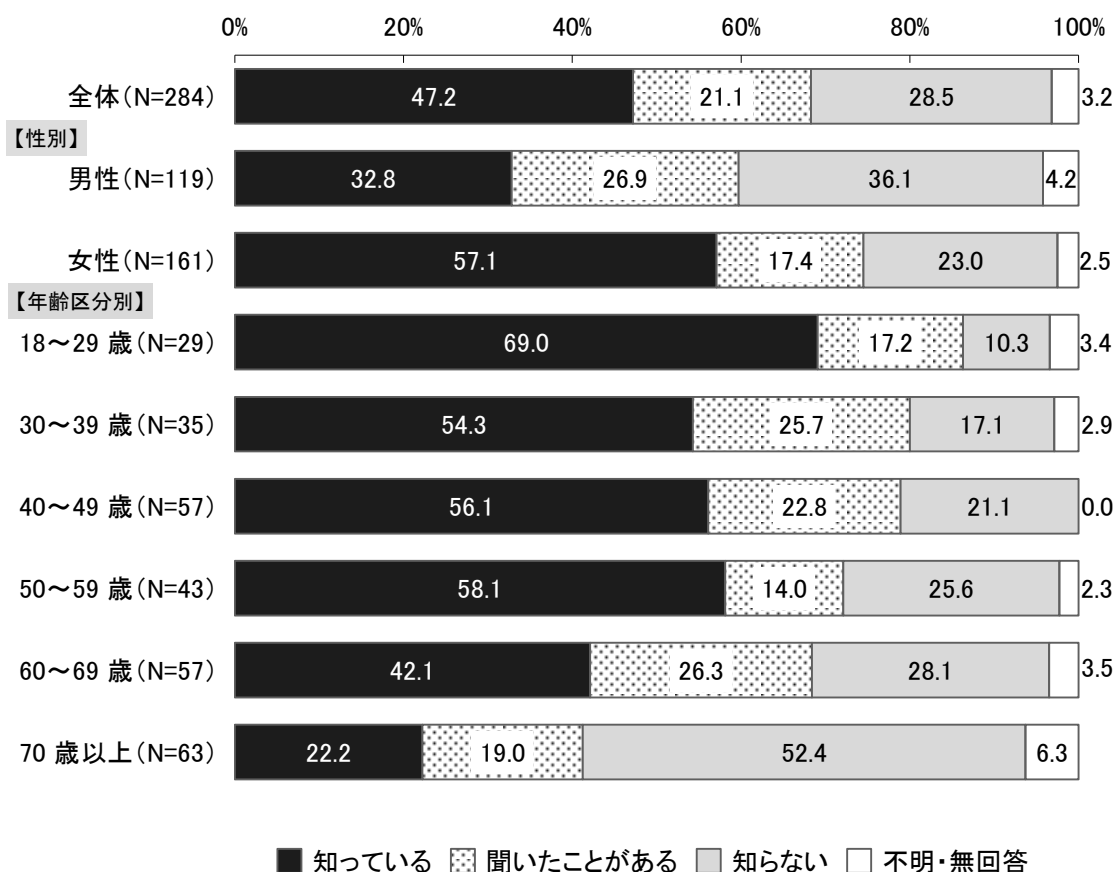


【14 ジェンダー】

全体では「知っている」が 47.2%、「聞いたことがある」が 21.1%、「知らない」が 28.5%となっています。

性別では、「知っている」が女性で 57.1%と、男性と比べて 24.3 ポイント高くなっています。

年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知っている」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

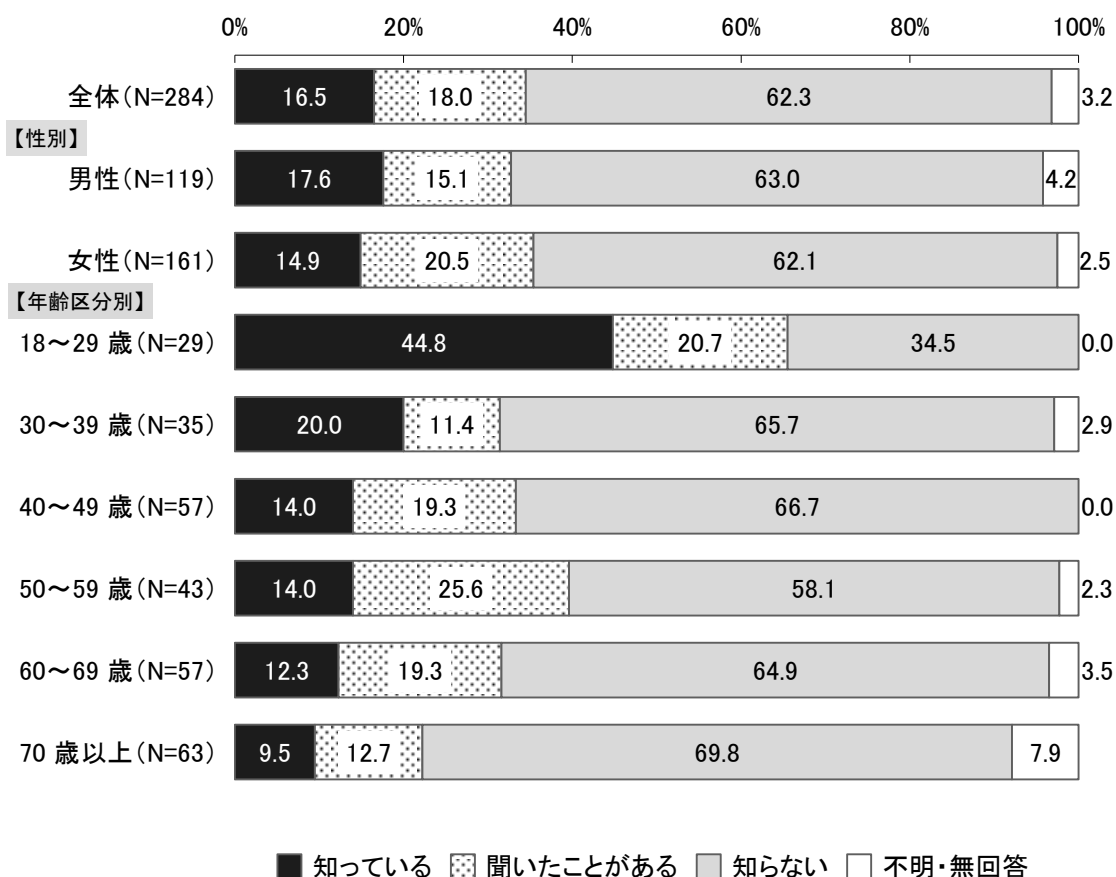


【15 メディア・リテラシー】

全体では「知っている」が 16.5%、「聞いたことがある」が 18.0%、「知らない」が 62.3%となっています。

性別では、「知らない」が男性で 63.0%と、女性と比べて 0.9 ポイント高くなっています。

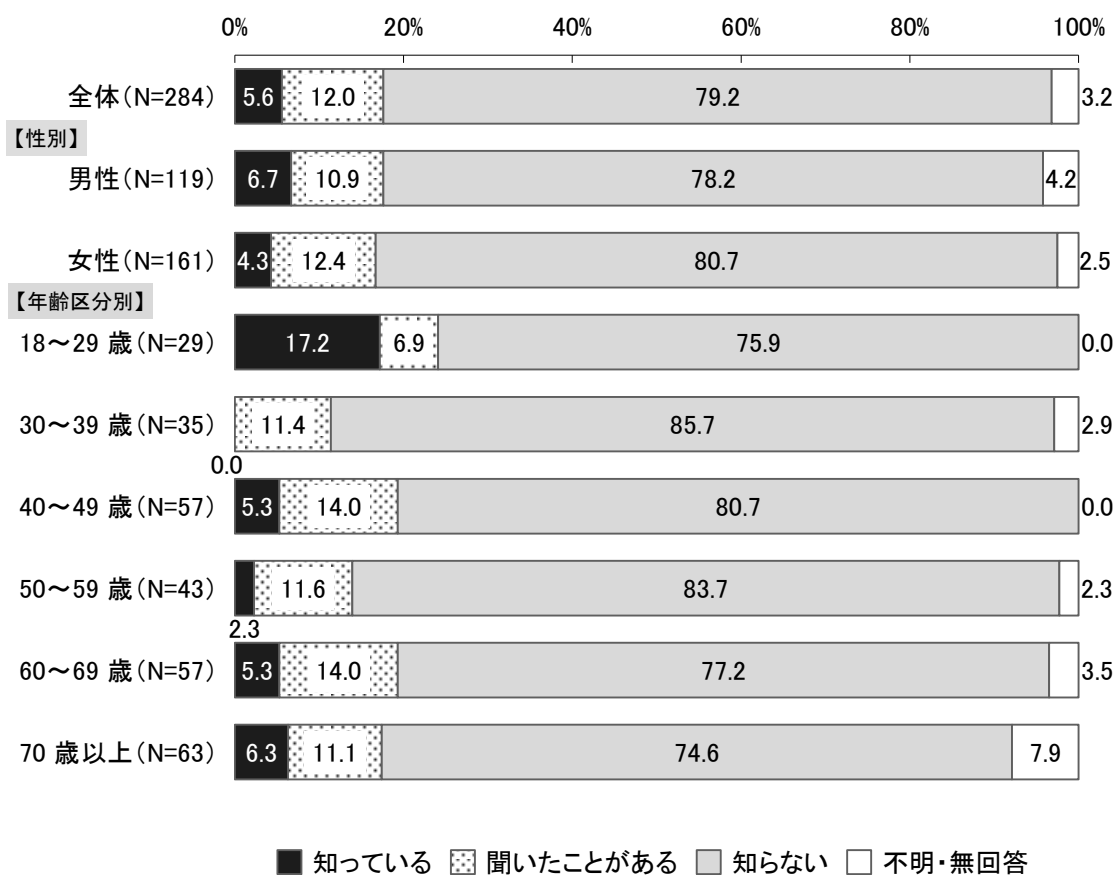
年齢区分別では、70 歳以上で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【16 メンズ・リブ】

全体では「知っている」が 5.6%、「聞いたことがある」が 12.0%、「知らない」が 79.2%となっています。

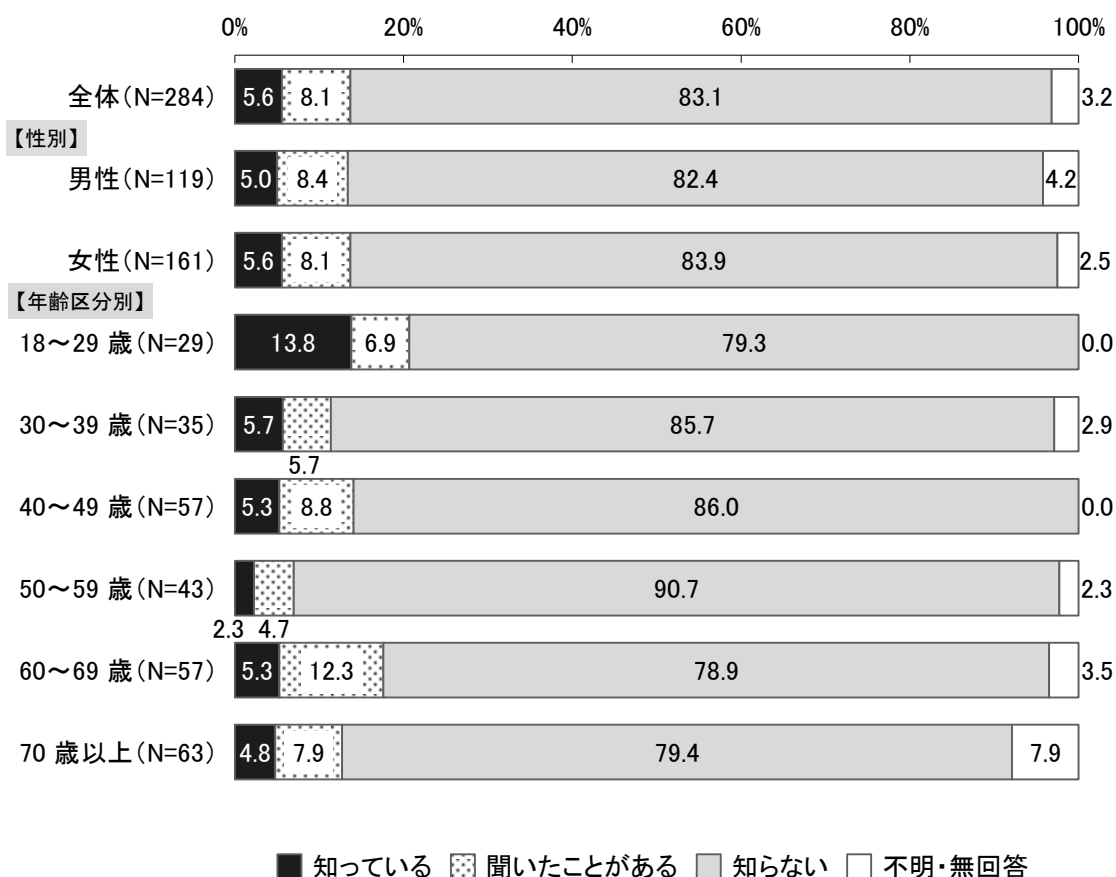
性別では、「知らない」が女性で 80.7%と、男性と比べて 2.5 ポイント高くなっています。年齢区分別では、30 歳～39 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



【17 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ】

全体では「知っている」が 5.6%、「聞いたことがある」が 8.1%、「知らない」が 83.1%となっています。

性別では、「知らない」が女性で 83.9%と、男性と比べて 1.5 ポイント高くなっています。年齢区分別では、50 歳～59 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

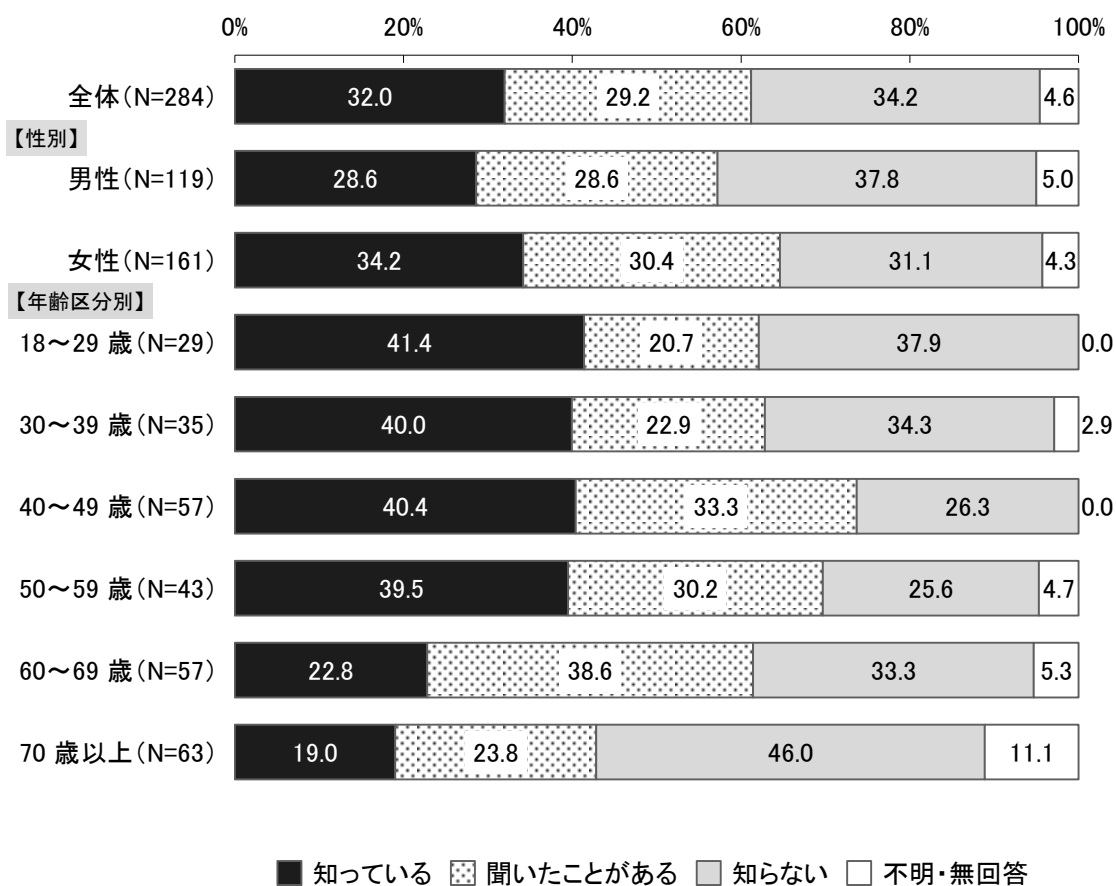


【18 ワーク・ライフ・バランス】

全体では「知っている」が 32.0%、「聞いたことがある」が 29.2%、「知らない」が 34.2%となっています。

性別では、「知らない」が男性で 37.8%と、女性と比べて 6.7 ポイント高くなっています。

年齢区分別では、70 歳以上で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。

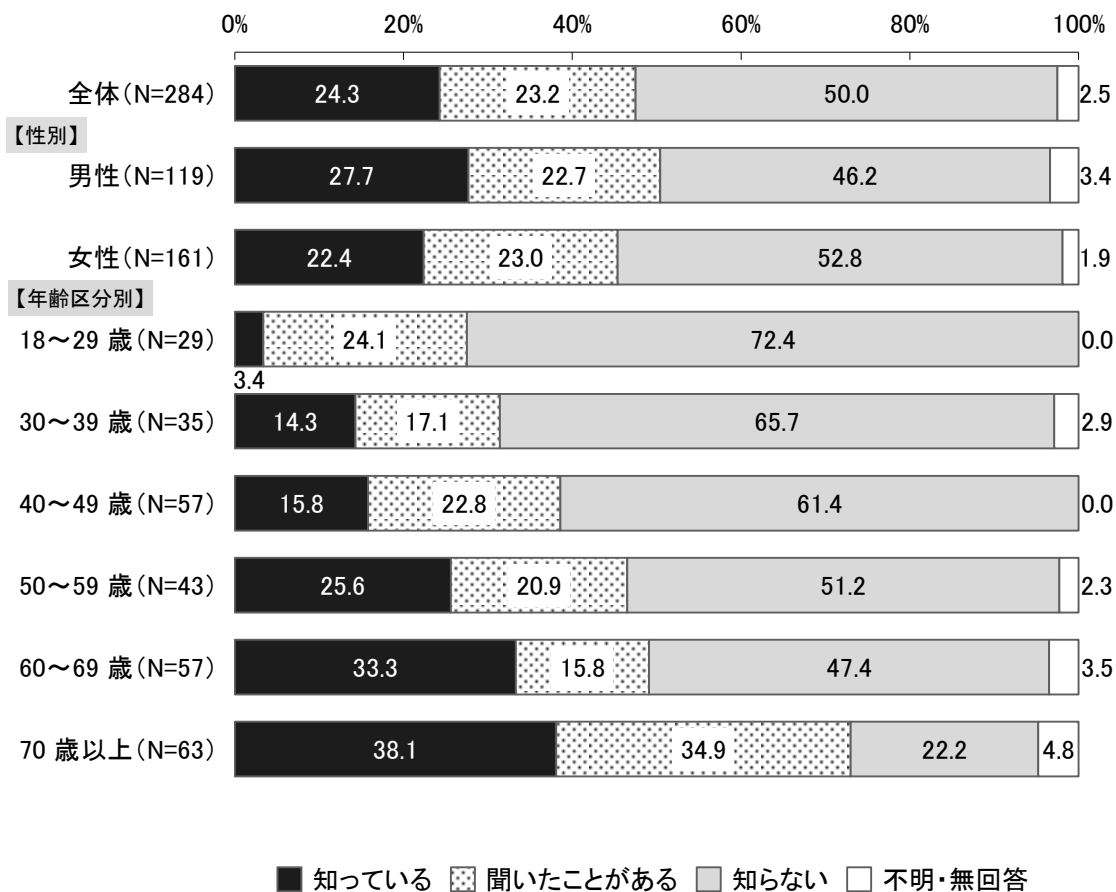


【19 軽井沢町町民法律相談】

全体では「知っている」が 24.3%、「聞いたことがある」が 23.2%、「知らない」が 50.0% となっています。

性別では、「知らない」が女性で 52.8%と、男性と比べて 6.6 ポイント高くなっています。

年齢区分別では、18 歳～29 歳で「知らない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。



問 15

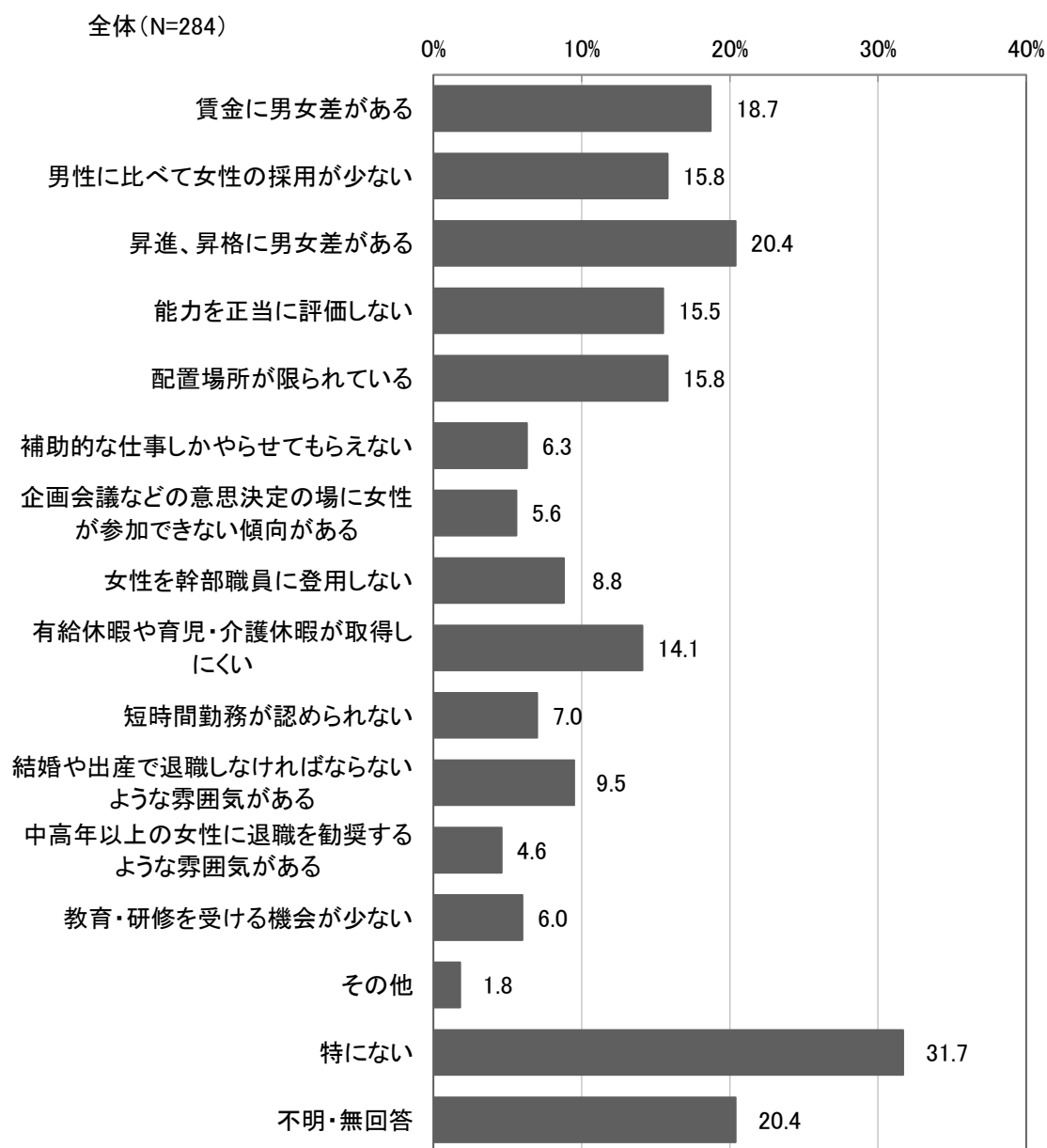
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。またはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「特にない」が 31.7%と最も高く、次いで「昇進、昇格に男女差がある」が 20.4%となっています。

性別では、「特にない」が女性で 32.3%、男性で 30.3%となっています。

年齢区分別では、18～29 歳で「特にない」が 48.3%と高くなっています。

居住地区別では、いずれも「特にない」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		賃金に男女差がある	男性に比べて女性の採用が少ない	昇進、昇格に男女差がある	能力を正當に評価しない	配置場所が限られている	補助的な仕事しかやらせてもらえない	企画会議などの意思決定の場 に女性が参加できない傾向がある	女性を幹部職員に登用しない
性別	男性 (N=119)	18.5	26.9	19.3	13.4	21.8	4.2	5.9	6.7
	女性 (N=161)	18.6	7.5	21.1	16.8	11.2	7.5	5.0	9.9
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	10.3	13.8	13.8	6.9	10.3	0.0	3.4	6.9
	30～39 歳 (N=35)	11.4	14.3	14.3	22.9	20.0	5.7	0.0	5.7
	40～49 歳 (N=57)	14.0	15.8	19.3	17.5	5.3	8.8	5.3	15.8
	50～59 歳 (N=43)	14.0	16.3	32.6	11.6	18.6	4.7	2.3	11.6
	60～69 歳 (N=57)	19.3	15.8	17.5	19.3	17.5	7.0	5.3	3.5
	70 歳以上 (N=63)	33.3	17.5	22.2	12.7	22.2	7.9	12.7	7.9

区分		有給休暇や育児・介護休暇が 取得しにくい	短時間勤務が認められない	結婚や出産で退職しなければ ならないような雰囲気がある	中高年以上の女性に退職を勧 奨するような雰囲気がある	教育・研修を受ける機会が少 ない	その他	特 に ない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	10.9	6.7	5.9	1.7	6.7	3.4	30.3	16.8
	女性 (N=161)	16.8	7.5	12.4	6.8	5.6	0.6	32.3	23.6
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	17.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	48.3	10.3
	30～39 歳 (N=35)	22.9	11.4	8.6	2.9	0.0	0.0	28.6	14.3
	40～49 歳 (N=57)	17.5	1.8	10.5	7.0	3.5	1.8	38.6	19.3
	50～59 歳 (N=43)	9.3	4.7	7.0	2.3	7.0	4.7	20.9	18.6
	60～69 歳 (N=57)	14.0	8.8	7.0	3.5	8.8	0.0	36.8	19.3
	70 歳以上 (N=63)	7.9	11.1	15.9	6.3	9.5	1.6	22.2	31.7

■クロス集計集

(単位：%)

区分		賃金に男女差がある	男性に比べて女性の採用が少ない	昇進、昇格に男女差がある	能力を正當に評価しない	配置場所が限られている	補助的な仕事しかやらせてもらえない	企画会議などの意思決定の場に女性が参加できない傾向がある	女性を幹部職員に登用しない
居住地区別	東地区 (N=56)	12.5	19.6	12.5	7.1	10.7	5.4	5.4	5.4
	西地区 (N=83)	19.3	18.1	22.9	20.5	15.7	4.8	3.6	12.0
	中地区 (N=70)	21.4	12.9	21.4	15.7	15.7	2.9	5.7	8.6
	南地区 (N=74)	20.3	13.5	23.0	16.2	20.3	12.2	8.1	8.1

区分		有給休暇や育児・介護休暇が取得しにくい	短時間勤務が認められない	結婚や出産で退職しなければならぬような雰囲気がある	中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある	教育・研修を受ける機会が少ない	その他	特になし	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	10.7	7.1	12.5	1.8	1.8	0.0	37.5	23.2
	西地区 (N=83)	13.3	3.6	7.2	3.6	4.8	0.0	32.5	19.3
	中地区 (N=70)	11.4	10.0	5.7	4.3	10.0	5.7	24.3	22.9
	南地区 (N=74)	20.3	8.1	13.5	8.1	6.8	1.4	32.4	17.6

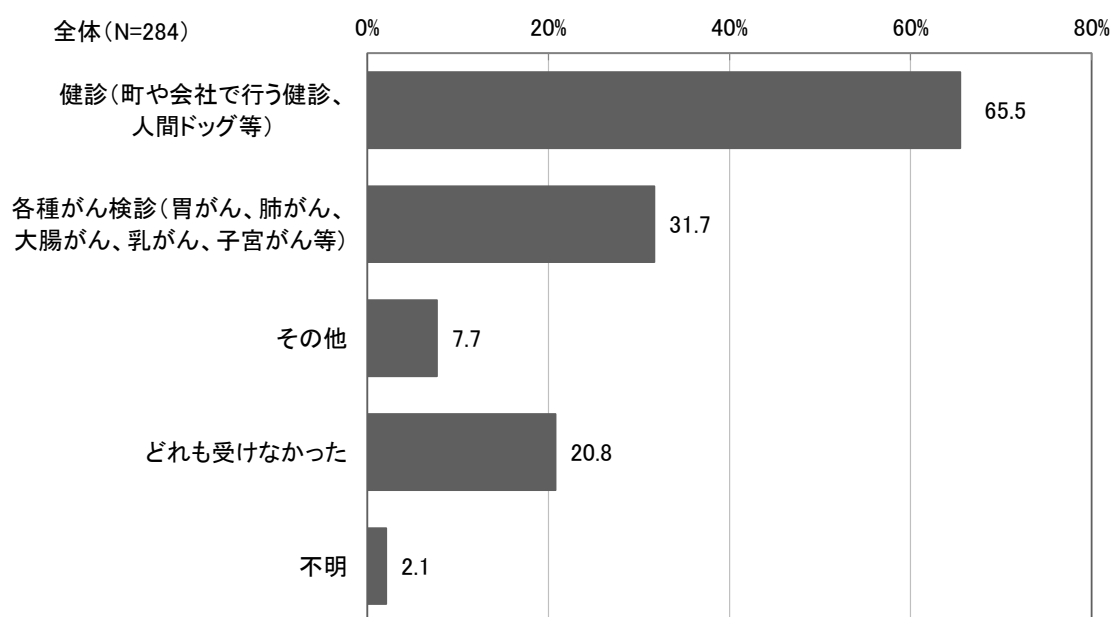
問 16

あなたはこの1年間に健（検）診を受けましたか。受けたものすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

全体では「健診（町や会社で行う健診、人間ドッグ等）」が65.5%と最も高く、次いで「各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん等）」が31.7%となっています。

性別では、「健診（町や会社で行う健診、人間ドッグ等）」が男性で66.4%、女性で64.0%となっています。

年齢区分別では、いずれも「健診（町や会社で行う健診、人間ドッグ等）」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

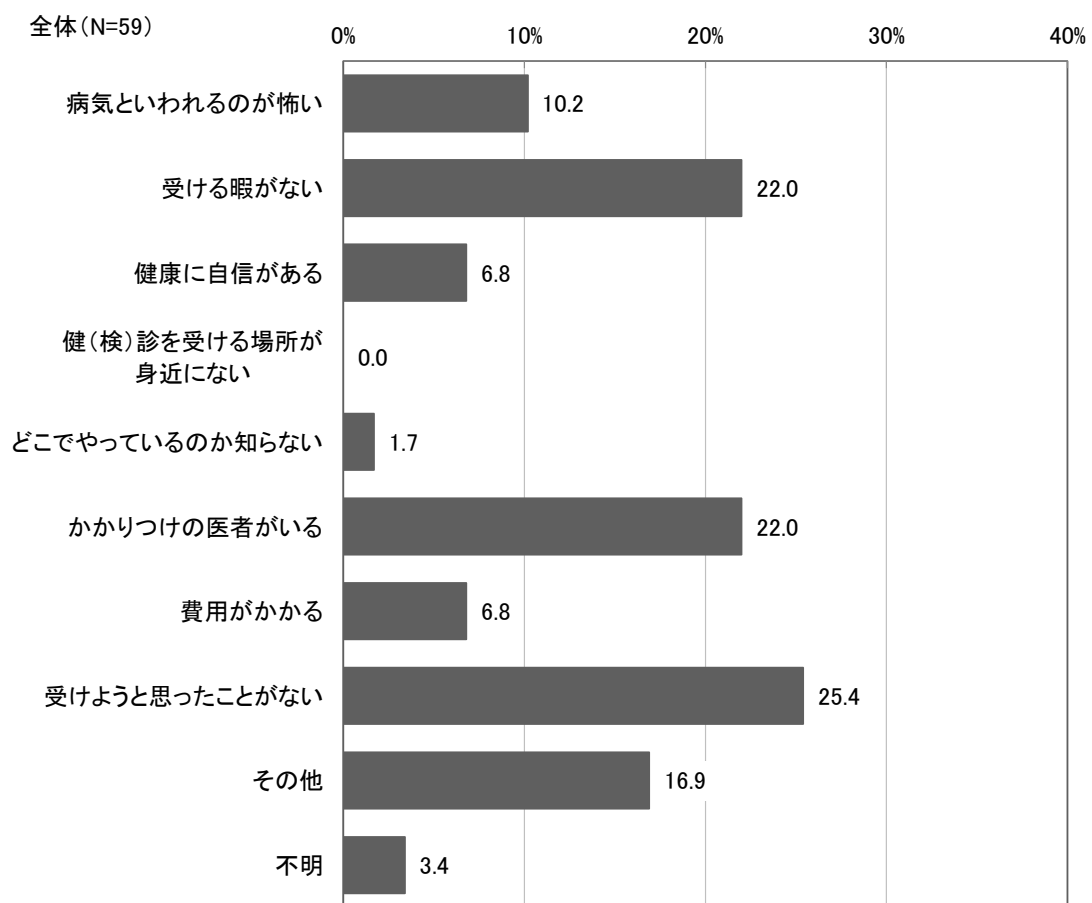
区分		健診（町や会社で行う健診、人間ドッグ等）	各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん等）	その他	どれも受けなかった	不明・無回答
性別	男性（N=119）	66.4	21.8	10.9	17.6	3.4
	女性（N=161）	64.0	38.5	5.6	23.6	1.2
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	58.6	6.9	13.8	24.1	0.0
	30～39 歳（N=35）	62.9	25.7	2.9	28.6	5.7
	40～49 歳（N=57）	64.9	24.6	3.5	24.6	0.0
	50～59 歳（N=43）	79.1	32.6	4.7	14.0	0.0
	60～69 歳（N=57）	59.6	35.1	10.5	24.6	3.5
	70 歳以上（N=63）	66.7	49.2	11.1	12.7	3.2

<問 16 で「4. どれも受けなかった」と回答した方にうかがいます。>

問 16-1 その理由は何ですか。(○は2つまで)

全体では「受けようと思ったことがない」が 25.4%と最も高く、次いで「受ける暇がない」「かかりつけの医者がある」がそれぞれ 22.0%となっています。

性別では、「受けようと思ったことがない」が男性で 42.9%、女性で 15.8%となっています。
年齢区分別では、いずれも「受けようと思ったことがない」の割合が高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		病気といわれるのが怖い	受ける暇がない	健康に自信がある	健康(検診)を受ける場所が身近でない	いどこでやっているのか知らない	かかりつけの医者がある	費用がかかる	受けようと思ったことがない	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=21)	4.8	4.8	14.3	0.0	4.8	14.3	14.3	42.9	9.5	9.5
	女性 (N=38)	13.2	31.6	2.6	0.0	0.0	26.3	2.6	15.8	21.1	0.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0
	30～39 歳 (N=10)	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	40～49 歳 (N=14)	28.6	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	28.6	0.0
	50～59 歳 (N=6)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	60～69 歳 (N=14)	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	35.7	21.4	0.0
	70 歳以上 (N=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	12.5	12.5

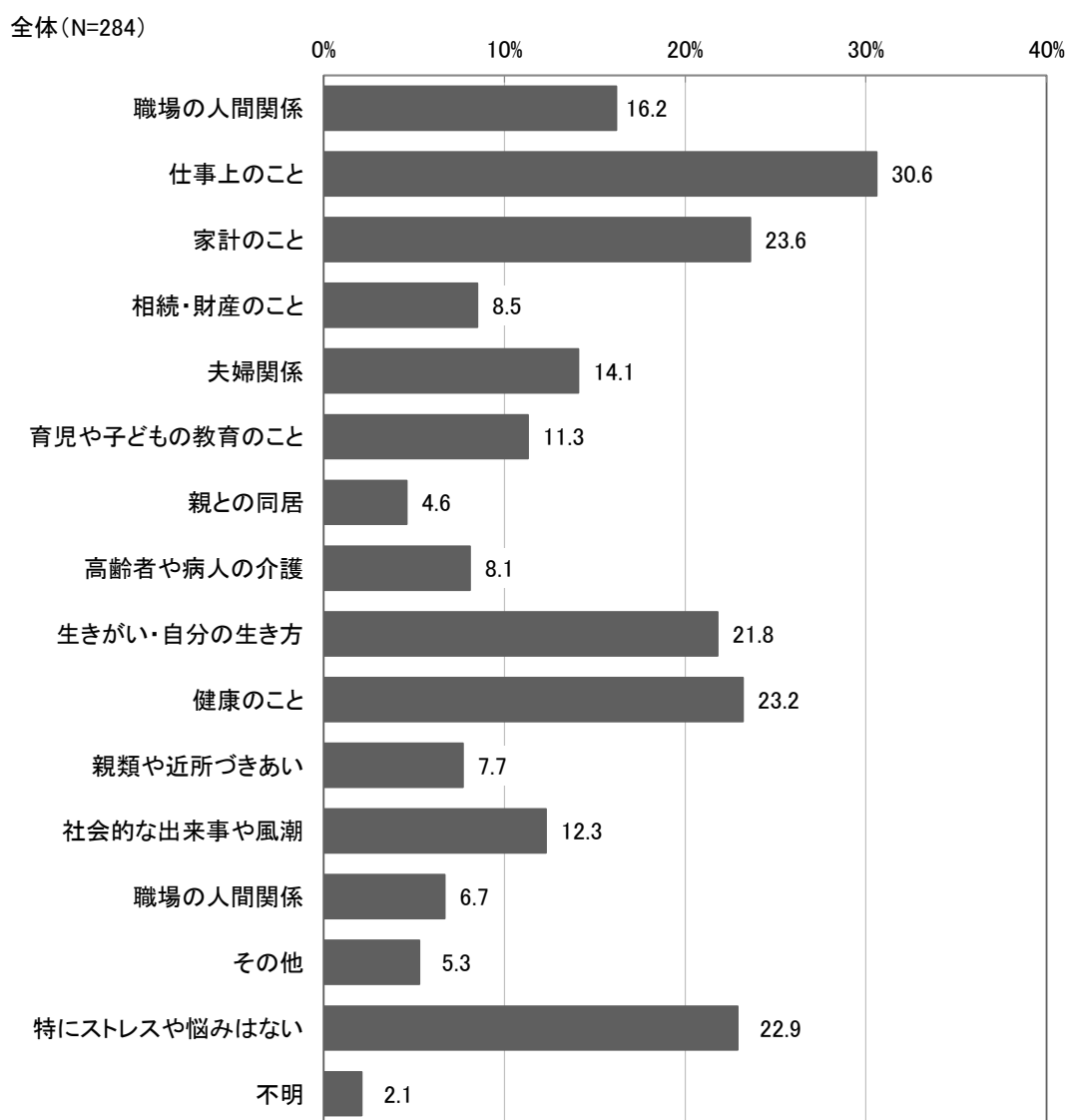
問 17

あなたは日頃、次のような精神的ストレスや悩みがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体では「仕事上のこと」が30.6%と最も高く、次いで「家計のこと」が23.6%となっています。

性別では、「仕事上のこと」が男性で34.5%、女性で27.3%となっています。

年齢区分別では、60歳～69歳で「健康のこと」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		職場の人間関係	仕事上のこと	家計のこと	相続・財産のこと	夫婦関係	育児や子どもの教育のこと	親との同居	高齢者や病人の介護	生きがい・自分の生き方
性別	男性 (N=119)	16.0	34.5	21.0	12.6	10.9	5.9	3.4	6.7	18.5
	女性 (N=161)	16.1	27.3	26.1	5.0	16.1	15.5	5.0	9.3	24.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	24.1	44.8	20.7	0.0	6.9	10.3	10.3	3.4	27.6
	30～39 歳 (N=35)	14.3	42.9	28.6	2.9	20.0	25.7	2.9	2.9	28.6
	40～49 歳 (N=57)	26.3	47.4	35.1	5.3	17.5	24.6	5.3	5.3	28.1
	50～59 歳 (N=43)	27.9	41.9	27.9	11.6	4.7	7.0	9.3	18.6	14.0
	60～69 歳 (N=57)	10.5	17.5	14.0	12.3	21.1	3.5	3.5	14.0	19.3
	70 歳以上 (N=63)	1.6	6.3	17.5	12.7	11.1	1.6	0.0	3.2	17.5

区分		健康のこと	親類や近所づきあい	社会的な出来事や風潮	職場の人間関係	その他	特にストレスや悩みはない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	23.5	5.0	15.1	6.7	5.9	22.7	3.4
	女性 (N=161)	23.6	9.9	9.3	6.8	5.0	23.6	1.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	10.3	6.9	0.0	13.8	0.0	31.0	0.0
	30～39 歳 (N=35)	5.7	14.3	5.7	11.4	5.7	17.1	2.9
	40～49 歳 (N=57)	19.3	10.5	8.8	8.8	0.0	19.3	1.8
	50～59 歳 (N=43)	30.2	4.7	11.6	4.7	16.3	7.0	0.0
	60～69 歳 (N=57)	31.6	5.3	22.8	7.0	7.0	24.6	3.5
	70 歳以上 (N=63)	30.2	6.3	15.9	0.0	3.2	34.9	3.2

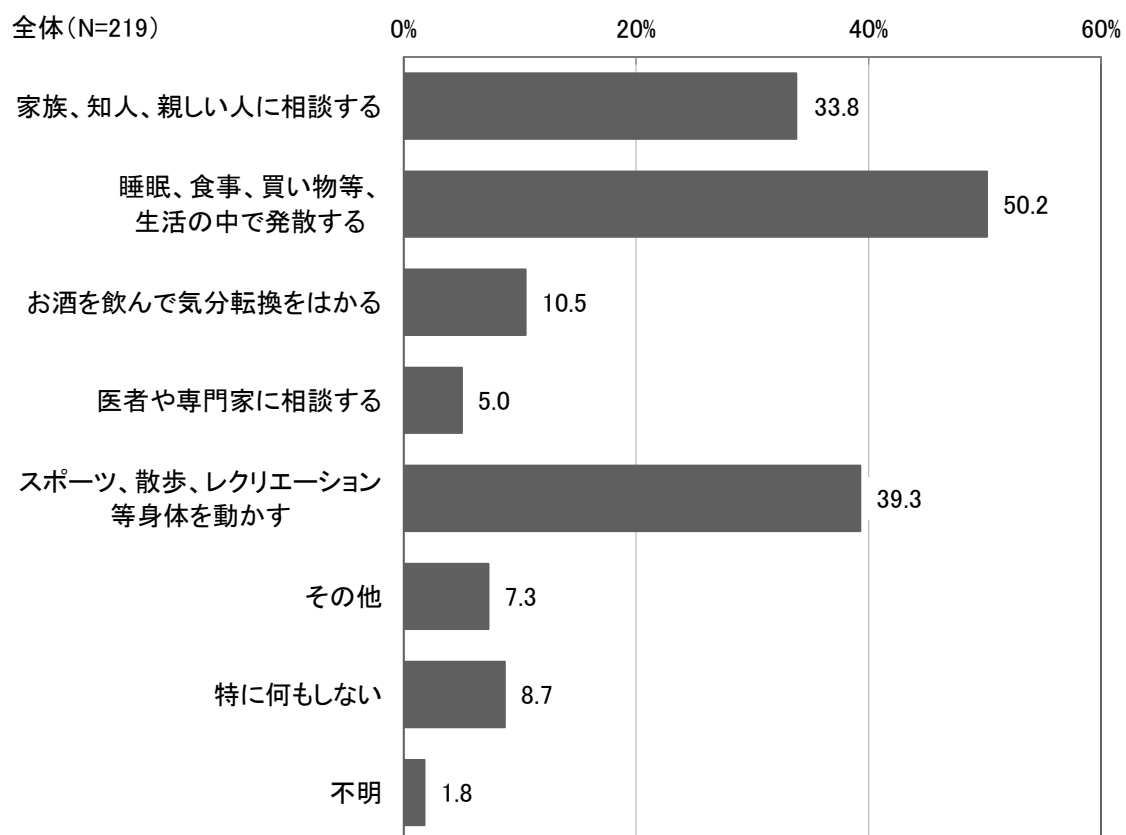
<問 17 で「ストレスや悩みがある」(選択肢 1～14) と回答した方にうかがいます。>

問 17-1 あなたのストレス解消方は何ですか。(〇は2つまで)

全体では「睡眠、食事、買い物等、生活の中で発散する」が 50.2%と最も高く、次いで「スポーツ、散歩、レクリエーション等身体を動かす」が 39.3%となっています。

性別では、「睡眠、食事、買い物等、生活の中で発散する」が男性で 43.0%、女性で 57.4%となっています。

年齢区分別では、いずれも「睡眠、食事、買い物等、生活の中で発散する」の割合が高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		家族、知人、親しい人に相談する	睡眠、食事、買い物等、生活の中で発散する	お酒を飲んで気分転換をはかる	医者や専門家に相談する	スポーツ、散歩、レクリエーション等身体を動かす	その他	特に何もしない	不明・無回答
性別	男性 (N=93)	16.1	43.0	14.0	4.3	53.8	4.3	15.1	2.2
	女性 (N=122)	47.5	57.4	8.2	5.7	27.9	9.0	4.1	0.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=20)	50.0	60.0	10.0	0.0	30.0	5.0	5.0	0.0
	30～39 歳 (N=49)	44.8	72.4	3.4	6.9	37.9	0.0	6.9	0.0
	40～49 歳 (N=45)	37.8	53.3	15.6	0.0	22.2	6.7	6.7	0.0
	50～59 歳 (N=40)	30.0	47.5	15.0	0.0	42.5	10.0	12.5	0.0
	60～69 歳 (N=41)	26.8	48.8	7.3	9.8	48.8	7.3	7.3	2.4
	70 歳以上 (N=44)	25.0	31.8	9.1	11.4	50.0	11.4	11.4	6.8

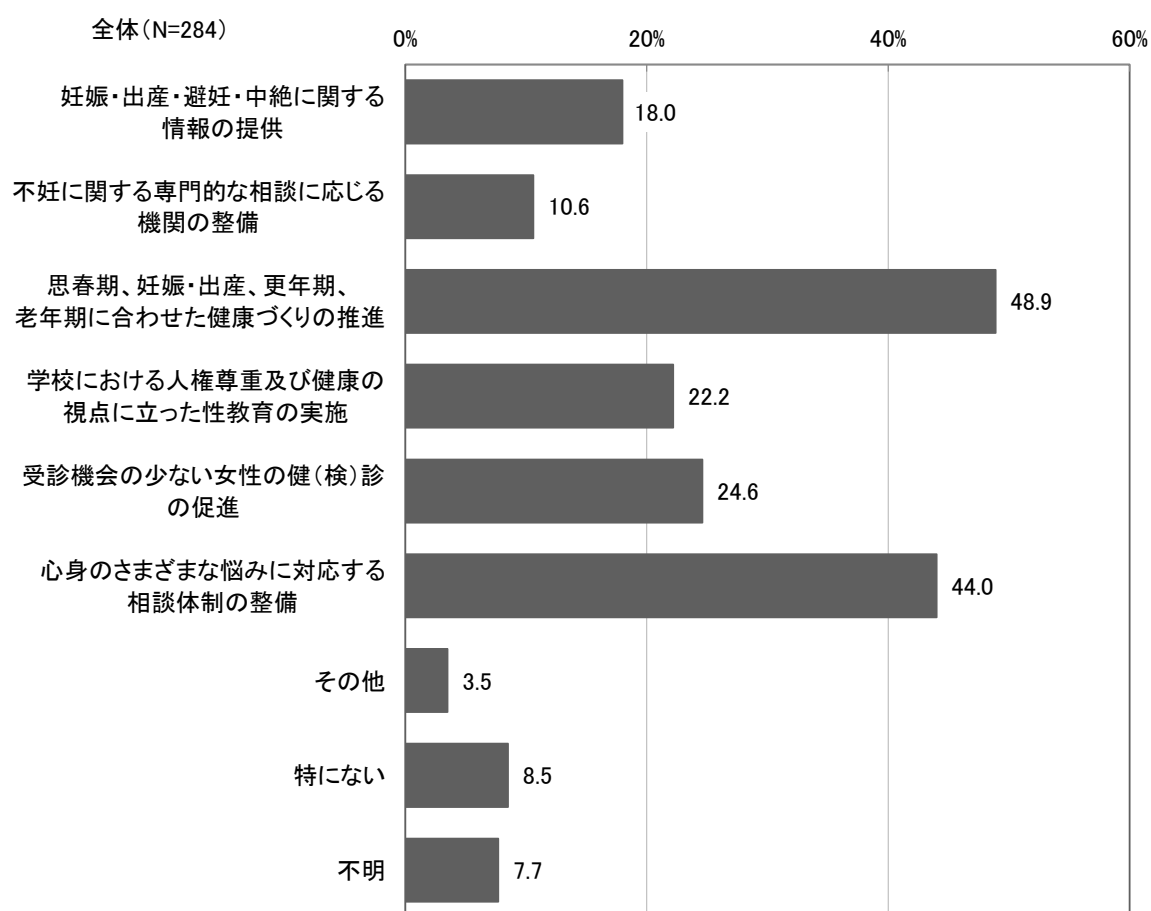
問 18

女性が生涯にわたり心身共に健康であるために、どのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では「思春期、妊娠・出産、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進」が48.9%と最も高く、次いで「心身のさまざまな悩みに対応する相談体制の整備」が44.0%となっています。

性別では、「思春期、妊娠・出産、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進」が男性で42.0%、女性で54.7%となっています。

年齢区分別では、いずれも「思春期、妊娠・出産、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進」の割合が高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

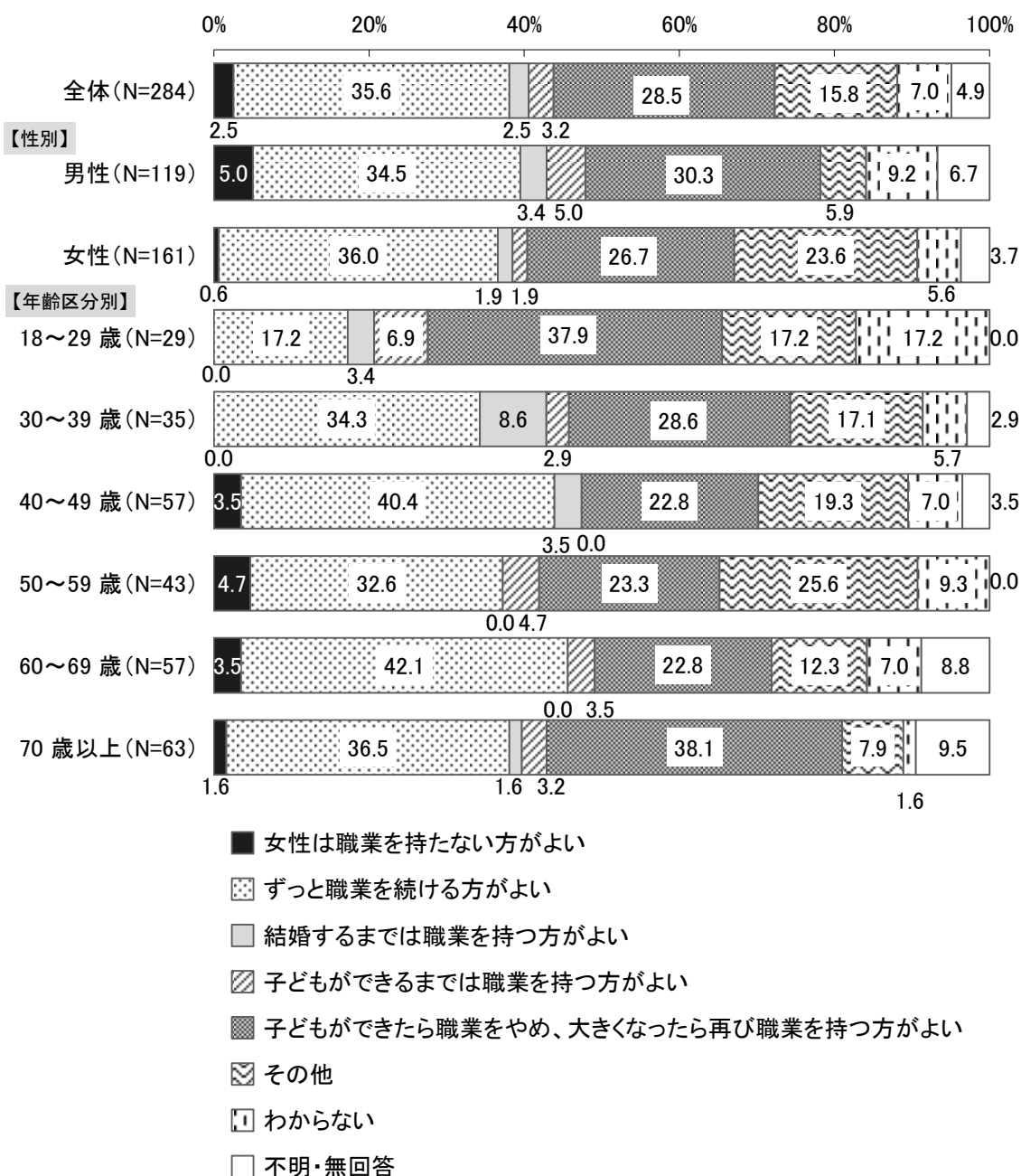
区分		妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供	不妊に関する専門的な相談に応じる機関の整備	思春期、妊娠・出産、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進	学校における人権尊重及び健康の視点到立った性教育の実施	受診機会の少ない女性の健(検)診の促進	心身のさまざまな悩みに対応する相談体制の整備	その他	特になし	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	20.2	12.6	42.0	18.5	30.3	40.3	2.5	7.6	10.9
	女性 (N=161)	16.8	9.3	54.7	24.8	21.1	47.2	4.3	9.3	3.7
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	37.9	27.6	58.6	31.0	24.1	27.6	0.0	10.3	0.0
	30～39 歳 (N=35)	34.3	14.3	42.9	14.3	25.7	40.0	8.6	5.7	2.9
	40～49 歳 (N=57)	12.3	7.0	47.4	21.1	33.3	52.6	5.3	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	9.3	7.0	48.8	16.3	20.9	53.5	2.3	9.3	2.3
	60～69 歳 (N=57)	17.5	8.8	47.4	24.6	22.8	47.4	5.3	12.3	10.5
	70 歳以上 (N=63)	11.1	7.9	50.8	25.4	20.6	36.5	0.0	9.5	19.0

問 19 女性が職業を持つことに対してあなたはどのように考えますか。(○は1つだけ)

全体では「ずっと職業を続ける方がよい」が35.6%と最も高く、次いで「子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が28.5%となっています。

性別では、「ずっと職業を続ける方がよい」が男性で34.5%、女性で36.0%となっています。

年齢区分別では、18～29歳と70歳以上のみ「子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が「ずっと職業を続ける方がよい」より上回っています。

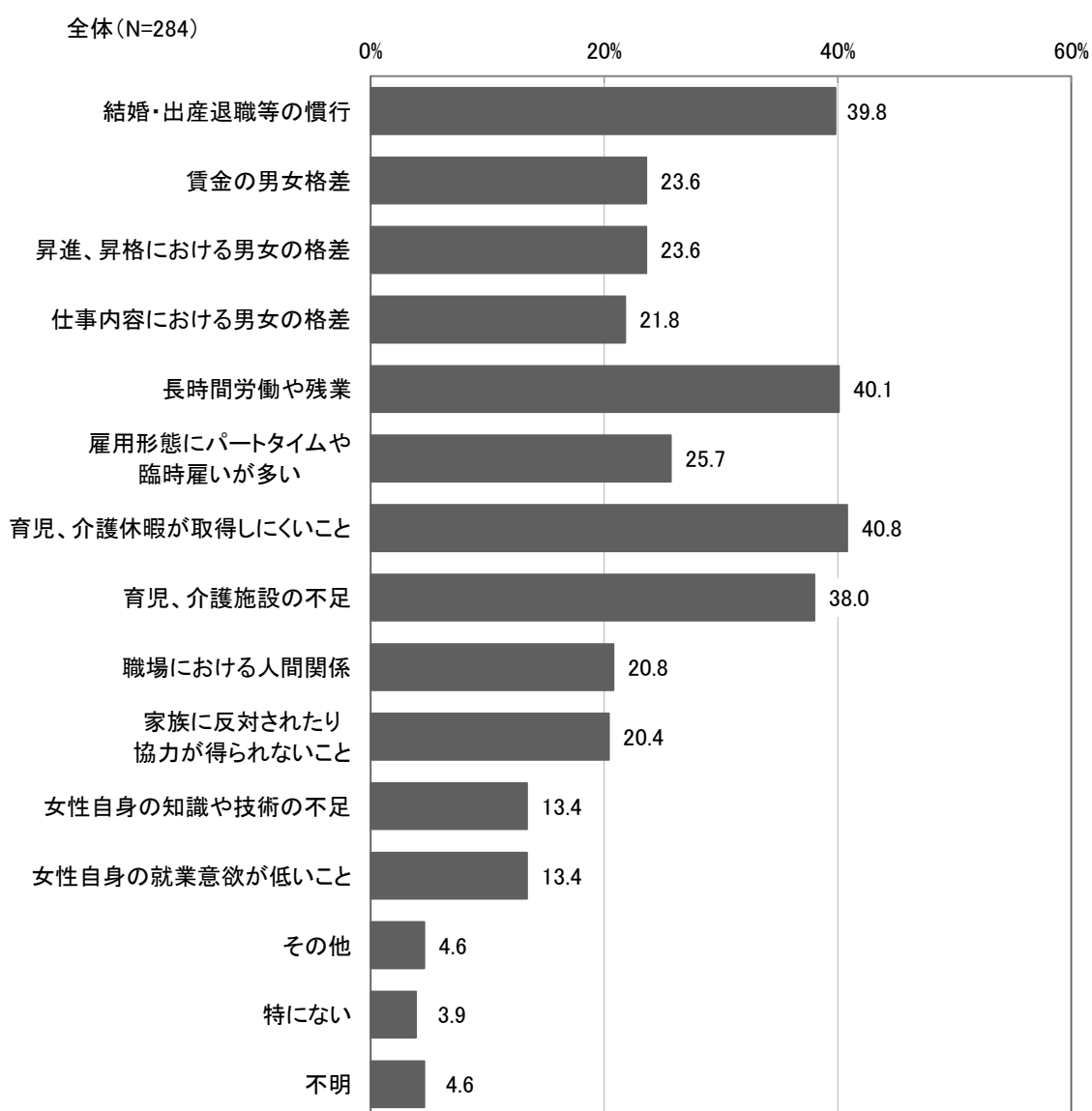


問 20 女性が働く上での障がいは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「育児、介護休暇が取得しにくいこと」が40.8%と最も高く、次いで「長時間労働や残業」が40.1%となっています。

性別では、「育児、介護休暇が取得しにくいこと」が男性で36.1%、女性で44.7%となっています。

年齢区分別では、40～59歳で「育児、介護休暇が取得しにくいこと」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		結婚・出産退職等の慣行	賃金の男女格差	昇進、昇格における男女の格差	仕事内容における男女の格差	長時間労働や残業	雇用形態にパートタイムや臨時雇いが多い	育児、介護休暇が取得しにくいこと	育児、介護施設の不足	職場における人間関係
性別	男性 (N=119)	41.2	21.0	19.3	24.4	40.3	26.1	36.1	31.9	17.6
	女性 (N=161)	37.9	24.2	25.5	19.9	40.4	25.5	44.7	42.9	22.4
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	48.3	24.1	41.4	20.7	13.8	20.7	44.8	34.5	17.2
	30～39 歳 (N=35)	37.1	11.4	17.1	5.7	60.0	22.9	42.9	37.1	11.4
	40～49 歳 (N=57)	33.3	24.6	21.1	22.8	40.4	17.5	45.6	38.6	24.6
	50～59 歳 (N=43)	32.6	20.9	23.3	23.3	34.9	30.2	34.9	25.6	20.9
	60～69 歳 (N=57)	38.6	28.1	22.8	28.1	36.8	17.5	50.9	52.6	28.1
	70 歳以上 (N=63)	49.2	27.0	22.2	23.8	47.6	41.3	28.6	34.9	17.5

区分		家族に反対されたり協力が得られないこと	女性自身の知識や技術の不足	女性自身の就業意欲が低いこと	その他	特にない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	6.7	11.8	9.2	2.5	4.2	7.6
	女性 (N=161)	29.8	13.7	16.1	6.2	3.7	2.5
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	13.8	20.7	13.8	6.9	10.3	0.0
	30～39 歳 (N=35)	11.4	8.6	2.9	5.7	2.9	2.9
	40～49 歳 (N=57)	36.8	5.3	8.8	1.8	3.5	1.8
	50～59 歳 (N=43)	30.2	7.0	25.6	11.6	2.3	0.0
	60～69 歳 (N=57)	19.3	10.5	10.5	1.8	3.5	8.8
	70 歳以上 (N=63)	7.9	27.0	17.5	3.2	3.2	9.5

問 21

育児や介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度を活用して男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどのように考えますか。
(○は各項目 1 つずつ)

問 21 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

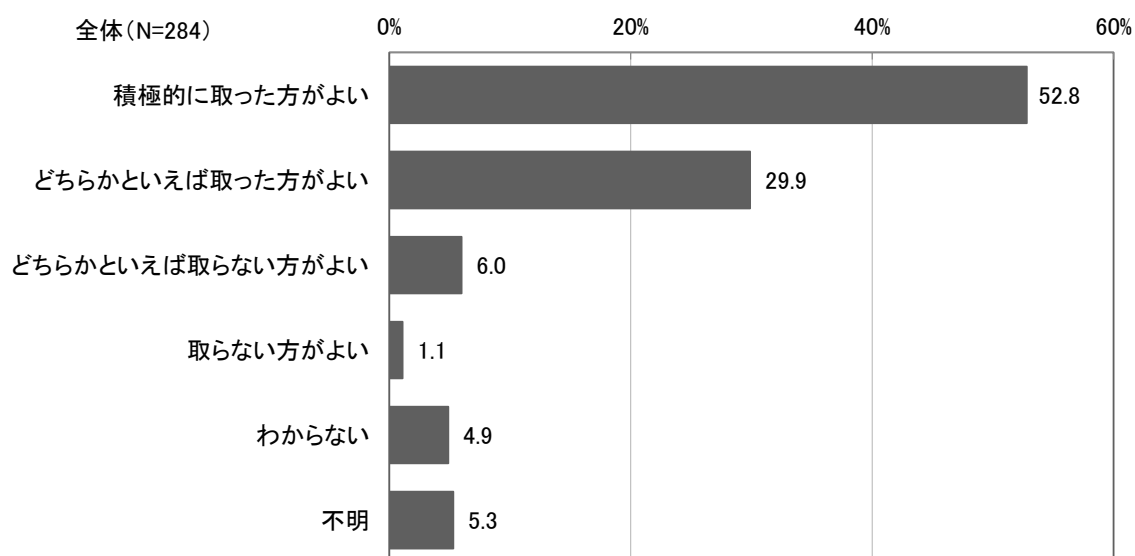
『取った方がよい』…「積極的に取った方がよい」と「どちらかといえば取った方がよい」を合算

『取らない方がよい』…「どちらかといえば取らない方がよい」と「取らない方がよい」を合算

【1 育児休業】

全体では『取った方がよい』が 82.7%と最も高く、次いで『取らない方がよい』が 7.1%となっています。

性別、年齢区分別では、いずれも『取った方がよい』が最も高くなっています。



■クロス集計集

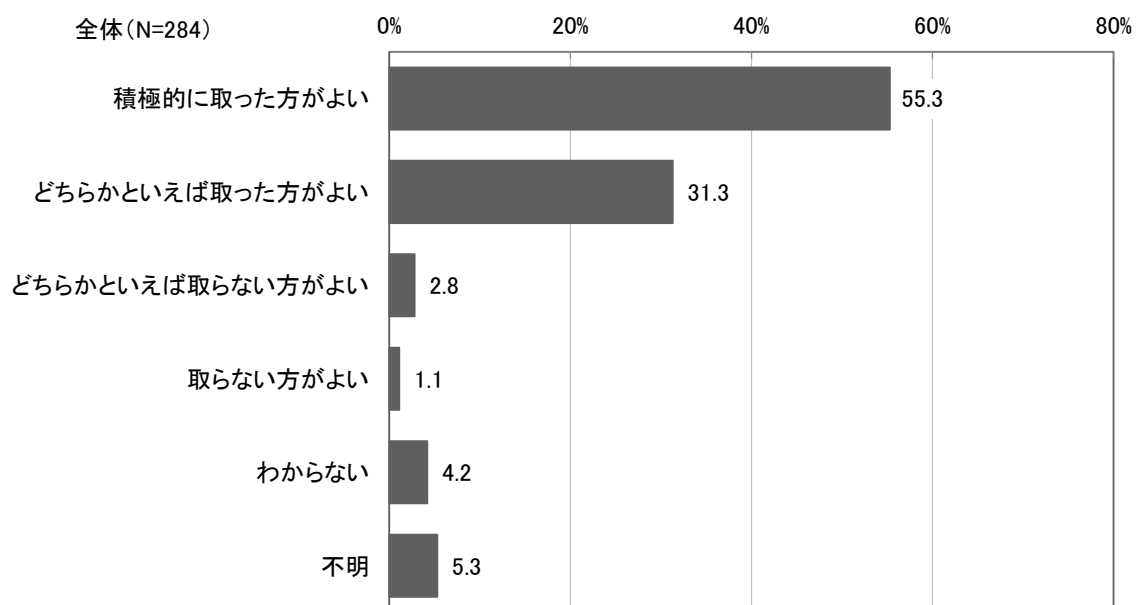
(単位：％)

区分		積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	42.9	40.3	4.2	0.8	7.6	4.2
	女性 (N=161)	59.6	23.0	6.8	1.2	3.1	6.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	69.0	17.2	0.0	0.0	10.3	3.4
	30～39 歳 (N=35)	45.7	34.3	11.4	0.0	5.7	2.9
	40～49 歳 (N=57)	50.9	33.3	7.0	1.8	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	58.1	30.2	2.3	0.0	4.7	4.7
	60～69 歳 (N=57)	59.6	24.6	3.5	3.5	5.3	3.5
	70 歳以上 (N=63)	41.3	34.9	9.5	0.0	3.2	11.1

【2 介護休業】

全体では『取った方がよい』が86.6%と最も高く、次いで「わからない」が4.2%となっています。

性別、年齢区分別では、いずれも『取った方がよい』が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		積極的に取った方がよい	どちらかといえば取った方がよい	どちらかといえば取らない方がよい	取らない方がよい	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	46.2	40.3	2.5	0.8	5.9	4.2
	女性 (N=161)	61.5	25.5	2.5	1.2	3.1	6.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	72.4	17.2	0.0	0.0	6.9	3.4
	30～39 歳 (N=35)	54.3	34.3	5.7	0.0	2.9	2.9
	40～49 歳 (N=57)	50.9	40.4	1.8	0.0	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	62.8	25.6	0.0	0.0	7.0	4.7
	60～69 歳 (N=57)	56.1	29.8	1.8	3.5	5.3	3.5
	70 歳以上 (N=63)	46.0	33.3	6.3	1.6	1.6	11.1

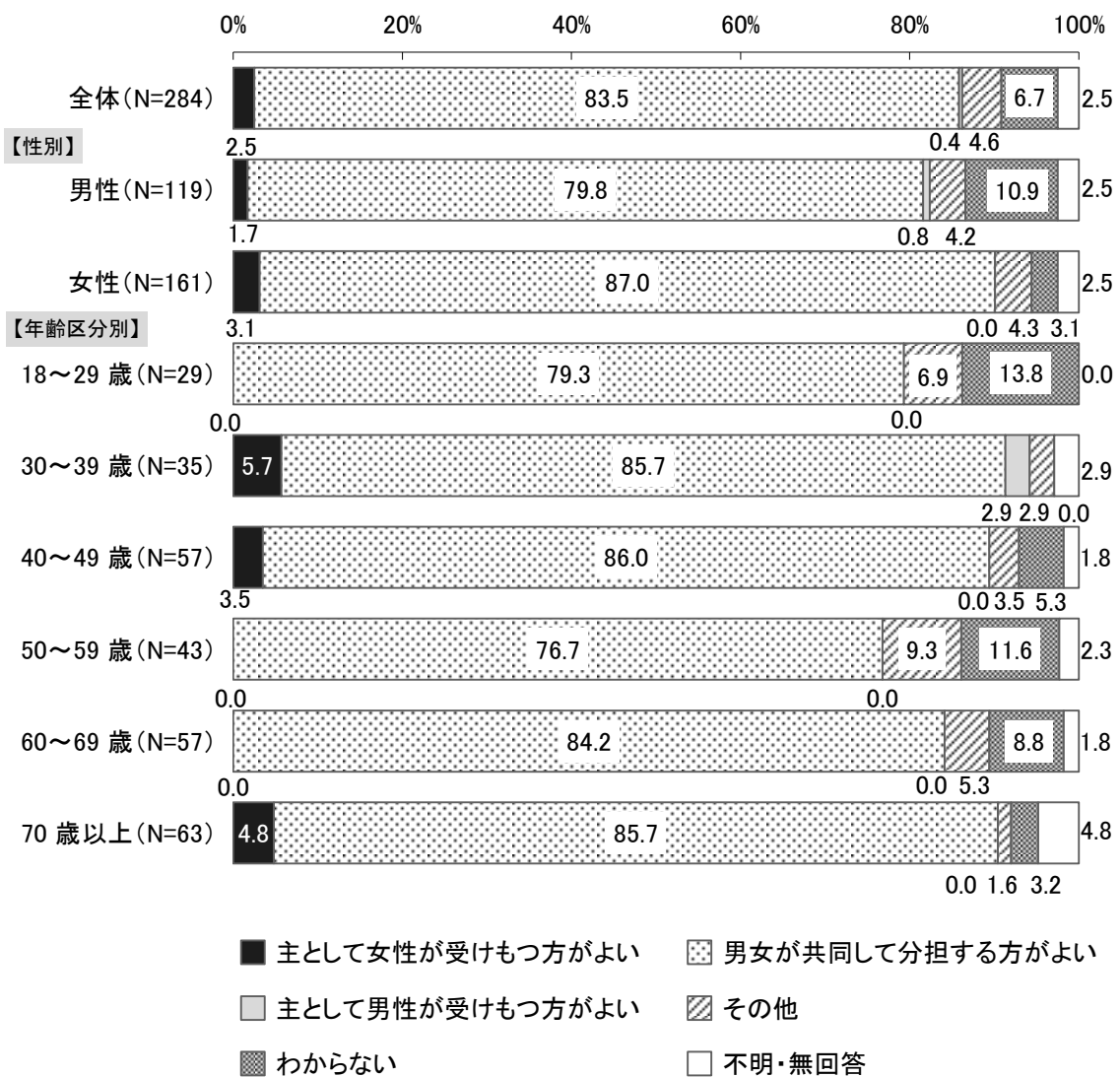
問 22

高齢者の介護をする場合に、家庭内での分担について、どのように考えますか。
(○は1つだけ)

全体では「男女が共同して分担する方がよい」が 83.5%と最も高く、次いで「わからない」が 6.7%となっています。

性別では、「男女が共同して分担する方がよい」が男性で 79.8%、女性で 87.0%となっています。

年齢区分別では、「男女が共同して分担する方がよい」が 40～49 歳で 86.0%と高くなっています。



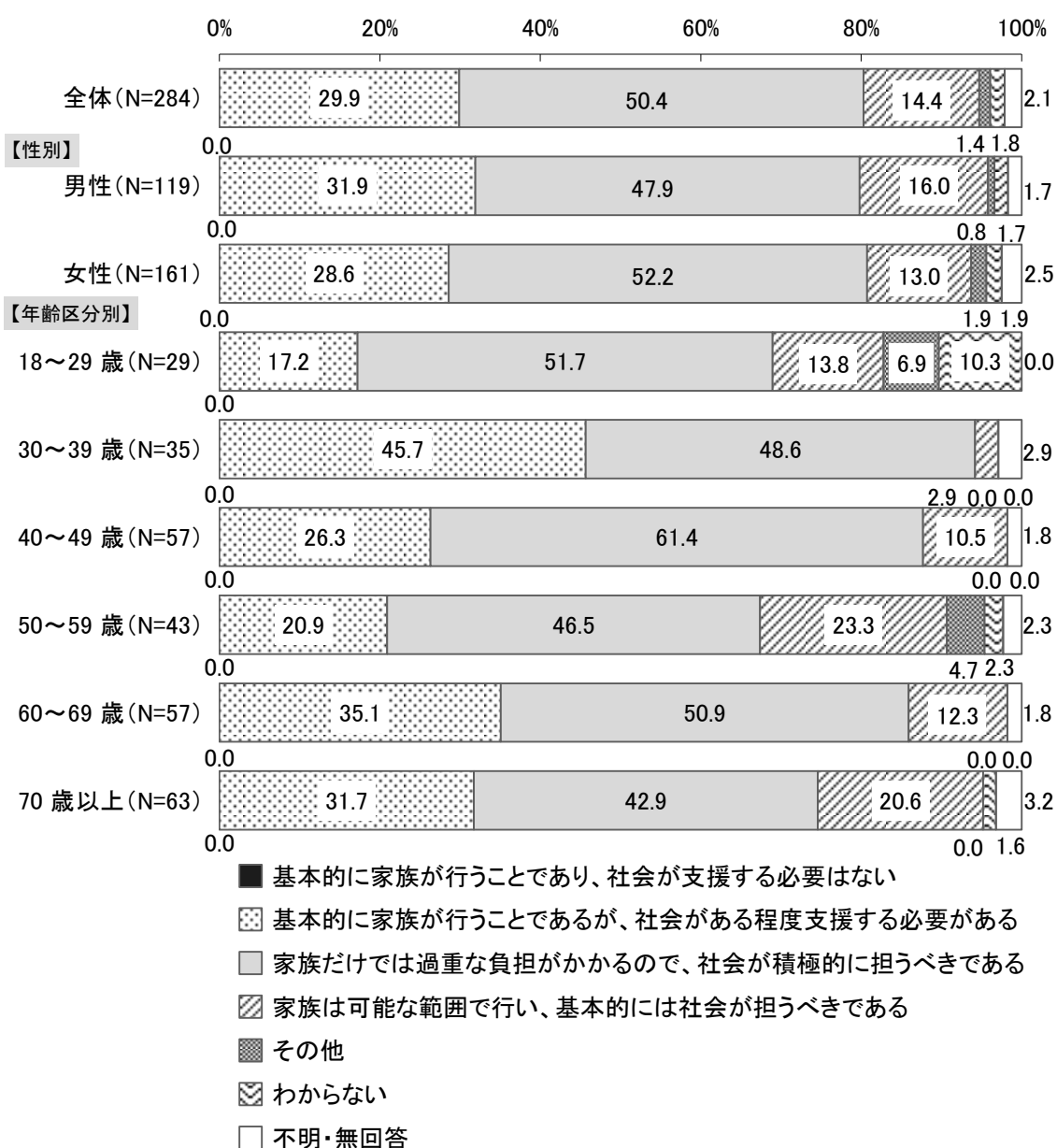
問 23

あなたは、高齢者の介護に対する社会の支援についてどのように考えますか。
(〇は1つだけ)

全体では「家族だけでは過重な負担がかかるので、社会が積極的に担うべきである」が50.4%と最も高く、次いで「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が29.9%となっています。

性別では、「家族だけでは過重な負担がかかるので、社会が積極的に担うべきである」が男性で47.9%、女性で52.2%となっています。

年齢区分別では、「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が30～39歳で45.7%と高くなっています。



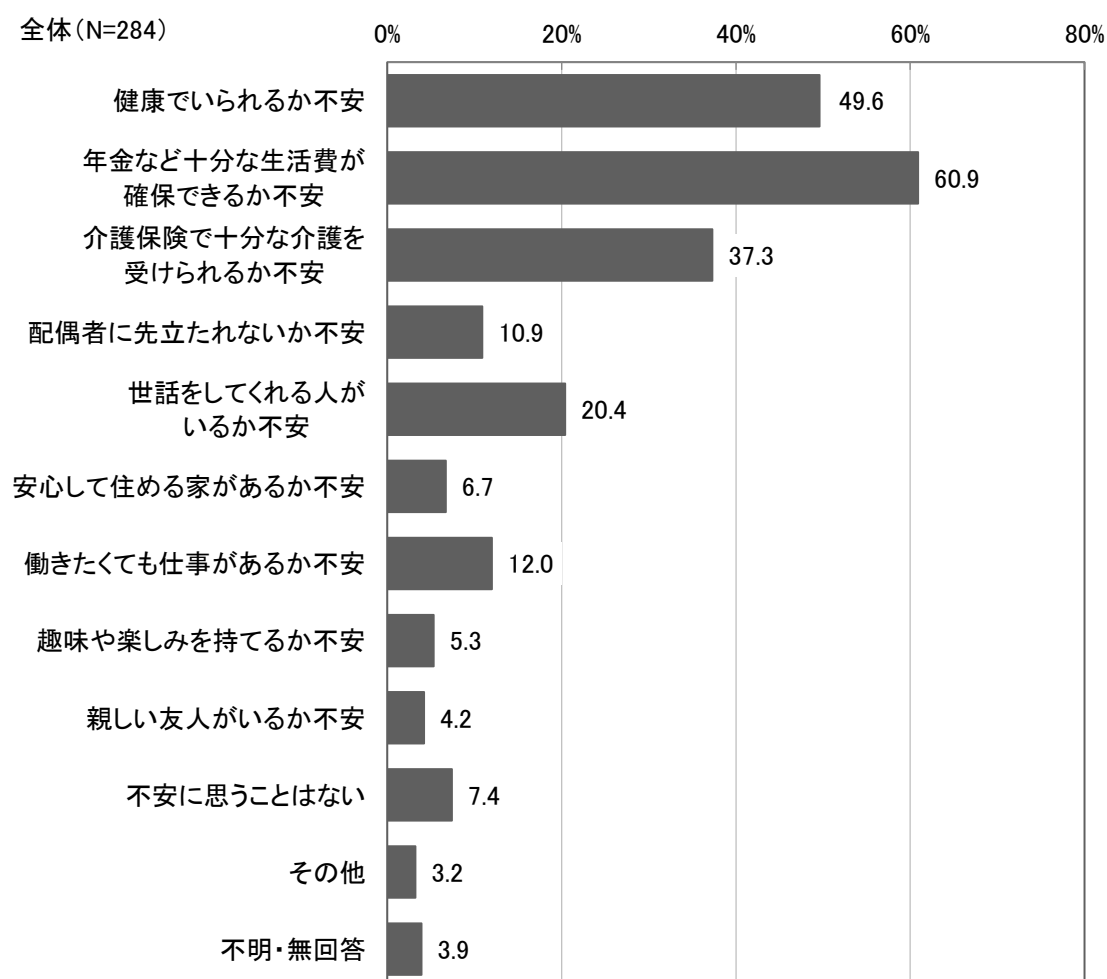
問 24

自分の老後について、どのような心配事や不安がありますか。(〇は3つまで)

全体では、「年金など十分な生活費が確保できるか不安」が 60.9%と最も高く、次いで「健康でいられるか不安」が 49.6%となっています。

性別では、「年金など十分な生活費が確保できるか不安」が男性で 58.0%、女性で 63.4%と最も高くなっています。

年齢区分別では、60～69 歳のみ「健康でいられるか不安」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		健康でいられるか不安	年金など十分な生活費が確保できるか不安	介護保険で十分な介護を受けられるか不安	配偶者に先立たれないか不安	世話をしてくれる人がいるか不安	安心して住める家があるか不安	働きたくても仕事があるか不安	趣味や楽しみを持てるか不安	親しい友人がいるか不安
性別	男性 (N=119)	45.4	58.0	35.3	12.6	20.2	5.9	14.3	3.4	6.7
	女性 (N=161)	53.4	63.4	39.1	9.9	21.1	7.5	9.9	6.8	2.5
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	24.1	72.4	27.6	0.0	20.7	20.7	17.2	10.3	10.3
	30～39 歳 (N=35)	40.0	71.4	37.1	8.6	22.9	17.1	17.1	0.0	5.7
	40～49 歳 (N=57)	49.1	66.7	31.6	10.5	26.3	3.5	21.1	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	60.5	62.8	20.9	11.6	23.3	4.7	9.3	7.0	4.7
	60～69 歳 (N=57)	63.2	50.9	43.9	15.8	15.8	1.8	8.8	7.0	1.8
	70 歳以上 (N=63)	47.6	52.4	52.4	12.7	15.9	3.2	3.2	4.8	3.2

区分		不安に思うことはない	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	8.4	2.5	3.4
	女性 (N=161)	5.6	3.7	4.3
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	13.8	6.9	0.0
	30～39 歳 (N=35)	0.0	0.0	2.9
	40～49 歳 (N=57)	3.5	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	4.7	7.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	14.0	0.0	1.8
	70 歳以上 (N=63)	7.9	3.2	9.5

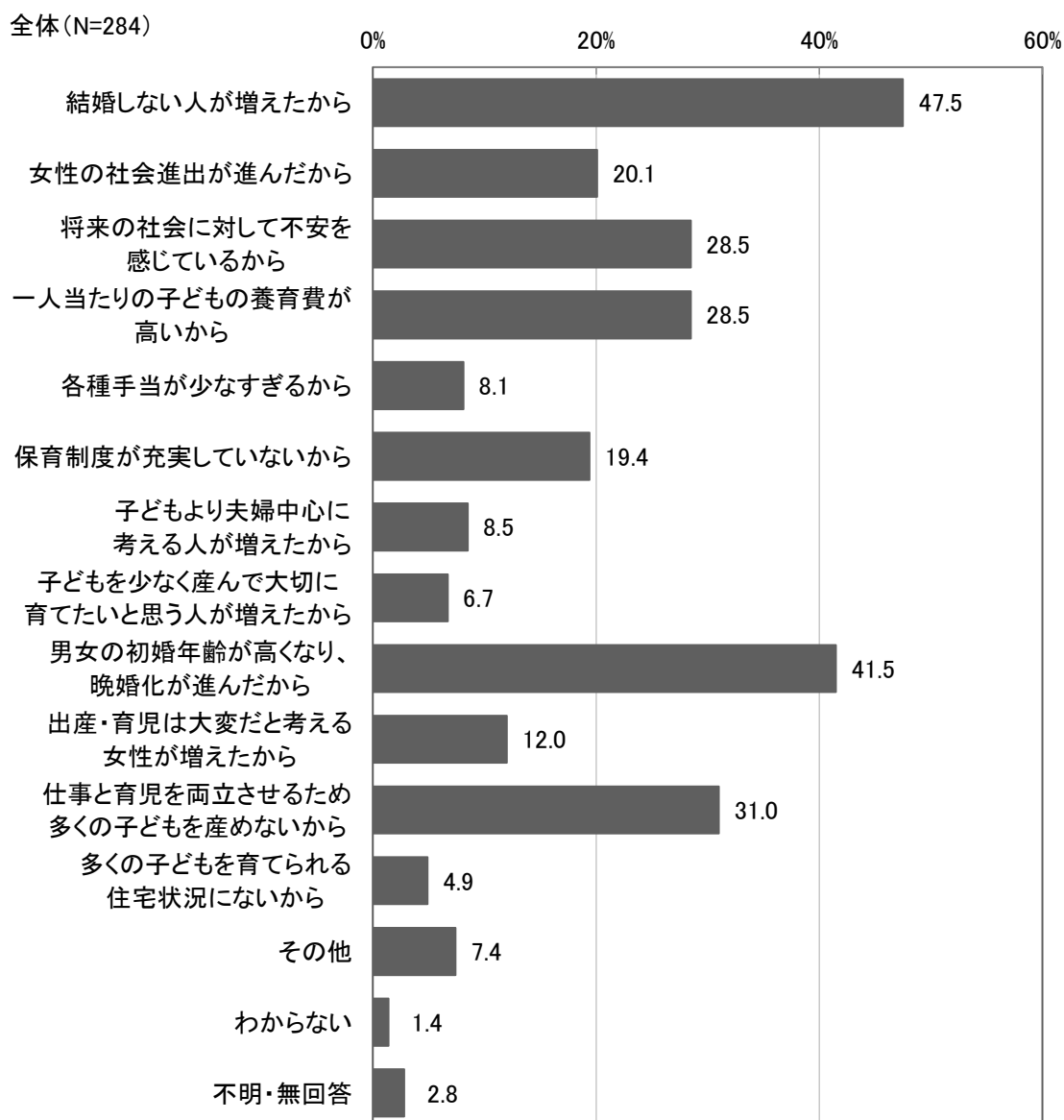
問 25

最近、出生数が少なくなっていますが、あなたはその理由は何だと思いますか。
(○は3つまで)

全体では、「結婚しない人が増えたから」が 47.5%と最も高く、次いで「男女の初婚年齢が高くなり、晩婚化が進んだから」が 41.5%となっています。

性別では、「結婚しない人が増えたから」が男性で 49.6%、女性で 45.3%となっています。

年齢区分別では、70 歳以上で「結婚しない人が増えたから」が他の年代と比べて最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		結婚しない人が増えたから	女性の社会進出が進んだから	将来の社会に対して不安を感じているから	一人当たりの子どもの養育費が高いから	各種手当が少なすぎるから	保育制度が充実していないから	子どもより夫婦中心に考える人が増えたから	子どもを少なく産んで大切に育てたいと思う人が増えたから	男女の初婚年齢が高くなり、晩婚化が進んだから
性別	男性 (N=119)	49.6	14.3	31.1	27.7	10.9	19.3	10.9	6.7	31.9
	女性 (N=161)	45.3	24.2	26.7	28.6	6.2	18.6	6.8	6.8	47.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	41.4	24.1	24.1	34.5	27.6	20.7	0.0	0.0	27.6
	30～39 歳 (N=35)	42.9	25.7	25.7	31.4	8.6	17.1	2.9	5.7	51.4
	40～49 歳 (N=57)	49.1	22.8	35.1	29.8	10.5	21.1	7.0	3.5	43.9
	50～59 歳 (N=43)	48.8	18.6	23.3	30.2	0.0	16.3	11.6	11.6	34.9
	60～69 歳 (N=57)	42.1	12.3	31.6	31.6	8.8	21.1	8.8	12.3	45.6
	70 歳以上 (N=63)	55.6	20.6	27.0	19.0	1.6	19.0	14.3	4.8	41.3

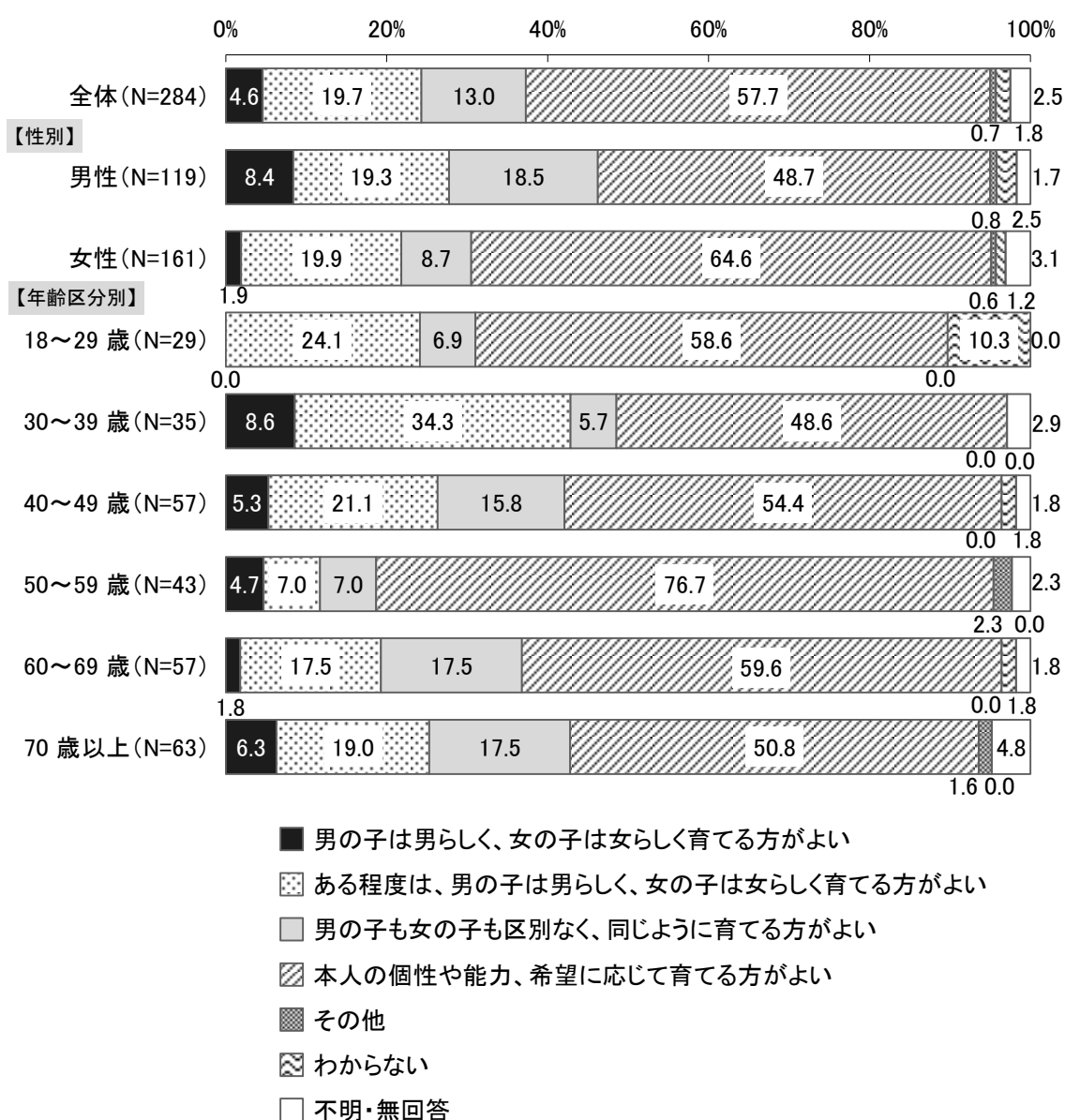
区分		出産・育児は大変だと考える女性が増えたから	仕事と育児を両立させるため多くの子どもを産めないから	多くの子どもを育てられる住宅状況にないから	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	10.9	30.3	9.2	7.6	3.4	1.7
	女性 (N=161)	13.0	31.1	1.2	7.5	0.0	3.7
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	10.3	37.9	13.8	3.4	3.4	0.0
	30～39 歳 (N=35)	2.9	22.9	2.9	11.4	2.9	2.9
	40～49 歳 (N=57)	10.5	29.8	1.8	7.0	0.0	1.8
	50～59 歳 (N=43)	16.3	23.3	2.3	11.6	0.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	10.5	42.1	7.0	5.3	3.5	1.8
	70 歳以上 (N=63)	17.5	28.6	4.8	6.3	0.0	6.3

問 26 あなたは、子どもの育て方についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

全体では、「本人の個性や能力、希望に応じて育てる方がよい」が 57.7%と最も高く、次いで「ある程度は、男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」が 19.7%となっています。

性別では、「本人の個性や能力、希望に応じて育てる方がよい」が男性で 48.7%、女性で 64.6%と最も高くなっています。

年齢区分別では、50～59 歳で「本人の個性や能力、希望に応じて育てる方がよい」が 76.7%と他の年代に比べて高くなっています。



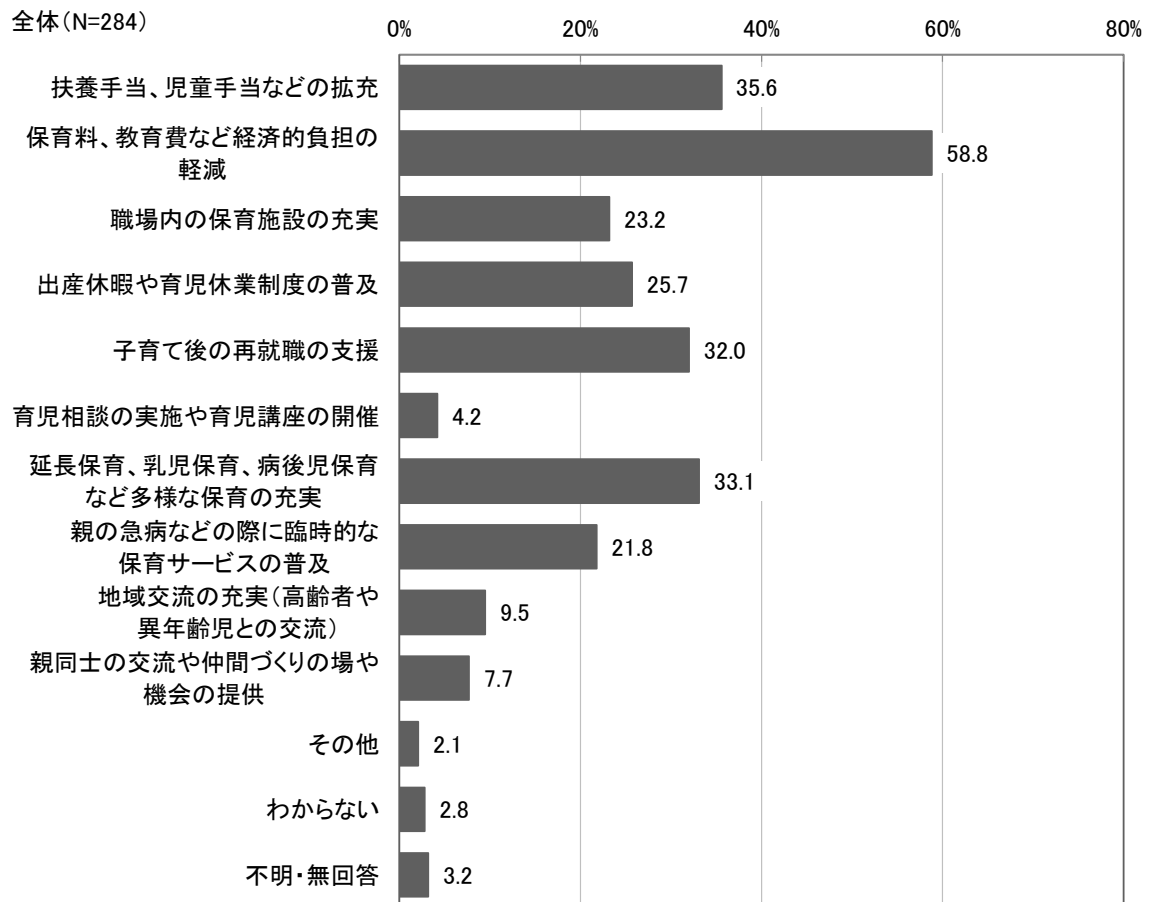
問 27

子どもを育てやすい環境づくりをするには、行政はどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「保育料、教育費など経済的負担の軽減」が 58.8%と最も高く、次いで「延長保育、乳児保育、病後児保育など多様な保育の充実」が 33.1%となっています。

性別では、「保育料、教育費など経済的負担の軽減」が男性で 62.2%、女性で 56.5%となっています。

年齢区分別では、全ての年代で、「保育料、教育費など経済的負担の軽減」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		扶養手当、児童手当などの 拡充	保育料、教育費など経済的 負担の軽減	職場内の保育施設の充実	出産休暇や育児休業制度の 普及	子育て後の再就職の支援	育児相談の実施や育児講座 の開催	延長保育、乳児保育、病後児 保育など多様な保育の充実	親の急病などの際に臨時的 な保育サービスの普及	地域交流の充実（高齢者や 異年齢児との交流）
性別	男性（N=119）	42.0	62.2	18.5	31.1	21.8	3.4	26.1	15.1	5.0
	女性（N=161）	31.7	56.5	26.7	21.7	40.4	5.0	37.9	26.7	13.0
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	44.8	58.6	10.3	41.4	48.3	6.9	24.1	27.6	0.0
	30～39 歳（N=35）	54.3	62.9	22.9	22.9	28.6	0.0	25.7	14.3	17.1
	40～49 歳（N=57）	38.6	47.4	29.8	21.1	35.1	7.0	38.6	29.8	8.8
	50～59 歳（N=43）	20.9	55.8	14.0	16.3	16.3	7.0	41.9	20.9	7.0
	60～69 歳（N=57）	26.3	64.9	35.1	26.3	28.1	3.5	35.1	19.3	10.5
	70 歳以上（N=63）	36.5	63.5	19.0	30.2	38.1	1.6	28.6	19.0	11.1

区分		親同士の交流や仲間づくりの場 や機会の提供	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性（N=119）	6.7	3.4	5.0	2.5
	女性（N=161）	8.7	1.2	1.2	3.1
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	10.3	3.4	3.4	0.0
	30～39 歳（N=35）	2.9	2.9	2.9	2.9
	40～49 歳（N=57）	7.0	0.0	5.3	1.8
	50～59 歳（N=43）	7.0	9.3	2.3	2.3
	60～69 歳（N=57）	7.0	0.0	3.5	5.3
	70 歳以上（N=63）	11.1	0.0	0.0	4.8

問 28

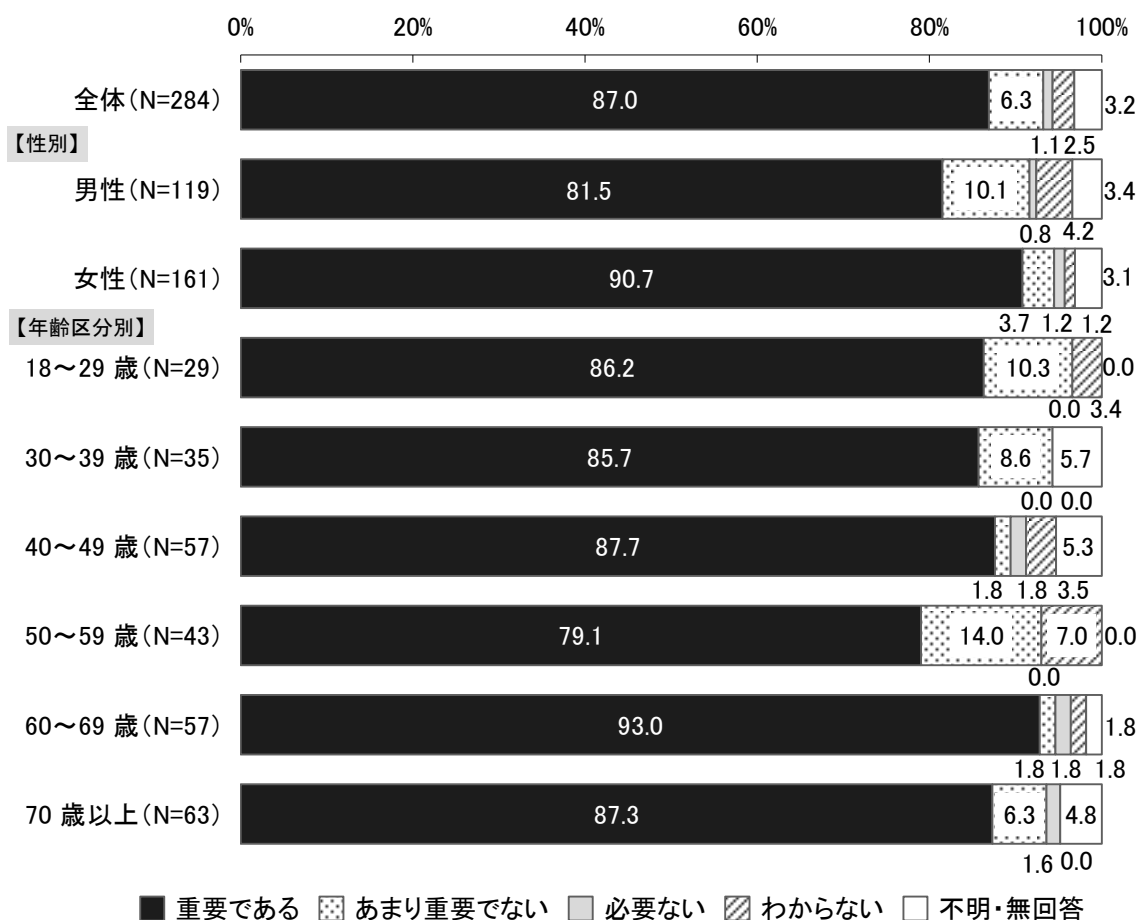
子どもを産み育てやすい環境づくりのための今後の対策について、どのように思っていますか。(〇は各項目1つずつ)

【1 保育サービス(延長保育、乳児保育など)の充実】

全体では、「重要である」が87.0%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が6.3%となっています。

性別では、「重要である」が男性で81.5%、女性で90.7%となっています。

年齢区分別では、60～69歳で「重要である」が93.0%と他の年代より高くなっています。

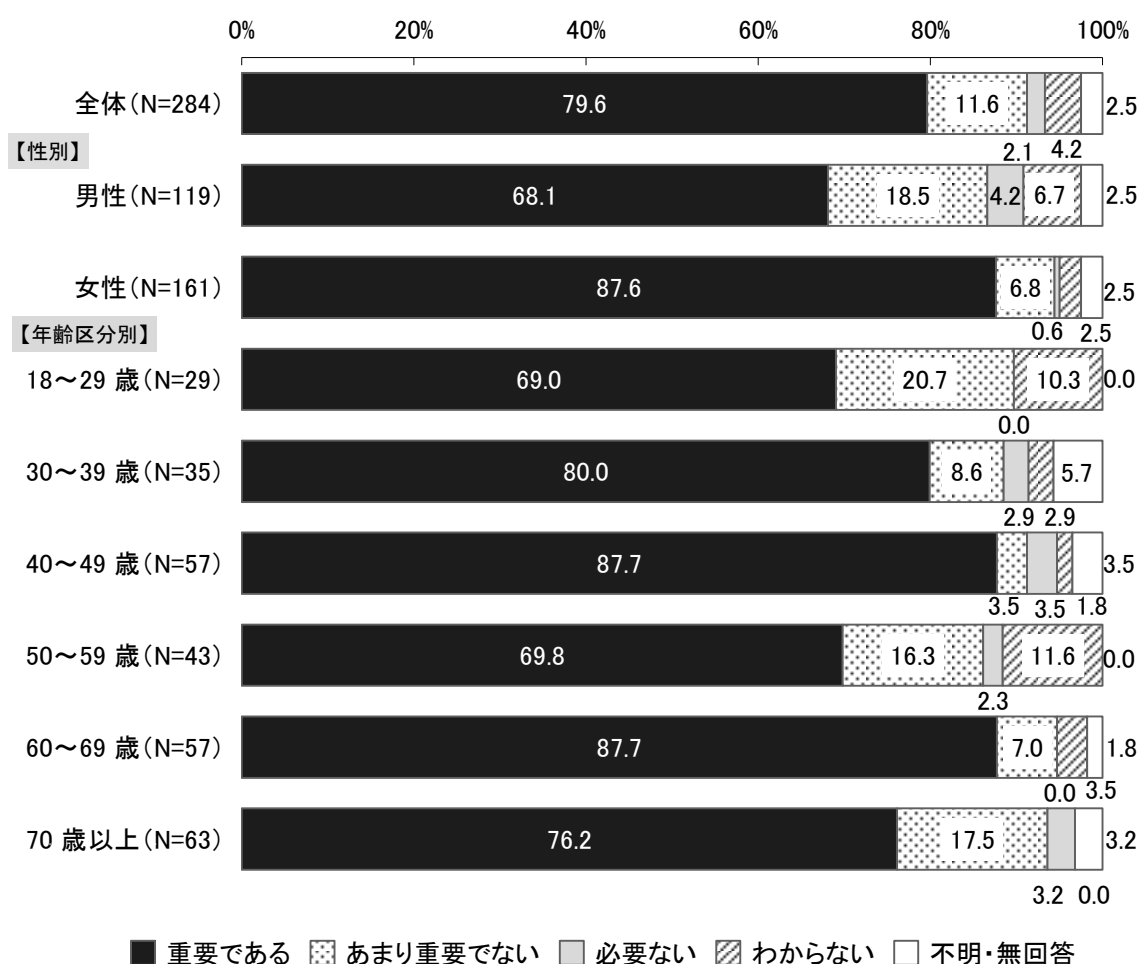


【2 放課後児童対策として、放課後子ども教室の充実と支援】

全体では、「重要である」が 79.6%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が 11.6%となっています。

性別では、「重要である」が男性で 68.1%、女性で 87.6%となっています。

年齢区分別では、18～29 歳で「あまり重要でない」が 2 割超と他の年代より高くなっています。

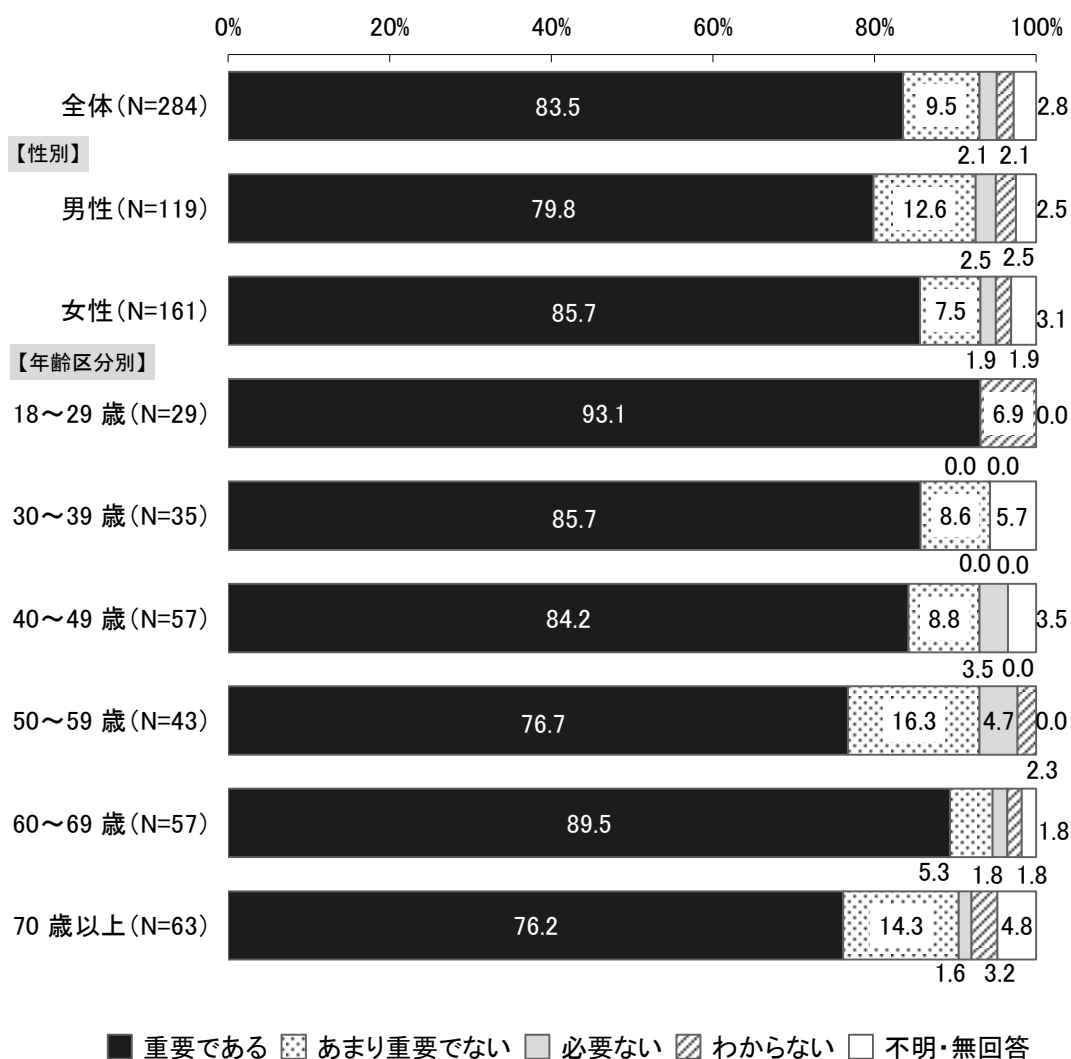


【3 保育料、教育費など経済的負担の軽減】

全体では、「重要である」が83.5%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が9.5%となっています。

性別では、「重要である」が男性で79.8%、女性で85.7%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「重要である」が9割超と高くなっています。

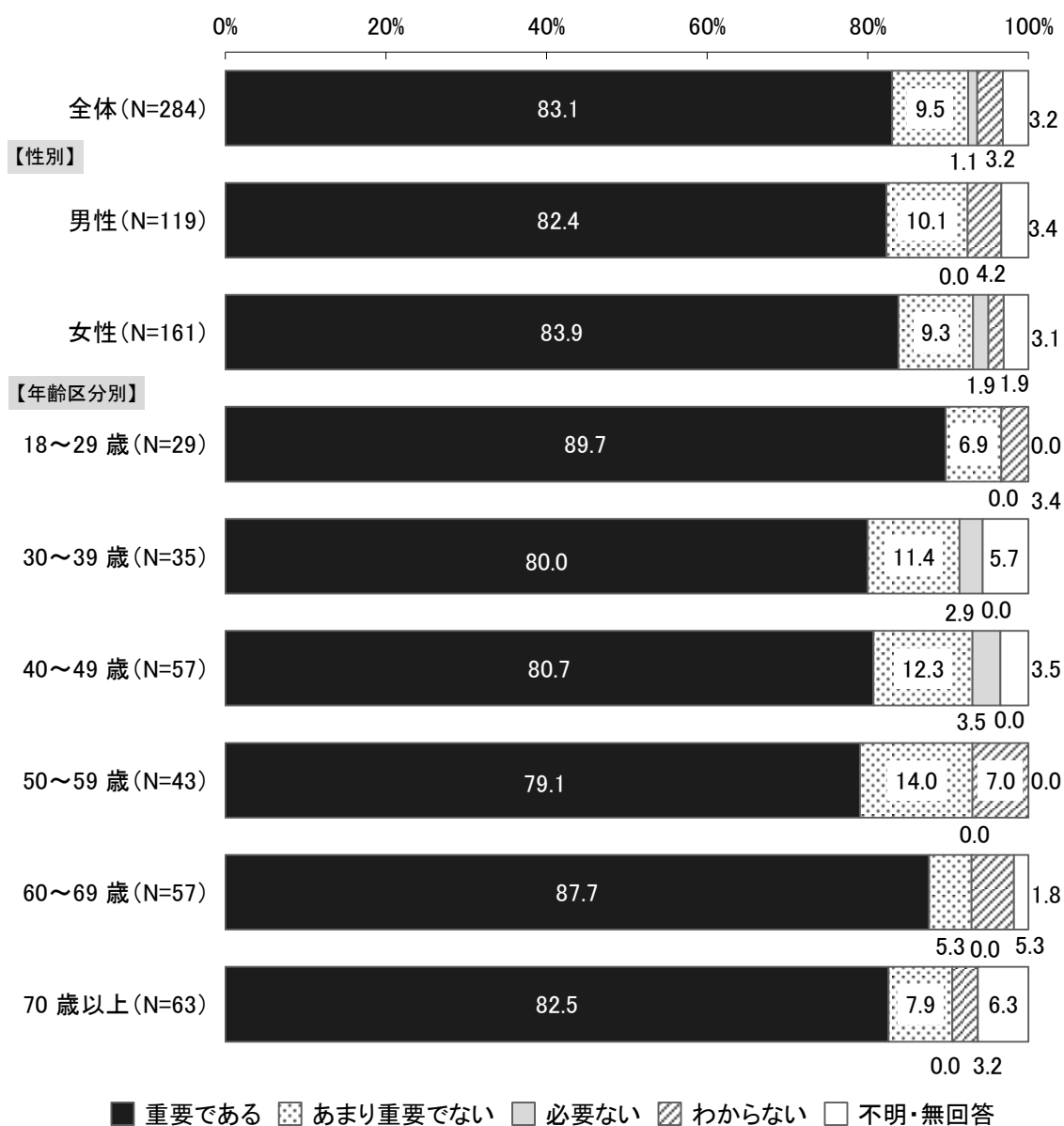


【4 出産休業制度の活用と促進】

全体では、「重要である」が83.1%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が9.5%となっています。

性別では、「重要である」が男性で82.4%、女性で83.9%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「重要である」が89.7%と他の年代より高くなっています。

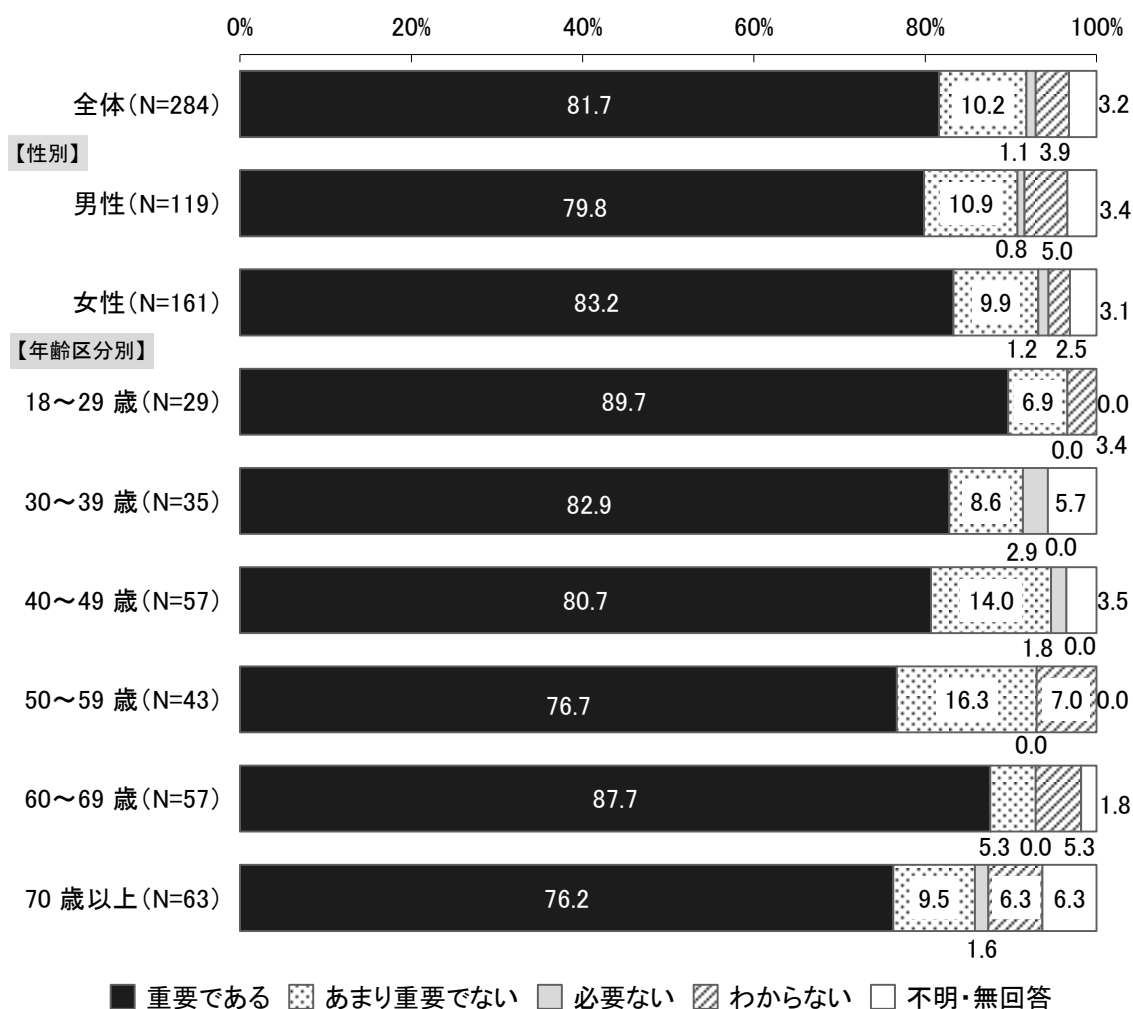


【5 育児休業制度の活用と促進】

全体では、「重要である」が81.7%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が10.2%となっています。

性別では、「重要である」が男性で79.8%、女性で83.2%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「重要である」が89.7%と高くなっています。

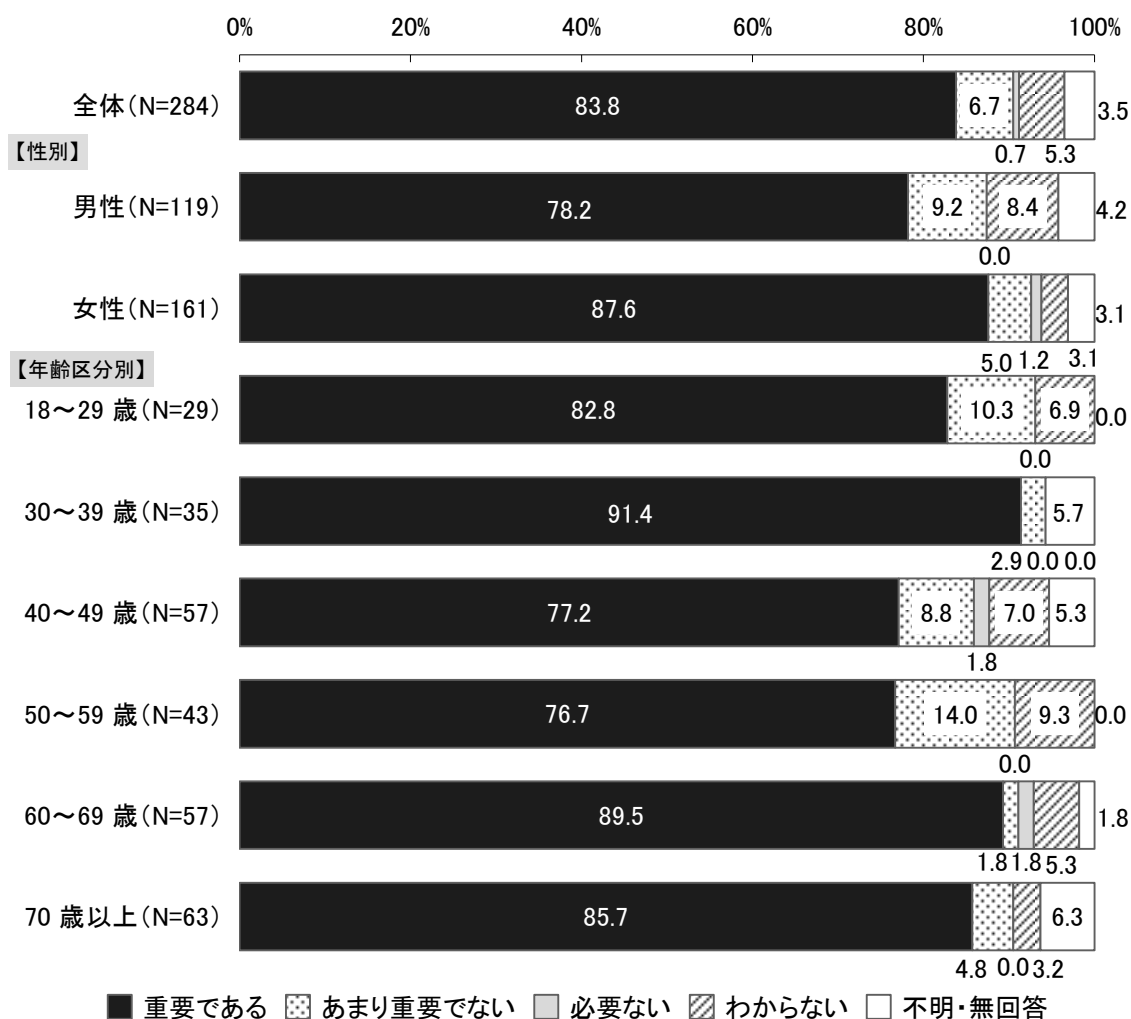


【6 再雇用制度(育児等の理由で退職した後、復職できる)の促進】

全体では、「重要である」が83.8%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が6.7%となっています。

性別では、「重要である」が男性で78.2%、女性で87.6%となっています。

年齢区分別では、30～39歳で「重要である」が9割超と高くなっています。

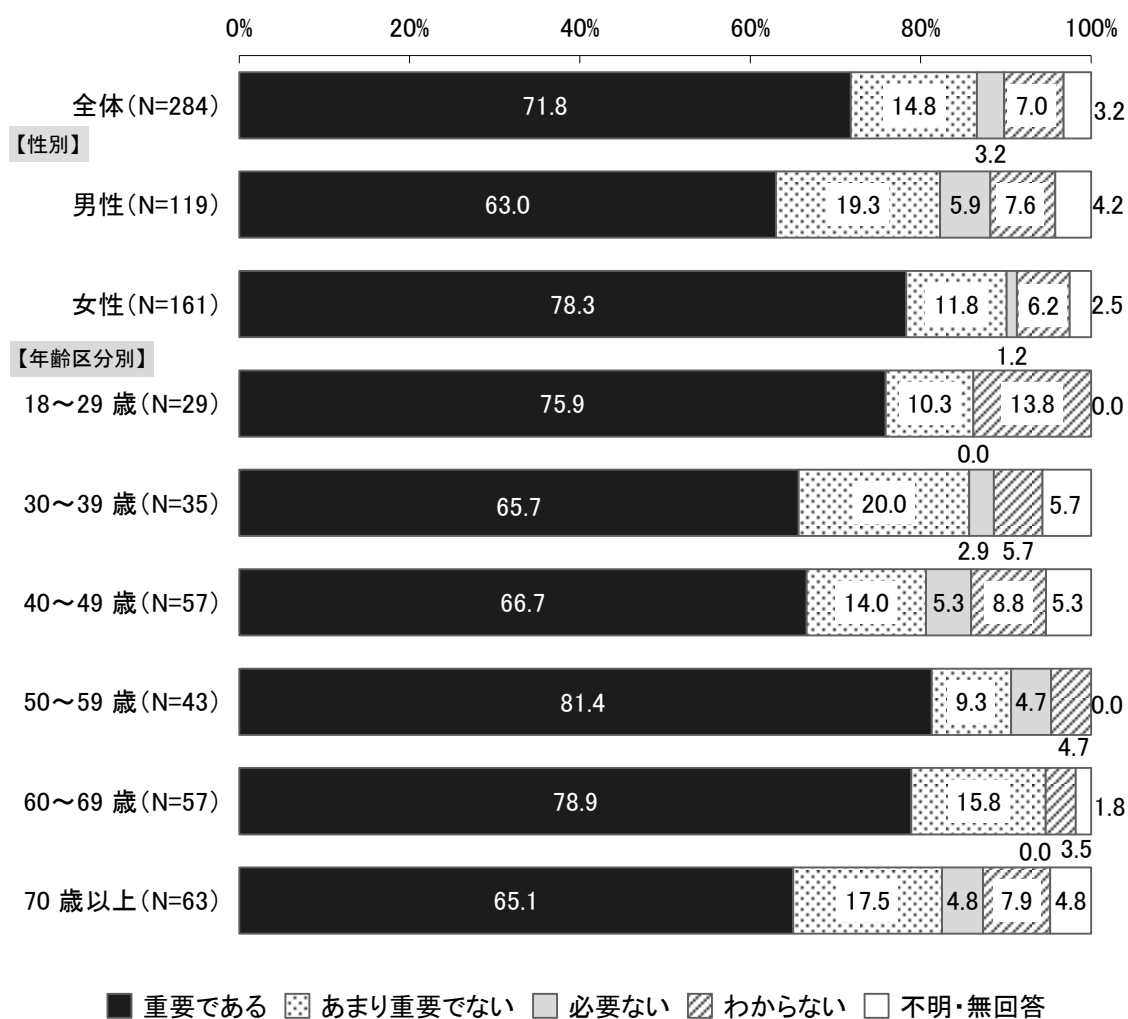


【7 フレックスタイム(労働者が自由に出勤、退勤時刻を決める制度)の導入など勤務形態の多様化】

全体では、「重要である」が71.8%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が14.8%となっています。

性別では、「重要である」が男性で63.0%、女性で78.3%となっています。

年齢別では、50～59歳で「重要である」が8割超と高くなっています。

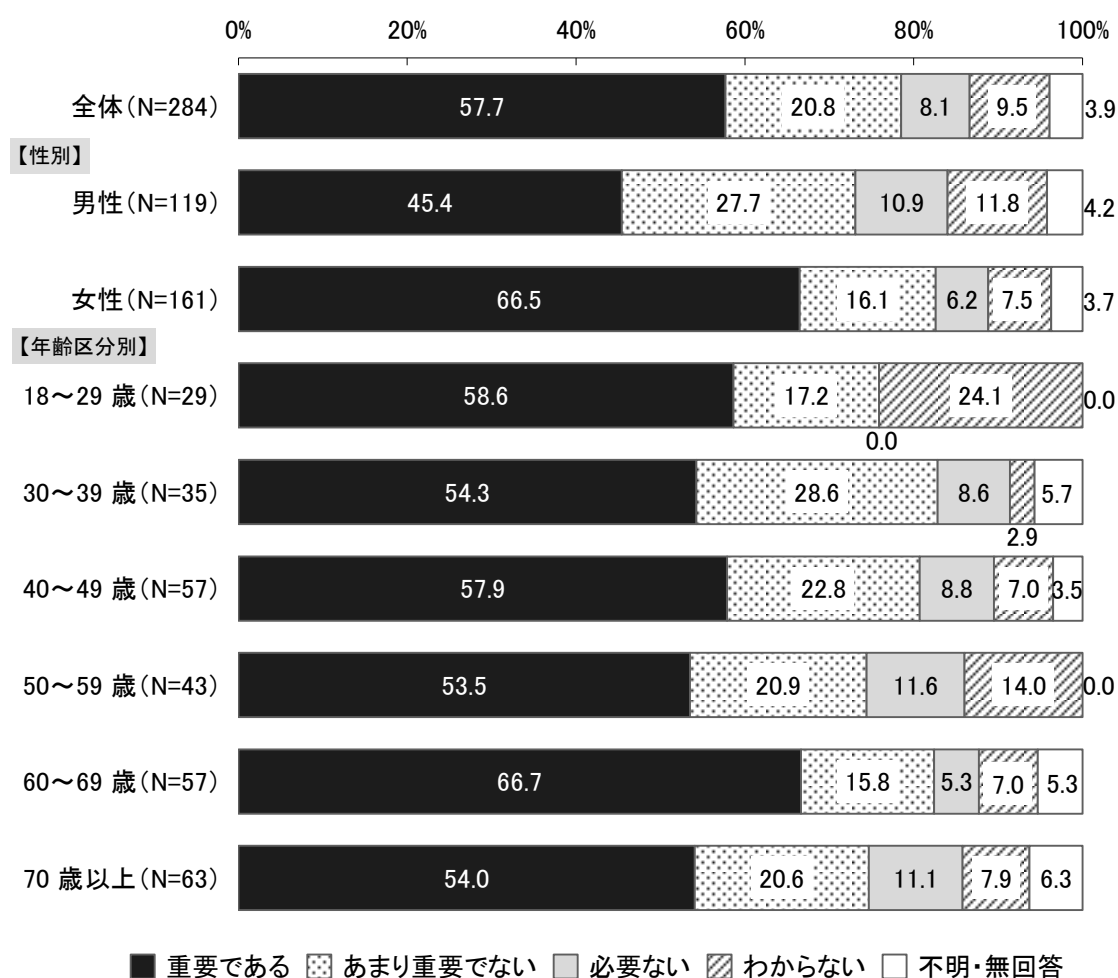


【8 職場内での保育施設の整備・充実】

全体では、「重要である」が 57.7%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が 20.8%となっています。

性別では、「重要である」が男性で 45.4%、女性で 66.5%となっています。

年齢区分別では、30～39 歳で「あまり重要でない」が 3 割弱と他の年代より高くなっています。

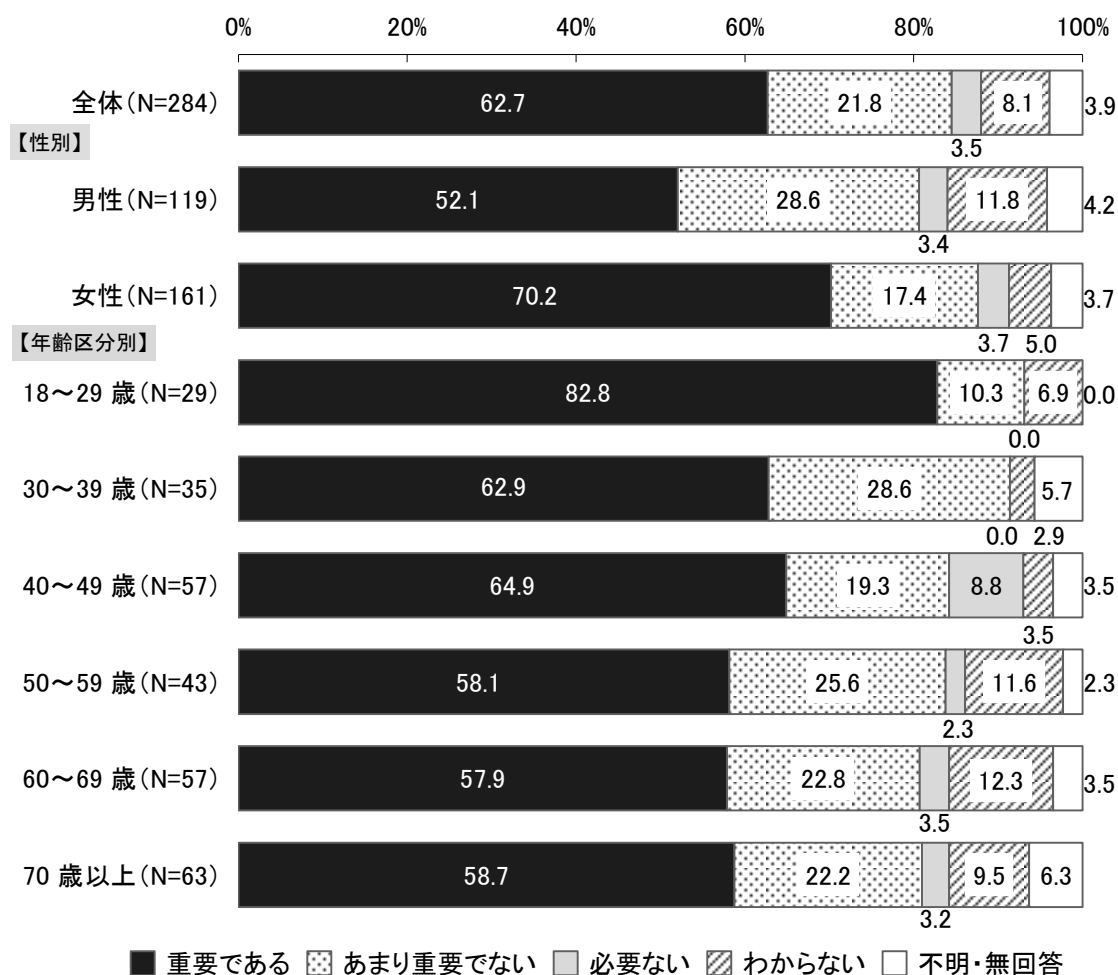


【9 ゆとりある住宅の整備や遊び場の確保等、健全に育成できる環境づくり】

全体では、「重要である」が62.7%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が21.8%となっています。

性別では、「重要である」が52.1%、女性が70.2%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「重要である」が82.8%と最も高くなっています。

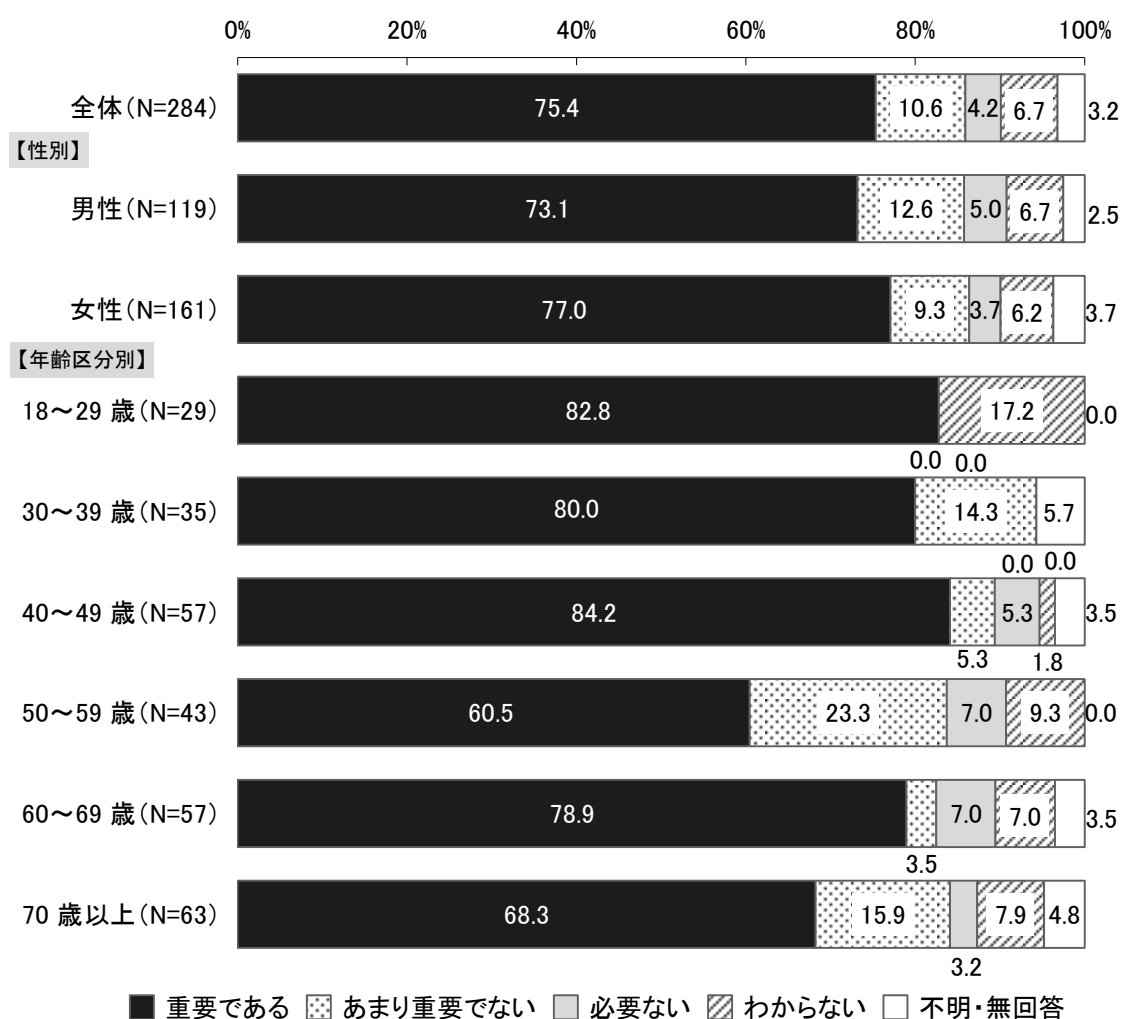


【10 児童手当や奨学金制度の資金助成の拡充】

全体では、「重要である」が75.4%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が10.6%となっています。

性別では、「重要である」が男性で73.1%、女性で77.0%となっています。

年齢区分別では、50～59歳で「あまり重要でない」が2割超と他の年代より高くなっています。

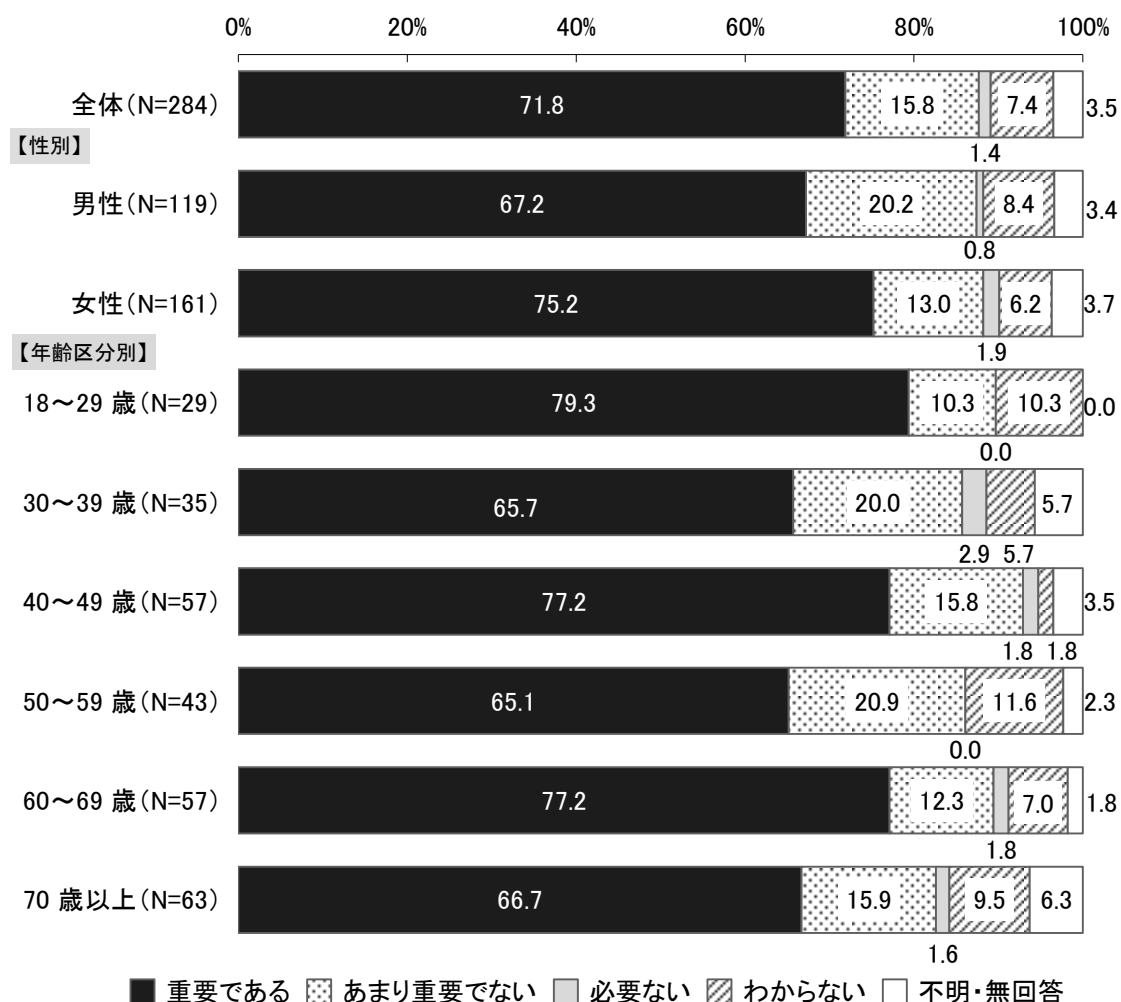


【11 妊娠・出産・育児の相談・支援体制の充実】

全体では、「重要である」が71.8%と最も高く、次いで、「あまり重要でない」が15.8%となっています。

性別では、「重要である」が男性で67.2%、女性で75.2%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「重要である」が79.3%と最も高くなっています。

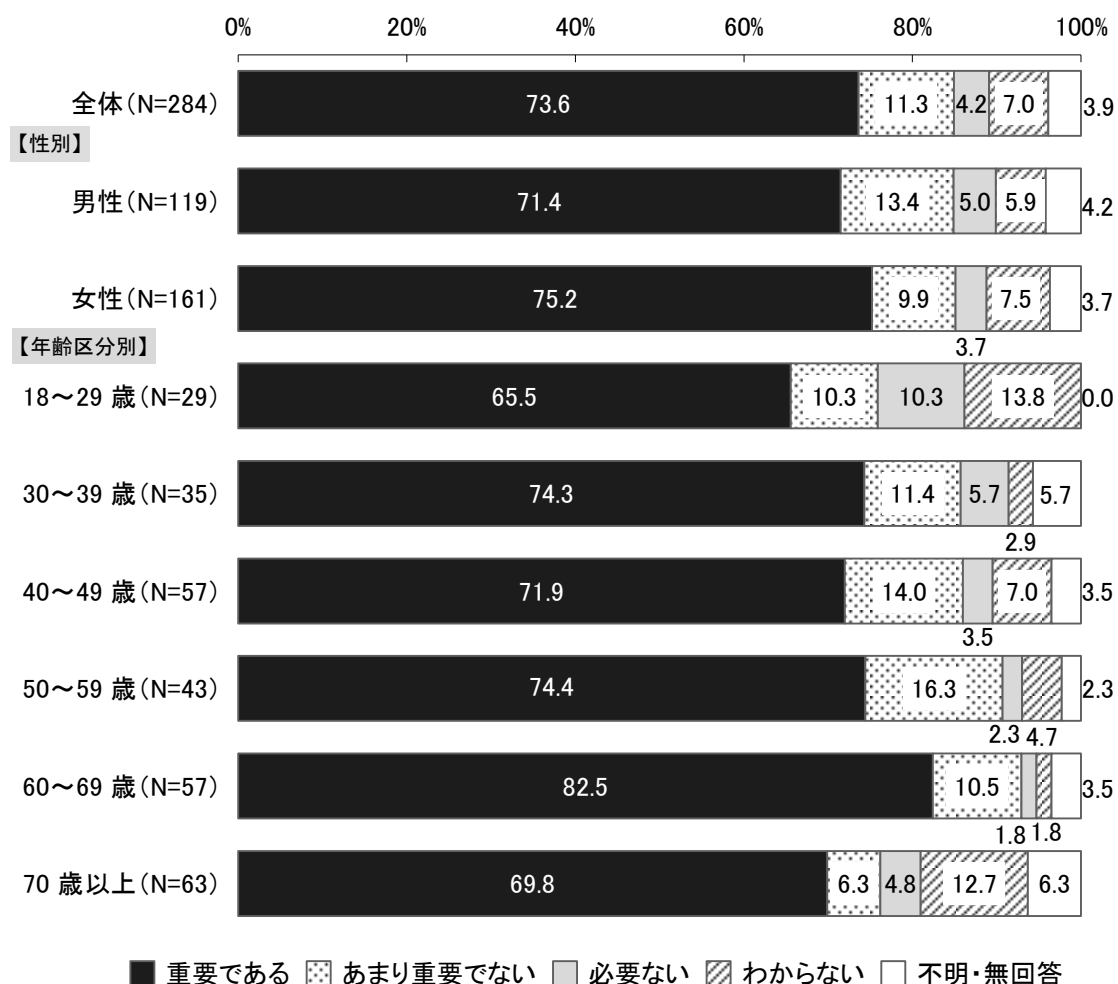


【12 男性も女性も子育てと仕事をともに行うことがあたりまえとする考え方】

全体では、「重要である」が73.6%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が11.3%となっています。

性別では、「重要である」が男性で71.4%、女性で75.2%となっています。

年齢区分別では、60～69歳で「重要である」が82.5%と最も高くなっています。

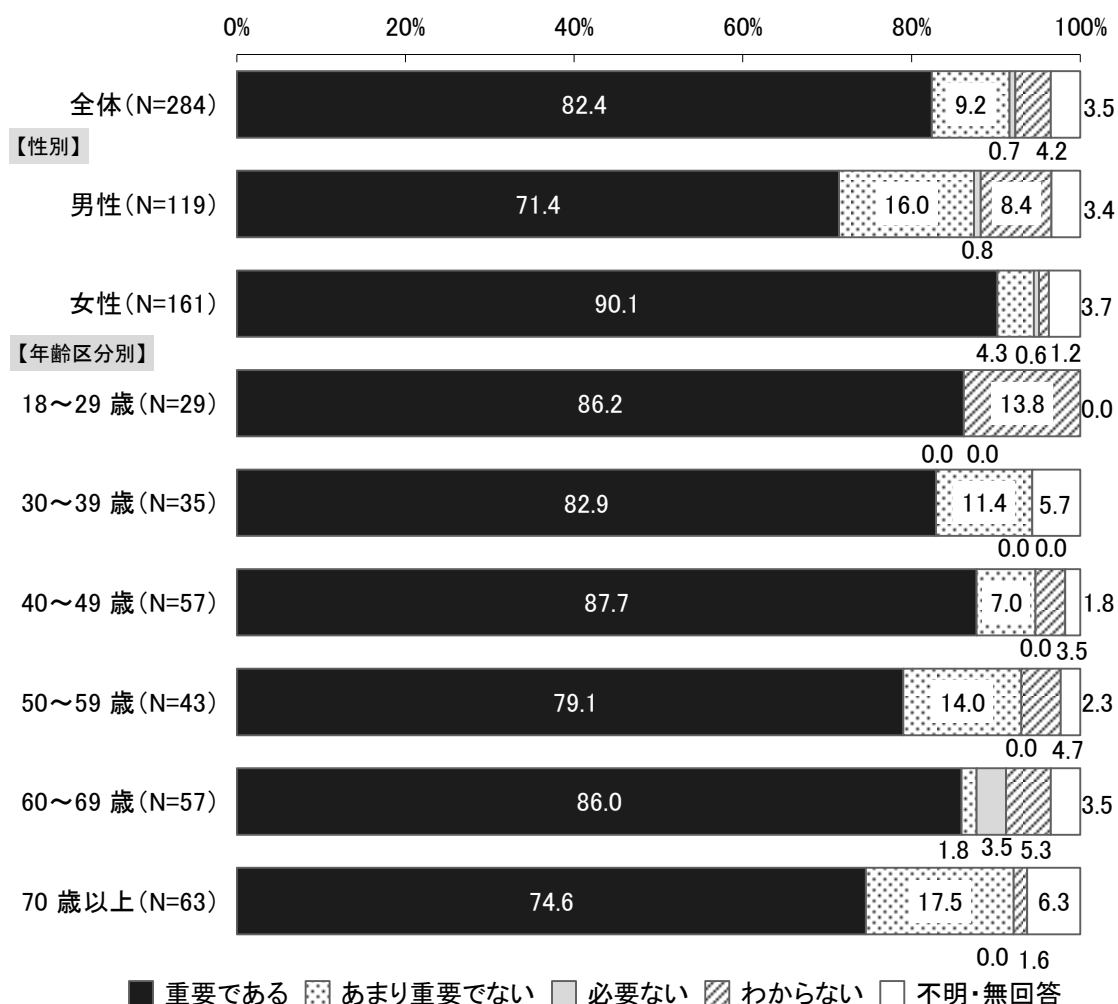


【13 緊急時（親の病気や急用時）の臨時保育サービスの普及】

全体では、「重要である」が82.4%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が9.2%となっています。

性別では、「重要である」が71.4%、女性で90.1%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「わからない」が13.8%と他の年代より高くなっています。

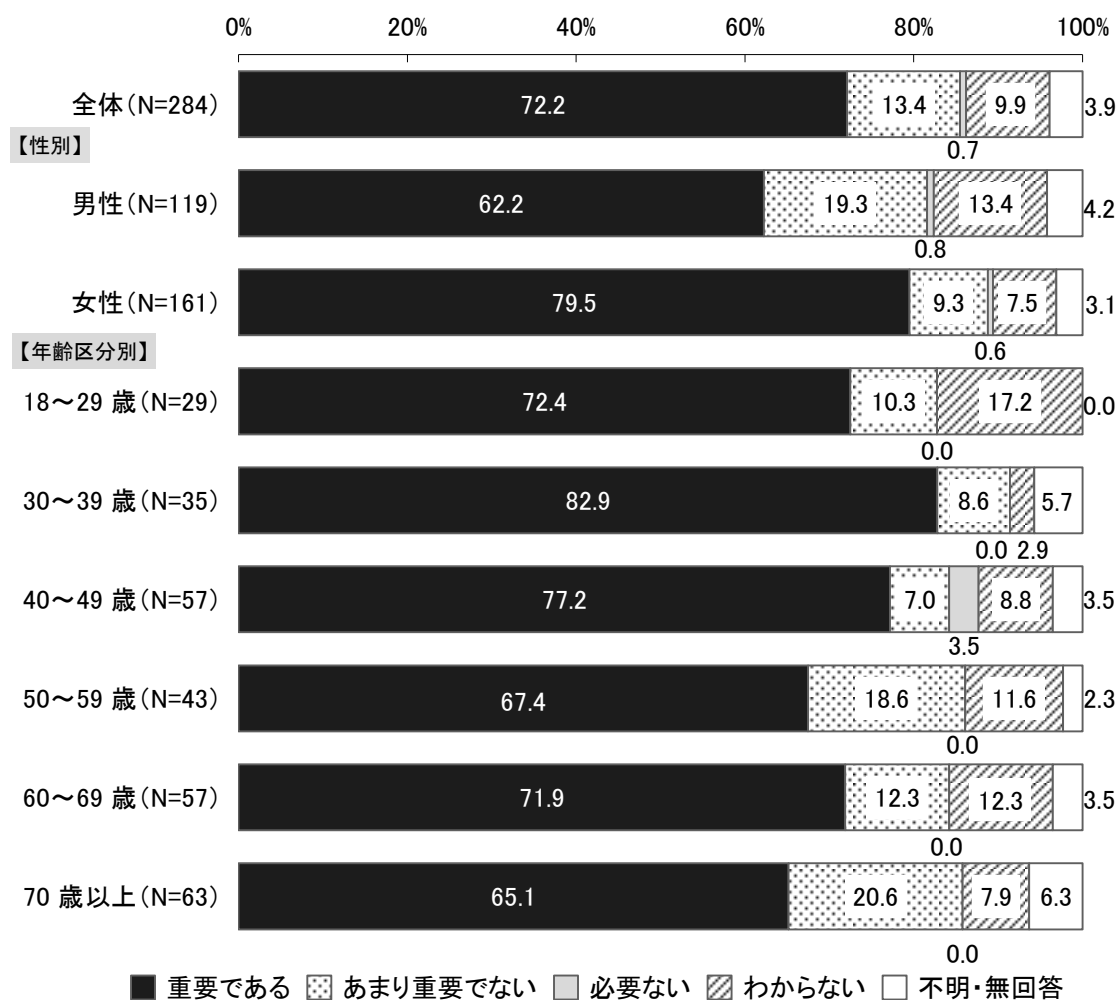


【14 家族の家庭生活への協力等の意識改革】

全体では、「重要である」が72.2%と最も高く、次いで「あまり重要でない」が13.4%となっています。

性別では、「重要である」が男性で62.2%、女性で79.5%となっています。

年齢区分別では、30～39歳で「重要である」が82.9%と高くなっています。



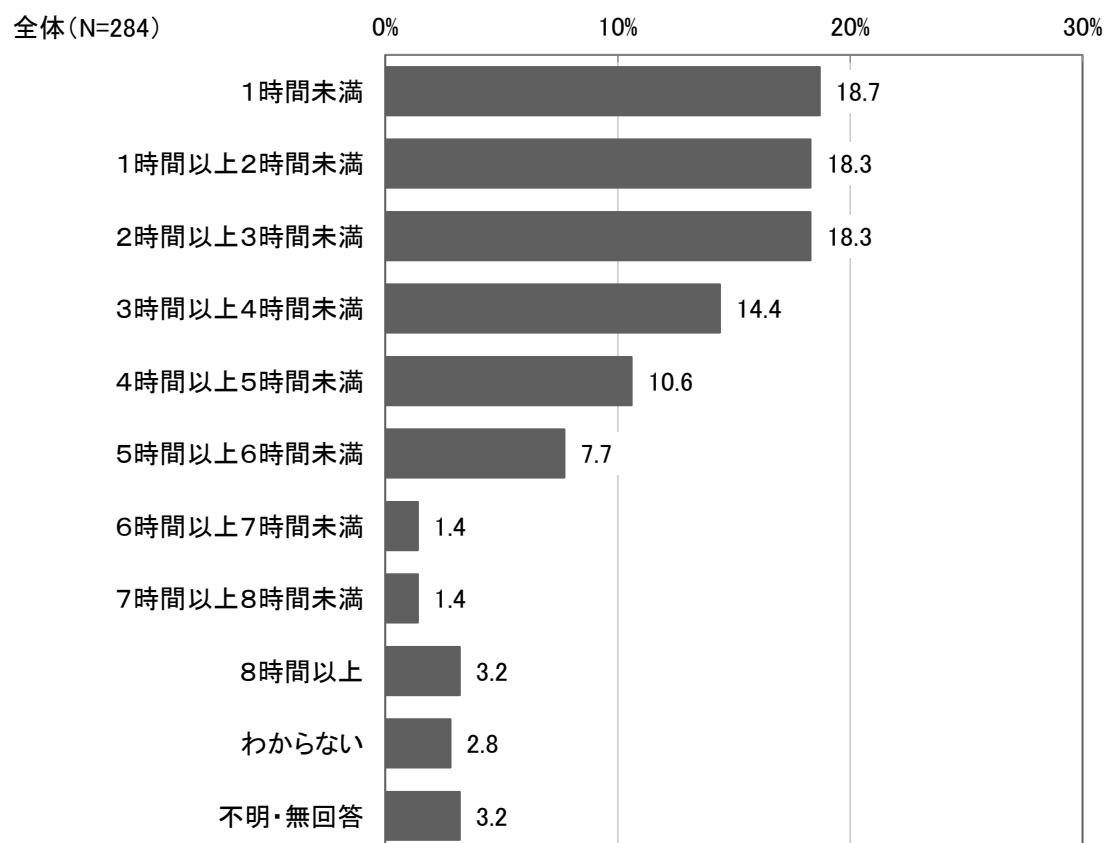
問 29

あなたの1日あたりの家事時間は平均してどれくらいですか。(○は1つだけ)

全体では、「1時間未満」が18.7%と最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」、「2時間以上3時間未満」が18.3%となっています。

性別では、「1時間未満」が男性で37.8%、女性で5.0%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「1時間未満」が4割超と他の年代に比べて高くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上
性別	男性 (N=119)	37.8	25.2	15.1	4.2	5.0	3.4	0.0	0.0	0.8
	女性 (N=161)	5.0	12.4	21.1	21.1	14.9	11.2	2.5	2.5	5.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	41.4	27.6	10.3	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0	3.4
	30～39 歳 (N=35)	25.7	14.3	20.0	5.7	14.3	5.7	0.0	0.0	8.6
	40～49 歳 (N=57)	12.3	19.3	19.3	17.5	15.8	7.0	5.3	1.8	0.0
	50～59 歳 (N=43)	25.6	14.0	16.3	23.3	2.3	11.6	0.0	0.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	15.8	15.8	26.3	12.3	7.0	8.8	0.0	1.8	5.3
	70 歳以上 (N=63)	7.9	20.6	14.3	19.0	15.9	6.3	1.6	3.2	1.6

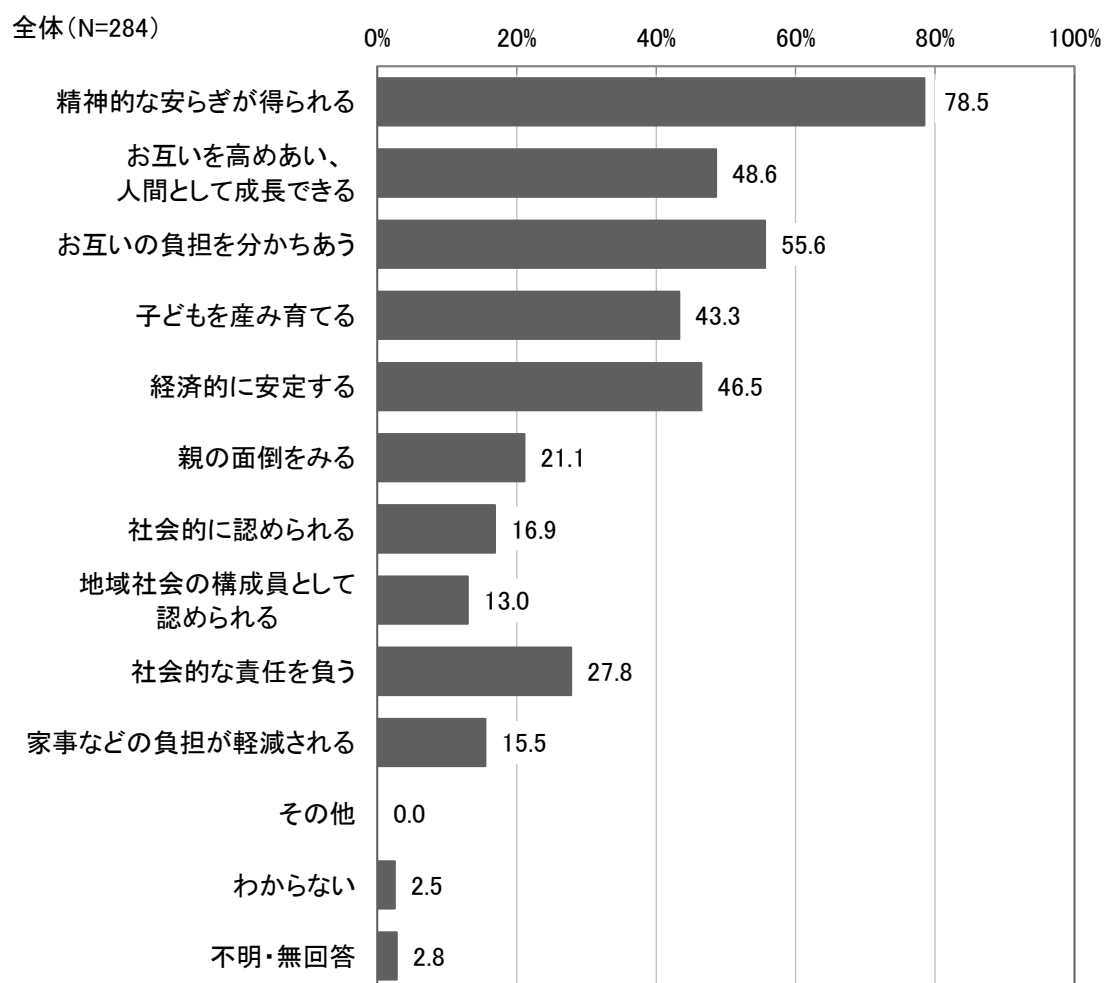
区分		わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	4.2	4.2
	女性 (N=161)	1.9	2.5
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	6.9	0.0
	30～39 歳 (N=35)	0.0	5.7
	40～49 歳 (N=57)	0.0	1.8
	50～59 歳 (N=43)	4.7	0.0
	60～69 歳 (N=57)	3.5	3.5
	70 歳以上 (N=63)	3.2	6.3

問 30

あなたは、家庭がもつ役割としてどのようなものが考えられると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「精神的な安らぎが得られる」が 78.5%と最も高く、次いで「お互いの負担を分かちあう」が 55.6%となっています。

性別では、「精神的な安らぎが得られる」が男性で 73.9%、女性で 82.6%となっています。
年齢区分別では、全ての年代で「精神的な安らぎが得られる」が7割超と高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		精神的な安らぎが得られる	お互いを高めあい、人間として成長できる	お互いの負担を分かちあう	子どもを産み育てる	経済的に安定する	親の面倒をみる	社会的に認められる	地域社会の構成員として認められる	社会的な責任を負う
性別	男性 (N=119)	73.9	46.2	56.3	34.5	40.3	18.5	21.8	16.0	33.6
	女性 (N=161)	82.6	50.9	55.3	49.1	50.9	23.6	13.0	11.2	24.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	79.3	34.5	55.2	48.3	24.1	17.2	24.1	10.3	20.7
	30～39 歳 (N=35)	74.3	34.3	54.3	42.9	51.4	22.9	8.6	5.7	11.4
	40～49 歳 (N=57)	73.7	49.1	52.6	47.4	47.4	21.1	14.0	5.3	22.8
	50～59 歳 (N=43)	79.1	51.2	48.8	30.2	37.2	14.0	14.0	9.3	18.6
	60～69 歳 (N=57)	78.9	57.9	61.4	54.4	49.1	22.8	17.5	22.8	28.1
	70 歳以上 (N=63)	84.1	52.4	58.7	36.5	57.1	25.4	22.2	19.0	50.8

区分		家事などの負担が軽減される	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	16.8	0.0	3.4	2.5
	女性 (N=161)	14.9	0.0	1.9	3.1
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	17.2	0.0	6.9	0.0
	30～39 歳 (N=35)	5.7	0.0	2.9	5.7
	40～49 歳 (N=57)	14.0	0.0	3.5	1.8
	50～59 歳 (N=43)	7.0	0.0	0.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	22.8	0.0	3.5	1.8
	70 歳以上 (N=63)	20.6	0.0	0.0	4.8

問 31

あなたのご家庭では、どのような割合で次の 1～14 のことがらを分担しているか教えてください。また、同様に、理想とする分担のあり方を教えてください。1～14 のそれぞれについて、回答欄の該当する箇所には○印を付けてください。(○は「①現実・現状」「②希望」の欄にそれぞれ1つずつ)

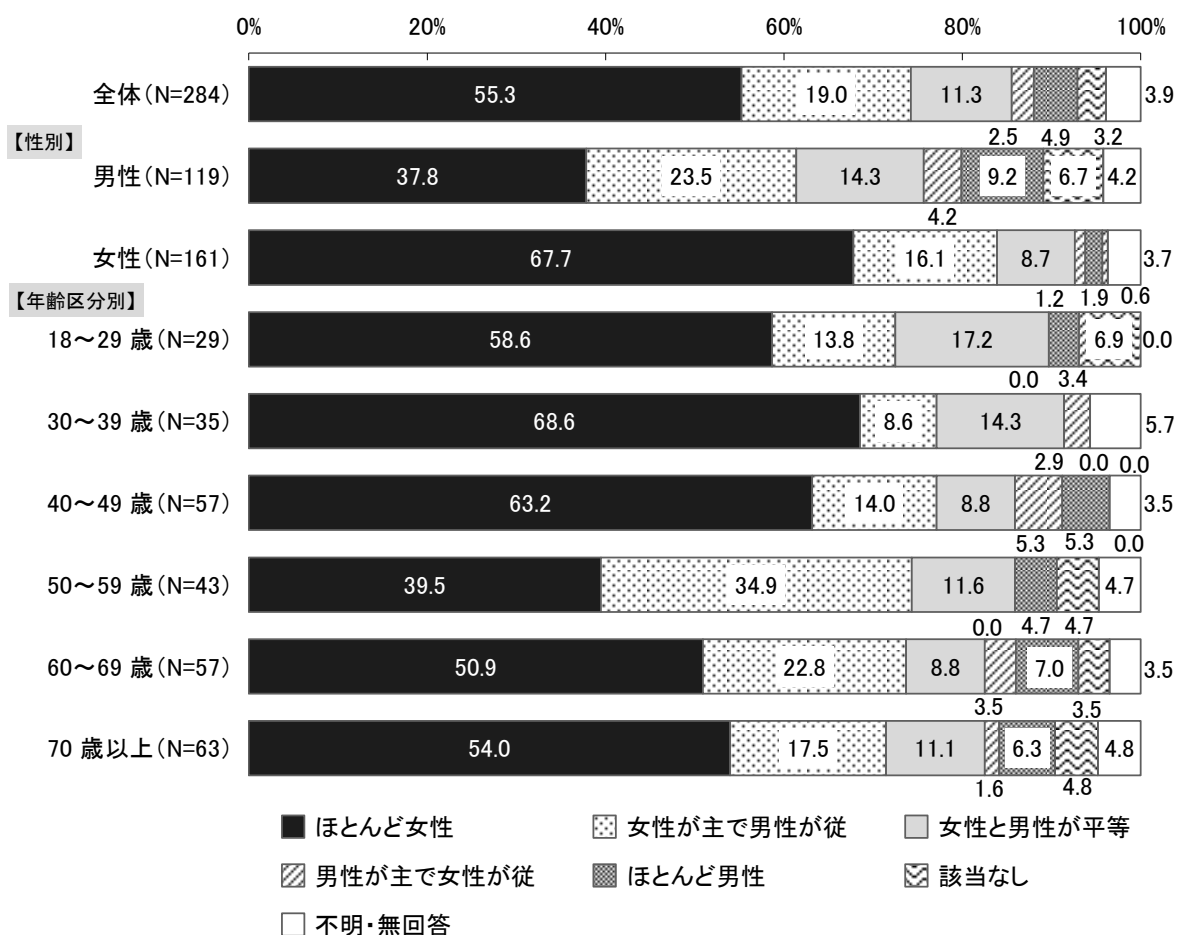
【1 食事をつくる】

全体では、①現在について、「ほとんど女性」が 55.3%と最も高くなっていますが、②理想では、「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

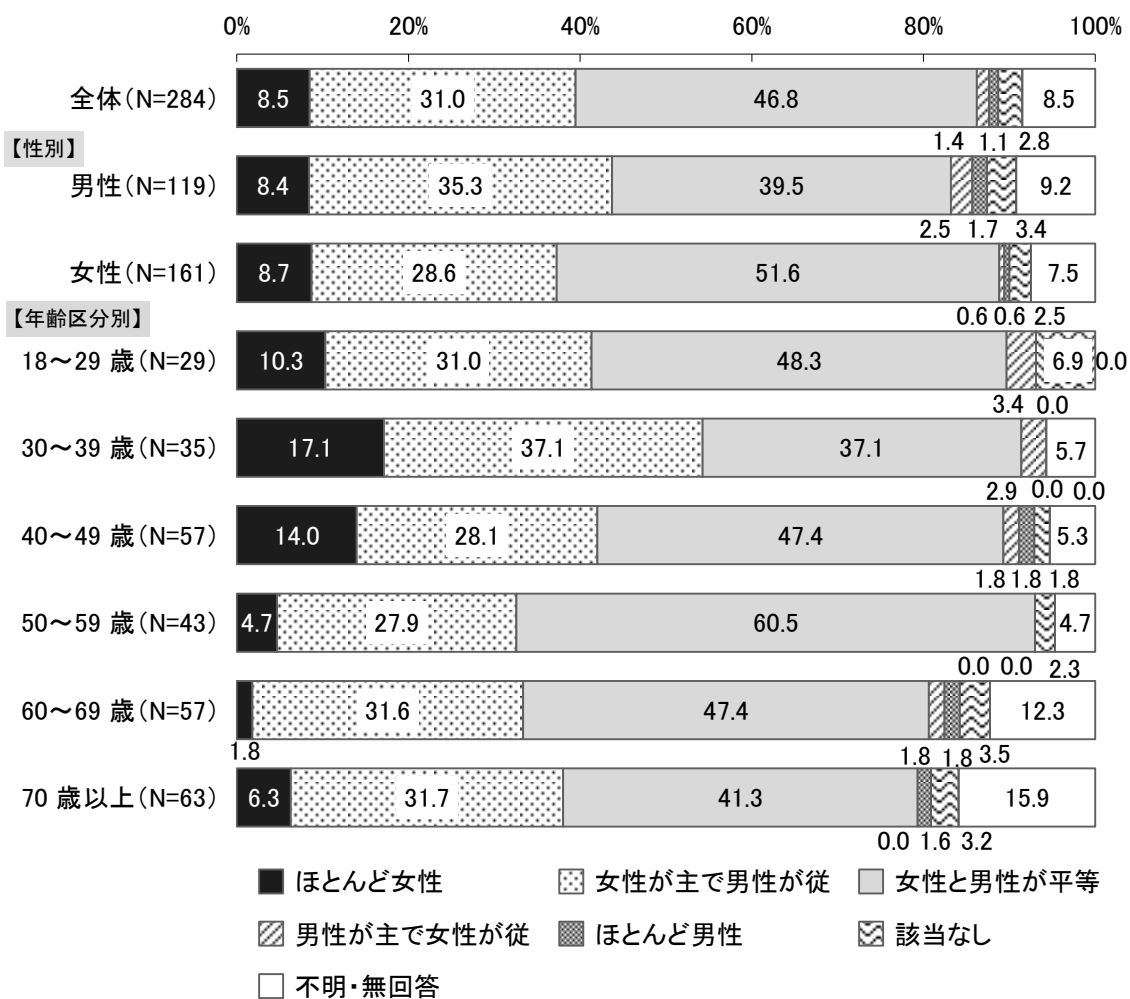
性別では、①現在の「ほとんど女性」、②理想の「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、50～59 歳で①現在の「ほとんど女性」が他の年代に比べて低くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が他の年代と比べて高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



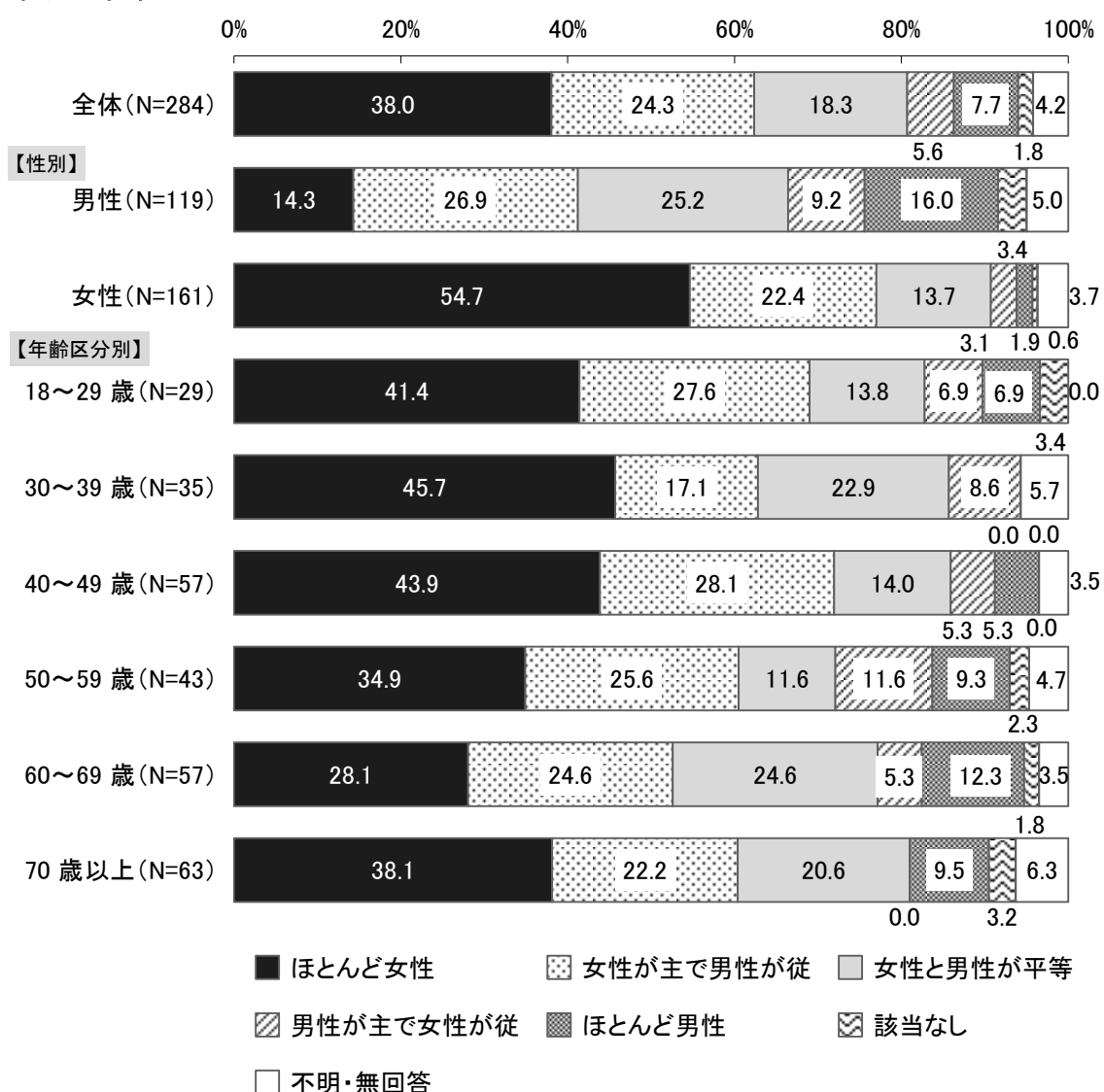
【2 食事の片付け】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が38.0%と最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が54.9%と最も高くなっています。

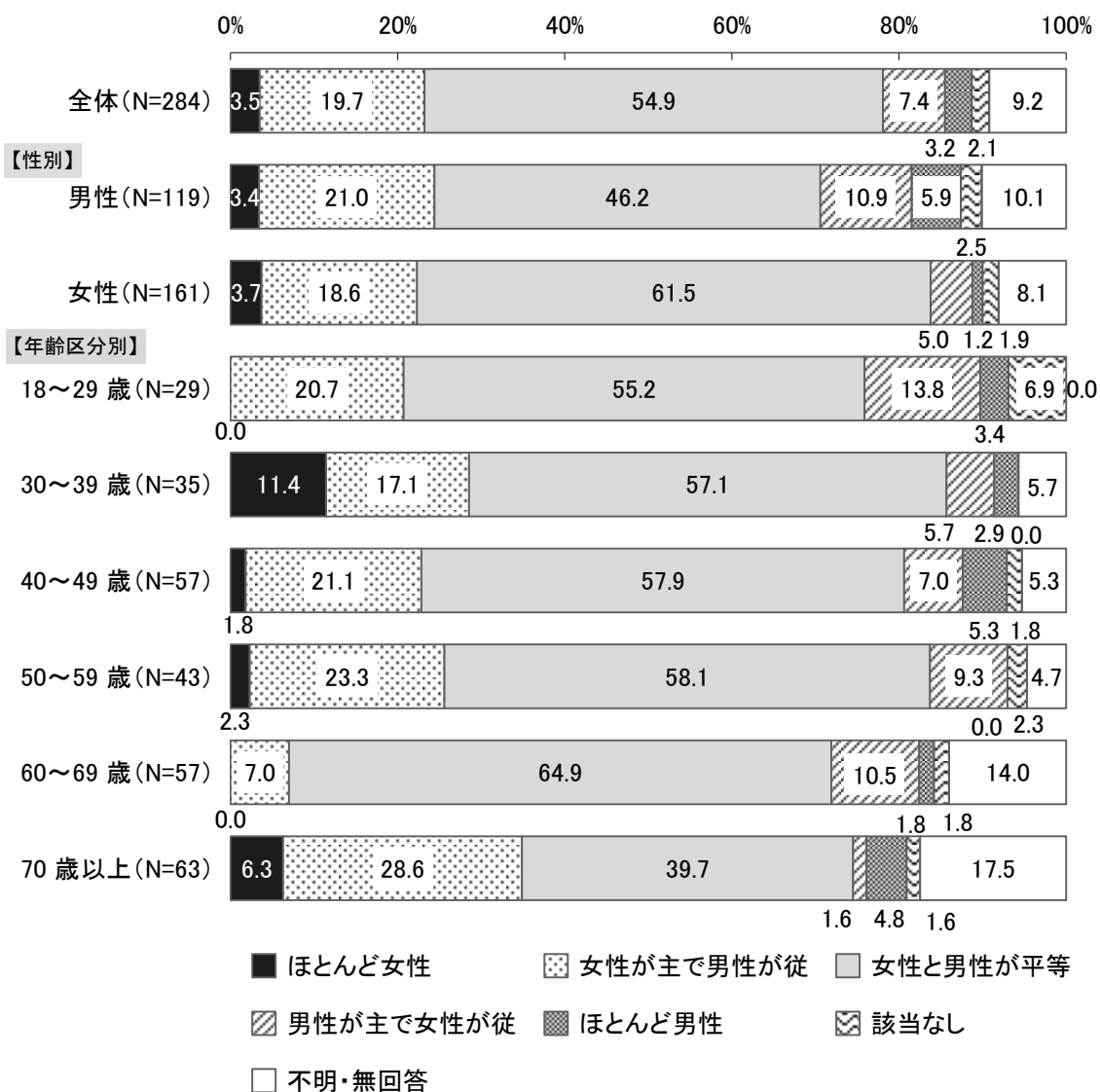
性別では、①現在で「ほとんど女性」が男性で14.3%、女性で54.7%となっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で「ほとんど女性」がいずれの年代で最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」がいずれの年代で最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



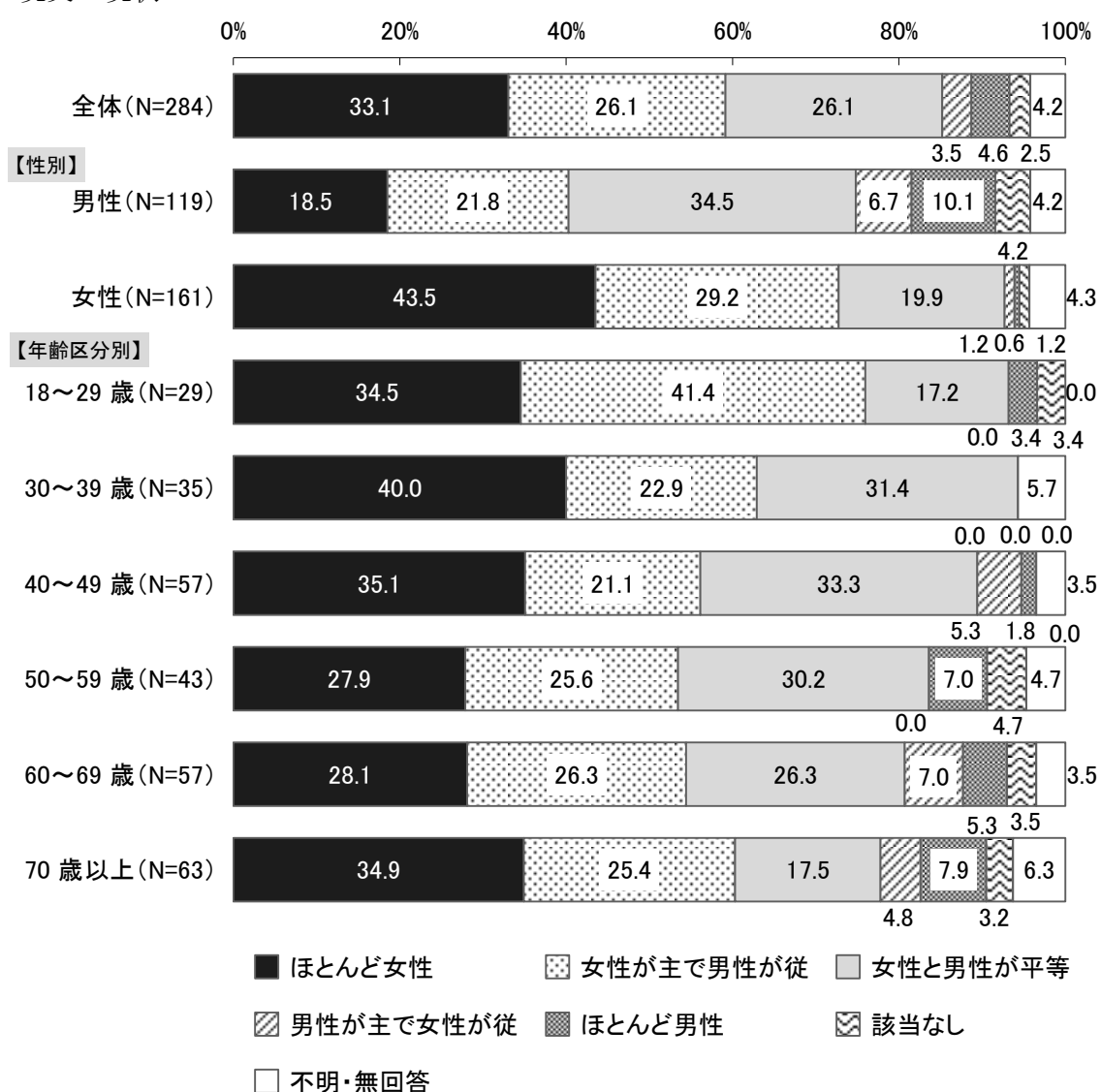
【3 食料品など日常の買い物】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が 33.1%と最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が 56.3%と最も高くなっています。

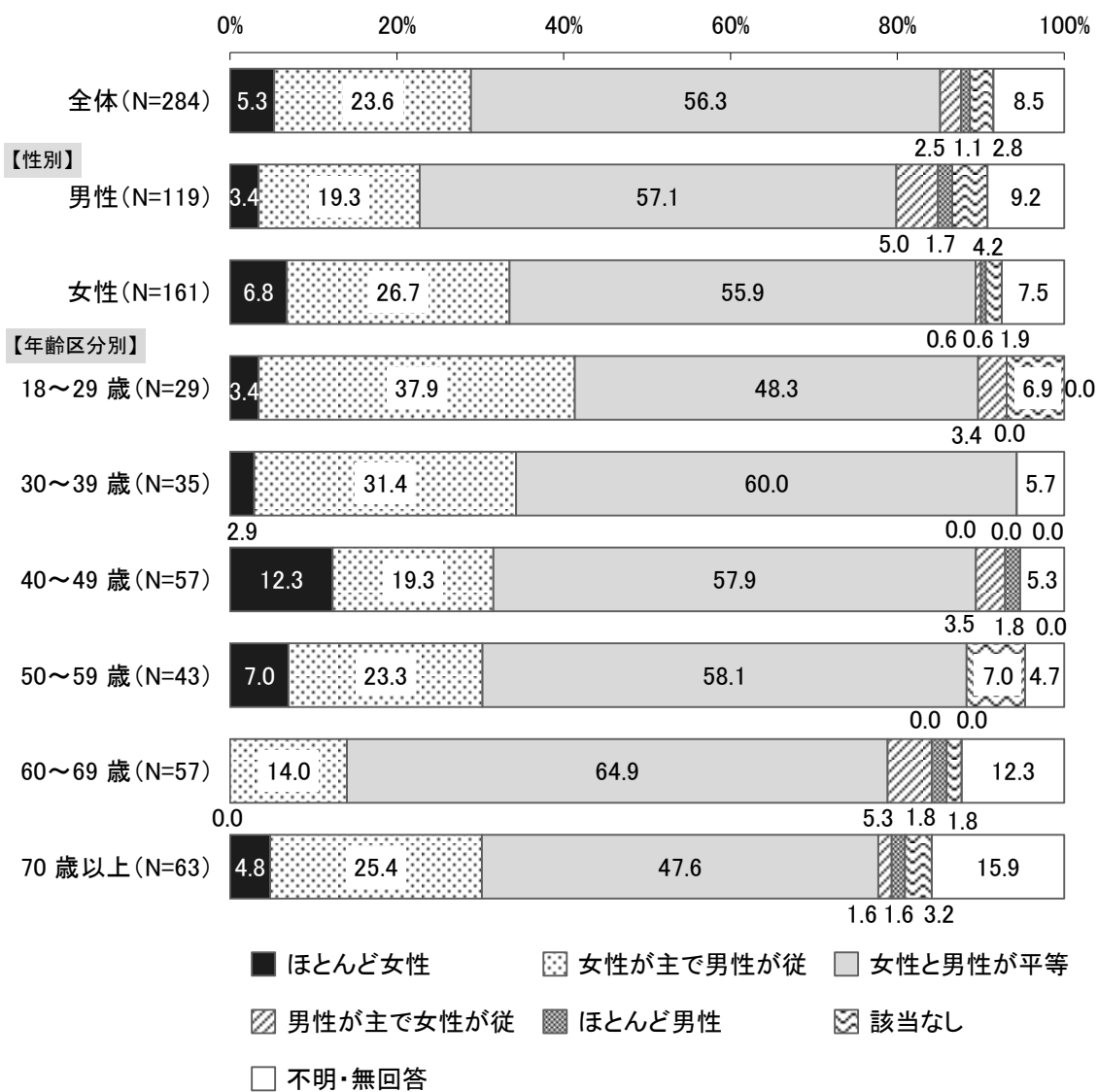
性別では、①現在で男性では「女性と男性が平等」が最も高く、女性では、「ほとんど女性」が最も高くなっています。②理想では、「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で 50～59 歳のみ「女性と男性が平等」が「ほとんど女性」より高くなっています。また②理想では 40～49 歳で「ほとんど女性」が他の年代より高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



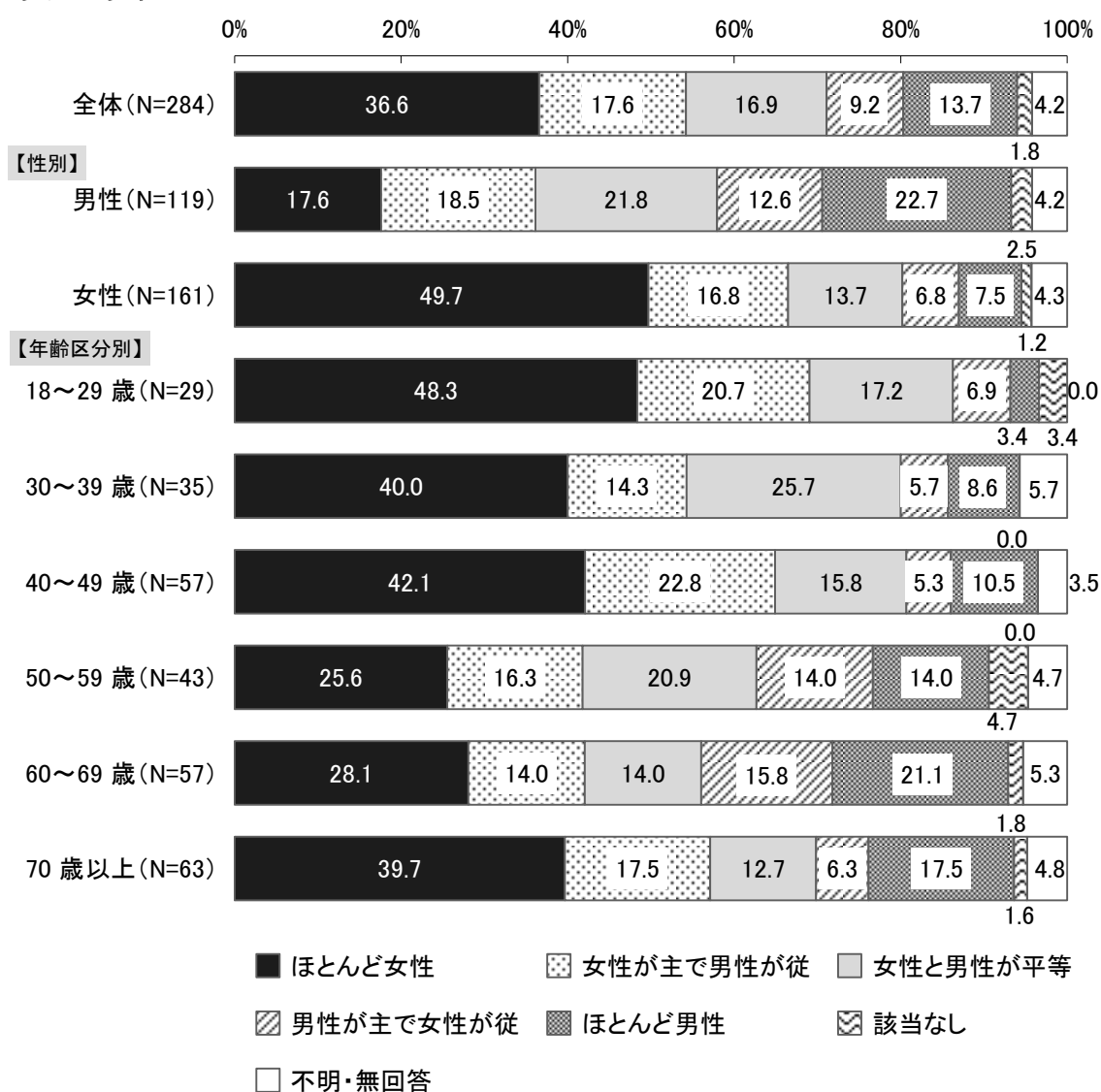
【4 風呂の準備や掃除】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が36.6%と最も高くなっていますが、②理想では、「女性と男性が平等」が60.6%と最も高くなっています。

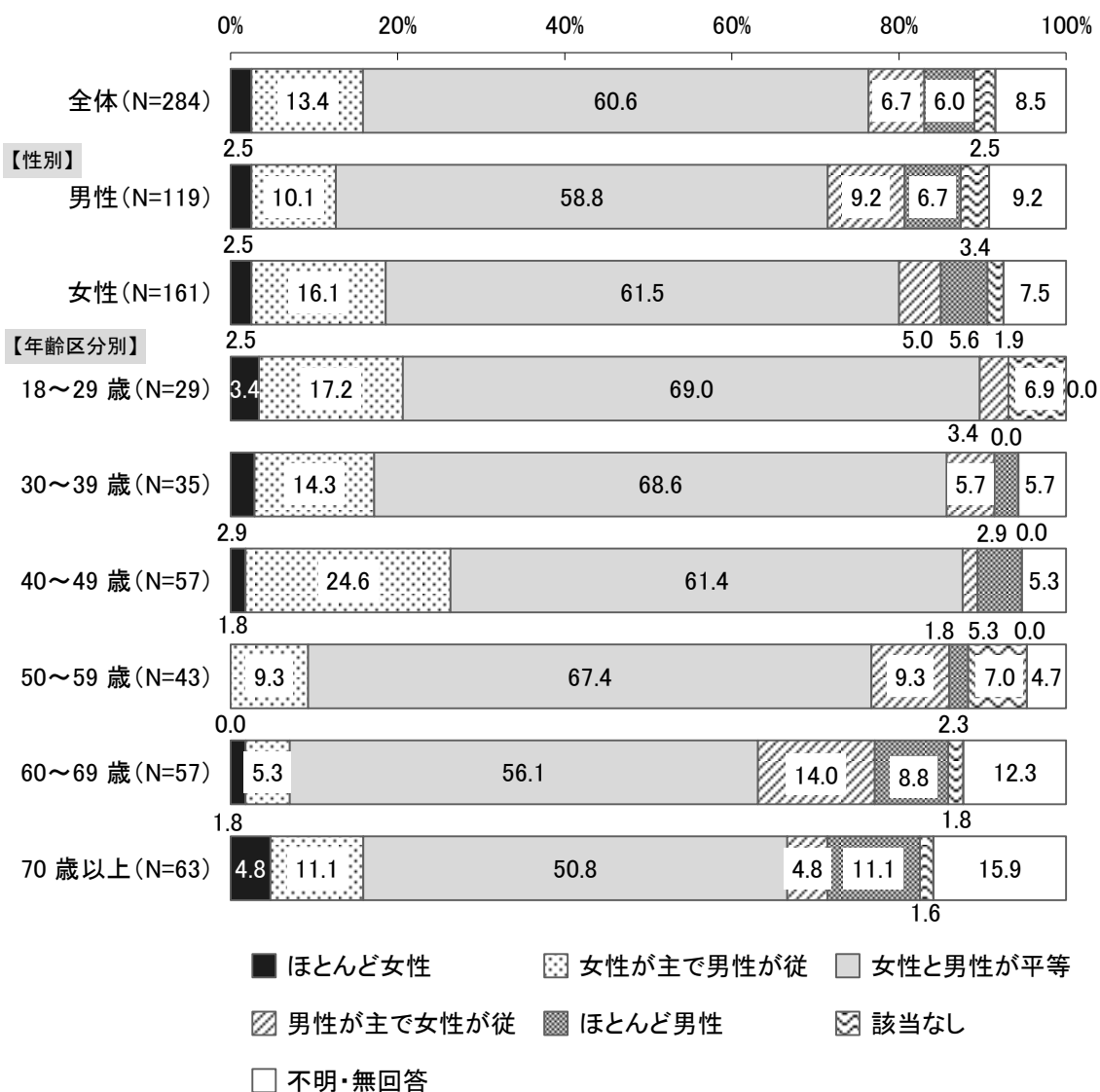
性別では、①現在で「ほとんど男性」が男性で22.7%と最も高く、女性で7.5%となっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」が、いずれの年代で最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



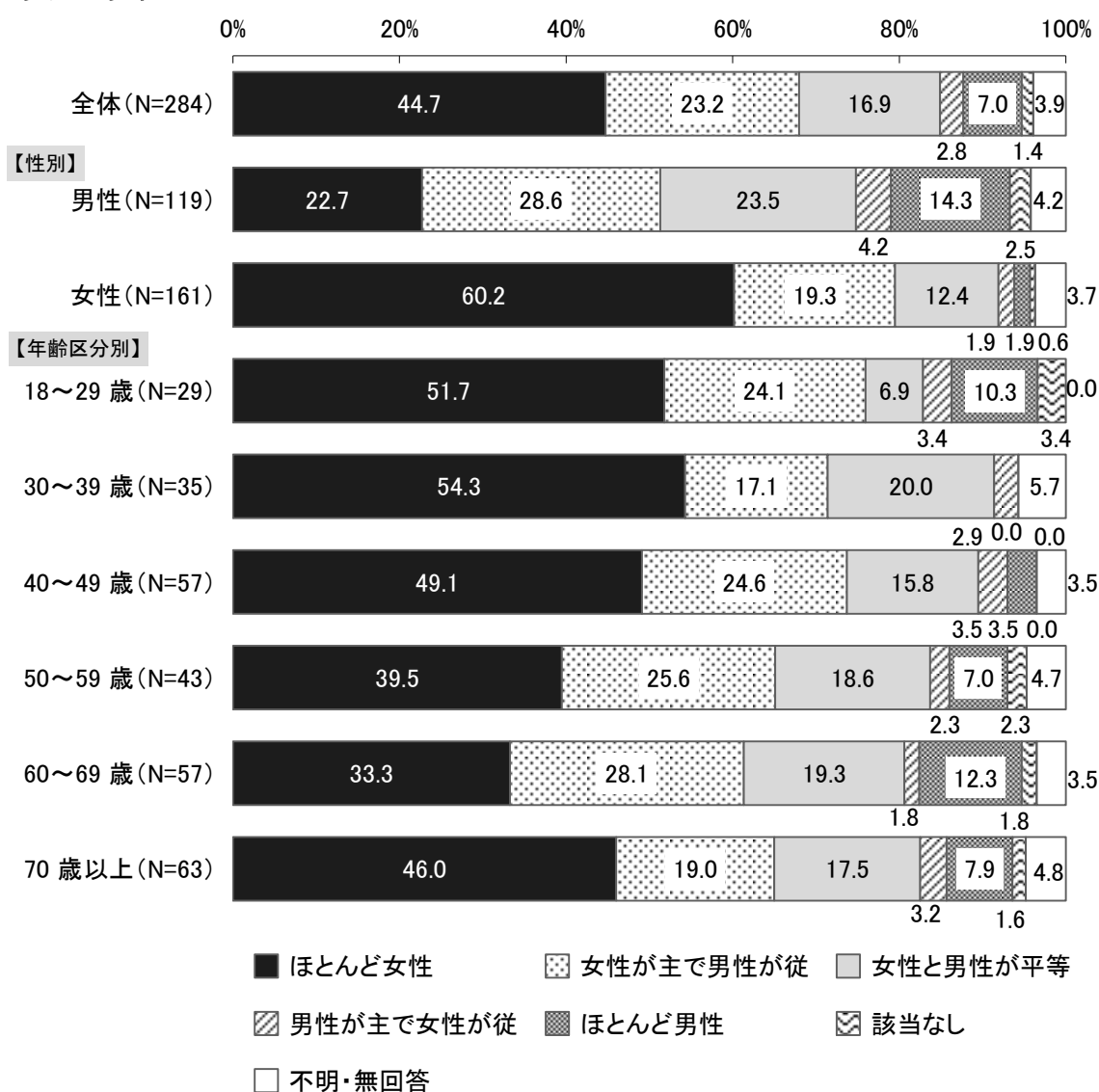
【5 部屋の掃除】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が 44.7%と最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が 63.0%となっています。

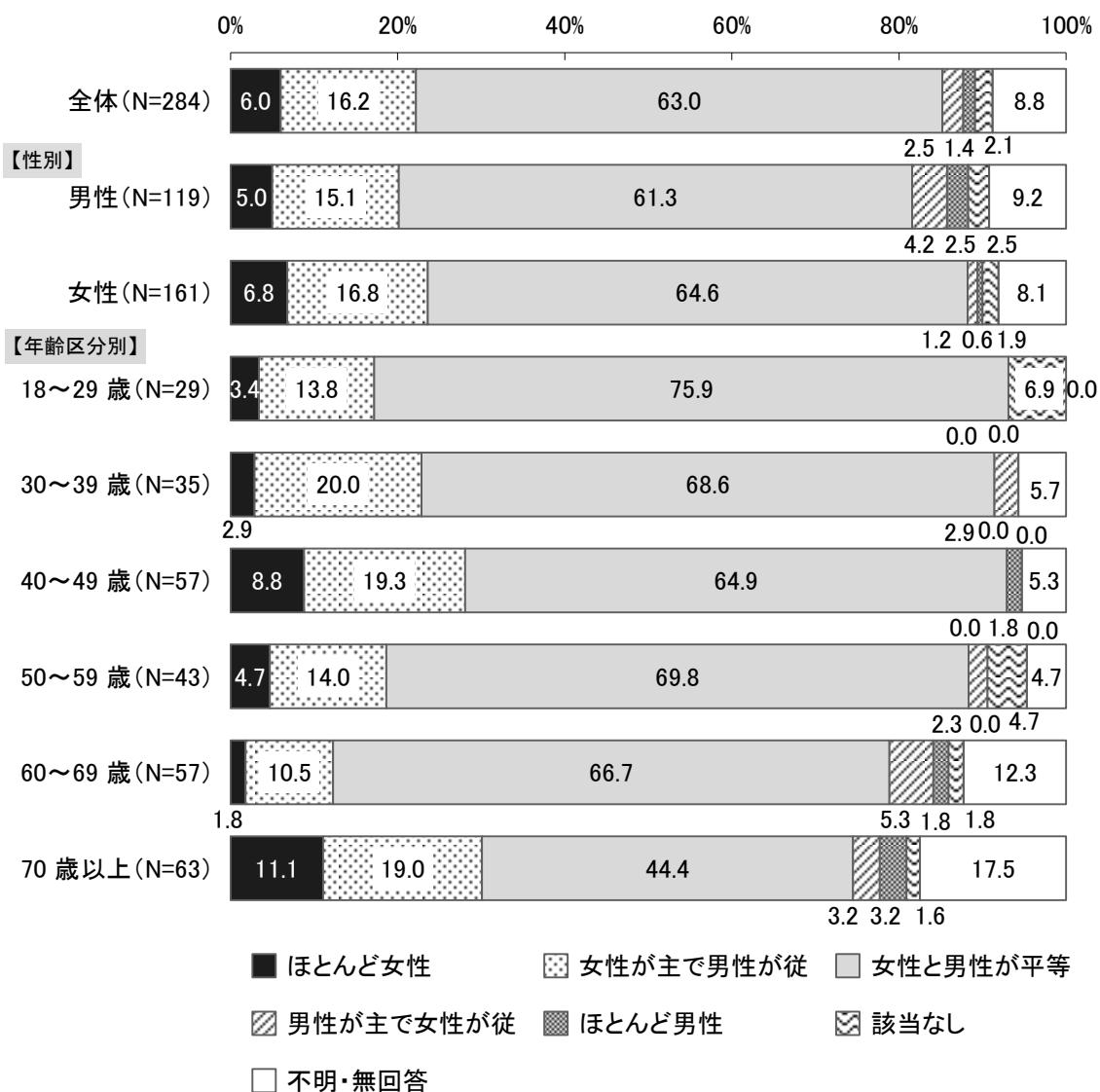
性別では、①現在で「女性が主で男性が従」が男性で 28.6%と最も高く、女性では 19.3%となっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在での 60～69 歳で「ほとんど女性」が他の年代より低くなっています。②理想ではいずれの年代で「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



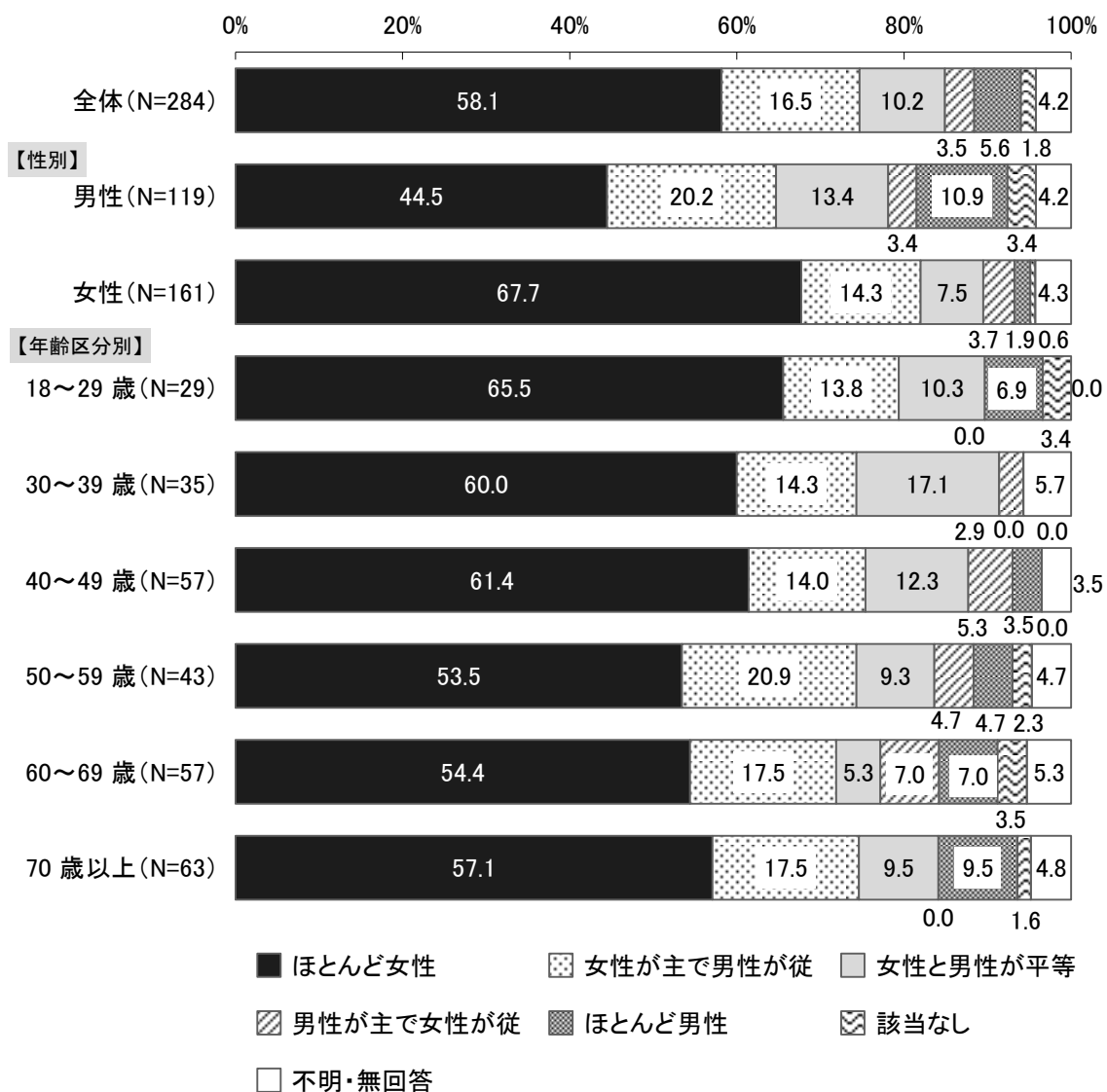
【6 洗濯】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が 58.1%と最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

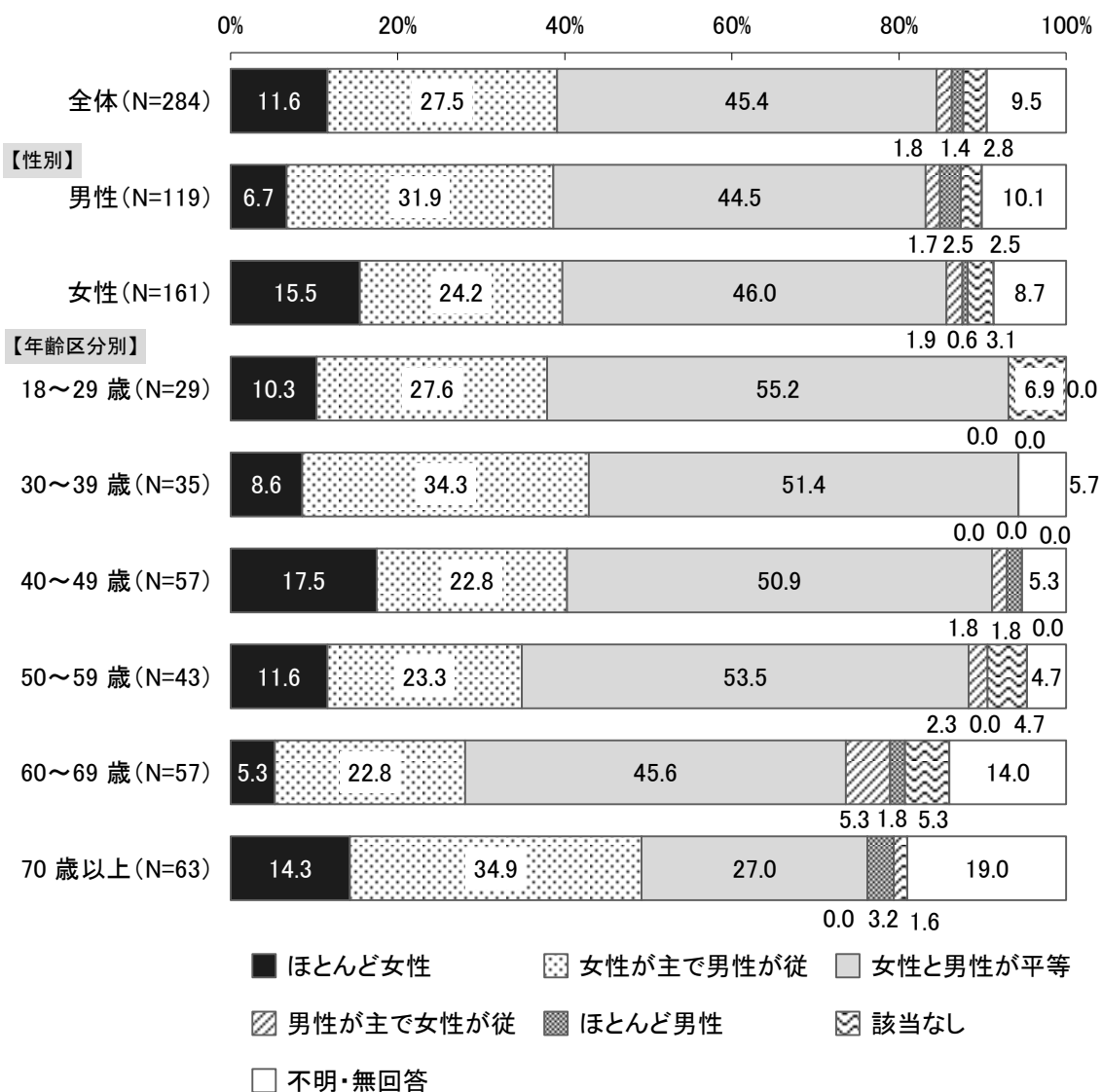
性別では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で「ほとんど女性」がいずれの年代で高くなっています。②理想での「女性と男性が平等」が、70 歳以上が他の年代より低くなっています。

① 現実・現状



② 希望



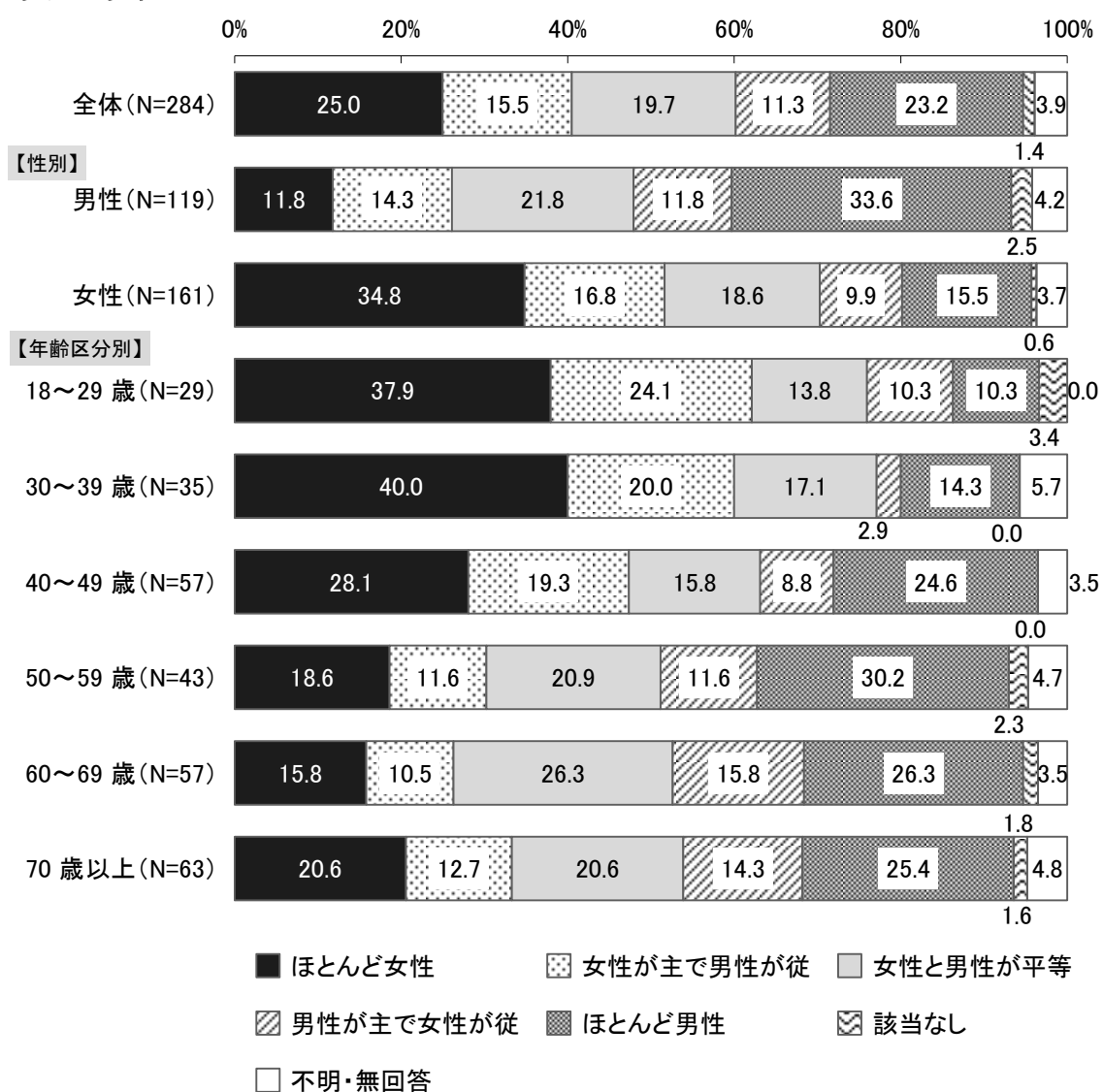
【7 ごみ出し】

全体では、①現在で「ほとんど男性」が高くなっています。②理想でも「ほとんど男性」が「ほとんど女性」より高くなっています。

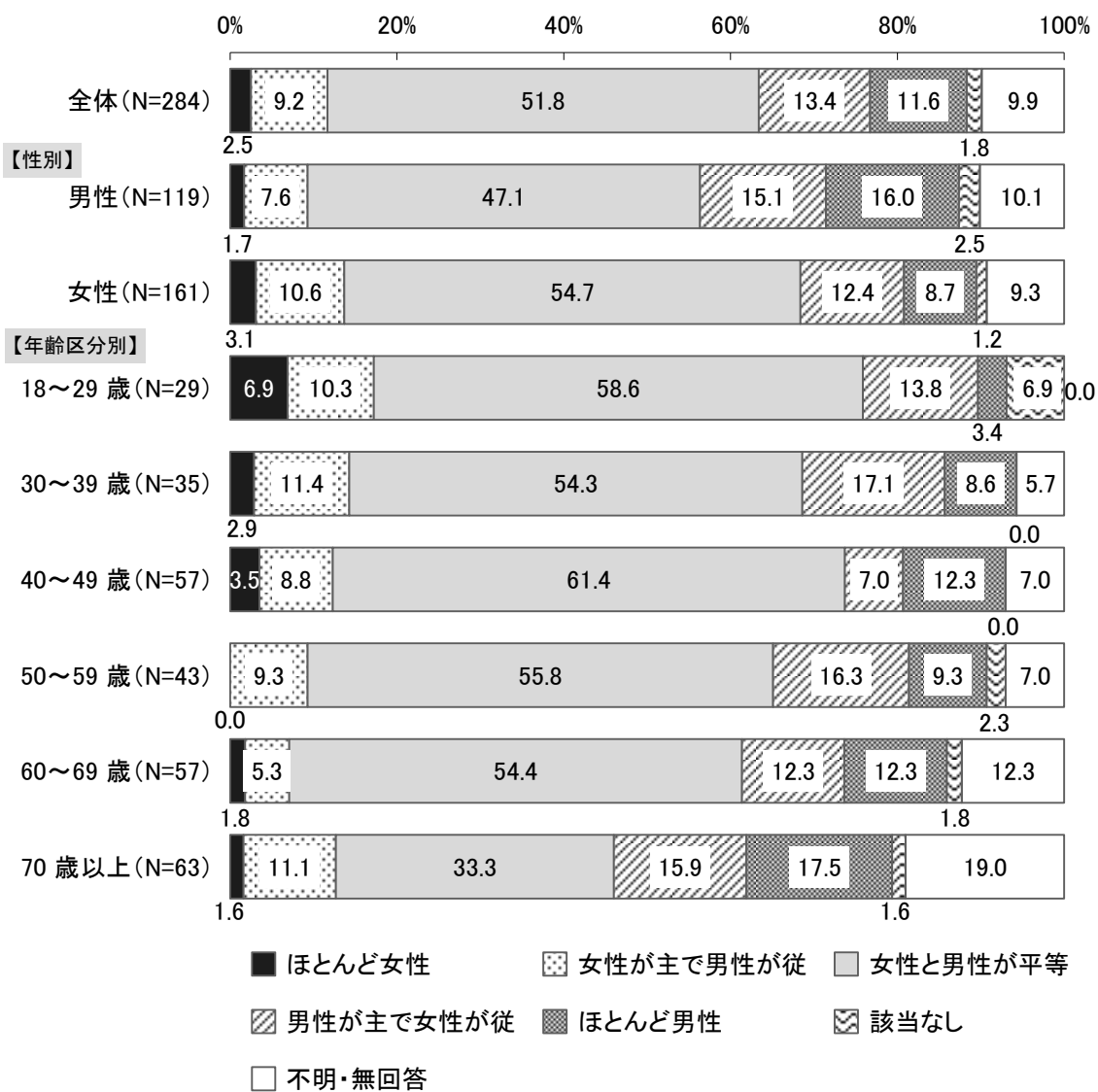
性別では、①現在で、男性では「ほとんど男性」が最も高く、女性では「ほとんど女性」が最も高くなっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢別では、①現在の、50～59歳で「ほとんど男性」が他の年代よりも高く3割超えとなっています。②理想では、70歳以上で「ほとんど男性」が他の年代より高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



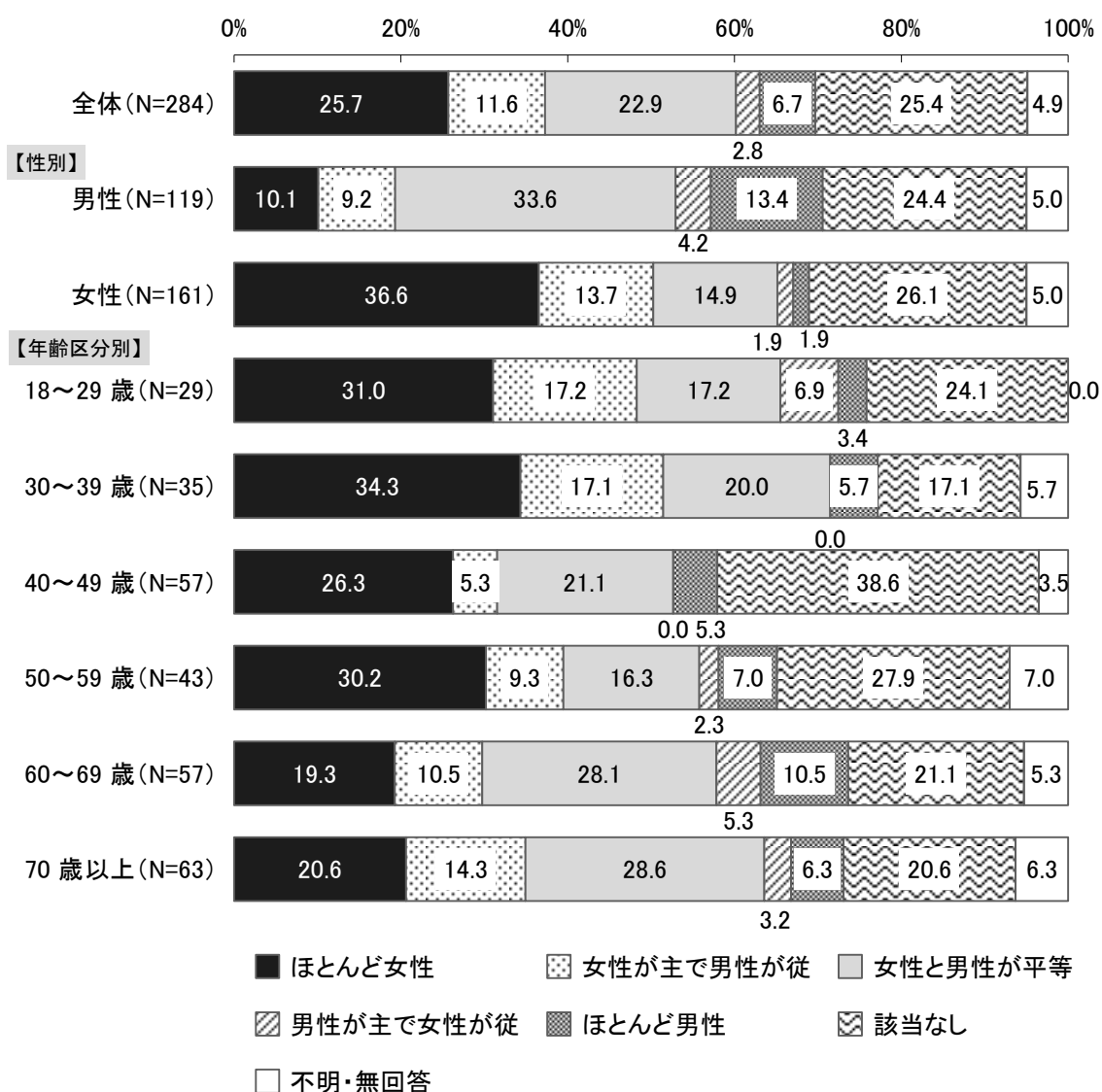
【8 布団の上げおろし】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

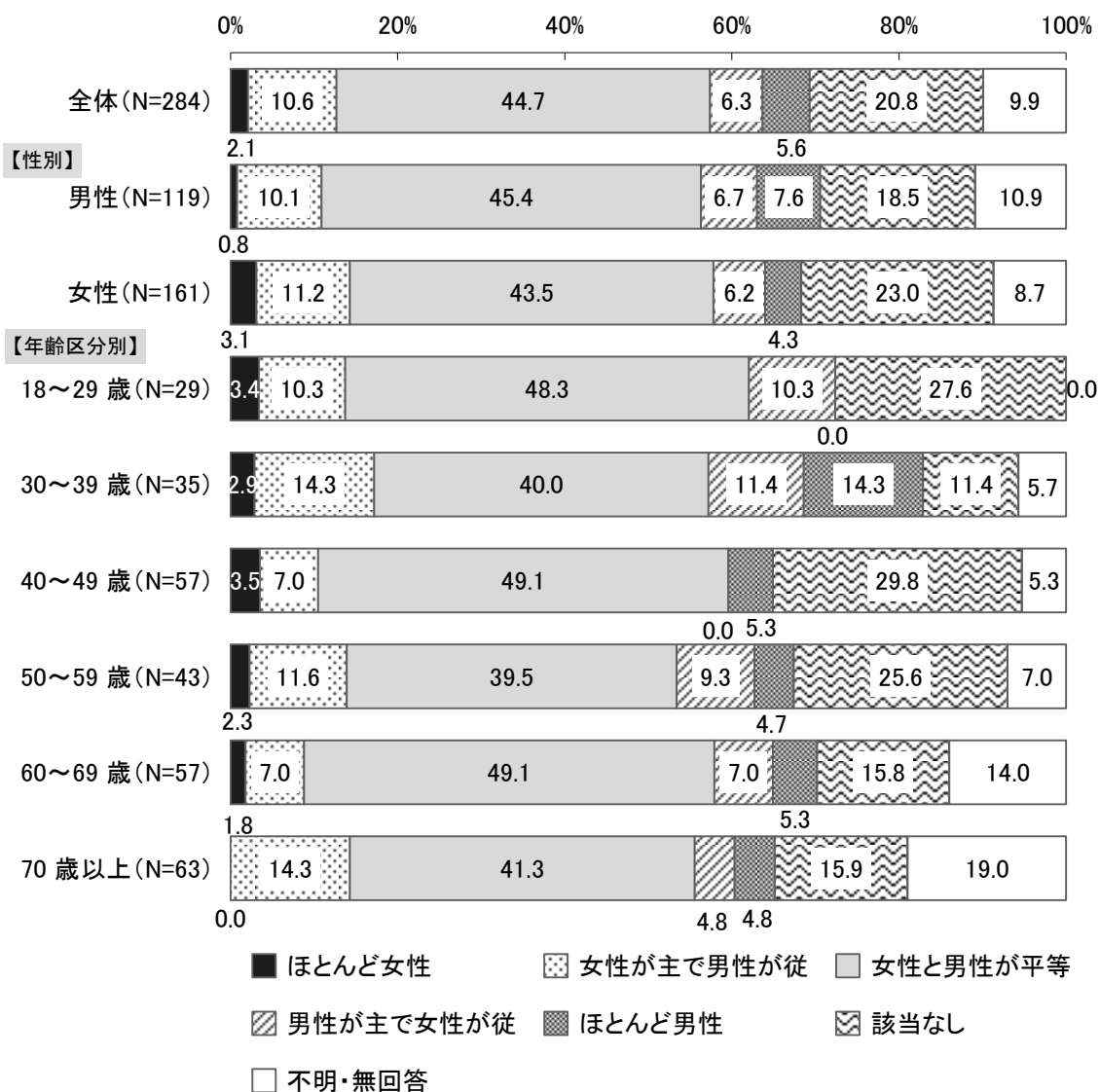
性別では、①現在で男性は「女性と男性が平等」が最も高く、女性は「ほとんど女性」が最も高くなっています。②理想では、男女ともに「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で40～49歳で「該当なし」が最も高くなっています。②理想では、30～39歳で「ほとんど男性」が他の年代より高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



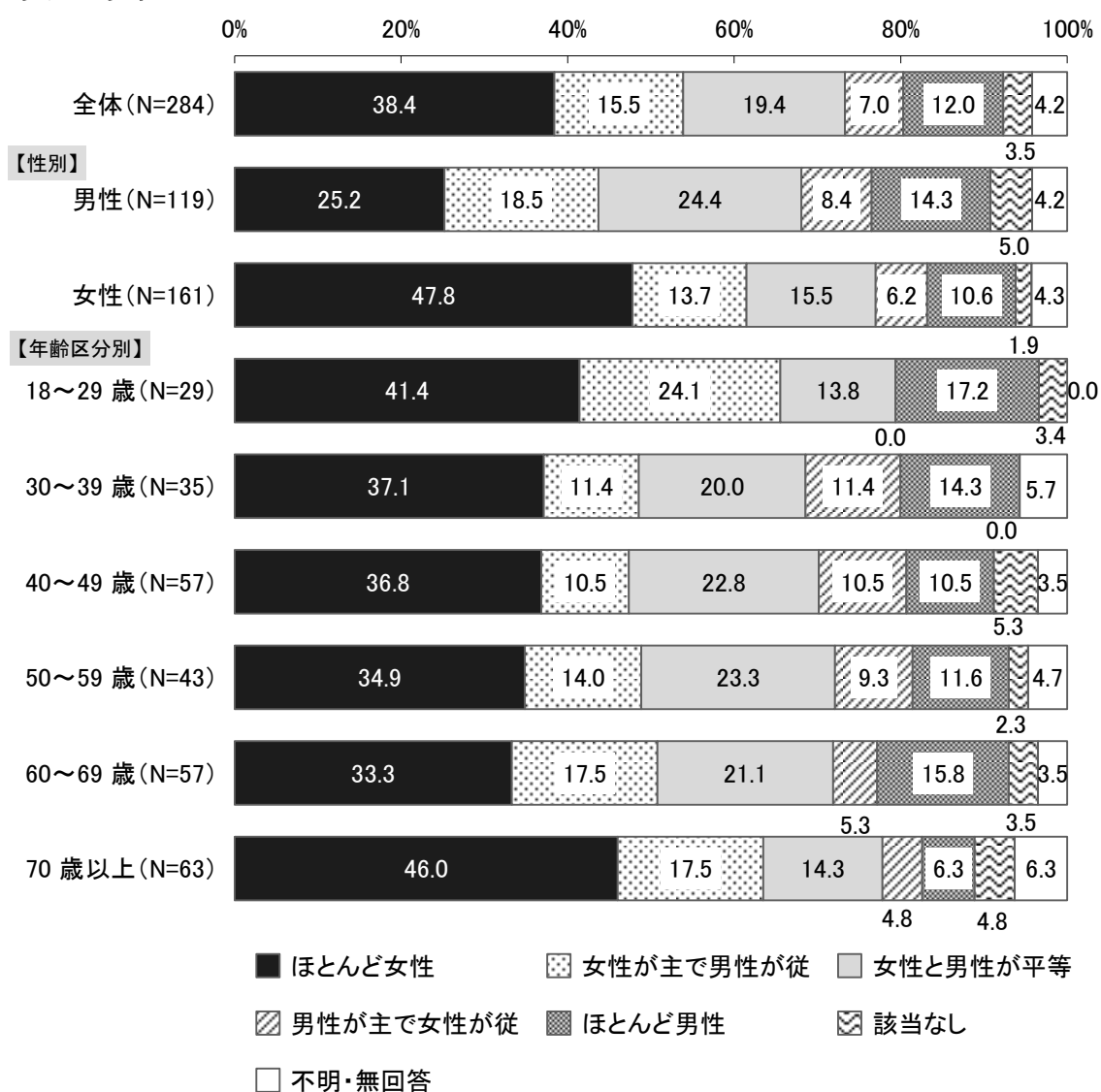
【9 家計の管理(生活費の管理)】

全体では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

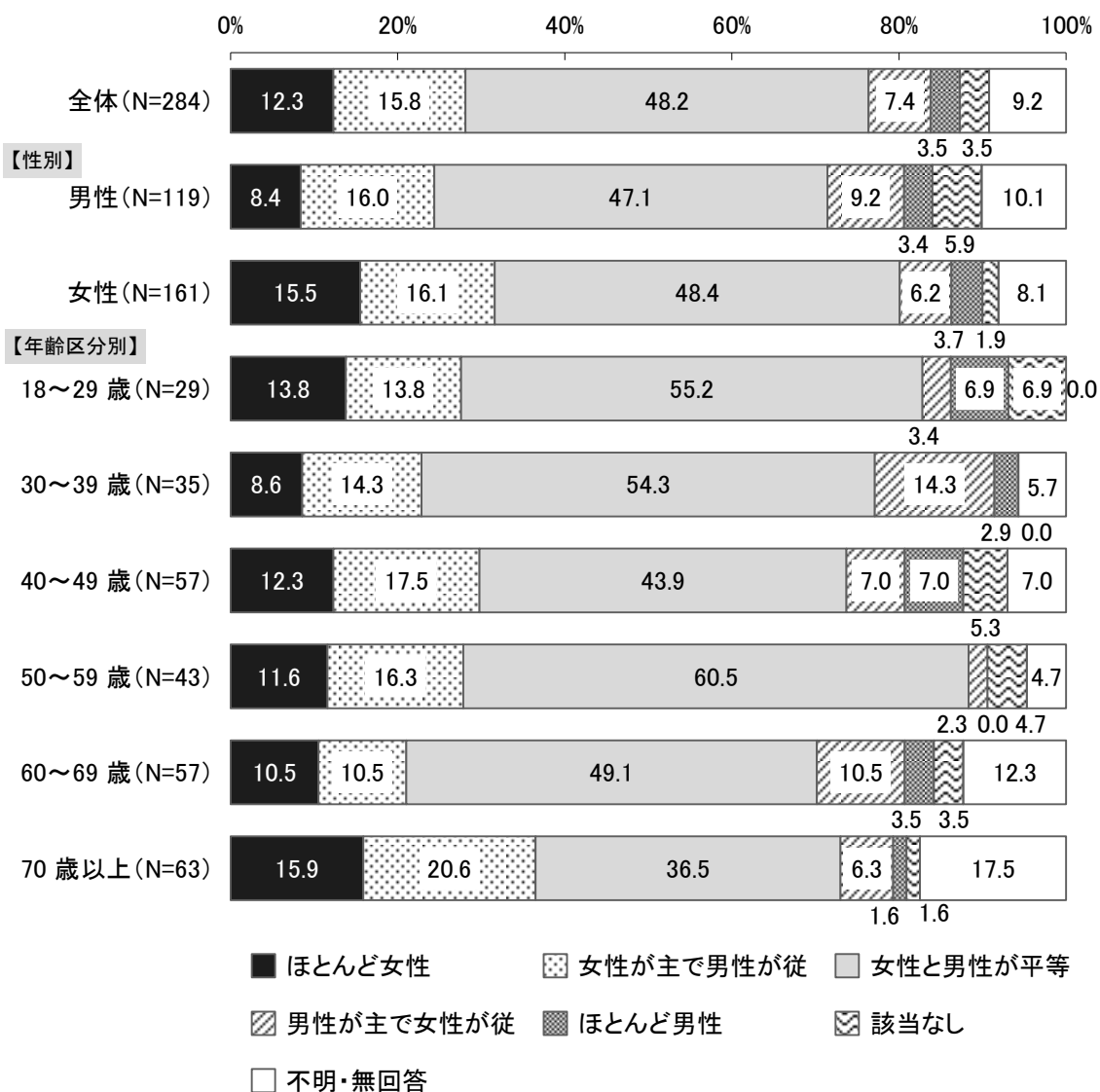
性別では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で「ほとんど女性」が、②理想では「女性と男性が平等」がいずれの年代で最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



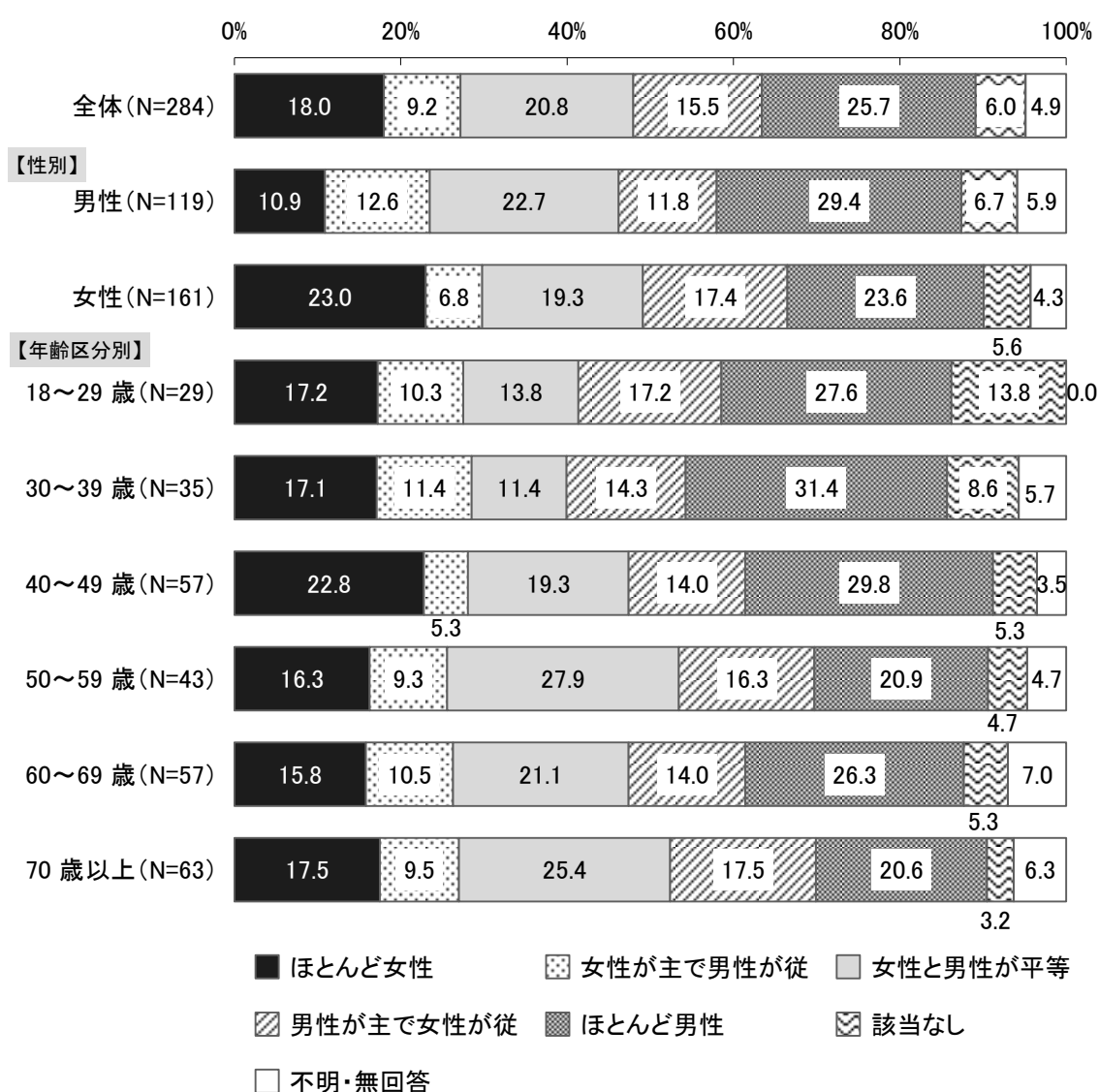
【10 財産の管理(土地・建物等資産の管理)】

全体では、①現在で「ほとんど男性」が最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

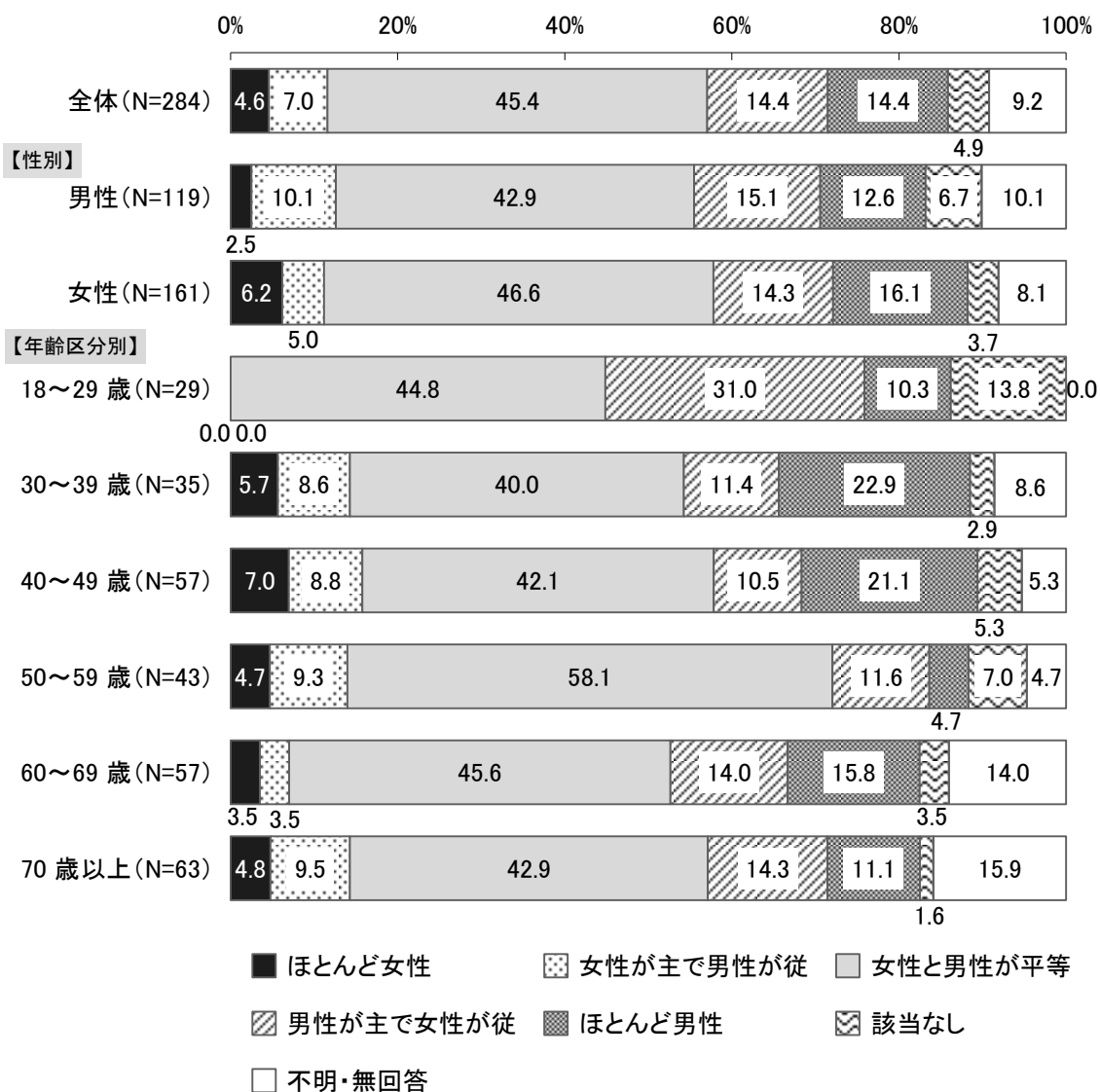
性別では、①現在で「ほとんど男性」が、②理想では「女性と男性が平等」が、男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で、40～49歳の「ほとんど女性」が他の年代より高くなっています。②理想では、18～29歳で「ほとんど女性」、「女性が主で男性が従」がともに0.0%となっています。

① 現実・現状



② 希望



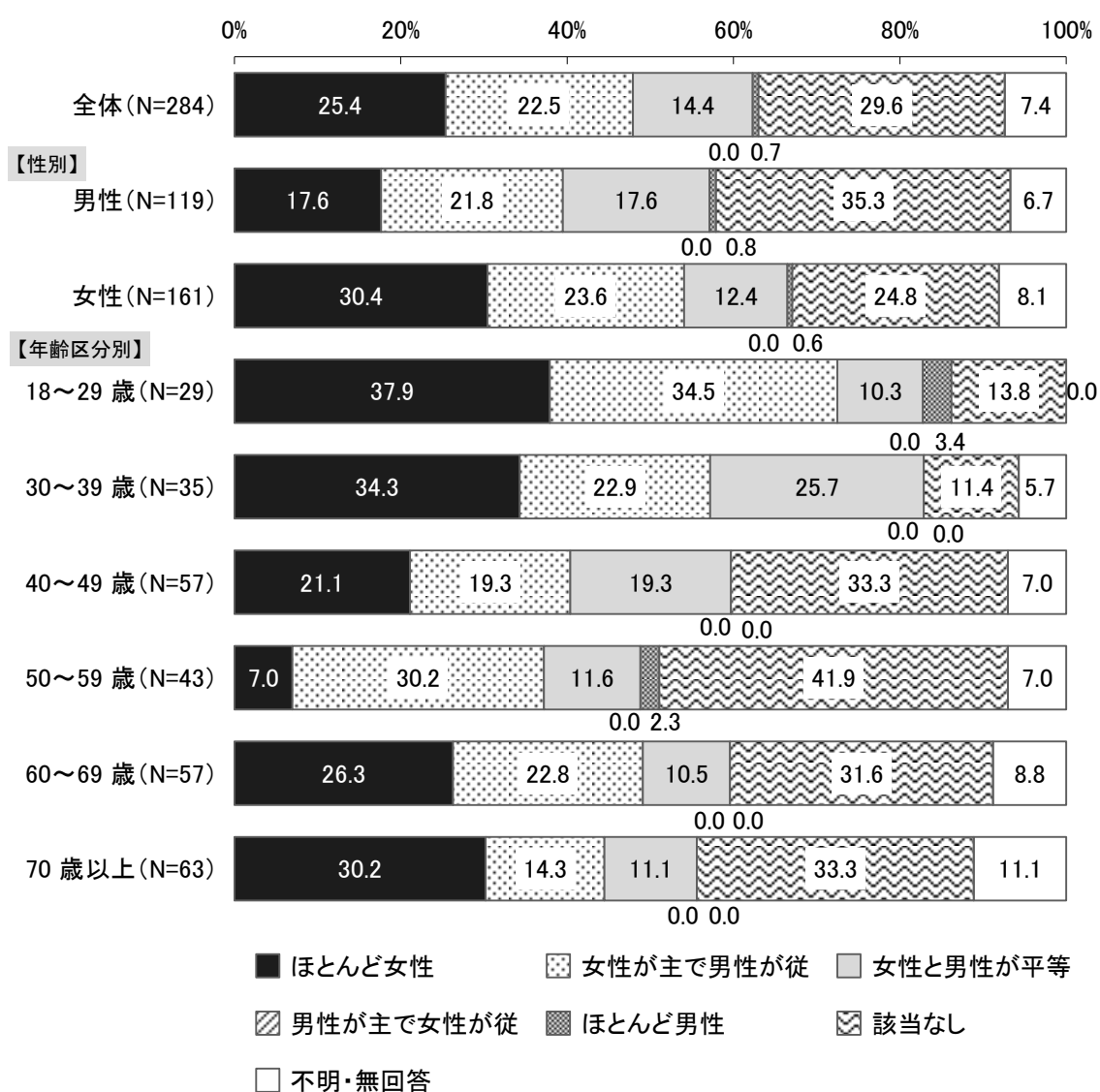
【11 育児】

全体では、①現在で「該当なし」が最も高くなっていますが、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

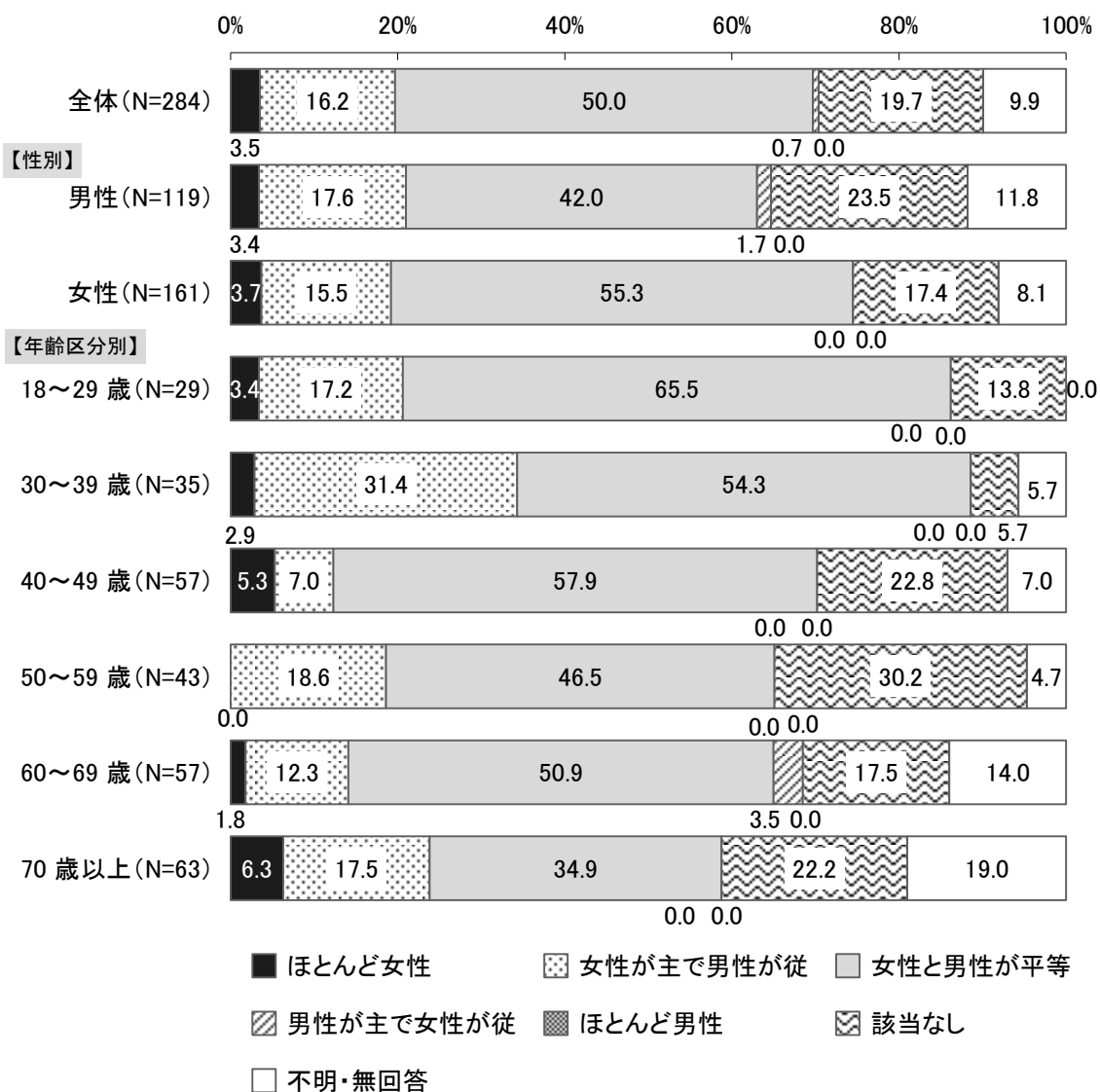
性別では、①現在で男性では「該当なし」が、女性では「ほとんど女性」が最も高くなっています。②理想では男女ともに「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在と②理想ともに 50～59 歳で「ほとんど女性」が他の年代より低くなっています。

① 現実・現状



② 希望



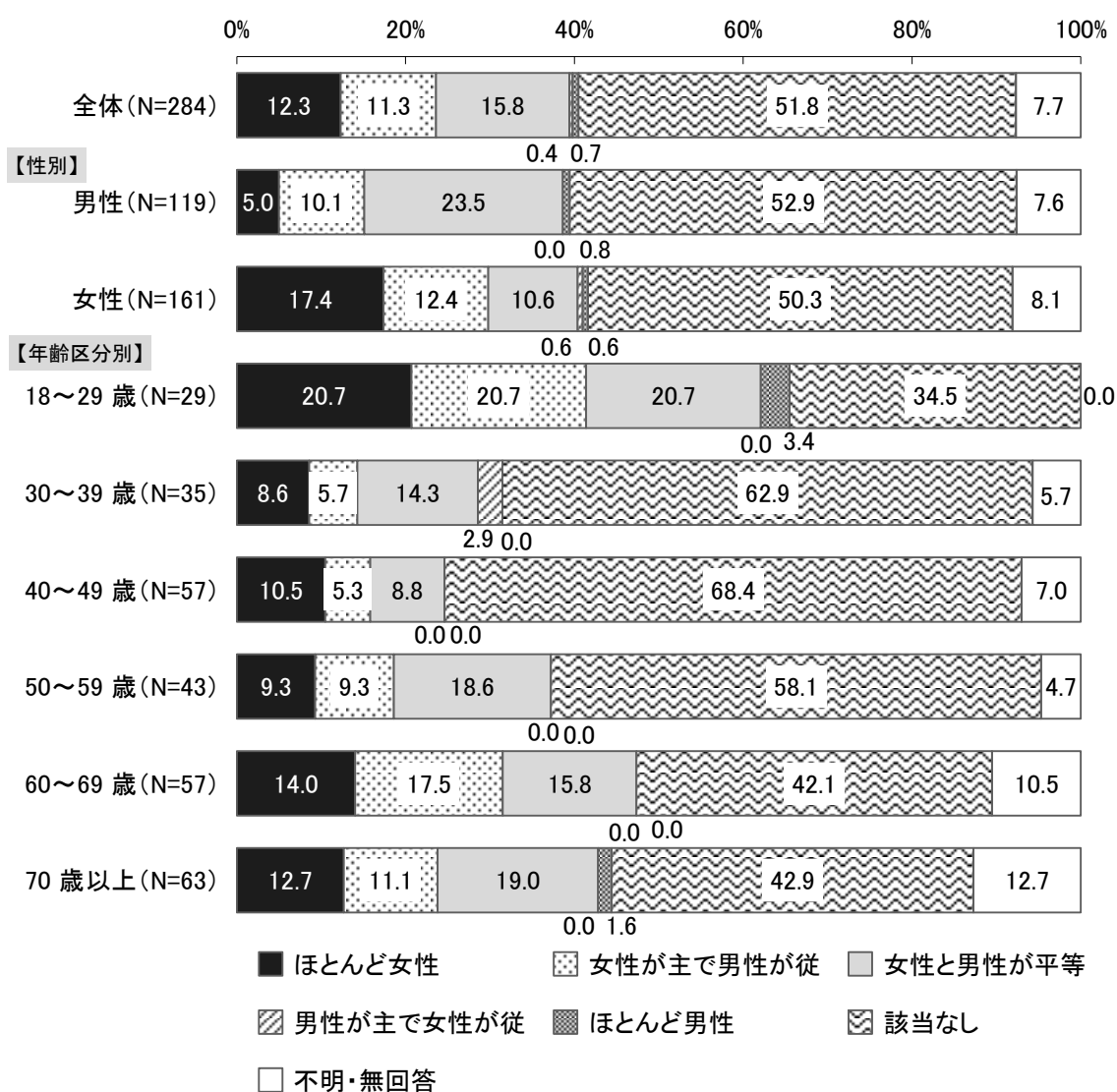
【12 高齢者・障がい者の介護】

全体では、①現在と②理想ともに「該当なし」が高くなっています。

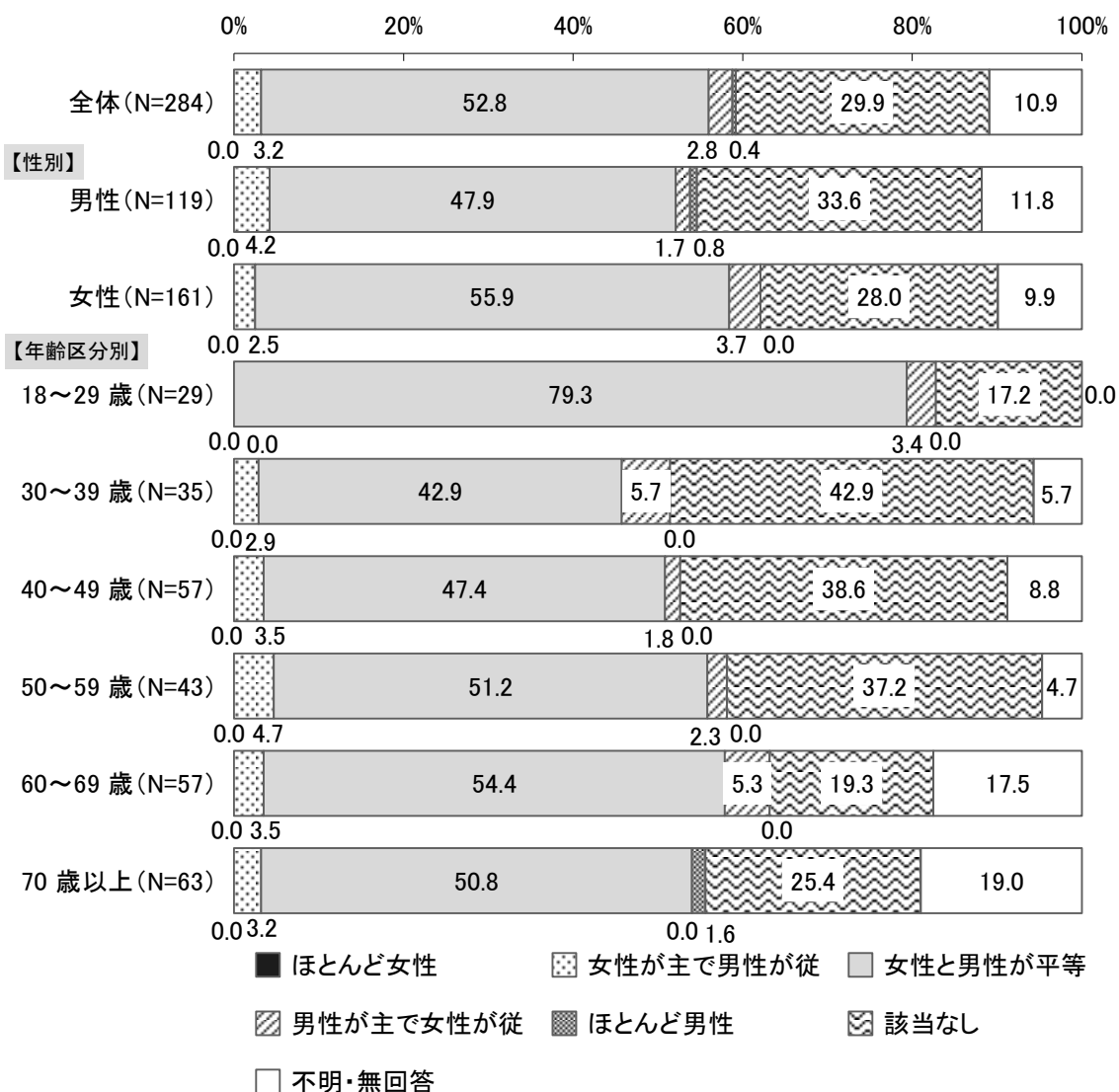
性別では、①現在では「該当なし」が、②理想では「女性と男性が平等」が、最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在の、18～29 歳で「該当なし」が他の年代より低くなっています。②理想では、いずれの年代で「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



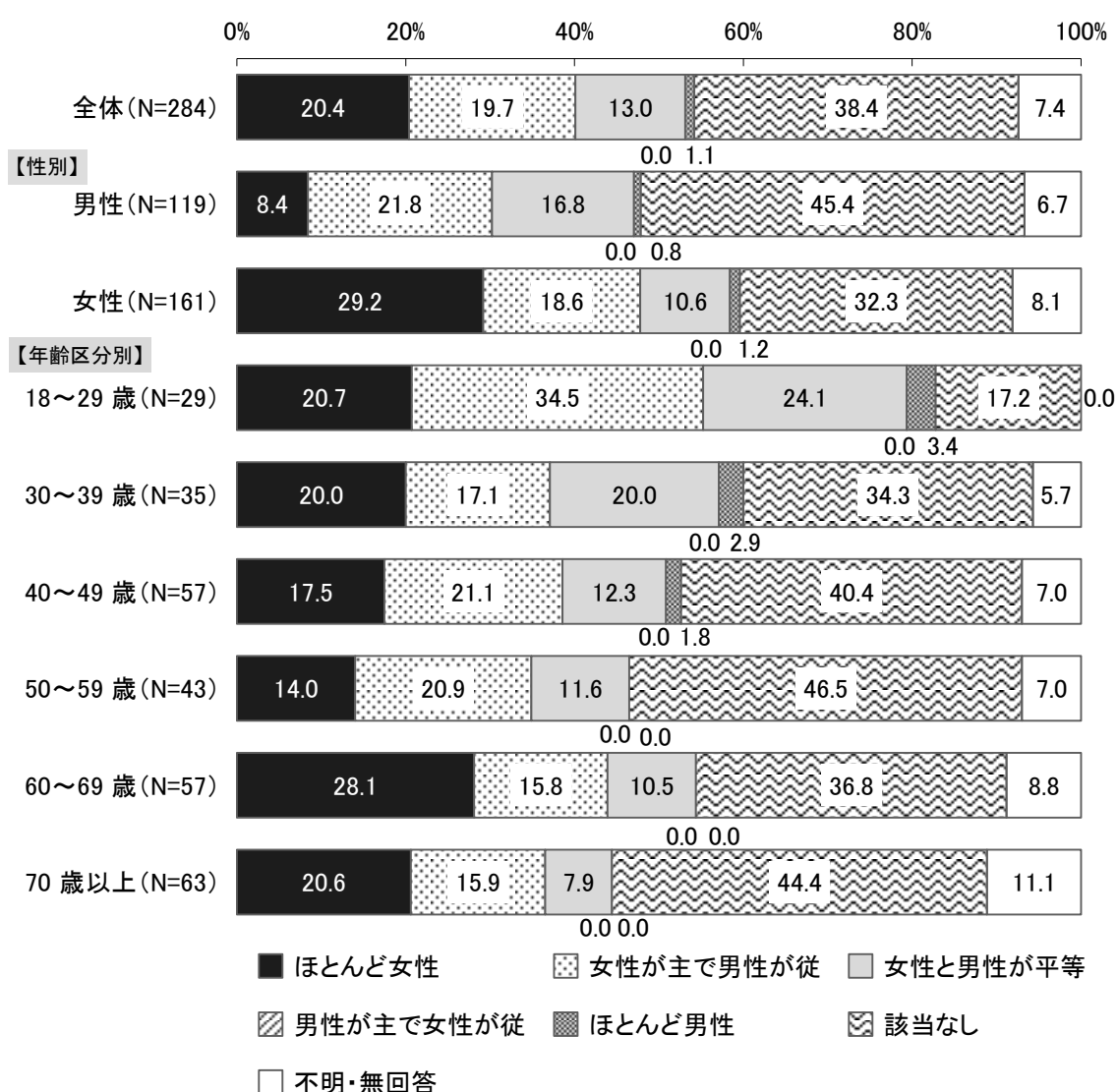
【13 子どもの学校行事への参加】

全体では、①現在で「該当なし」が、②理想では「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

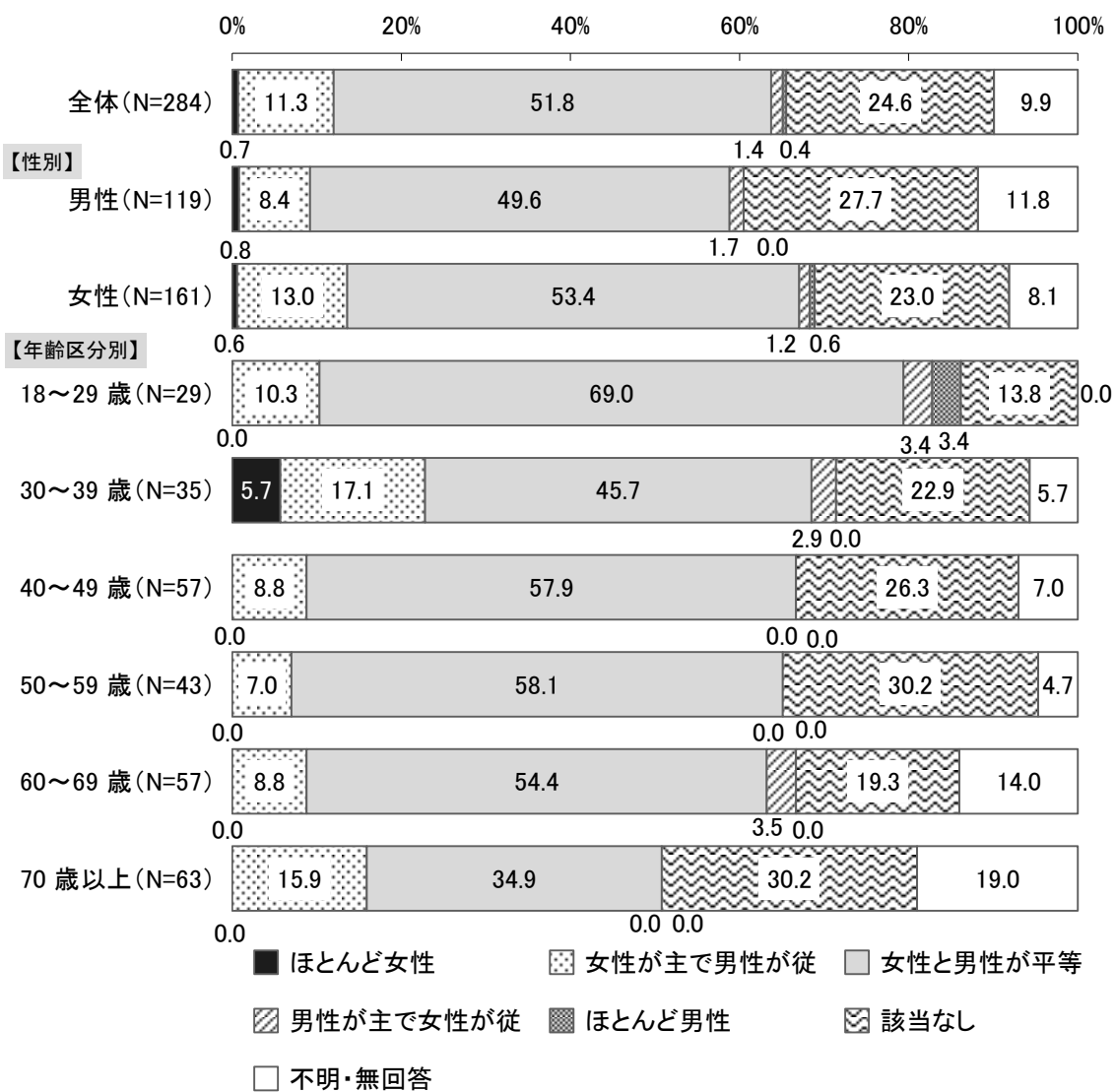
性別では、①現在で「該当なし」が男女ともに最も高くなっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在の、18～29 歳で「女性が主で男性が従」が他の年代に比べて高くなっています。②理想で 30～39 歳で「ほとんど女性」、「女性が主で男性が従」が他の年代に比べて高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



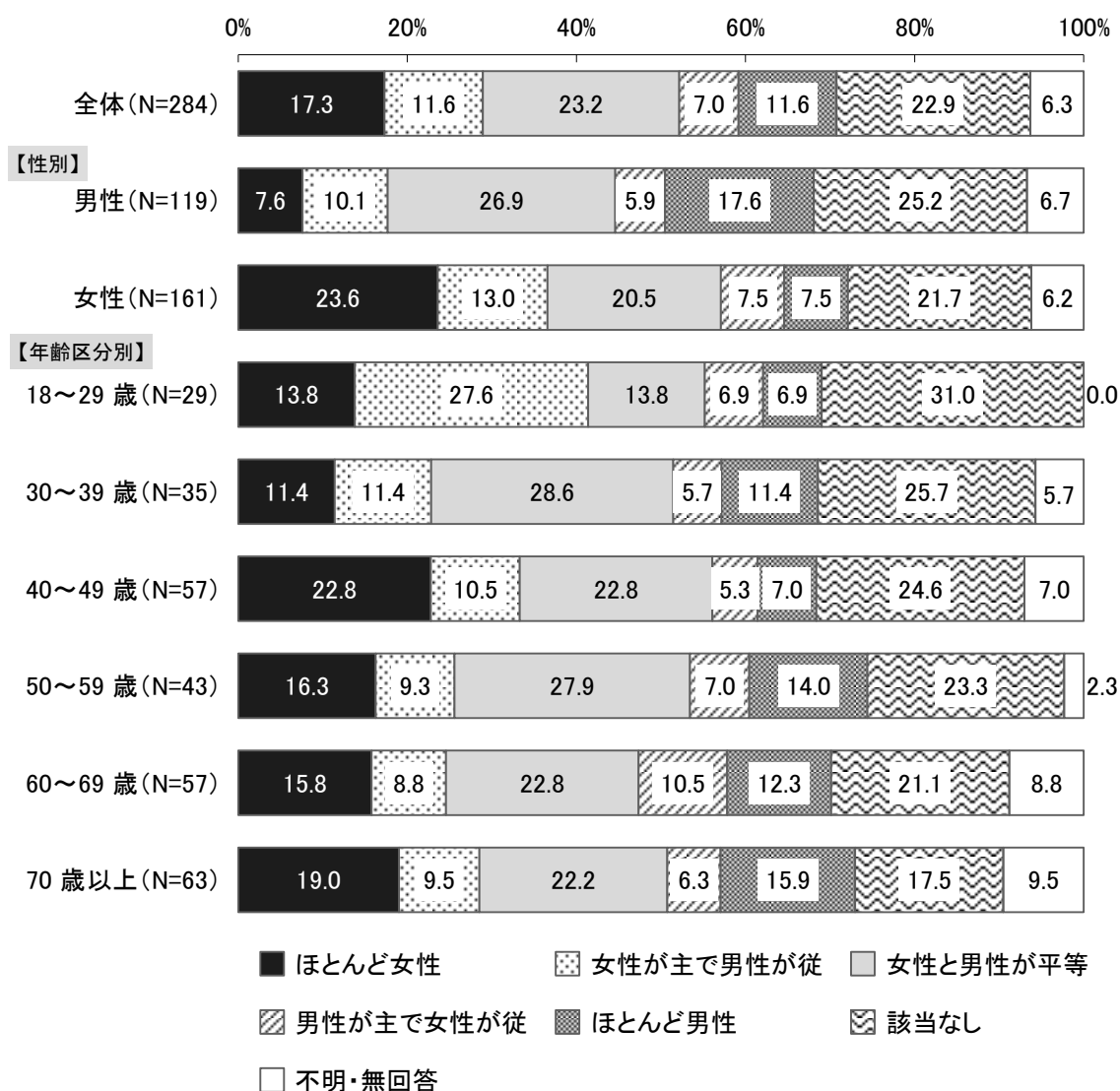
【14 町内会等地域行事への参加】

全体では、①現在と②理想ともに「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

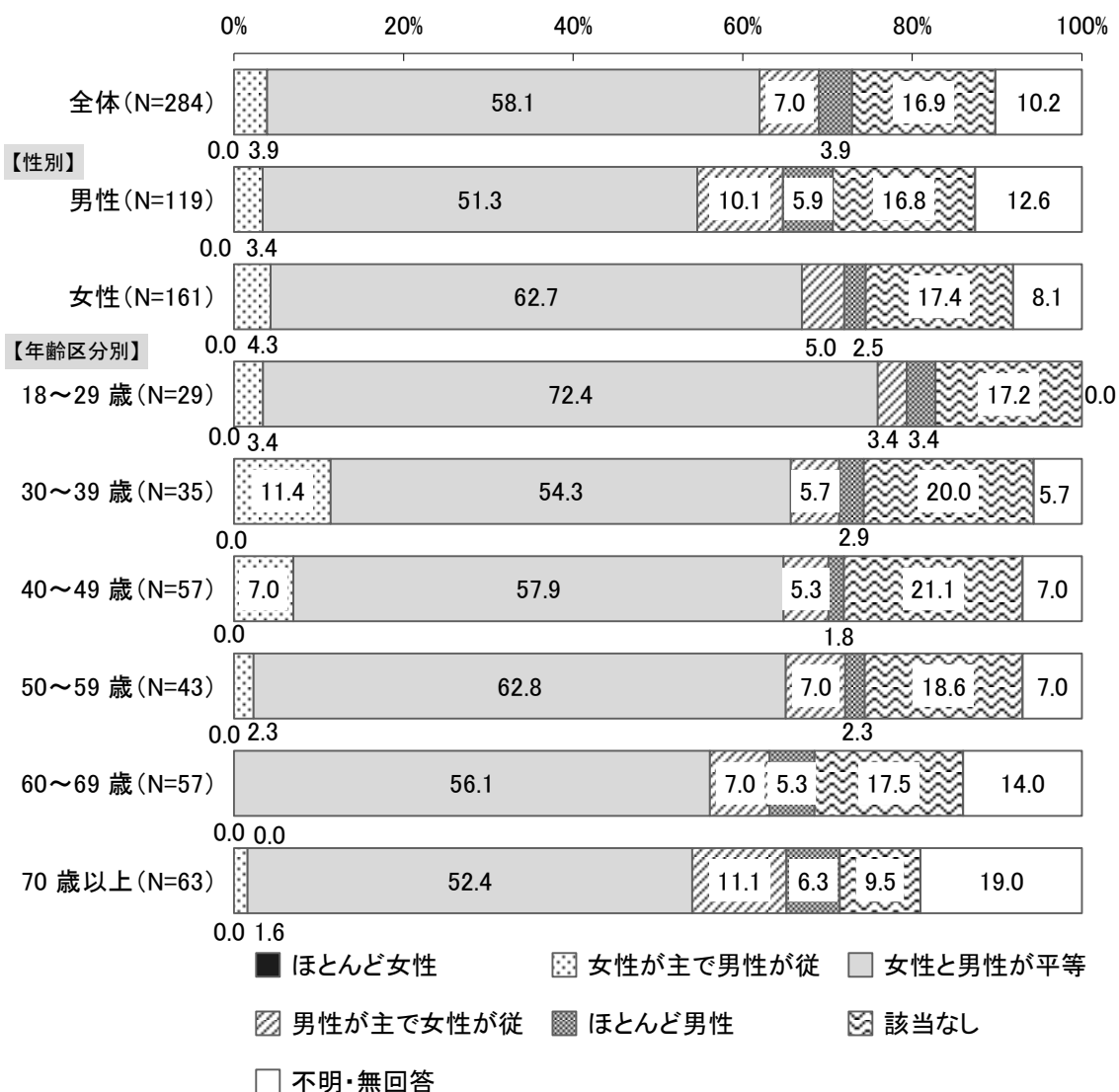
性別では、①現在で男性では「女性と男性が平等」が最も高くなっていますが、女性では「ほとんど女性」が高くなっています。②理想では「女性と男性が平等」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、①現在で18～29歳で「女性が主で男性が従」が他の年代に比べて高くなっています。②理想では、いずれの年代で「女性と男性が平等」が最も高くなっています。

① 現実・現状



② 希望



問 32

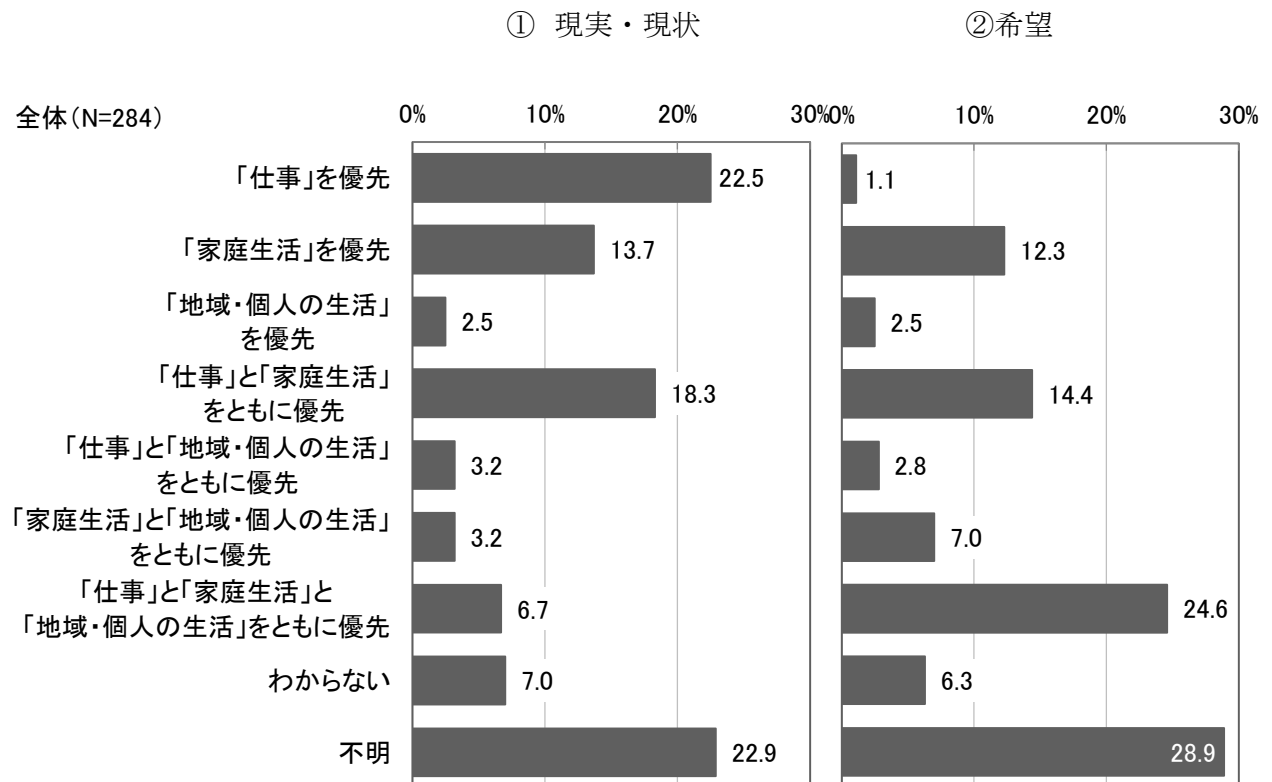
あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの現実・現状に最も近いものは何ですか。また、あなたの希望に最も近いものは何ですか。それぞれについて、回答欄の該当する箇所に○印を付けてください。

(○は「①現実・現状」「②希望」の欄にそれぞれ1つずつ)

全体では、①現実・現状で「仕事」を優先」が 22.5%、②希望で「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」が 24.6%と最も高くなっています。

性別では、①現実・現状で「仕事」を優先」、②希望で「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」が男女ともに最も高くなっています。

年齢区分別では、70 歳以上のみで①現実・現状の「仕事」を優先」が他の年代と比べて低くなっています。また②希望では、30～39 歳で「家庭生活」を優先」が他の年代と比べて高くなっています。



① 現実・現状

■クロス集計集

(単位：％)

区分		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	25.2	6.7	3.4	20.2	4.2	1.7	5.9	6.7	26.1
	女性 (N=161)	20.5	18.6	1.9	17.4	2.5	4.3	7.5	7.5	19.9
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	24.1	10.3	6.9	17.2	3.4	0.0	0.0	20.7	17.2
	30～39 歳 (N=35)	37.1	22.9	0.0	14.3	2.9	2.9	0.0	5.7	14.3
	40～49 歳 (N=57)	26.3	12.3	0.0	24.6	1.8	1.8	12.3	7.0	14.0
	50～59 歳 (N=43)	20.9	9.3	7.0	18.6	4.7	4.7	4.7	4.7	25.6
	60～69 歳 (N=57)	21.1	14.0	1.8	15.8	5.3	5.3	7.0	5.3	24.6
	70 歳以上 (N=63)	12.7	14.3	1.6	17.5	1.6	3.2	9.5	4.8	34.9

② 希望

■クロス集計集

(単位：％)

区分		「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	0.0	8.4	3.4	15.1	3.4	5.9	26.9	5.0	31.9
	女性 (N=161)	1.9	14.9	1.9	13.7	2.5	8.1	23.6	7.5	26.1
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	3.4	6.9	3.4	17.2	6.9	10.3	20.7	13.8	17.2
	30～39 歳 (N=35)	0.0	25.7	0.0	20.0	2.9	5.7	20.0	8.6	17.1
	40～49 歳 (N=57)	0.0	17.5	0.0	21.1	1.8	5.3	31.6	5.3	17.5
	50～59 歳 (N=43)	0.0	16.3	9.3	14.0	2.3	2.3	20.9	7.0	27.9
	60～69 歳 (N=57)	0.0	7.0	0.0	10.5	3.5	12.3	21.1	3.5	42.1
	70 歳以上 (N=63)	3.2	4.8	3.2	7.9	1.6	6.3	28.6	4.8	39.7

問 33

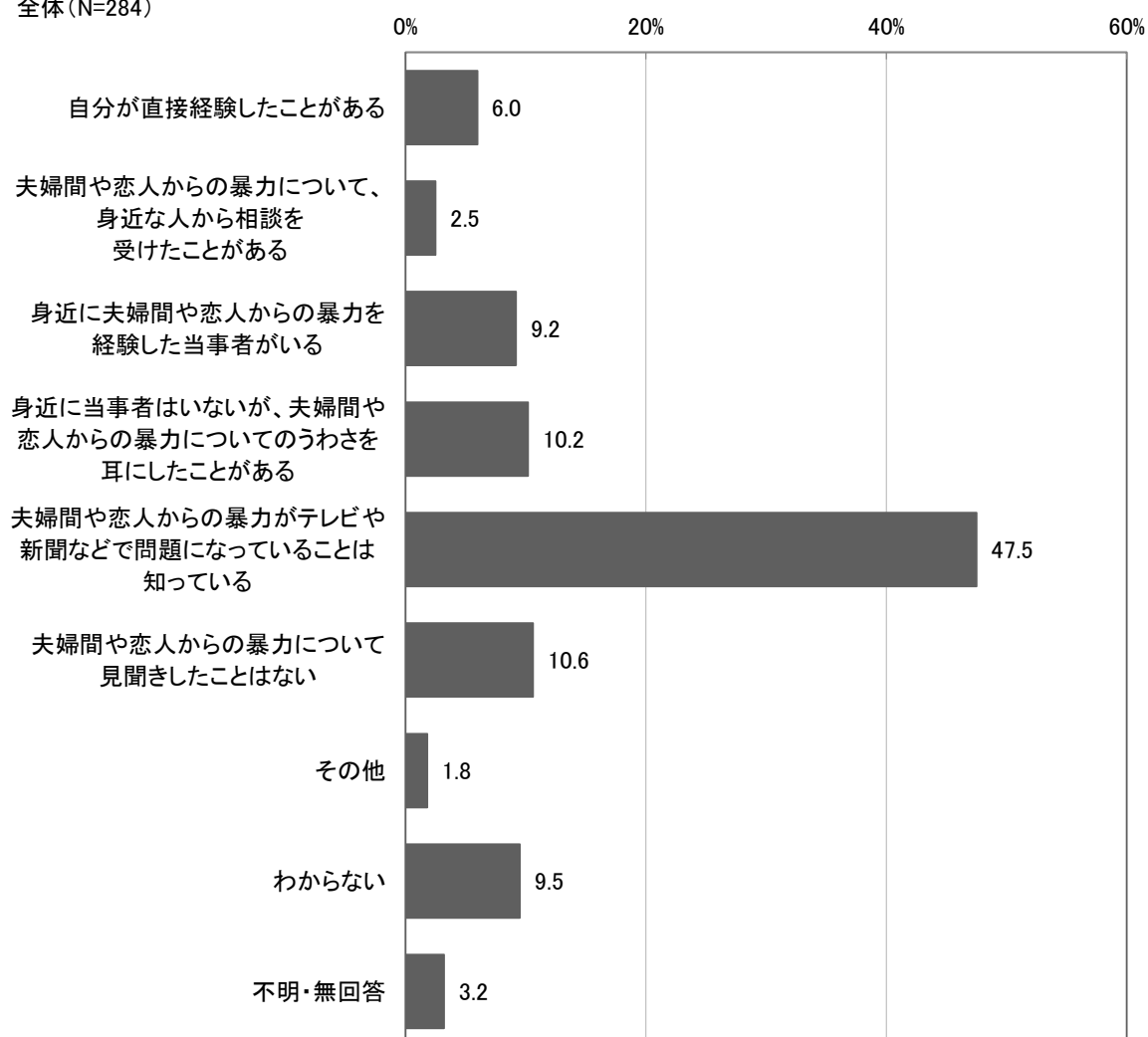
近年、DV(ドメスティック・バイオレンス)が問題になっていますが、あなたは夫婦間や恋人などのパートナーによる暴力について見聞きしたことがありますか。
(○は1つだけ)

全体では「夫婦間や恋人からの暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が 47.5%と最も高く、次いで「夫婦間や恋人からの暴力について見聞きしたことはない」が 10.6%となっています。

性別では、「夫婦間や恋人からの暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が男性で 51.3%、女性で 44.7%となっています。

年齢区分別では、いずれも「夫婦間や恋人からの暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が最も高くなっています。

全体(N=284)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		自分が直接経験したことがある	夫婦間や恋人からの暴力について、身近な人から相談を受けたことがある	身近に夫婦間や恋人からの暴力を経験した当事者がいる	身近に当事者はいないが、夫婦間や恋人からの暴力についてのうわさを耳にしたことがある	夫婦間や恋人からの暴力がテレビや新聞などで問題になっていることは知っている	夫婦間や恋人からの暴力について見聞きしたことはない	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	1.7	0.8	7.6	9.2	51.3	13.4	0.0	14.3	1.7
	女性 (N=161)	9.3	3.7	9.9	11.2	44.7	8.7	3.1	6.2	3.7
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	6.9	3.4	13.8	10.3	41.4	10.3	3.4	10.3	0.0
	30～39 歳 (N=35)	5.7	8.6	17.1	14.3	28.6	14.3	0.0	8.6	2.9
	40～49 歳 (N=57)	10.5	0.0	12.3	12.3	47.4	5.3	0.0	10.5	1.8
	50～59 歳 (N=43)	7.0	4.7	11.6	11.6	44.2	7.0	4.7	7.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	3.5	1.8	3.5	8.8	57.9	12.3	0.0	8.8	3.5
	70 歳以上 (N=63)	3.2	0.0	3.2	6.3	54.0	14.3	3.2	11.1	6.3

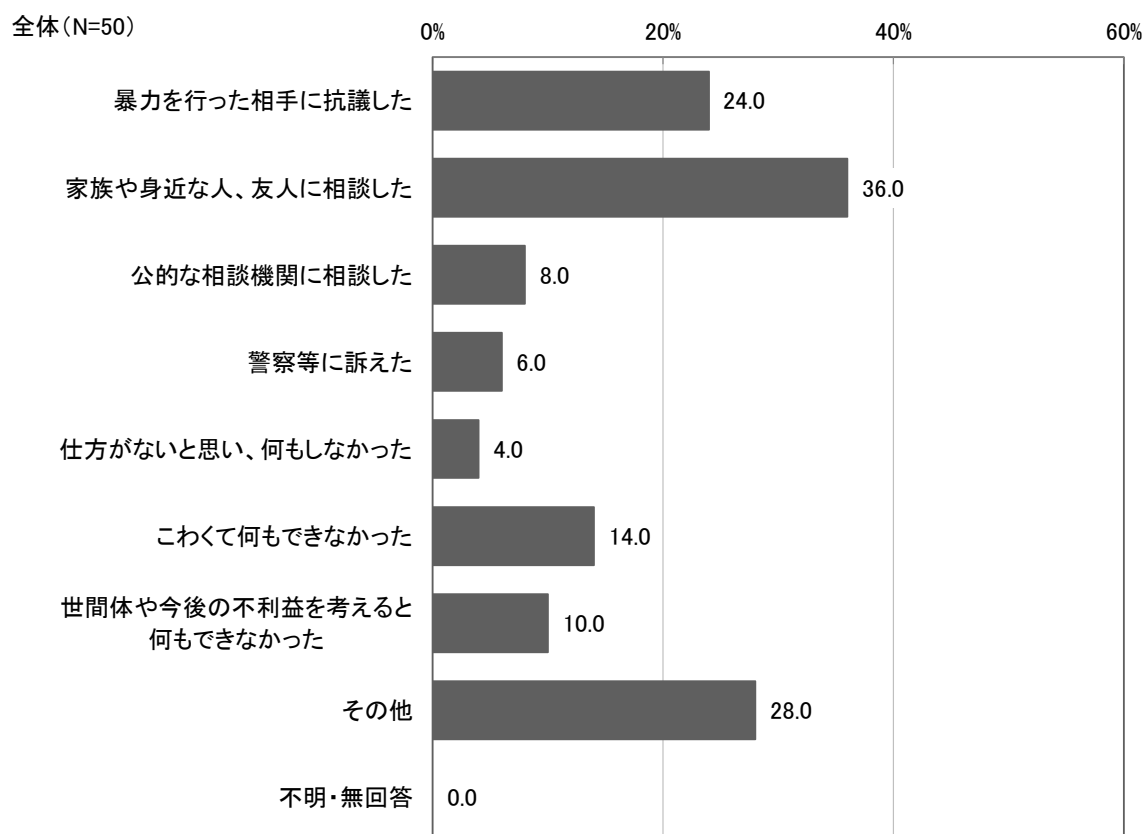
＜問 33 で「DV を受けた経験がある」「身近で聞いたことがある」（選択肢 1～3）と回答した方にうかがいます。＞

問 33-1 どのような対応をされましたか。（あてはまるものすべてに○）

全体では「家族や身近な人、友人に相談した」が 36.0%と最も高く、次いで「その他」が 28.0%となっています。

性別では、「家族や身近な人、友人に相談した」が男性で 50.0%、女性で 29.7%となっています。

年齢区分別では、50～59 歳で「家族や身近な人、友人に相談した」が他の年代と比べて低くなっています。



■クロス集計集

(単位：%)

区分		暴力を行った相手に抗議した	家族や身近な人、友人に相談した	公的な相談機関に相談した	警察等に訴えた	仕方がないと思い、何もしなかった	こわくて何もできなかった	世間体や今後の不利益を考えると何もできなかった	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=12)	33.3	50.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	25.0	0.0
	女性 (N=37)	18.9	29.7	8.1	5.4	2.7	16.2	10.8	29.7	0.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=7)	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0
	30～39 歳 (N=11)	27.3	36.4	0.0	9.1	0.0	18.2	9.1	27.3	0.0
	40～49 歳 (N=13)	23.1	53.8	23.1	7.7	7.7	23.1	15.4	23.1	0.0
	50～59 歳 (N=10)	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	60～69 歳 (N=5)	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	70 歳以上 (N=4)	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 34

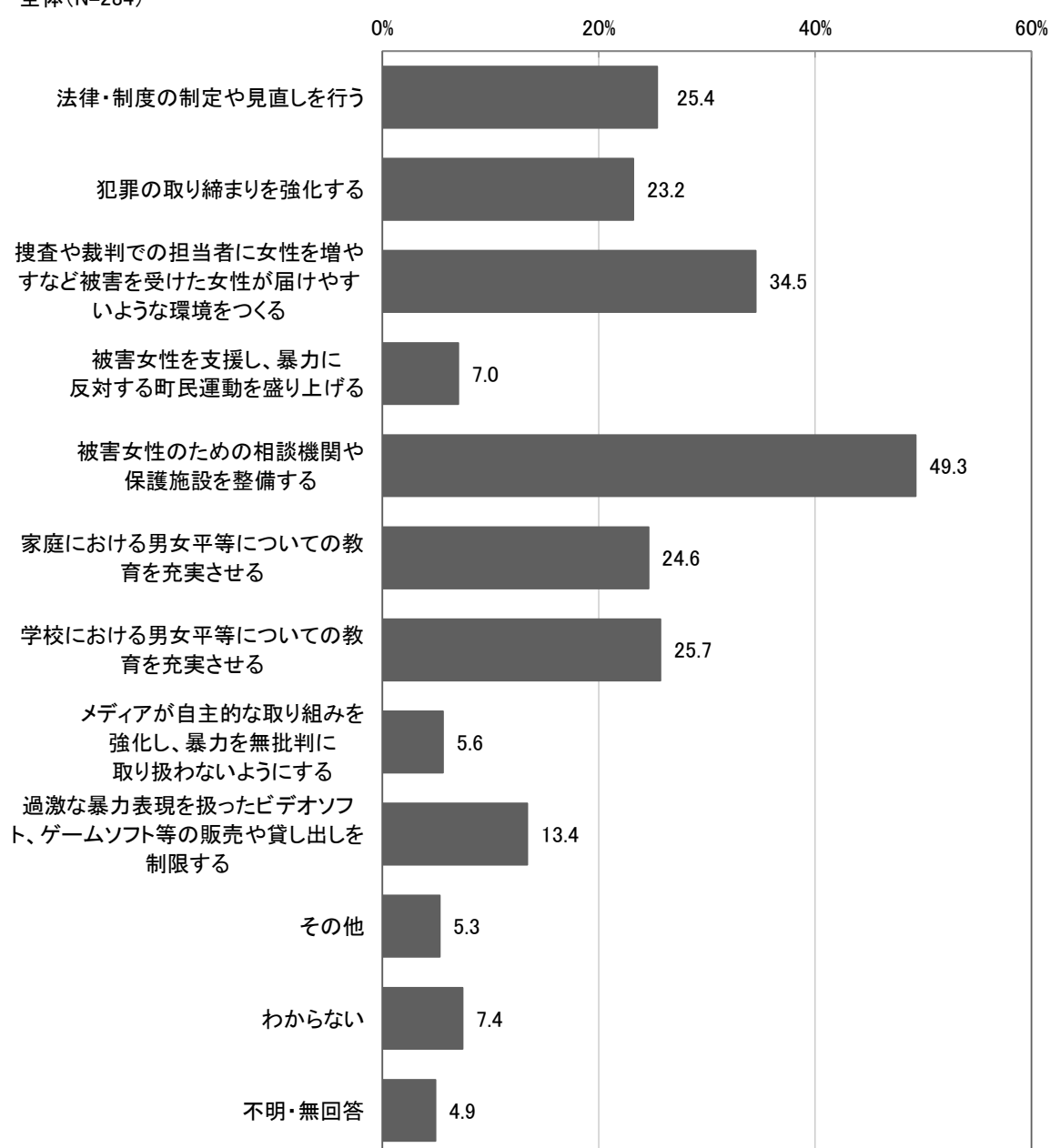
パートナーからの暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。
(○は3つまで)

全体では「被害女性のための相談機関や保護施設を整備する」が49.3%と最も高く、次いで「捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど被害を受けた女性が届けやすいような環境をつくる」が34.5%となっています。

性別では、「被害女性のための相談機関や保護施設を整備する」が男性で41.2%、女性で55.3%となっています。

年齢区分別では、いずれも「被害女性のための相談機関や保護施設を整備する」が最も高くなっています。

全体(N=284)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	捜査や裁判での担当者に女性を増やすなど被害を受けた女性が届けやすいような環境をつくる	被害女性を支援し、暴力に反対する町民運動を盛り上げる	被害女性のための相談機関や保護施設を整備する	家庭における男女平等についての教育を充実させる	学校における男女平等についての教育を充実させる	メディアが自主的な取り組みを強化し、暴力を無批判に取り扱わないようにする
性別	男性 (N=119)	30.3	26.1	31.1	7.6	41.2	25.2	26.9	4.2
	女性 (N=161)	21.7	21.1	37.3	6.8	55.3	23.6	24.2	6.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	24.1	24.1	44.8	0.0	41.4	13.8	20.7	3.4
	30～39 歳 (N=35)	20.0	28.6	22.9	5.7	51.4	17.1	17.1	2.9
	40～49 歳 (N=57)	22.8	26.3	33.3	8.8	49.1	31.6	22.8	7.0
	50～59 歳 (N=43)	20.9	27.9	41.9	11.6	48.8	20.9	27.9	4.7
	60～69 歳 (N=57)	33.3	14.0	35.1	7.0	54.4	33.3	28.1	10.5
	70 歳以上 (N=63)	27.0	22.2	31.7	6.3	47.6	22.2	31.7	3.2

区分		過激な暴力表現を扱ったビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限する	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	13.4	4.2	8.4	4.2
	女性 (N=161)	13.0	6.2	6.8	5.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	6.9	10.3	17.2	0.0
	30～39 歳 (N=35)	5.7	2.9	11.4	5.7
	40～49 歳 (N=57)	14.0	7.0	3.5	3.5
	50～59 歳 (N=43)	11.6	7.0	7.0	4.7
	60～69 歳 (N=57)	15.8	3.5	8.8	1.8
	70 歳以上 (N=63)	19.0	3.2	3.2	11.1

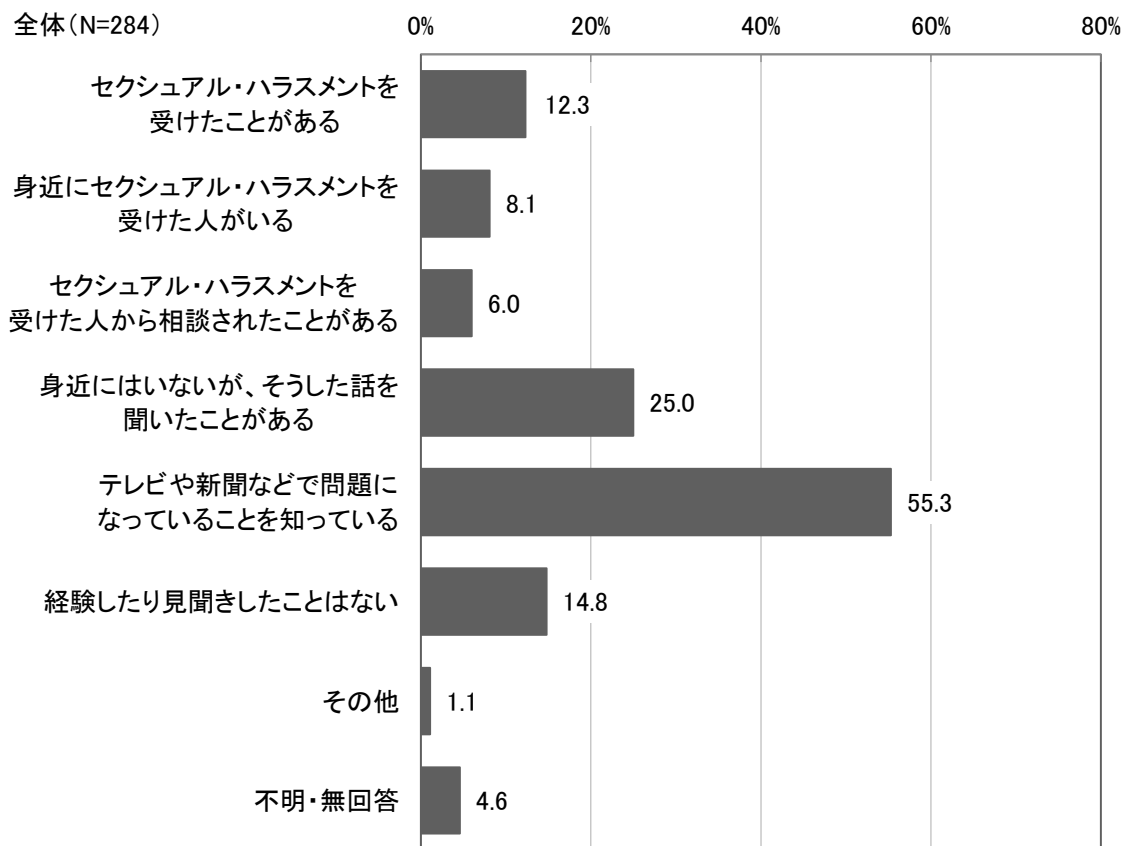
問 35

セクシャル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が 55.3%と最も高く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が 25.0%となっています。

性別では、「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が男性で 63.9%、女性で 49.7%となっています。

年齢区分別では、いずれも「テレビや新聞などで問題になっていることを知っている」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある	身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がある	セクシュアル・ハラスメントを受けた人から相談されたことがある	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	テレビや新聞などで問題になっていることを知っている	経験したり見聞きしたことはない	その他	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	3.4	7.6	5.0	25.2	63.9	20.2	0.8	1.7
	女性 (N=161)	18.6	8.1	6.2	24.2	49.7	11.2	1.2	6.2
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	13.8	6.9	6.9	27.6	51.7	13.8	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=35)	17.1	17.1	8.6	22.9	42.9	14.3	0.0	5.7
	40～49 歳 (N=57)	24.6	14.0	12.3	26.3	42.1	5.3	0.0	5.3
	50～59 歳 (N=43)	11.6	11.6	4.7	32.6	48.8	11.6	2.3	2.3
	60～69 歳 (N=57)	8.8	1.8	5.3	19.3	71.9	12.3	0.0	7.0
	70 歳以上 (N=63)	1.6	1.6	0.0	23.8	65.1	28.6	3.2	4.8

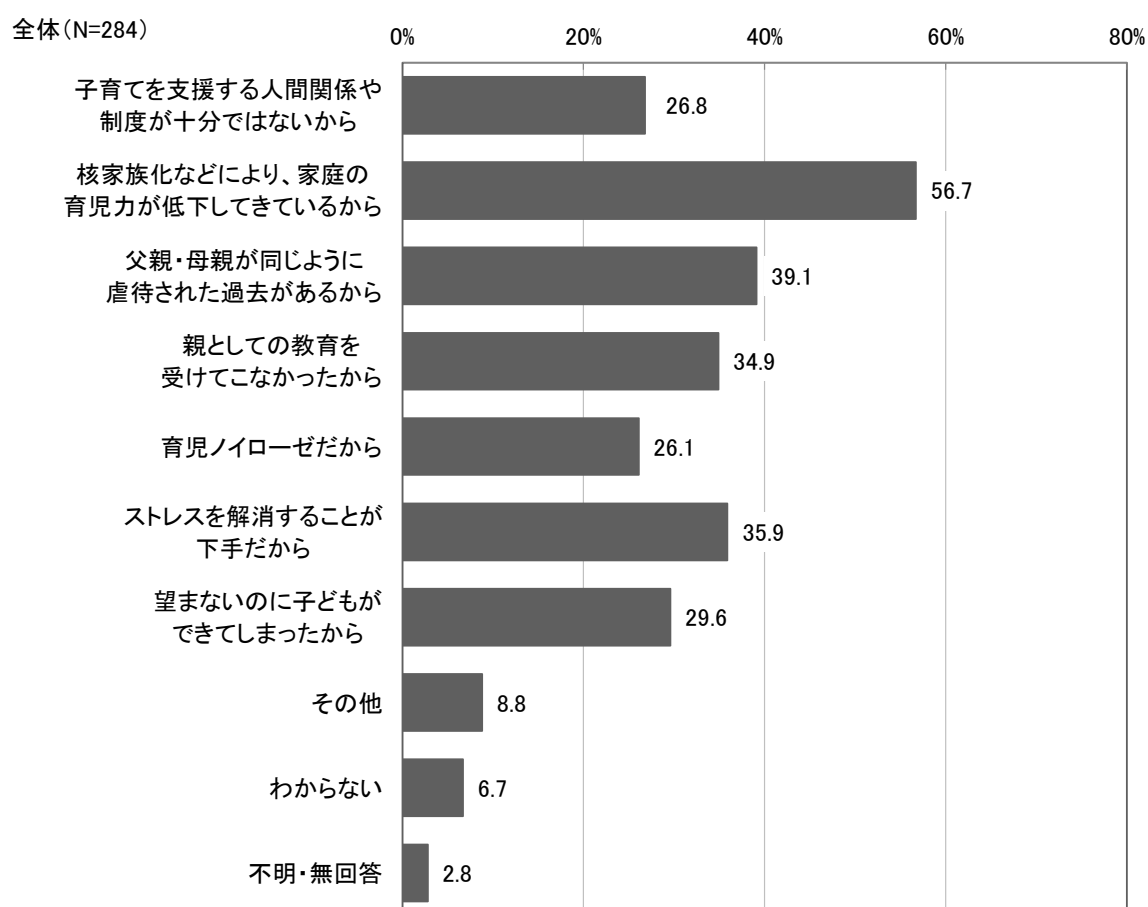
問 36

近年、親が自分の子どもを虐待する「児童虐待」が社会的な問題になっていますが、あなたはなぜ虐待が行われると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では「核家族化などにより、家庭の育児力が低下してきているから」が 56.7%と最も高く、次いで「父親・母親が同じように虐待された過去があるから」が 39.1%となっています。

性別では、「核家族化などにより、家庭の育児力が低下してきているから」が男性で 54.6%、女性で 58.4%となっています。

年齢区分別では、18～29 歳で「親としての教育を受けてこなかったから」「育児ノイローゼだから」「ストレスを解消することが下手だから」が「核家族化などにより、家庭の育児力が低下してきているから」よりそれぞれ高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		子育てを支援する人間関係や制度が十分ではないから	核家族化などにより、家庭の育児力が低下してきているから	父親・母親が同じように虐待された過去があるから	親としての教育を受けてこなかったから	育児ノイローゼだから	ストレスを解消することが下手だから	望まないのに子どもができてしまったから	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	22.7	54.6	24.4	46.2	19.3	28.6	31.9	9.2	7.6	1.7
	女性 (N=161)	29.2	58.4	49.7	26.7	29.8	41.6	27.3	7.5	6.2	3.1
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	34.5	37.9	37.9	41.4	41.4	41.4	34.5	6.9	6.9	3.4
	30～39 歳 (N=35)	40.0	45.7	37.1	20.0	40.0	31.4	34.3	8.6	2.9	2.9
	40～49 歳 (N=57)	28.1	45.6	43.9	31.6	31.6	36.8	28.1	7.0	5.3	1.8
	50～59 歳 (N=43)	18.6	55.8	46.5	32.6	16.3	25.6	30.2	16.3	14.0	2.3
	60～69 歳 (N=57)	24.6	71.9	43.9	42.1	17.5	45.6	31.6	5.3	7.0	0.0
	70 歳以上 (N=63)	22.2	68.3	27.0	38.1	20.6	33.3	23.8	9.5	4.8	6.3

問 37

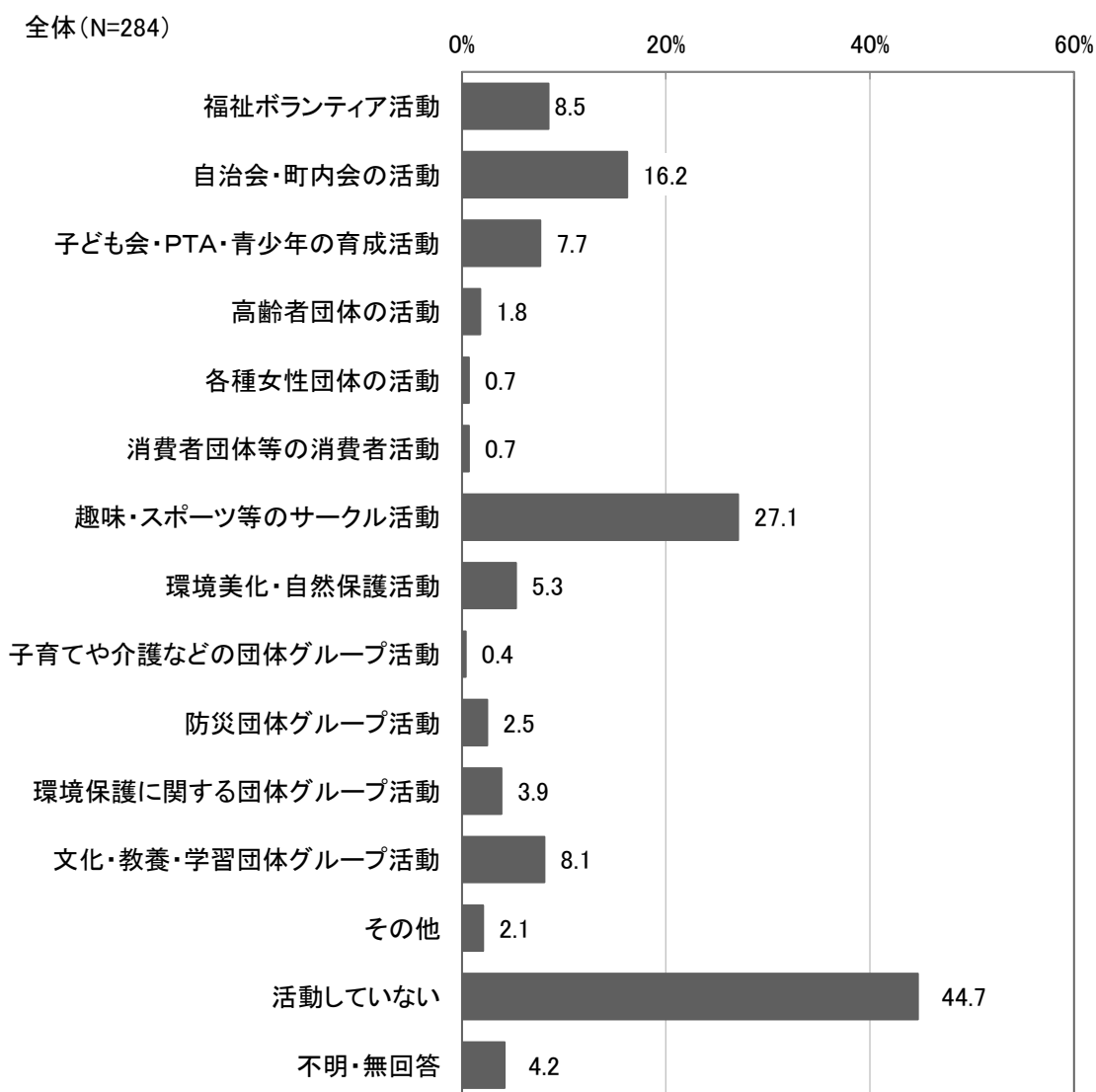
あなたが仕事（学業）以外に現在取り組んでいる地域グループ活動は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

全体では「活動していない」が44.7%と最も高く、次いで「趣味・スポーツ等のサークル活動」が27.1%となっています。

性別では、「活動していない」が男性で47.1%、女性で43.5%となっています。

年齢区分別では、18歳～69歳で「活動していない」が最も高くなっています。

居住地区別では、いずれも「活動していない」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		福祉ボランティア活動	自治会・町内会の活動	子ども会・PTA・青少年の育成活動	高齢者団体の活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費者活動	趣味・スポーツ等のサークル活動	環境美化・自然保護活動	子育てや介護などの団体グループ活動
性別	男性 (N=119)	5.0	20.2	3.4	2.5	0.0	0.8	28.6	5.0	0.0
	女性 (N=161)	10.6	13.7	11.2	1.2	1.2	0.6	26.7	5.0	0.6
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	20.7	6.9	0.0
	30～39 歳 (N=35)	5.7	20.0	14.3	0.0	0.0	0.0	25.7	0.0	0.0
	40～49 歳 (N=57)	3.5	14.0	22.8	0.0	0.0	1.8	22.8	3.5	1.8
	50～59 歳 (N=43)	0.0	23.3	4.7	0.0	2.3	0.0	32.6	7.0	0.0
	60～69 歳 (N=57)	15.8	17.5	1.8	3.5	0.0	0.0	21.1	7.0	0.0
	70 歳以上 (N=63)	15.9	17.5	0.0	4.8	1.6	1.6	36.5	6.3	0.0

区分		防災団体グループ活動	環境保護に関する団体グループ活動	文化・教養・学習団体グループ活動	その他	活動していない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	5.9	2.5	7.6	0.0	47.1	3.4
	女性 (N=161)	0.0	5.0	8.7	3.7	43.5	3.7
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	0.0	3.4	0.0	3.4	65.5	0.0
	30～39 歳 (N=35)	8.6	5.7	5.7	0.0	45.7	5.7
	40～49 歳 (N=57)	5.3	0.0	8.8	1.8	49.1	3.5
	50～59 歳 (N=43)	2.3	4.7	4.7	4.7	41.9	2.3
	60～69 歳 (N=57)	0.0	5.3	15.8	3.5	43.9	1.8
	70 歳以上 (N=63)	0.0	4.8	7.9	0.0	33.3	9.5

■クロス集計集

(単位：%)

区分		福祉ボランティア活動	自治会・町内会の活動	子ども会・PTA・青少年の育成活動	高齢者団体の活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費者活動	趣味・スポーツ等のサークル活動	環境美化・自然保護活動	子育てや介護などの団体グループ活動
居住地区別	東地区 (N=56)	1.8	10.7	7.1	1.8	1.8	0.0	25.0	1.8	0.0
	西地区 (N=83)	10.8	14.5	6.0	2.4	1.2	2.4	25.3	7.2	0.0
	中地区 (N=70)	7.1	18.6	10.0	0.0	0.0	0.0	24.3	4.3	0.0
	南地区 (N=74)	12.2	18.9	6.8	2.7	0.0	0.0	33.8	6.8	1.4

区分		防災団体グループ活動	環境保護に関する団体グループ活動	文化・教養・学習団体グループ活動	その他	活動していない	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	0.0	1.8	14.3	3.6	57.1	0.0
	西地区 (N=83)	1.2	7.2	4.8	0.0	42.2	7.2
	中地区 (N=70)	2.9	2.9	8.6	1.4	48.6	2.9
	南地区 (N=74)	5.4	2.7	6.8	4.1	35.1	5.4

問 38

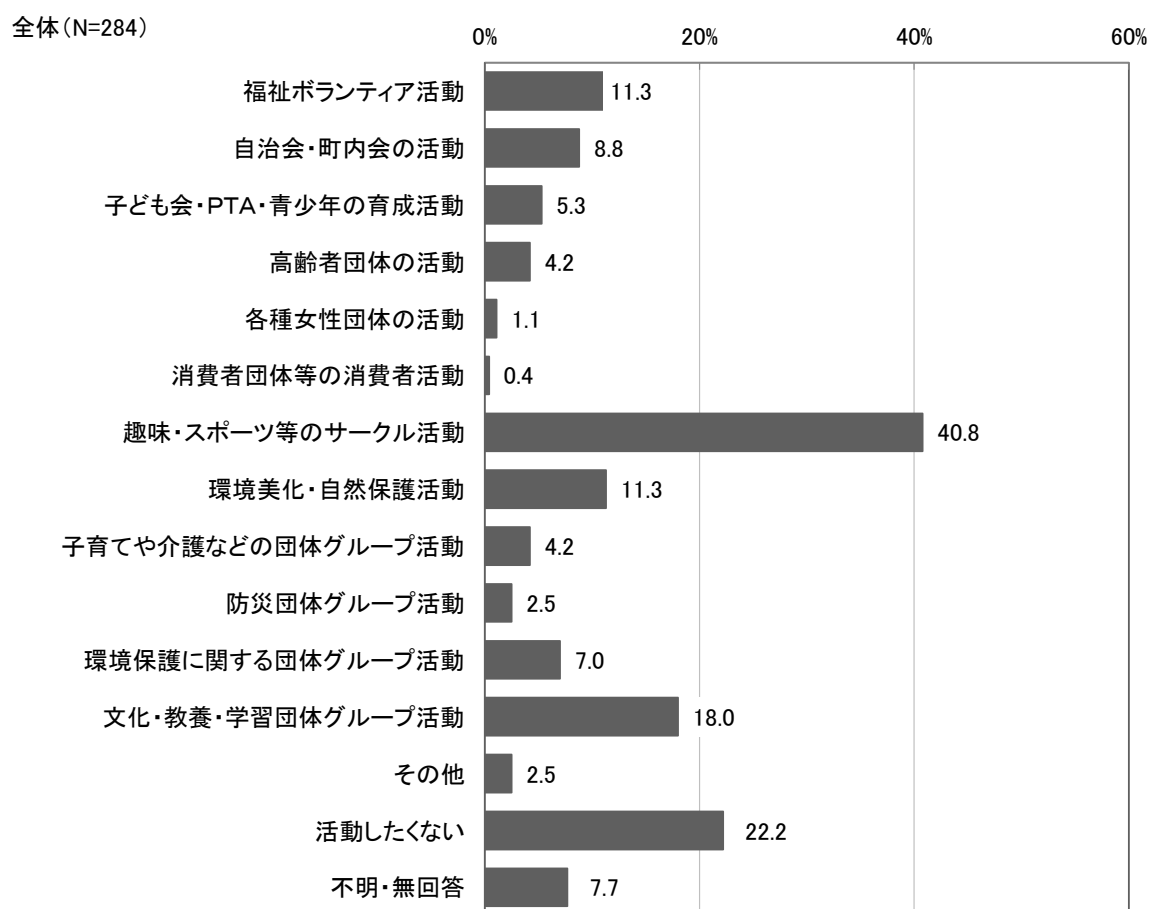
あなたが仕事（学業）以外に今後取り組みたい地域グループ活動は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

全体では「趣味・スポーツ等のサークル活動」が 40.8%と最も高く、次いで「活動したくない」が 22.2%となっています。

性別では、「趣味・スポーツ等のサークル活動」が男性で 42.9%、女性で 40.4%となっています。

年齢区分別では、50～59 歳で「活動したくない」が「趣味・スポーツ等のサークル活動」より高くなっています。

居住地区別では、いずれも「趣味・スポーツ等のサークル活動」が最も高くなっています。



■クロス集計集

(単位：％)

区分		福祉ボランティア活動	自治会・町内会の活動	子ども会・PTA・青少年の育成活動	高齢者団体の活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費者活動	趣味・スポーツ等のサークル活動	環境美化・自然保護活動	子育てや介護などの団体グループ活動
性別	男性 (N=119)	9.2	7.6	4.2	5.0	0.8	0.8	42.9	12.6	0.8
	女性 (N=161)	12.4	9.9	6.2	3.7	1.2	0.0	40.4	10.6	6.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	10.3	3.4	6.9	3.4	0.0	0.0	55.2	6.9	3.4
	30～39 歳 (N=35)	5.7	17.1	14.3	5.7	2.9	0.0	45.7	17.1	2.9
	40～49 歳 (N=57)	3.5	8.8	10.5	0.0	0.0	0.0	50.9	3.5	8.8
	50～59 歳 (N=43)	9.3	7.0	2.3	2.3	4.7	0.0	25.6	9.3	2.3
	60～69 歳 (N=57)	17.5	5.3	1.8	1.8	0.0	0.0	35.1	14.0	3.5
	70 歳以上 (N=63)	17.5	11.1	0.0	11.1	0.0	1.6	38.1	15.9	3.2

区分		防災団体グループ活動	環境保護に関する団体グループ活動	文化・教養・学習団体グループ活動	その他	活動したくない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	4.2	9.2	15.1	3.4	22.7	7.6
	女性 (N=161)	1.2	5.6	20.5	1.9	21.7	6.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	6.9	3.4	10.3	0.0	31.0	0.0
	30～39 歳 (N=35)	2.9	11.4	20.0	0.0	22.9	2.9
	40～49 歳 (N=57)	0.0	1.8	14.0	3.5	21.1	7.0
	50～59 歳 (N=43)	2.3	7.0	23.3	2.3	27.9	9.3
	60～69 歳 (N=57)	1.8	5.3	24.6	0.0	26.3	14.0
	70 歳以上 (N=63)	3.2	12.7	14.3	6.3	11.1	7.9

■クロス集計集

(単位：％)

区分		福祉ボランティア活動	自治会・町内会の活動	子ども会・PTA・青少年の育成活動	高齢者団体の活動	各種女性団体の活動	消費者団体等の消費者活動	趣味・スポーツ等のサークル活動	環境美化・自然保護活動	子育てや介護などの団体グループ活動
居住地区別	東地区 (N=56)	8.9	0.0	5.4	3.6	0.0	0.0	42.9	10.7	7.1
	西地区 (N=83)	13.3	13.3	8.4	3.6	1.2	1.2	42.2	12.0	2.4
	中地区 (N=70)	8.6	8.6	2.9	4.3	0.0	0.0	44.3	7.1	2.9
	南地区 (N=74)	13.5	9.5	2.7	5.4	2.7	0.0	35.1	14.9	5.4

区分		防災団体グループ活動	環境保護に関する団体グループ活動	文化・教養・学習団体グループ活動	その他	活動したくない	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	0.0	7.1	10.7	3.6	28.6	1.8
	西地区 (N=83)	4.8	9.6	24.1	1.2	13.3	12.0
	中地区 (N=70)	1.4	5.7	18.6	1.4	21.4	7.1
	南地区 (N=74)	2.7	5.4	16.2	4.1	28.4	8.1

問 41

あなたは、自治会長やPTA 会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

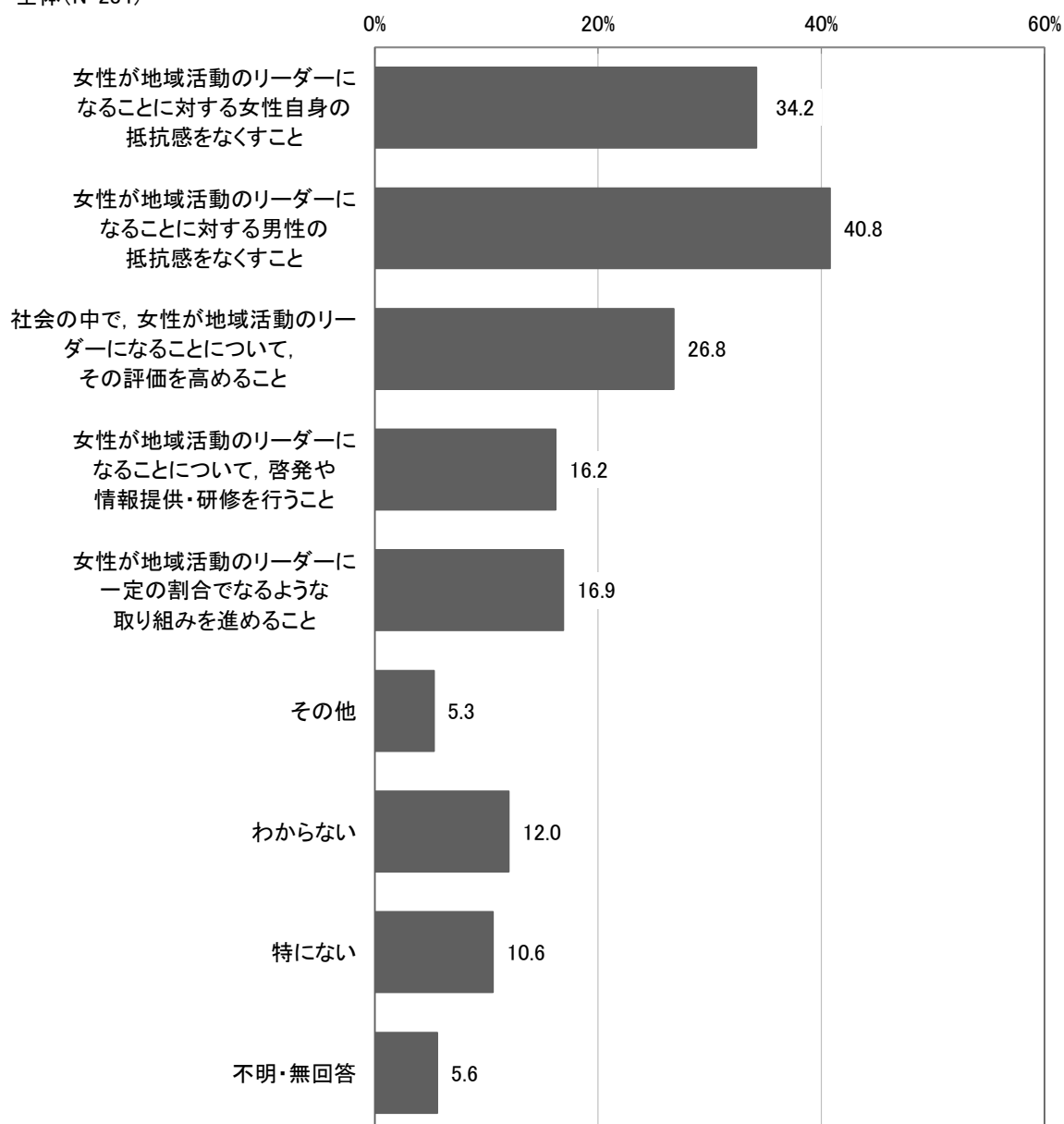
全体では「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が 40.8%と最も高く、次いで「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が 34.2%となっています。

性別では、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が男性で 40.3%、女性で 41.0%となっています。

年齢区分別では、18 歳～69 歳で「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が最も高くなっています。

居住地区別では、いずれも「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が最も高くなっています。

全体 (N=284)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること	女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取り組みを進めること	その他	わからない	特にない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	31.9	40.3	31.1	16.0	22.7	5.0	9.2	8.4	6.7
	女性 (N=161)	35.4	41.0	23.6	16.1	11.8	5.6	14.3	11.8	4.3
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	34.5	44.8	34.5	10.3	13.8	10.3	3.4	10.3	3.4
	30～39 歳 (N=35)	28.6	57.1	20.0	14.3	8.6	5.7	11.4	8.6	8.6
	40～49 歳 (N=57)	36.8	40.4	26.3	8.8	14.0	5.3	12.3	10.5	1.8
	50～59 歳 (N=43)	41.9	44.2	16.3	16.3	18.6	4.7	11.6	11.6	2.3
	60～69 歳 (N=57)	36.8	43.9	31.6	24.6	22.8	5.3	15.8	8.8	3.5
	70 歳以上 (N=63)	27.0	25.4	30.2	19.0	19.0	3.2	12.7	12.7	12.7
居住地区別	東地区 (N=56)	26.8	39.3	28.6	14.3	19.6	12.5	10.7	14.3	1.8
	西地区 (N=83)	41.0	47.0	22.9	13.3	18.1	1.2	12.0	9.6	8.4
	中地区 (N=70)	34.3	35.7	28.6	18.6	14.3	7.1	18.6	7.1	4.3
	南地区 (N=74)	32.4	39.2	28.4	18.9	16.2	2.7	6.8	12.2	6.8

問 42

今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

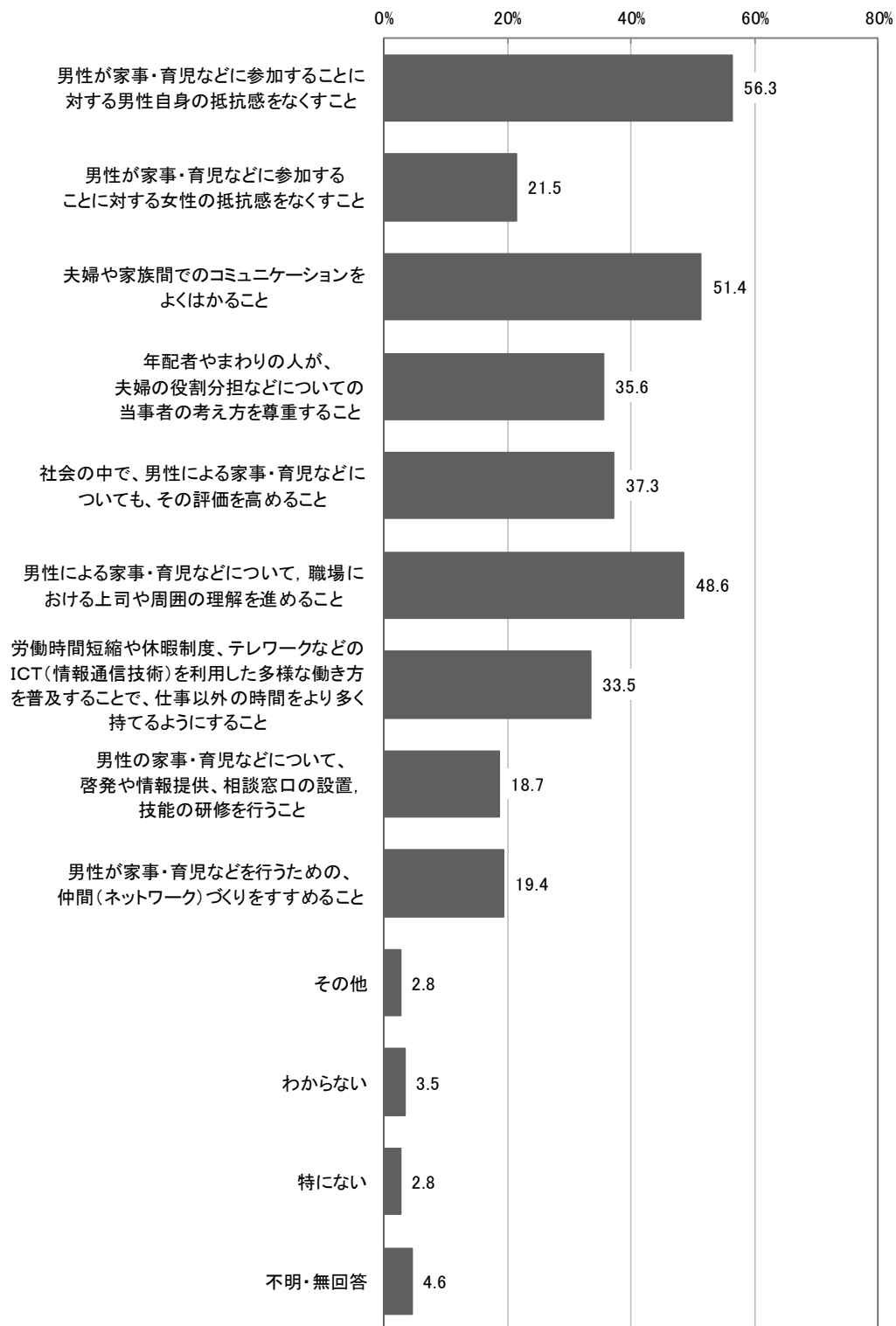
全体では「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が 56.3%と最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が 51.4%となっています。

性別では、「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が男性で 45.4%、女性で 64.6%となっています。

年齢区分別では、40～49 歳と 70 歳以上で「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も高くなっています。

居住地区別では、南地区で「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」が他の地区に比べて高くなっています。

全体 (N=284)



■クロス集計集

(単位：％)

区分		男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
性別	男性（N=119）	45.4	16.8	43.7	29.4	36.1	42.9	23.5
	女性（N=161）	64.6	24.8	56.5	39.8	37.9	52.8	40.4
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	62.1	24.1	51.7	34.5	48.3	55.2	27.6
	30～39 歳（N=35）	54.3	11.4	48.6	25.7	48.6	54.3	34.3
	40～49 歳（N=57）	56.1	24.6	57.9	38.6	45.6	54.4	28.1
	50～59 歳（N=43）	60.5	34.9	39.5	34.9	25.6	41.9	39.5
	60～69 歳（N=57）	64.9	21.1	54.4	42.1	40.4	52.6	40.4
	70 歳以上（N=63）	44.4	14.3	52.4	33.3	23.8	38.1	30.2

区分		男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること	その他	わからない	特にない	不明・無回答
性別	男性（N=119）	19.3	12.6	4.2	3.4	3.4	6.7
	女性（N=161）	17.4	23.6	1.2	3.7	2.5	3.1
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	17.2	17.2	0.0	3.4	3.4	3.4
	30～39 歳（N=35）	20.0	22.9	0.0	2.9	2.9	8.6
	40～49 歳（N=57）	14.0	24.6	1.8	3.5	1.8	1.8
	50～59 歳（N=43）	11.6	14.0	7.0	0.0	2.3	0.0
	60～69 歳（N=57）	26.3	21.1	1.8	3.5	1.8	1.8
	70 歳以上（N=63）	20.6	15.9	4.8	6.3	4.8	11.1

■クロス集計集

(単位：%)

区分		男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
居住地区別	東地区 (N=56)	55.4	14.3	57.1	37.5	42.9	46.4	30.4
	西地区 (N=83)	61.4	25.3	54.2	43.4	32.5	50.6	38.6
	中地区 (N=70)	52.9	18.6	55.7	27.1	28.6	42.9	30.0
	南地区 (N=74)	55.4	25.7	39.2	33.8	45.9	52.7	33.8

区分		男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること	その他	わからない	特にない	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	21.4	19.6	1.8	1.8	7.1	1.8
	西地区 (N=83)	15.7	22.9	3.6	4.8	1.2	6.0
	中地区 (N=70)	20.0	17.1	2.9	4.3	2.9	2.9
	南地区 (N=74)	18.9	17.6	2.7	2.7	1.4	6.8

問 43

あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では「町議会議員」が37.7%と最も高く、次いで「公務員の管理職」が35.6%となっています。

性別では、「町議会議員」が男性で36.1%、女性で37.9%となっています。

年齢区分別では、40～49歳で「企業の管理職」が40.4%と最も高くなっています。

居住地区別では、南地区で「町議会議員」が48.6%と高くなっています。

全体 (N=284)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		町長	町議会議員	公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士	大学教授・学長など	小中学校・高校の教頭・副校長・校長	企業の技術者・研究者	企業の管理職	上場企業の役員	起業家	新聞・放送の記者
性別	男性 (N=119)	29.4	36.1	31.1	21.8	21.0	29.4	18.5	26.9	26.1	20.2	14.3
	女性 (N=161)	35.4	37.9	37.9	32.3	18.0	35.4	21.1	34.2	19.9	19.3	15.5
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	13.8	17.2	34.5	24.1	13.8	31.0	10.3	31.0	17.2	17.2	6.9
	30～39 歳 (N=35)	40.0	37.1	31.4	31.4	17.1	40.0	20.0	31.4	25.7	20.0	17.1
	40～49 歳 (N=57)	36.8	29.8	40.4	29.8	15.8	36.8	26.3	40.4	26.3	29.8	14.0
	50～59 歳 (N=43)	32.6	46.5	23.3	25.6	16.3	30.2	16.3	32.6	23.3	16.3	14.0
	60～69 歳 (N=57)	36.8	47.4	45.6	36.8	33.3	40.4	28.1	31.6	22.8	19.3	22.8
	70 歳以上 (N=63)	31.7	39.7	33.3	20.6	17.5	23.8	15.9	22.2	22.2	17.5	14.3

区分		自治会、町内会長など	医師・歯科医師	特にない	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=119)	26.1	25.2	14.3	2.5	6.7	6.7
	女性 (N=161)	23.6	26.7	9.9	1.9	9.3	3.7
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	6.9	24.1	24.1	0.0	10.3	3.4
	30～39 歳 (N=35)	28.6	28.6	8.6	2.9	5.7	8.6
	40～49 歳 (N=57)	26.3	28.1	5.3	0.0	8.8	1.8
	50～59 歳 (N=43)	27.9	23.3	7.0	2.3	11.6	2.3
	60～69 歳 (N=57)	24.6	35.1	17.5	1.8	5.3	1.8
	70 歳以上 (N=63)	28.6	19.0	11.1	4.8	7.9	12.7

■クロス集計集

区分		町長	町議会議員	公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士	大学教授・学長など	小中学校・高校の教頭・副校長・校長	企業の技術者・研究者	企業の管理職	上場企業の役員	起業家	新聞・放送の記者
居住地区別	東地区 (N=56)	32.1	32.1	33.9	32.1	23.2	28.6	21.4	23.2	25.0	21.4	16.1
	西地区 (N=83)	30.1	37.3	32.5	28.9	19.3	33.7	20.5	32.5	20.5	20.5	16.1
	中地区 (N=70)	28.6	30.0	34.3	25.7	17.1	27.1	20.0	31.4	22.9	15.7	12.9
	南地区 (N=74)	40.5	48.6	41.9	25.7	20.3	41.9	20.3	36.5	25.7	24.3	18.9

区分		自治会、町内会長など	医師・歯科医師	特にない	その他	わからない	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	28.6	26.8	8.9	5.4	7.1	3.6
	西地区 (N=83)	26.5	22.9	14.5	2.4	9.6	7.2
	中地区 (N=70)	18.6	22.9	14.3	0.0	10.0	2.9
	南地区 (N=74)	27.0	32.4	8.1	1.4	5.4	6.8

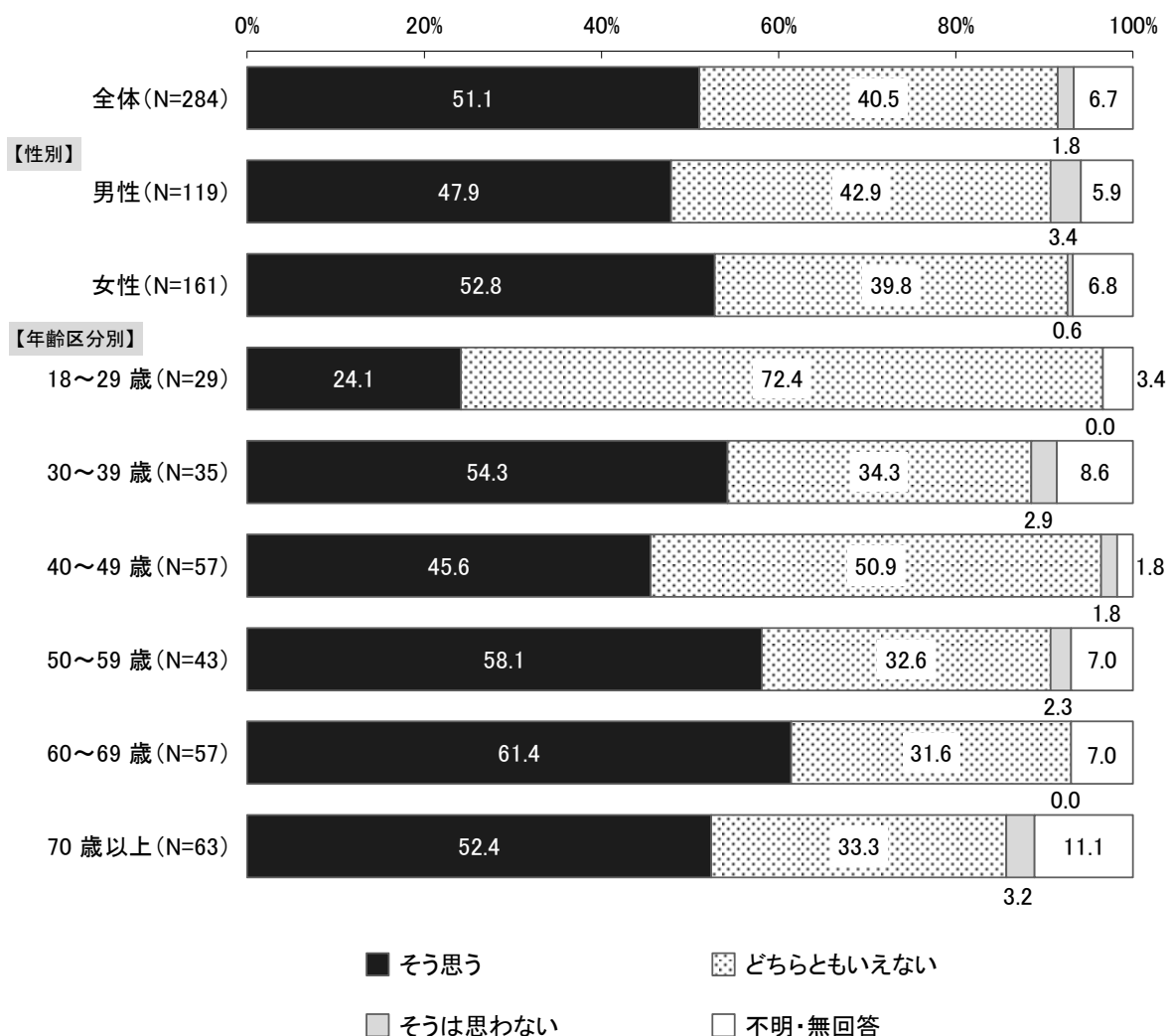
問 44

あなたは、政策等の立案や決定に女性の意見を今よりも反映させるようにした方がいいと思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「そう思う」が51.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が40.5%となっています。

性別では、「そう思う」が男性で47.9%、女性で52.8%となっています。

年齢区分別では、18～29歳で「どちらともいえない」が72.4%と最も高くなっています。



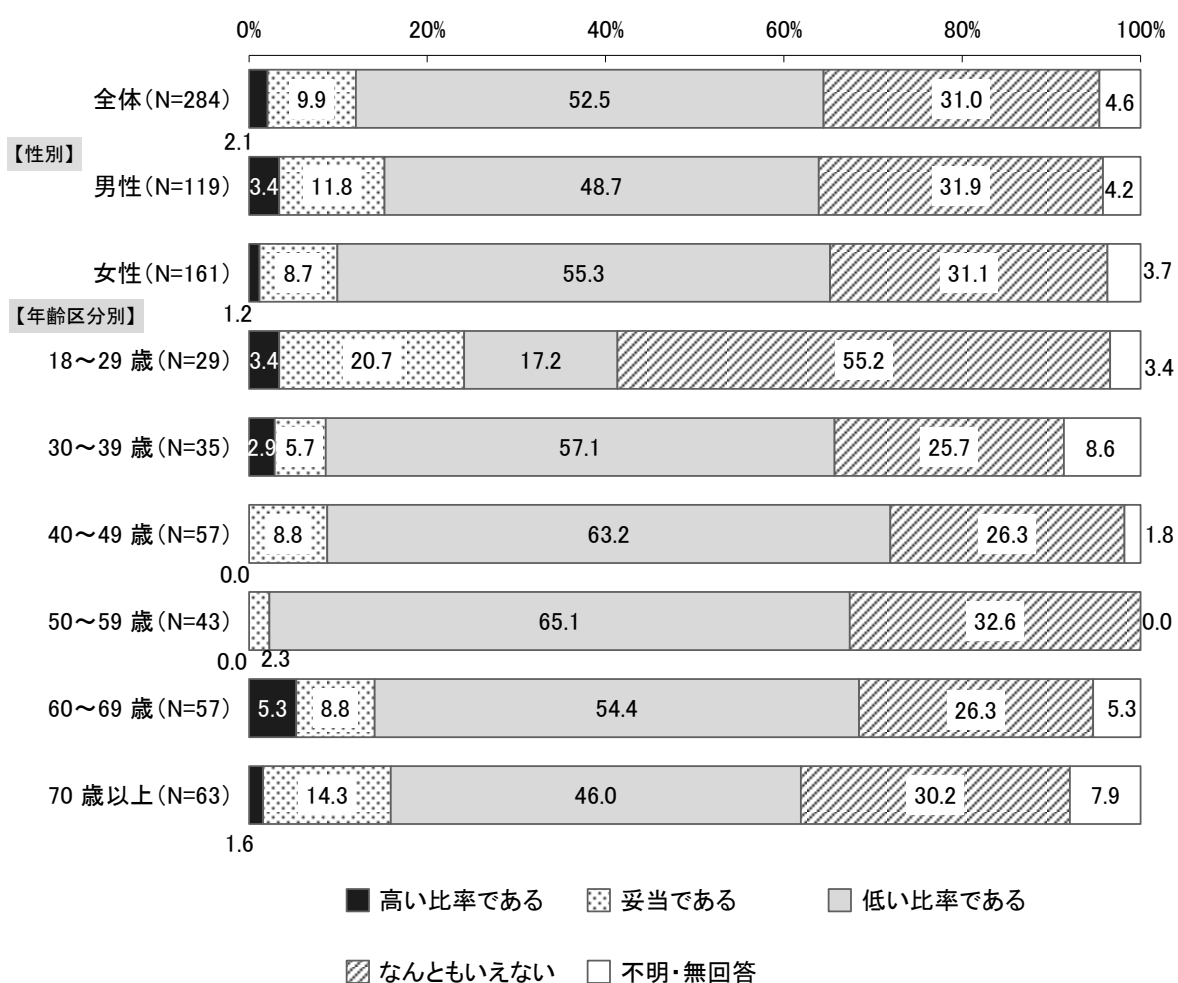
問 45

軽井沢町における平成 29 年度の政策立案に関する各種審議会・委員会委員の女性の比率は 22.1%です。あなたは、この比率をどのように感じますか。
(○は 1 つだけ)

全体では「低い比率である」が 52.5%と最も高く、次いで「なんともいえない」が 31.0%となっています。

性別では、「低い比率である」が男性で 48.7%、女性で 55.3%となっています。

年齢区分別では、18～29 歳で「妥当である」が「低い比率である」より高くなっています。



<問 45 で「3. 低い比率である」と回答した方にうかがいます。>

問 45-1

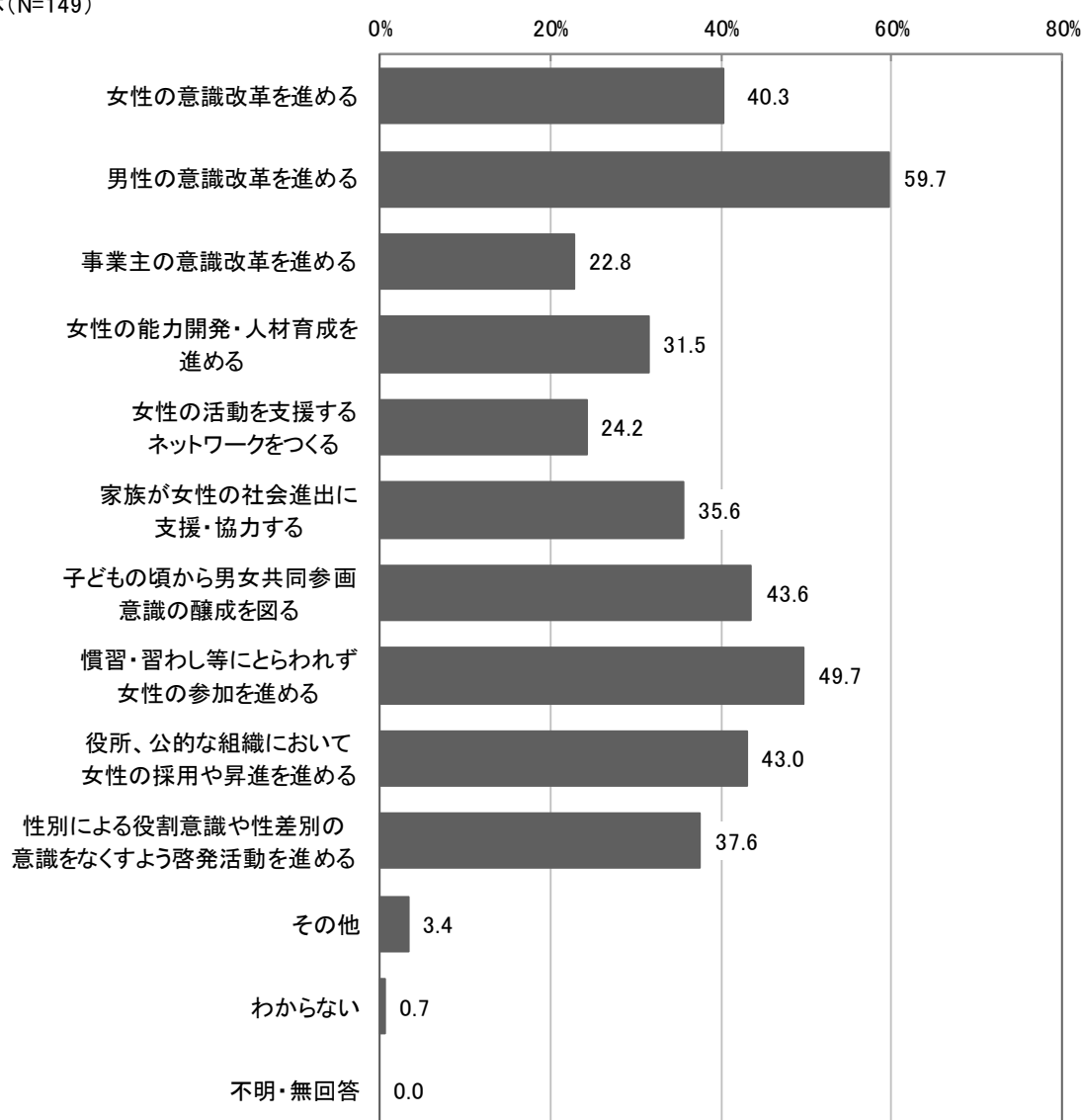
どのようにすれば、女性の比率が高くなると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体では「男性の意識改革を進める」が 59.7%と最も高く、次いで「慣習・習わし等にとらわれず女性の参加を進める」が 49.7%となっています。

性別では、「男性の意識改革を進める」が男性で 62.1%、女性で 57.3%となっています。

年齢区分別では、70 歳以上で「役所、公的な組織において女性の採用や昇進を進める」が高くなっています。

全体 (N=149)



■クロス集計集

(単位：%)

区分		女性の意識改革を進める	男性の意識改革を進める	事業主の意識改革を進める	女性の能力開発・人材育成を進める	女性の活動を支援するネットワークをつくる	家族が女性の社会進出に支援・協力する	子どもの頃から男女共同参画意識の醸成を図る	慣習・習わし等にとらわれず女性の参加を進める
性別	男性 (N=58)	34.5	62.1	19.0	27.6	19.0	27.6	36.2	44.8
	女性 (N=89)	42.7	57.3	25.8	34.8	27.0	40.4	48.3	52.8
年齢区分別	18～29 歳 (N=5)	40.0	80.0	40.0	40.0	20.0	80.0	40.0	60.0
	30～39 歳 (N=20)	35.0	50.0	25.0	30.0	20.0	20.0	45.0	55.0
	40～49 歳 (N=36)	25.0	50.0	16.7	27.8	16.7	30.6	36.1	50.0
	50～59 歳 (N=28)	46.4	64.3	21.4	25.0	21.4	17.9	42.9	50.0
	60～69 歳 (N=31)	45.2	67.7	29.0	35.5	25.8	41.9	58.1	54.8
	70 歳以上 (N=29)	51.7	62.1	20.7	37.9	37.9	55.2	37.9	37.9

区分		役所、公的な組織において女性の採用や昇進を進める	性別による役割意識や性差別の意識をなくすよう啓発活動を進める	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性 (N=58)	39.7	31.0	1.7	0.0	0.0
	女性 (N=89)	43.8	41.6	3.4	1.1	0.0
年齢区分別	18～29 歳 (N=5)	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	30～39 歳 (N=20)	35.0	45.0	5.0	0.0	0.0
	40～49 歳 (N=36)	38.9	27.8	2.8	0.0	0.0
	50～59 歳 (N=28)	35.7	39.3	0.0	3.6	0.0
	60～69 歳 (N=31)	38.7	41.9	9.7	0.0	0.0
	70 歳以上 (N=29)	62.1	37.9	0.0	0.0	0.0

問 46

男女共同参画の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れた方がよいと思いますか。(〇は5つまで)

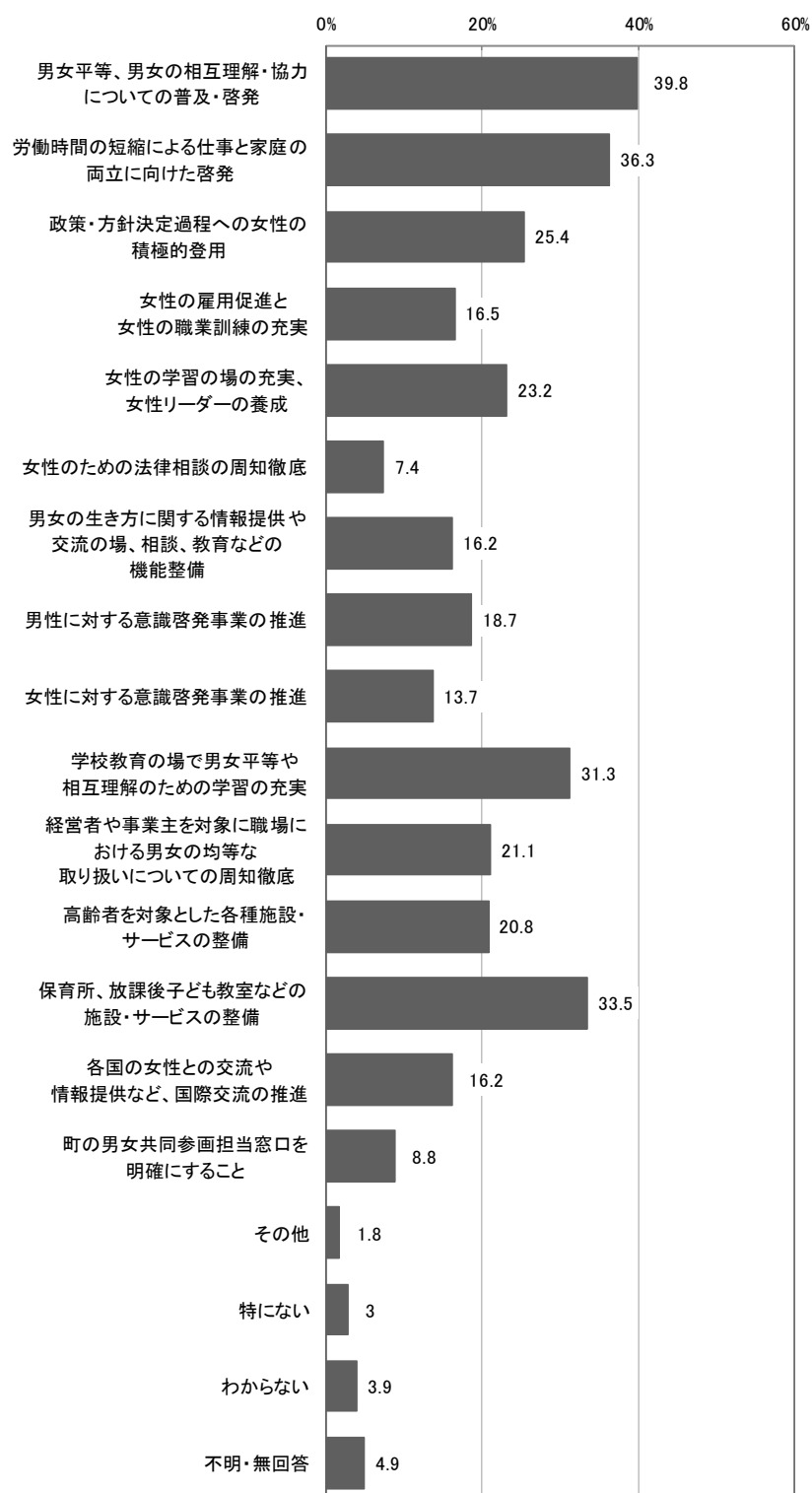
全体では「男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発」が 39.8%と最も高く、次いで「労働時間の短縮による仕事と家庭の両立に向けた啓発」が 36.3%となっています。

性別では、「男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発」が男性で 39.5%、女性で 41.0%となっています。

年齢区分別では、70 歳以上で「政策・方針決定過程への女性の積極的登用」が高くなっています。

居住地区別では、東地区のみ「男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発」が他の地区と比べて低くなっています。

全体 (N=284)



■クロス集計集

(単位：％)

区分		男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発	労働時間の短縮による仕事と家庭の両立に向けた啓発	政策・方針決定過程への女性の積極的登用	女性の雇用促進と女性の職業訓練の充実	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	学校教育の場で男女平等や相互理解のための学習の充実
性別	男性 (N=119)	39.5	30.3	26.1	16.8	19.3	7.6	19.3	16.0	14.3	32.8
	女性 (N=161)	41.0	41.0	24.2	16.8	26.7	6.8	14.3	19.9	13.0	30.4
年齢区分別	18～29 歳 (N=29)	34.5	48.3	17.2	3.4	10.3	10.3	24.1	6.9	10.3	24.1
	30～39 歳 (N=35)	37.1	42.9	8.6	14.3	14.3	5.7	11.4	20.0	11.4	34.3
	40～49 歳 (N=57)	35.1	35.1	17.5	19.3	24.6	5.3	17.5	28.1	14.0	28.1
	50～59 歳 (N=43)	48.8	39.5	25.6	14.0	23.3	9.3	23.3	23.3	16.3	18.6
	60～69 歳 (N=57)	43.9	28.1	35.1	22.8	24.6	10.5	10.5	17.5	14.0	40.4
	70 歳以上 (N=63)	38.1	33.3	36.5	17.5	31.7	4.8	14.3	12.7	14.3	36.5

区分		取り扱いについての周知徹底	経営者や事業主を対象に職場における男女の均等な	高齢者を対象とした各種施設・サービスの整備	保育所、放課後子ども教室などの施設・サービスの整備	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流の推進	町の男女共同参画担当窓口を明確にすること	その他	特にない	わからない	不明・無回答
性別	男性（N=119）	21.0	19.3	28.6	14.3	10.1	2.5	4.2	4.2	8.4	
	女性（N=161）	20.5	21.1	36.6	17.4	8.1	0.6	1.9	3.7	2.5	
年齢区分別	18～29 歳（N=29）	27.6	31.0	34.5	10.3	6.9	3.4	0.0	10.3	3.4	
	30～39 歳（N=35）	14.3	22.9	37.1	2.9	8.6	0.0	2.9	2.9	11.4	
	40～49 歳（N=57）	17.5	15.8	54.4	15.8	3.5	0.0	1.8	3.5	3.5	
	50～59 歳（N=43）	16.3	14.0	20.9	9.3	4.7	2.3	7.0	0.0	2.3	
	60～69 歳（N=57）	22.8	21.1	40.4	19.3	14.0	1.8	3.5	5.3	3.5	
	70 歳以上（N=63）	27.0	23.8	14.3	28.6	12.7	3.2	1.6	3.2	6.3	

■クロス集計集

(単位：%)

区分		男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発	労働時間の短縮による仕事と家庭の両立に向けた啓発	政策・方針決定過程への女性の積極的登用	女性の雇い促進と女性の職業訓練の充実	女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成	女性の学修の場の充実、女性リーダーの養成	女性のための法律相談の周知徹底	男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの機能整備	男性に対する意識啓発事業の推進	女性に対する意識啓発事業の推進	学校教育の場で男女平等や相互理解のための学習の充実
居住地区別	東地区 (N=56)	30.4	37.5	25.0	7.1	23.2	5.4	14.3	26.8	14.3	30.4	
	西地区 (N=83)	39.8	36.1	32.5	20.5	21.7	8.4	16.9	14.5	10.8	32.5	
	中地区 (N=70)	42.9	35.7	20.0	18.6	20.0	4.3	12.9	18.6	18.6	30.0	
	南地区 (N=74)	43.2	36.5	23.0	17.6	28.4	10.8	20.3	17.6	12.2	32.4	

区分		取り扱いについての周知徹底	経営者や事業主を対象に職場における男女の均等な	高齢者を対象とした各種施設・サービスの整備	保育所、放課後子ども教室などの施設・サービスの整備	提供など、国際交流の推進	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流の推進	町の男女共同参画担当窓口を明確にすること	その他	特にな	わからない	不明・無回答
居住地区別	東地区 (N=56)	14.3	26.8	32.1	19.6	10.7	3.6	8.9	1.8	3.6		
	西地区 (N=83)	22.9	12.0	27.7	14.5	7.2	1.2	0.0	4.8	7.2		
	中地区 (N=70)	22.9	25.7	42.9	15.7	10.0	1.4	1.4	4.3	1.4		
	南地区 (N=74)	23.0	21.6	32.4	16.2	8.1	1.4	2.7	4.1	6.8		

軽井沢町男女共同参画に関する
意識調査
【報告書】

発 行 : 軽井沢町
編 集 : 軽井沢町 教育委員会 生涯学習課 生涯学習係
住 所 : 〒389-0192
長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2381 番地 1
電話 0267-45-8695
発行年月日 : 平成 30 年 10 月
